

TOSHIBA

REGZA

東芝ブルーレイディスクレコーダー 取扱説明書 機能操作編

形名 **DBR-4KZ600**
DBR-4KZ400
DBR-4KZ200



「付属品を確認する」、「事前に準備をする」、などの準備は製品に同梱の取扱説明書をご覧ください。

このたびはブルーレイディスクレコーダーをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

お求めの商品を安全に正しく使っていただくため、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みください。

ご使用前に、製品同梱の取扱説明書の「安全上のご注意」を必ずお読みください。

もくじ

》リモコンのボタンと主な機能	12
》本機で使えるメディアについて	15
》スタートメニューについて	18

準備をする

》はじめての設定をする	19
》「はじめての設定」を開始する	19
》「はじめての設定」の流れ	20
》はじめての設定	21
》「はじめての設定」をやりなおすとき	41

視聴する

》テレビを見る	42
》リモコンで番組を選ぶ	42
》字幕を表示する	44
》操作ガイドについて	45
》サブメニューについて	46
》番組情報や番組説明を見る	48
》番組情報を見る	48
》番組説明を見る	49
》番組表で番組を探す	50
》番組表を使う	50
》番組を見ながら他の番組を探す(ミニ番組表)	53
》番組表を便利に使う	53
》条件を絞り込んで番組を探す	61
》データ放送やラジオ放送を楽しむ	66
》連動データ放送を楽しむ	67
》独立データ放送やラジオ放送を楽しむ	67

》 便利な機能を使う	69
》 降雨対応放送について	69
》 他の映像・音声に切り換える	70
》 映像を静止させる	72

録画をする

》 録画・予約機能について	73
》 録画できる機器と番組	73
》 録画前の準備	73
》 録画するメディアについて	75
》 録画モードについて	75
》 3番組同時録画(トリプル録画)と視聴用チューナーについて	76
》 録画の基本的な設定をする	79
》 録画に使用する機器を設定する	79
》 チャプター分割のしかたを設定する	80
》 番組表で予約をする	81
》 メッセージが表示された場合	81
》 マルチ表示の番組表で予約するとき	82
》 連続ドラマを予約する	83
》 日時を指定して予約をする / 番組を検索して録画・予約をする	85
》 日時を指定して予約をする	85
》 番組を検索して録画・予約をする	87
》 録画予約や連ドラ予約の設定を変更するとき	88
》 予約の確認・変更・取り消しをする	91
》 おまかせ録画	94
》 おまかせ録画に必要な準備	94
》 おまかせ録画について	95
》 予約・録画の優先順位と予約の動作について	97
》 予約・録画の優先順位について	97
》 予約の動作について	99

》録画についての補足説明	100
------------------------	-----

再生する

》タイムシフトマシン機能を使う	105
》基本操作	107
》タイムシフトマシン再生中にできるリモコン操作	109
》番組情報やタイムバーを表示させる	111
》タイムシフトマシン録画を一時的に停止させる	112
》連ドラ予約をする	113
》過去番組表を便利に使う	114
》ざんまいスマートアクセスで楽しむ	117
》お好みの番組を選ぶ	117
》機能紹介を見る	120
》カテゴリーをお好みに変更する	121
》ざんまいスマートアクセスを便利に使う	127
》ショートカットアイコンを使う	129
》見たいタイムシフトマシン録画番組を探す	130
》「番組検索」で探す	130
》タイムシフトマシン録画番組を保存する	133
》録画した番組を再生する	135
》再生の基本操作とさまざまな再生のしかた	135
》時短で見る	139
》録画番組の再生中にできるリモコン操作	141
》録画番組の情報や番組説明を見る	143
》録画番組を修復する	144
》見たい録画番組を探して再生する	145
》おすすめの番組を見る	147
》シーン検索について	148

》録画リストのさまざまな機能を使う	149
》グループ内の番組の連続再生の設定を変える	149
》番組を並べ替える	149
》ほかの機器を選択する	150
》連ドラ予約をする	150
》機器の情報を確認する	151
》ディスクの再生中にできる様々な操作	162
》次みるナビで楽しむ	153
》録画した番組を見る	153
》もっと便利に、お好みの番組を選ぶ	154
》SeeQVault™形式の番組を再生する	155
》再生の基本操作	155
》SeeQVault™対応機器を選択する	156
》ディスクを再生する	157
》Ultra HDブルーレイ再生の前に	157
》ブルーレイディスクやDVDを再生する	158
》音楽用CDを再生する	159
》好きなタイトルから再生する(ディスクサーチ)	159
》Ultra HD ブルーレイ／BD-Videoの バーチャル・パッケージを利用する	160
》ディスクの再生中にできる様々な操作	162

編集・ダビングする

》編集の前に	166
》本機でできる編集について	166
》チャプター編集をする	168
》チャプターの分割/統合をする	168
》チャプター名を変更する	170
》チャプターを削除する	171
》チャプターの属性を変更する	172
》グループ名を変更する	173

》ほかのグループに移動する	175
》タイトルを変更する	177
》録画番組の画質を変換する	178
》目的別ダビングガイド	182
》録画番組をダビング(ムーブ)する	183
》ハードディスク間でムーブする	183
》ネットワーク接続でダビングする	187
》録画番組をSeeQVault™形式にする	189
》SeeQVault™形式に変換してUSBハードディスクにダビングする	189
》ディスクに保存する	192
》録画番組の本編だけダビングする(おまかせダビング)	192
》チャプターを選んでダビングする(チャプター選択ダビング)	194
》複数の番組をまとめてダビングする	196
》VRフォーマットのDVDへダビングする	198
》テレビから本機へダビングする (レグザリンク・ダビング)	200
》ダビングについての補足説明	201
》ダビングする番組(コンテンツ)のダビング制限による動作の違いについて	201
》ダビング全般について	204
》実行中のダビングを中止したり、ダビング中に停電したりしたときは	204
》不要な録画番組を消す／ 誤って消さないように保護する	205
》一つの録画番組を消す	205
》複数の録画番組を消す	206
》グループ内の録画番組をすべて消す	207
》ハードディスク内の録画番組をすべて消す	208

》誤って消さないように保護する	209
》ディスクの番組を削除する	210

接続機器を使う

》USBハードディスクを増設する	212
》USBハードディスクの設定をする	216
》USBハードディスクを本機に登録する	216
》USBハードディスクの設定をする	219
》SeeQVault™対応の USBハードディスクを接続する	223
》USBハードディスクを接続して登録する	224
》ホームネットワークについて	226
》ホームネットワークに接続する	228
》機器を接続する	228
》機器のネットワーク設定を確認する	229
》ホームネットワークの設定をする	232
》接続機器から本機を操作するための設定をする 機能～	～外部連携 232
》接続機器から本機を起動するための設定をする 電源オン機能～	～リモート 237
》レグザリンクダビングの 接続・設定をする	240
》本機と機器を接続する	240
》スマホdeレグザの機能を使う	244
》スマホdeレグザの準備をする	244
》スマホdeレグザでおこなえる操作	245
》タイムシフトリンク機能を使う	247
》タイムシフトリンク機能を使う設定をする	247
》タイムシフトリンク機能でできること	248
》動画を再生する	250
》動画再生の操作	251

》 動画再生時にできるリモコン操作	253
》 動画再生でのさまざまな操作	254
》 インターネットを利用するための接続をする	256
》 本機をインターネットに接続したときにできること	256
》 接続のしかた(有線LANの場合)	257
》 インターネットを利用するための設定をする	259
》 かんたんネットワーク設定	260
》 接続方法	266
》 無線LAN設定	267
》 アドレス設定(IPv4)	270
》 IPv6接続	272
》 アドレス設定(IPv6)	273
》 接続テスト	275
》 ネットワーク情報	275
》 ネットワーク設定の接続テスト結果について	276
》 ネットワークサービスを利用するための設定をする	277
》 ネットワークサービスの情報を初期化する	277
》 クラウドサービスと	
ネットワークサービスについて	281
》 クラウドサービスやネットワークサービスに必要な準備	281
》 クラウドサービスの基本操作	282
》 動画配信サービスを楽しむ	282

設定・調整をする

》 映像・音声を調整する	284
》 映像調整	284
》 音声調整	286
》 テレビ表示の設定をする	288
》 TV画面設定	288
》 画面表示エリア設定	289

》 HDMI接続の設定をする	290
》 HDMI 連動機能	290
》 クラウドA 高画質設定	291
》 出力解像度設定	292
》 24 p 出力	293
》 HDMIディープカラー	293
》 ハイダイナミックレンジ出力	294
》 HDMI 音声出力	294
》 音声出力タイミング(調整)	295
》 タイムシフトマシンの設定をする	296
》 タイムシフトマシンの設定を変更する	296
》 タイムシフトマシン機能を開始/停止する	299
》 タイムシフトマシン録画用USB ハードディスクの 設定をする	300
》 システムをメンテナンスする	306
》 おすすめ履歴を初期化する	307
》 タイムシフトマシン録画機能を初期化する	307
》 タイムシフトマシン録画の視聴可能日数一覧表	308
》 ディスクの設定をする	311
》 EPモード	311
》 BD—HD 音声設定	311
》 言語設定	312
》 アングルアイコン	313
》 BD—L I V E 接続設定	313
》 アンテナを調整する	314
》 電波の強さ(信号強度)を確認する	314
》 アンテナを調整する	316
》 地上デジタルアッテネーター設定を変更する	317
》 BS・110度CS用アンテナの電源供給の設定を変更する	317
》 アンテナ線がショートしたとき	318
》 BS/CS 4Kの受信環境を確認したいとき	318

》チャンネルを追加したり設定を変更したりするとき . . .	319
》地上デジタルチャンネルを自動で設定する	319
》チャンネルをお好みに手動で設定する	321
》視聴しないチャンネルをスキップする	323
》データ放送の設定をする	325
》地域と郵便番号を設定する	325
》災害発生時に文字情報が表示されるようにする . . .	327
》ルート証明書の番号を確認する	328
》視聴できる番組を制限する	329
》制限するために暗証番号を設定する	329
》番組の視聴を制限する	331
》ディスクの視聴を制限する	332
》インターネットの利用を制限する	334
》省エネ設定をする	335
》リモコンの設定を変更する	337
》本機のリモコンが他のレグザサーバー (またはレコーダー)を操作しないようにする	337
》テレビ操作のボタンの設定をする	338
》使わない放送選択ボタンの操作を無効にする	339
》お買い上げ時の設定に戻すには (設定内容を初期化するには)	340

さまざまな情報

》ディスクを管理する	347
》新品のディスクを初期化(フォーマット)する	347
》ディスクをファイナライズする/ ファイナライズを解除する	348
》ディスクの名前を変更する	349
》ディスクの内容を保護する/保護を解除する	350

》ソフトウェアを更新する	351
》ソフトウェアの更新機能について	351
》ソフトウェアの自動ダウンロードについて	352
》東芝サーバーから手動でダウンロードする	355
》ソフトウェアのバージョンを確認するには	355
》お知らせを見る	356
》ソフトウェアのバージョンアップで 追加を予定している機能	358
》ACASチップやminiB-CASカードの 情報を確認する	360
》ACASチップ情報を確認する	360
》RMP情報の確認	361
》B-CASカード情報を確認する	362
》文字を入力する	363
》アイコン一覧	367
》番組についてのアイコン	367
》お知らせ、予約、その他についてのアイコン	369
》言語コード一覧	370
》同時にできること	372
》記録できる二重音声・字幕・マルチ番組について	374
》用語解説	376

追加機能編

》録画番組をスマホで持ち出す	386
》スマホ持ち出し用に予約する	386
》録画した番組をスマホ持ち出し用に変換する	387
》スマホ持ち出し番組を確認/削除する	390

リモコンのボタンと主な機能

- 本書に記載している操作で使用するリモコンのボタンと、そのおもな機能は以下のとおりです(ボタンによっては、通常の時と機能の異なるものがあります)。



電源

電源を入れる/待機にする

TV電源

テレビの電源を入れる/待機にする

▲トレイ開/閉

ディスクトレイを開閉する

TV入力切換

TVの入力を切り換える

BS/CS 4K

BS・110度CSの4K放送に切り換える

画面表示

番組名や放送局名、放送時間などを見る

地デジ / BS / CS

放送の種類を切り換える

dデータ

データ放送を見る

HDD/BD

再生するメディアを切り換える

音声切換

音声を切り換える

1 ~ 12 (数字ボタン)

チャンネルを選ぶ



チャンネル

チャンネルを順番に選ぶ

スタートメニュー

スタートメニューを表示する

Net.TV

Net.TV画面を表示する

サブメニュー

サブメニューを表示する

音量 + / -

テレビの音量を調節する

みるコレ

みるコレの画面を表示する

過去番組表

タイムシフトマシン録画の過去番組表を表示する

おすすめ番組

おすすめの番組を表示する

録画リスト/トップメニュー

録画リストを表示させる
ディスクのトップメニューを表示する

番組表/ポップアップメニュー

番組表で番組を選ぶ
ディスクのメニューを表示する

▲・▼・◀・▶ (矢印ボタン)、⤴・⤵・⤶・⤷

番組表などでページを切り換える

メニューから選ぶ、決定する

ワンタッチリプレイ(10秒戻す)

ワンタッチスキップ(30秒飛ばす)



決定

メニューから選ぶ、決定する

戻る

メニュー操作で一つ前の画面に戻る

終了

操作を終了する

青／赤／緑／黄(カラーボタン)

多様な用途があります



再生、早見早聞再生をする

早送り、早戻しをする

チャプタースキップをする

録画や再生を停止させる

再生を一時停止させる

映像を静止させる

始めにジャンプ

再生番組の始めにジャンプする

シーン検索

シーン検索機能を使う

●録画

番組を録画する

ざんまい

ざんまいスマートアクセス画面を表示する

次みるナビ

次みるナビ画面を表示する

本機で使えるメディアについて

ダビングできるメディアと録画モード

- デジタル放送をDVD-RW / DVD-Rにダビングする場合は、CPRM対応のディスクをお使いください。

		ダビングできる番組の画質		
		DR	DR (4K)	AVC (HD画質)
HDD(内蔵ハードディスク)		○	○	○
録画用USB-HDD(外付けハードディスク)		○	○	○
BD-RE SL(1層) / BD-RE DL(2層) / BD-RE TL(3層) Ver. 2.1、3.0(高速記録2倍速ディスクまで)		○	○	○
BD-R SL(1層) / BD-R DL(2層) BD-R TL(3層) / BD-R QL(4層) Ver. 1.1、1.2、1.3、2.0(高速記録6倍速ディスクまで)		○	○	○
DVD-RW Ver. 1.1、1.2(高速記録6倍速ディスクまで)	VRフォーマット	○	○	○
DVD-R(1層) Ver. 2.0、2.1(高速記録16倍速ディスクまで) Ver. 3.0(高速記録8倍速ディスクまで)	VRフォーマット	○	○	○

○:ダビングできる ×:ダビングできない

お知らせ

- 本機で対応しているDVD-RW / DVD-Rの録画方式はVRフォーマットです。
 - HDDやUSB-HDDからディスクへのダビング時に、本機の動作音が通常よりも大きくなる場合があります
 - 録画 / ダビング動作確認済みメディアについては、以下になります。(2021年8月現在)
 - **DVD-R** maxell: DRD120WPE、DRD120PWE、MITSUBISHI: VHR12JPP10
 - **DVD-R DL** MITSUBISHI: VHR21HDSP10
 - **DVD-RW** maxell: DW120WPA、Verbatim: VHW12NP10V1
 - **BD-R** Panasonic: LM-BR25LP10
 - **BD-R DL** Panasonic: LM-BR50LP10
 - **BD-R TL** Verbatim: VBR520YP1D4
 - **BD-RE** Panasonic: LM-BE25P10
 - **BD-RE DL** Panasonic: LM-BE50P10
- ※ メディアへの録画 / ダビング動作を確認しておりますが、すべてのメディアでの動作を保証するものではありません。最新情報については、以下のホームページでご確認ください。

https://www.regza.com/regza/bd_dvd/

再生できるメディア

	再生	録画リスト から再生	追っかけ 再生
HDD(内蔵ハードディスク)	○	○	○
録画用USB-HDD(外付けハードディスク)	○	○	○
Ultra HDブルーレイ	○	×	×
BD-RE SL(1層)／BD-RE DL(2層)／BD-RE TL(3層) Ver. 2.1、3.0(高速記録2倍速ディスクまで)	○	○	×
BD-R SL(1層)／BD-R DL(2層) BD-R TL(3層)／BD-R QL(4層) Ver. 1.1、1.2、1.3、2.0(高速記録6倍速ディスクまで)	○	○	×
DVD-RW Ver. 1.1、1.2(高速記録6倍速ディスク まで)	○	○	×
DVD-R(1層)／DVD-R DL(2層) Ver. 2.0、2.1(高速記録16倍速ディスク まで) Ver. 3.0(高速記録8倍速ディスクまで)	○	○	×
BD-Video リージョンコードに「A」が含まれるディスク	○	×	×
DVD-Video リージョンコードに「2」や「ALL」が含まれるディスク	○	×	×
音楽用CD(CD-DA) 音楽用CD形式で記録され、ファイナライズ済みのCD-RW／CD-R	○	○	×

○:再生できる ×:再生できない





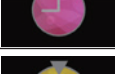



ご注意

- HD Recの再生については、本機では対応していません。
- AVCREC™の再生については、本機では対応していません。
- VCD / SVCDの再生については、本機では対応していません。
- HD DVDについては、本機では対応していません。
- +RW / +Rについては、本機では対応していません。
- DVD-RAMについては、本機では対応していません。

スタートメニューについて


- **スタートメニュー** を押して表示されるスタートメニューから、さまざまな機能を利用できます。
- 操作ができない項目はグレー表示されます。



機能名		できること
	番組表	<ul style="list-style-type: none"> 番組表を表示します。≫「番組表を使う」
	タイムシフトマシン 過去番組表	<ul style="list-style-type: none"> タイムシフトマシン録画した番組の中からお好みの番組を見つけ出し、見ることができます。≫「タイムシフトマシン機能を使う」
	録画リスト	<ul style="list-style-type: none"> 録画リストを表示します。≫「録画した番組を再生する」
	みるコレ	<ul style="list-style-type: none"> 「みるコレ」画面を表示します。≫「クラウドサービスの基本操作」
	予約	<ul style="list-style-type: none"> 予約リストを表示します。≫「予約の確認・変更・取り消しをする」
	ダビング	<ul style="list-style-type: none"> ダビング画面を表示します。≫「録画番組をダビング(ムーブ)する」
	設定	<ul style="list-style-type: none"> 「設定」画面を表示します。≫「映像・音声を調整する」
	ディスク の管理	<ul style="list-style-type: none"> 「ディスクの管理」画面を表示します。≫「ディスクを管理する」

はじめての設定をする

「はじめての設定」を開始する

- 接続が終わって初めて本機の電源をオンにしたときは、テレビ画面に「はじめての設定」の開始画面が表示されます。画面の案内やガイドに従って最後まで設定してください。
- 「はじめての設定」は、必ずアンテナが接続された状態で放送がある時間帯におこなってください。放送がない時間帯におこなうと、チャンネルがとばされるように設定されて、選べなくなります。
- 「はじめての設定」実行中は、電源プラグを抜かないでください。
- 「はじめての設定」実行中に、[リモコン電源]  を押すと本機の電源はオフになりますが、「はじめての設定」が完了したことにはなりません。次回起動時に「はじめての設定」を最後まで設定してください。

ネットワークを利用するときは

- あらかじめ本機をネットワークに接続してください。

1 [リモコン電源] を押して本機の電源をオンにする

- 「はじめての設定」の開始画面が表示されます。

はじめて電源をオンにしたときに画面が表示されないときは
次のことを確認してください。

- アンテナ⇄本機⇄テレビをつないでいますか。また、ケーブルやコードが抜けていたり、つなぎ間違えたりしていませんか。ケーブルやコードの接続方法については、本体同梱の取扱説明書の「事前に準備をする」をご覧ください。
- テレビの入力切替で本機を接続した入力に切り換えていますか。

「はじめての設定」の流れ

- 本機を使用できるようにするための基本的な設定をします。

① リモコンコード設定

リモコンコードを設定することで、本機のリモコンに他の機器が反応しないようにできます。

② 地域設定

地域と郵便番号を設定することで、お住まいの地域に密着したデータ放送(たとえば、地域の天気予報など)や緊急警報放送を視聴できるようになります。

③ 地上デジタルチャンネル設定

お住まいの地域情報を設定することで、地上デジタル放送の受信チャンネルが自動設定されます。

④ BS・110度CSアンテナレベル確認

衛星放送の電波の強さを確認します。

⑤ テレビリモコン設定

本機のリモコンでテレビを操作する場合に設定します。

⑥ タイムシフトマシン設定

タイムシフトマシン録画の設定をします。

⑦ ネットワーク設定

ネットワーク関連の設定をします。

⑧ ネットワークサービス設定

ネットワークサービスを利用するかどうかを設定します。

⑨ レグザリンク設定

ネットワークを使った連携機能(番組配信)の設定やHDMI接続した機器を操作するための設定をします。

⑩ 起動モード設定

高速起動、通常起動または省エネ起動の設定をします。

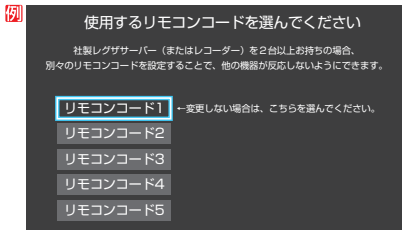
はじめての設定

はじめて電源を入れたときに、「リモコンコード」画面が表示されます

① リモコンコード設定

- 当社製レグザサーバー（またはレコーダー）を2台以上お持ちの場合、別々のリモコンコードを設定することで、他の機器が反応しないようにできます。

1 ▲▼でリモコンコードを選び、**決定**を押す

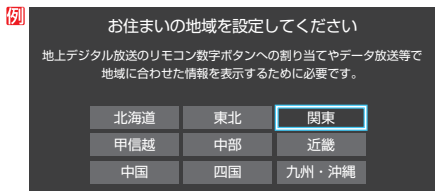


- ご購入時は、「リモコンコード 1」に設定されています。
- 「リモコンコード設定」が終わると、「4K対応テレビでのご利用について」画面、「アンテナを接続し、B-CASカードを挿入してください」画面が表示されます。内容をよくお読みになり、**決定**を押します。
- ※ **決定**を押してもエラーメッセージが表示される場合は、もう一度miniB-CASカードを挿入してください。

② 地域設定

- お住まいの地域に密着したデータ放送(たとえば、地域の天気予報など)や緊急警報放送を視聴できるようになります。

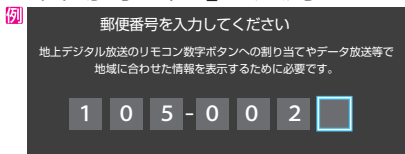
1 お住まいの地域を▲▼◀▶で選び、決定を押す



2 お住まいの都道府県を▲▼◀▶で選び、決定を押す

3 お住まいの地域の郵便番号を ^あ1 ~ ^{小文字}10 で入力し、決定を押す

- 「0」は ^{小文字}10 で入力します。
- 間違えて入力したときは、◀を押してカーソルを戻してからもう一度入力します。
- 郵便番号入力で、上3ケタを入力して決定を押すと残りの4ケタは自動的に「0」が入力されます。



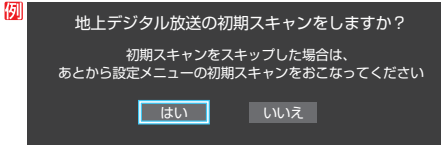
- 「地域設定」が終わると、「地上デジタルチャンネル設定」の画面が表示されます。

③ 地上デジタルチャンネル設定

- 地上デジタル放送のチャンネルを設定します。同時にデータ放送の地域も設定されます。

1 画面の説明を読み、◀▶で「はい」を選んで **決定** を押す

- ※ お住まいの地域で地上デジタル放送が運用されていない場合は、「いいえ」を選んで「③BS・110度CSアンテナレベル確認」に進みます。(わからない場合は、「はい」を選びます)



- 「はい」を選ぶと初期スキャンが自動的に始まります。終了すると、手順**2**の画面が表示されます。

2 地上デジタルチャンネルの設定内容を確認し、 **決定** を押す

- 画面は、リモコンのワンタッチ選局ボタンに設定された地上デジタル放送の放送局を一覧で示しています。

例

初期スキャンが完了しました。
信号品質が43未満のチャンネルは、
正常に視聴できない可能性があります。

		信号品質
1	011 NHK総合・東京	45
2	021 NHK Eテレ東京	48
3	031 t v k	42
4	041 日本テレビ	51
5	051 テレビ朝日	51
6	061 TBS	60
7	071 テレビ東京	55
8	081 フジテレビジョン	48
9	091 TOKYO MX	42
10	031 テレ玉	40
11	---	---
12	---	---

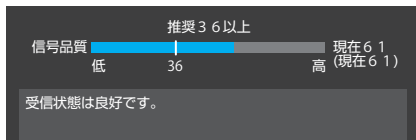
- ※ 信号品質が43未満のチャンネル（黄色表示）は放送を受信できないことがあります。お買い上げの販売店にご相談のうえ、アンテナの向きを確認・調整してください。

- 設定された内容を変更する場合は、「はじめての設定」がすべて終了したあとで、「[チャンネルをお好みに手動で設定する](#)」の操作をしてください。
- 「地上デジタルチャンネル設定」が終わると、「BS・110度CSアンテナレベル確認」の画面が表示されます。

④ BS・110度CSアンテナレベル確認

- 衛星放送の電波の強さを確認します。

1 アンテナの受信状態を確認し、**決定**を押す

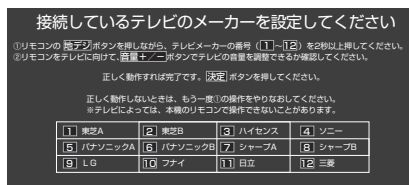


- 「BS・110度CSアンテナレベル確認」が終わると、「テレビリモコン設定」の画面が表示されます。

⑤ テレビリモコン設定

- 本機のリモコンでテレビの電源入／切、入力切替、音量調整などの操作をする場合に設定します。「はい」を選ぶと、下記の設定の説明の画面が表示され、「いいえ」を選ぶと、スキップして次の「タイムシフトマシン設定」の画面が表示されます。

1 **地デジ** を押しながら、お使いのテレビのメーカーの番号 (**1** ~ **12**) を2秒以上押す



- 「テレビリモコン設定」が終わると、「タイムシフトマシン設定」の画面が表示されます。

ご注意

- テレビによっては、本機のリモコンではメーカーの設定や操作ができないことがあります。またメーカーの設定ができて、一部の機能が操作できないことがあります。その場合はテレビに付属のリモコンをご使用ください。

⑥ タイムシフトマシン設定

- タイムシフトマシン録画機能を使用する場合に設定します。
タイムシフトマシン機能とは、お好みのチャンネルの番組をあらかじめ設定しておいた曜日や時間帯に合わせて自動的に録画しておき、好きな時間に視聴したり保存したりできる機能のことです。
「はい」を選ぶと、設定の画面が表示され、「いいえ」を選ぶと、スキップして次の「ネットワーク設定」の画面が表示されます。

ご注意

- お買い上げ時の設定(工場出荷設定)では、USB端子は「通常録画用」に設定されています。
USBハードディスクをタイムシフトマシン録画用として使用する場合は、「はじめての設定」設定完了後「[タイムシフトマシン録画用USBハードディスクの設定をする](#)」の設定を行ってください。

1 設定する項目を▲▼◀▶で選び、決定を押す



- 以下の項目を設定できます。

チャンネル

- 録画するチャンネルを最大6チャンネルまで設定できます。
 - 録画チャンネル1～3には、地上デジタル放送のみ設定できます。

録画モード

- 録画する際の画質を選択します。高画質にするほど、全体の録画可能時間は短くなります。
 - 録画チャンネル1～3は、DRモード固定となります。

内蔵ハードディスク割当て

- 内蔵ハードディスクのうち、タイムシフトマシン録画に使用する容量の割合を設定できます。

録画時間

- タイムシフトマシン録画をする曜日と時間帯を設定することができます(チャンネルごとの設定はできません)。
- ご希望の時間帯がないときは、「お好み設定」を選ぶとお好み設定画面が表示されます。くわしくは「[お好み設定](#)」をご覧ください。

2 設定が完了したら、「次」を選んで決定を押す

- 設定された内容を変更する場合は、「はじめての設定」がすべて終了したあとで、「[タイムシフトマシンの設定をする](#)」の操作をしてください。
- 「タイムシフトマシン設定」が終わると、「ネットワーク設定」の画面が表示されます。

⑦ ネットワーク設定

- 本機をネットワークに接続し、ネットワーク機能を利用する場合に設定します。先に設定だけを済ませ、接続はあとから行うこともできます。

1 設定する場合は「はい」を選び、を押す

- 「いいえ」を選んだ場合は、[⑧ ネットワークサービス利用設定](#)へ進みます。

2 無線LANまたは有線LANの設定をする

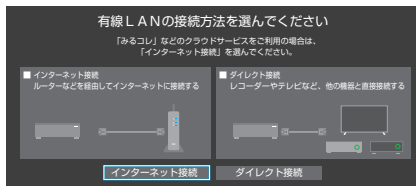
- 無線LANの設定をする場合は、[無線LANの設定をする](#)へ進みます。
- 有線LANの設定をする場合は、[無線LANの設定をする](#)へ進みます。
- ※ 有線LANと無線LANは同時に使えません。

有線LANの設定をする

① 「有線LAN」を選び、決定を押す



② 接続方法を選び、決定を押す



・ インターネット接続

ルーターなどを経由してインターネットに接続するとき
にえらんでください。

・ ダイレクト接続

レコーダーやテレビなど、他の機器と直接接続するとき
にえらんでください。

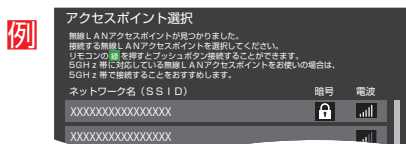
- 接続についてくわしくは[「インターネットを利用するための接続をする」](#)、[「ホームネットワークに接続する」](#)をご覧ください。
- 手順**3**へ進みます。

無線LANの設定をする

1 「無線LAN」を選び、決定を押す



- アクセスポイント選択画面が表示されます。



2 次のどれかの方法でアクセスポイントを設定する

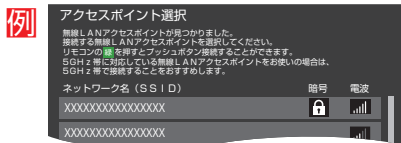
- [アクセスポイント選択](#) 》
- [プッシュボタン接続](#) 》
- [PINコード接続](#) 》

- 接続する無線LANアクセスポイント(ルーター)に合わせて、設定方法を選びます。
- お使いの無線LANアクセスポイント(ルーター)の取扱説明書も、お読みください。

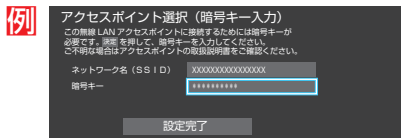
■ アクセスポイント選択

- 本機が使用可能な無線LANアクセスポイント(ルーター)を検出し、接続します。

- ① 表示された接続可能な無線LANアクセスポイント(ルーター)から、本機の接続先を選び、**決定**を押す



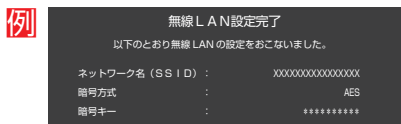
- ② **決定**を押して文字入力画面を開き、①で選択した無線LANアクセスポイント(ルーター)の暗号キーを入力する



- 暗号キーについては、お使いの無線LANアクセスポイント(ルーター)の取扱説明書をご覧ください。
- 文字入力の方法は、[「文字を入力する」](#) » をご覧ください。

- ③ 「設定完了」を選び、**決定**を押す

- ④ 設定内容を確認し、**決定**を押す



- 手順**3**へ進みます。

■ プッシュボタン接続

- 「接続ボタン」が押されて使用可能になった無線LANアクセスポイント(ルーター)を本機が検出し、接続します。

① 緑 を押す

無線LANアクセスポイントを探しています

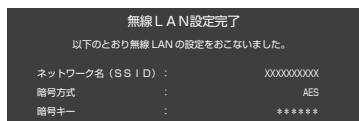
接続する無線LANアクセスポイント本体にある接続ボタンを長押ししてください。
※接続ボタンの操作方法は無線LANアクセスポイントの取扱説明書をご確認ください。

② 無線LANアクセスポイント(ルーター)の接続ボタンを押す

- 本機がアクセスポイント(ルーター)を検出し、接続します。
- 接続に成功すると、設定内容が表示されます。

③ 設定内容を確認し、決定 を押す

例



- 手順3 へ進みます。

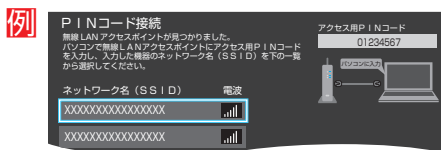
PINコード接続

- ① **黄** を押す
- ② 画面の指示に従い、表示されたPINコードを無線LANアクセスポイント(ルーター)にパソコンで設定する



- PINコードの設定方法については、お使いのアクセスポイント(ルーター)の取扱説明書をご覧ください。

- ③ 表示された接続可能なアクセスポイント(ルーター)から、本機の接続先を選び、**決定** を押す



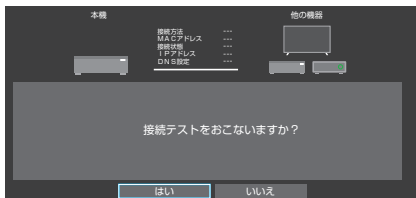
- ④ 完了画面で設定内容を確認し、**決定** を押す

- 手順**3**へ進みます。

3 接続テストをする場合は「はい」を選び、**決定**を押す

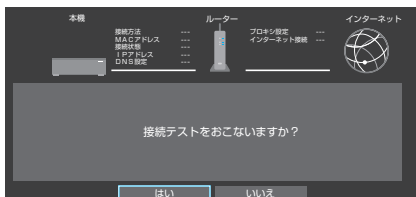
- 「接続テスト」をしない場合は、「いいえ」を選んで「ネットワークサービス利用設定」に進みます。(必要になったときに[「インターネットを利用するための設定をする」](#)の操作をしてください)

■ ダイレクト接続



- ダイレクト接続では、インターネット接続をしていないため、クラウドサービスのなどのネットサービスがご利用になれません。ネットサービスをご利用のときは「インターネット接続」の操作をしてください。

■ インターネット接続



- 「接続できませんでした。」と表示された場合、有線LAN設定のときは、LANケーブルの接続を確認してから再度接続テストをしてください。
- 無線LAN設定のときは、無線LANの設定を確認してから、再度接続テストをしてください。

4 「インターネットに接続できました。」または「接続できました。」と表示されたら、**決定**を押す

- 「ネットワーク設定」が終わると、「ネットワークサービス利用設定」の画面が表示されます。

お知らせ

■ 電波強度表示について

本機が無線LANアクセスポイント(ルーター)から受信する電波の強弱によって以下のように6段階のイメージで表示されます。

弱  強

● 無線ブロードバンドルーター(アクセスポイント)は802.11acまたは802.11n(5GHz帯／2.4GHz帯同時使用可)のものをお選びください。5GHz帯でのご使用をおすすめします。

2.4GHz帯で接続した場合、他の2.4GHz帯の機器との干渉により、無線LANの通信が途切れることがあります。

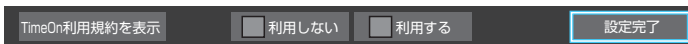
また、BS4K放送の一部のチャンネルの受信感度に影響が出る場合があります。

⑧ ネットワークサービス利用設定

- インターネットに接続して、[クラウドサービス](#)などのネットワークサービスを利用するには、「ネットワークサービス利用設定」を「利用する」に設定します。

※クラウドサービスの開始には、ソフトウェアの更新が必要になる場合があります。

1 ネットワークサービス利用設定の画面の内容を最後まで読み、「利用する」または「利用しない」を選び、**決定**を押す



- 「TimeOn利用規約を表示」を選んで**決定**を押すと、TimeOnの利用規約を確認することができます。
- もう一度**決定**を押すか、**戻る**を押すと元の画面に戻ります。

2 「設定完了」を選び、**決定**を押す

- 「ネットワークサービス利用設定」が終わると、「レグザリンク設定」画面が表示されます。

※お買い上げ時または初期化後に「はじめての設定」を終了すると、クラウドサービスの設定を促すメッセージが表示されます。「はい」を選ぶとクラウドサービスの設定を開始します。(インターネットに接続しているときにメッセージが表示されます)

お知らせ

■ ネットワークサービスについて

- ネットワークサービス利用設定を「利用する」に設定すると、本機の操作情報(チャンネル切替、入力切替、録画予約、再生履歴、番組複製履歴、番組編集履歴など)、動作状態の履歴情報、本機に接続されたUSBハードディスク等の識別情報や動作状態の履歴情報などや、ご登録いただいた都道府県、性別等の情報が当社または当社の委託先のサーバーで記録されますが、これらの情報から当社が利用者個人を特定することはありません。
- 当社が本機で提供するクラウドサービスのご利用には、住所・氏名・連絡先等の個人情報の入力は不要です。
(ただし、動画配信サービスによっては、契約が必要な場合があります。ご利用の動画配信サービスなどにご相談ください。)
- サーバーが収集した情報は、本サービスの提供以外に、品質改善や統計情報としてマーケティングなどの目的で利用することがあり、この目的の範囲内で第三者に提供する場合があります。
- 本サービスは、予告なく休止、終了、または内容を変更する場合があります。
- 本サービス中で、本サービス以外の第三者によって提供されるサービスをご利用いただく場合、各サービス提供者の利用規約およびその他規約が適用されます。本サービス以外の第三者によって提供されるサービスおよびこれに関連する事項について、当社は一切関与しません。
- ネットワークサービス利用設定は、あとから変更できます(※「[ネットワークサービスを利用するための設定をする](#)」)。「利用しない」に設定を変更した場合、それまでにサーバーが収集した本機や本機に接続された機器に関する情報は、サーバーから消去されます。
- クラウドサービスの内容やサーバーが収集した情報の削除方法については、ホームページ(https://www.regza.com/regza/bd_dvd/)をご覧ください。

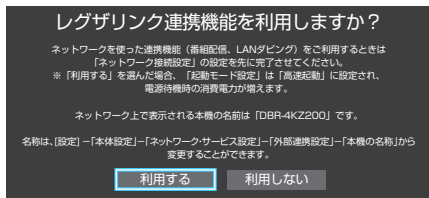
⑨ レグザリンク設定

- ネットワークを使った連携機能(番組配信)やHDMI 接続した機器を操作できるようになります。

レグザリンク連携機能

- ネットワークを使った連携機能(番組配信)を利用するかどうかを設定します。

1 ◀▶で「利用する」または「利用しない」を選んで **決定** を押す



※ 「利用する」を選んだ場合、「起動モード設定」は「高速起動」に設定され、電源待機時の消費電力が増えます。

※ 「利用しない」を選んだ場合、「HDMI連動機能」画面に進みます。

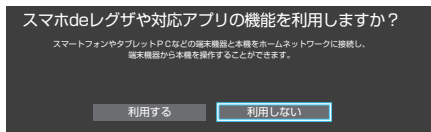
2 「ネットワークを使った連携機能ご使用時の注意」画面が表示されるので、内容を確認して **決定** を押す

- ※ ネットワークを使った連携機能を使用する場合、ネットワーク環境によってはセキュリティ上の問題が起こる可能性があります。
- 状況に応じて、[設定] - 「本体設定」 - 「ネットワーク・サービス設定」 - 「外部連携設定」 - 「レグザリンク設定」 - 「アクセス制限」および「アクセス機器の登録」の設定をしてください。

スマホ連携機能

- スマートフォンやタブレットPCなどの端末機器と本機をホームネットワークに接続し、端末機器から本機を操作することができます。

1 ◀▶で「利用する」または「利用しない」を選んで **決定** を押す



- 「利用しない」を選んだ場合、「HDMI連動機能」画面に進みます。
- 「利用する」を選んだ場合、「ユーザー名」と「パスワード」の設定画面が表示されます。

ユーザー名



端末機器から本機にアクセスするためのユーザー名を設定します。ユーザー名は半角1～16文字を入力してください。

パスワード



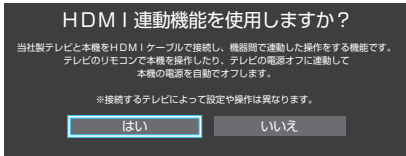
端末機器から本機にアクセスするためのパスワードを設定します。パスワードは半角8～16文字を入力してください。

- ※ ユーザー名とパスワードを入力し、「設定完了」を選ぶと「HDMI連動機能」の画面に進みます。

HDMI連動機能

- テレビのリモコンで本機を操作したり、テレビの電源に合わせて本機の電源をオン/オフすることができます。

1 ◀▶で「はい」または「いいえ」を選んで **決定** を押す



- HDMI連動機能の設定が終わると、続いて「起動モード設定」画面が表示されます。

⑩ 起動モード設定

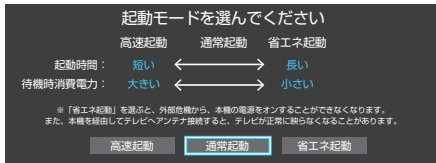
- 起動モードを設定できます。

「高速起動」を選ぶと、本機の起動時間が「通常起動」よりも短くなりますが、電源待機時の消費電力は増えます。

「省エネ起動」を選ぶと、外部機器から、本機の電源をオンにすることができなくなります。

- ※ 「レグザリンク連携設定」を「利用する」に設定している場合、起動モードは「高速起動」に設定され、変更できません。

1 ◀▶で「高速起動」、「通常起動」または「省エネ起動」を選んで決定を押す



- 「起動モード設定」が終わると、設定内容確認画面が表示されます。「完了」を選んで決定を押すと、はじめての設定が終了します。

ご注意

- 「省エネ起動」を選択している状態で、本機を經由してテレビへアンテナ接続をしている場合、本機の電源をオフにするとテレビで放送が受信できなくなることがあります。

この場合、アンテナ分配器を使って、本機とテレビの両方にアンテナを接続するか、起動モード設定で、「通常起動」か「高速起動」を選んでください。

「はじめての設定」をやりなおすとき

- 「はじめての設定」をしてもアンテナ接続の不具合などで地上デジタル放送が映らなかった場合は、不具合の対処をしたあとで、「はじめての設定」をやり直すことができます。

1  を押し、▲・▼・◀・▶と  で「設定」⇒「初期設定」⇒「はじめての設定」の順に進む

- 「はじめての設定」の説明画面が表示されます。

2 画面の説明を読んで、 を押す

- ワンタッチ選局ボタンのチャンネル設定を手動でお好みに設定したあとで「はじめての設定」をやり直すと、手動で設定した内容が消去されます。その場合は、もう一度チャンネルボタン設定をしてください。
- データ放送を視聴している状態で「はじめての設定」をやり直した場合、放送によっては設定終了後そのままの状態では設定内容は反映されません。設定終了後に再度データ放送を選局してください。

テレビを見る

リモコンで番組を選ぶ

- 1 **地デジ**、**BS**、**CS**、**BS/CS 4K**で放送の種類を選ぶ
 - 今見ている放送と同じ種類の放送を見る場合は、この操作は不要です。
- 2 **チャンネルを選ぶ(選局する)**
 - 以下の3とおりの選局方法があります。

ワンタッチ選局ボタンで選局する(ワンタッチ選局)

- ワンタッチ選局ボタン **1** ~ **12** で選局します。(「[お知らせ](#)」もご覧ください)
- BSデジタル放送、110度CSデジタル放送、BS・110度CSの4K放送のワンタッチ選局は、グループを指定して選局することができます。
 - ・ 通常はグループAのワンタッチ選局になります。

グループを指定して選局する

- 見ている放送と同じ種類の放送切換ボタンを押すと、選局ガイドが表示されます。

例：BSデジタル放送を見ているときに **BS** を押すと、BSデジタル放送の選局ガイドが表示されます。
- 選局ガイドを表示中に見ている放送と同じ種類の放送切換ボタンを押すと、選局ガイドに表示されるグループが切り換わります。
 - ・ BSデジタル放送は、グループA (BS101 (NHKBS1) ~ BS222 (BS12トゥエルビ))とグループB (BS231 (BSキャンパスex) ~ BS258 (ディーライブ))があります。
 - ・ 110度CSデジタル放送は、グループA ~ グループFがあります。
 - ・ BS・110度CSの4K放送は、グループAとグループBがあります。
- **1** ~ **12** ボタンを押すと、選局ガイドに表示されているチャンネルに切り換わります。

チャンネル>・<ボタンで選局する(順次選局)

-  でチャンネルが順次に切り換わります。

チャンネル番号を入力して選局する(ダイレクト選局)





- チャンネル番号は番組表で確認できます。




1  を押し、▲▼で「チャンネル番号入力」を選んで  を押す

- 画面の右上に 地デジ---、BS---、CS---、BS/CS 4K--- のどれかが表示されます。

▲▼で切り換えられます。

2  1 ~  10 ^あ ^{小文字} (0) でチャンネル番号を入力する

例 103チャンネルを選ぶ場合⇒ ^あ  1 ^{小文字}  10 (0) ^{DEF}  3 の順に押します。「0」は ^{小文字}  10 で入力

- 入力した番号を消すには、◀を押します。
- ^{わん}  11 (*) を使った入力ができます。 **例** ^{DEF}  3 ^{わん}  11 → 300 番以降の最小チャンネル

枝番のついた放送一覧が表示されたとき

放送を選択してください			
1	地デジ 011	(0)	NHK
10	地デジ 011	(1)	NHK 枝番
11	地デジ 011	(2)	NHK
	地デジ 011	(3)	NHK

- ▲▼で選んで  を押すか、^{小文字}  10 (0) ~ ^{WXYZ}  9 で枝番を指定して選びます。

お知らせ

- 視聴できるデジタル放送のチャンネルやワンタッチ選局ボタンの番号は、番組表で確認することができます。
- **1** ~ **12** でワンタッチ選局ができるのは以下のとおりです。
 (「[チャンネルをお好みに手動で設定する](#)」で変更できます)
 - **地デジ** を押したとき→「[はじめての設定](#)」で各ボタンに登録されたチャンネル。
 - **BS** を押したとき→各ボタンにあらかじめ登録されているチャンネル。
 - **CS** を押したとき→110度CSデジタル放送の一部のチャンネル(**1** と **2** だけ)
 - **BS/CS 4K** を押したとき→放送局からの指定などにより各ボタンにあらかじめ登録されたチャンネル。
 - ◆ 一つの放送局が複数のチャンネルで異なった番組を放送している場合、その放送局のチャンネルボタンを繰り返し押せばチャンネルを順番に選局できます。
- 枝番のついた放送一覧は、地上デジタル放送で隣接地域の同じチャンネル番号の放送を複数受信できたときに表示されません。
- 視聴制限のある番組の視聴には視聴制限設定が必要です。くわしくは「[視聴できる番組を制限する](#)」をご覧ください。

字幕を表示する

字幕放送番組で字幕の表示/非表示を切り換える

- 1 **サブメニュー** を押し、▲・▼と **決定** で「字幕」を選ぶ
- 2 ▲・▼で「字幕オン」または「字幕オフ」を選び、**決定** を押す
 - ※ 「字幕オン」の代わりに「日本語字幕」のような表示になることがあります。
 - 複数言語がある場合は選択するものが増えることもあります。

操作ガイドについて

- 番組表や操作画面などには、そのときに使用できる(または使用する)リモコンボタンの操作ガイドが表示されます。
- よく使う機能がカラーボタン(**青**、 **赤**、 **緑**、 **黄**)やサブメニューに割り当てられています。

例 録画リスト



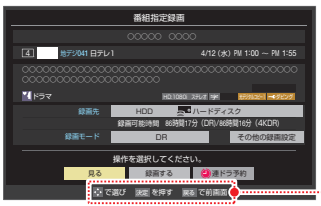
サブメニューの表示
サブメニューがあることを示します。

例 番組表



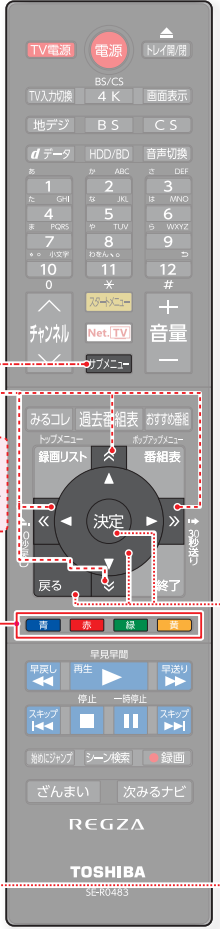
◀▶◻▶の表示
ページやリストの切り換えができることを示します。

例 操作画面



青 赤 緑 黄の表示
カラーボタンでさまざまな操作ができることを示します。

◻決定 ◻戻るの表示
選んで決定したり、前の画面に戻ったりすることができることを示します。



サブメニューについて

- サブメニューを押してサブメニューを表示させ、さまざまな便利機能を使うことができます。
- サブメニューの内容は、サブメニューを押すときの場面によって変わります。
- サブメニューで選択できる項目は、放送の種類や外部機器の有無などによって変わります。選択できない項目は、薄くなって表示されます。

例

レコーダ	サブメニュー
番組説明	
サーチ	
連ドラ予約	
予約リスト	
メディアプレーヤー	
字幕	
リピート	
お知らせ	
チャンネル番号入力	
その他の操作	
ディスクサーチ	

番組説明	視聴中の番組の詳しい情報を確認できます。
サーチ	番組の再生位置を時間で指定できます。
連ドラ予約	視聴中の連続ドラマが毎回録画されるように予約することができます。
予約リスト	予約リストを表示します。
メディアプレーヤー	メディアプレーヤーを起動します。
字幕	字幕放送番組で字幕の表示／非表示を切り換えられます。
リピート	繰り返し再生の設定を変更します。
お知らせ	本機や放送局からのお知らせがあったときに内容を確認します。
チャンネル番号入力	チャンネル番号を入力して選局します。
その他の操作	「その他の操作」サブメニューに切り替えます。
ディスクサーチ	DVD-Video のタイトルを指定して再生します。

サブメニューで「その他の操作」を選択

その他の操作
信号切換
タイムシフトマシン録画の一時停止
アンテナレベル表示
データ放送終了
テレビ/ラジオ/データ切換
本機の情報

信号切換 「信号切換」サブメニューを表示します。
タイムシフトマシン録画の一時停止 タイムシフトマシン録画を一時停止させたり、再開させたりすることができます。*
アンテナレベル表示 映りが悪いときなどに、アンテナレベルを確認できます。
データ放送終了 データ放送の視聴を終了します。
テレビ/ラジオ/データ切換 視聴する放送の種類を切り換えます。
本機の情報 本機のソフトウェアバージョンを確認します。

* タイムシフトマシン録画の停止中は、「タイムシフトマシン録画の再開」になります。

サブメニューで「その他の操作」⇒「信号切換」を選択

信号切換
映像信号切換
音声信号切換
音多切換
降雨対応放送切換

映像信号切換 一つの番組で複数の映像が送られている場合に切り換えられます。
音声信号切換 一つの番組で複数の音声を送られている場合に切り換えられます。
音多切換 二か国語放送など、音声多重放送の場合に聴きたい音声を選びます。
降雨対応放送切換 豪雨などの影響で降雨対応放送が行われた場合に切り換えられます。

番組情報や番組説明を見る

番組情報を見る

1 画面表示を押す

- 現在視聴しているチャンネルや番組の情報が表示されます。(チャンネル以外の表示は数秒後に消えます)
- 表示を消すには、もう一度 **画面表示** を押します。
- 選局時には一部省略された状態で表示されます。



番組説明を見る

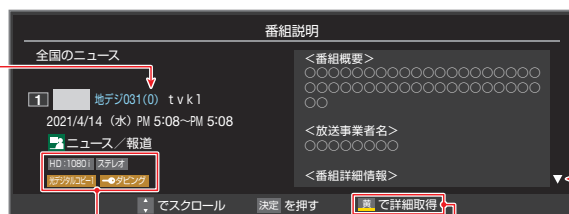
1 サブメニュー を押し、▲・▼と決定 で「番組説明」を選ぶ

2 さらに詳しい説明を見るときは▼を押す

- 「詳細情報を取得していません」が表示されたときは、 画 を押します。
- 詳細情報が取得できなかった場合には、「詳細情報を取得できませんでした」と表示されます。
- 詳細情報がなかった場合には、「番組の詳細情報はありません」と表示されます。

3 説明画面を消すには、決定 を押す

地上デジタル放送では、3ケタチャンネル番号の次に枝番が表示されます。
 (0) : お住まいの地域内の放送
 (1)~(9) : 隣接地域の放送



続きがあることを示しています。
 ▲・▼で進めたり戻したりできます。

番組についての情報を表すアイコン

録画中の場合は、表示されません。

番組表で番組を探す

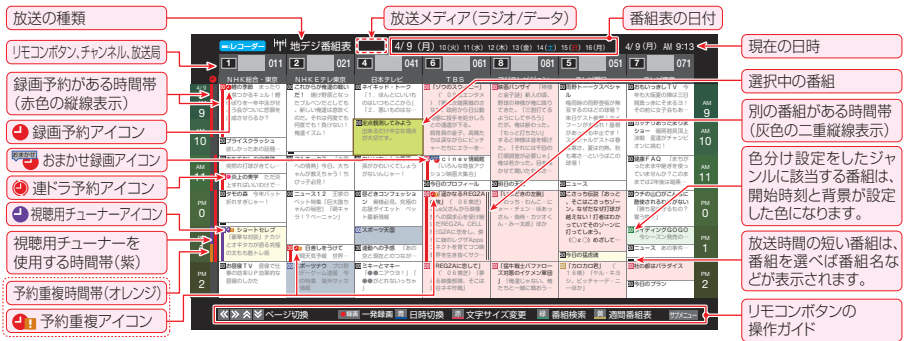
番組表を使う

- 番組表は、放送電波で送られてくる番組情報を基にして表示されます。
- お買い上げ直後や電源を入れた直後、放送の種類を変えたときなどには、番組内容の表示に時間がかかることがあります。
- 番組表を最新にしておくために、本機の電源を毎日2時間以上「切」または「待機」にすることをおすすめします。
- 視聴年齢制限されている番組は、伏せ字(「****」)で表示されます。

1 番組表を押す

- 通常番組表が表示されます。(「週間番組表」については「[週間番組表を表示させる](#)」をご覧ください)

[通常番組表画面：7チャンネル表示の例]



- 放送の種類を変えるときは、**地デジ**、**BS**、**CS**、**BS/CS 4K** を押します。
- 独立データ放送やラジオ放送の番組表に切り換えるときは、サブメニューの「[テレビ/ラジオ/データ切換](#)」で選びます。
- 番組表を消すときは、**終了** を押します。

2 ▲・▼・◀・▶で番組を選ぶ

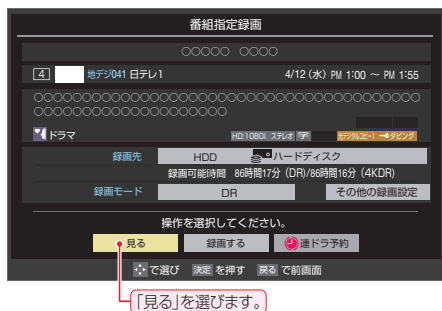
- 選んだ番組の番組説明を見るには、サブメニューから「番組説明」を選びます。
- 番組表に表示しきれていないチャンネルを表示させるには◀▶または◀・▶を押します。

3 決定を押す

- 現在放送中の番組を選んだときは、番組指定録画面が表示されます。
- これから放送される番組を選んだときは、番組指定予約画面になります。同梱取扱説明書「番組表で予約をする」[\[28頁\]](#)の手順3をご覧ください。
- 視聴年齢制限されている番組を選んだときは、メッセージが表示されます。番組を見る場合は、決定を押し、**1** ~ **10** (0) で暗証番号を入力します。

4 現在放送中の番組を見るときは、▲・▼・◀・▶で「見る」を選び、決定を押す

- 画面の図は、現在放送中の番組で本機内蔵のハードディスクに録画する場合の例です。



- BS/CS 4K放送の場合は、「録画可能時間」にはHD画質での録画(DR)と4K映像での録画(4KDR)の場合の録画可能時間が表示されます。
- 番組指定録画面からは、録画(同梱取扱説明書「見ている番組を録画する」[\[26頁\]](#))、[連ドラ予約](#)の操作ができます。
- 番組指定予約画面からは、録画予約(同梱取扱説明書「番組表で予約をする」[\[28頁\]](#))、[連ドラ予約](#)の設定ができます。

お知らせ

- 放送波を選局している条件などによっては番組表が空欄になることがあります。
この場合は、空欄の部分を選んでから、[「番組表を更新する」](#)の操作をしてください。
- 番組表に表示できる番組情報は最大8日分です。
- [「チャンネルスキップ設定」](#)で、「スキップ」に設定したチャンネルは番組表に表示されません。
- データ放送の視聴中は番組表に切り換わらないことがあります。その場合は、テレビ放送に切り換えてから操作してください。
- 番組の中止・変更・延長などによって、実際の放送内容が番組表と異なることがあります。番組表や番組情報などで表示される内容および利用した結果について、当社は一切関与しません。
- 「放送メディア」は、サブメニューの[「テレビ/ラジオ/データ切換」](#)で「ラジオ」または「データ」を選んでいるときに表示されません。
- 視聴用チューナーでの録画中は、視聴用チューナーで録画している番組のみ視聴できます。
- BS/CS 4K放送を2番組同時録画中の場合は、録画した2K番組のみ再生できます。

視聴制限番組について

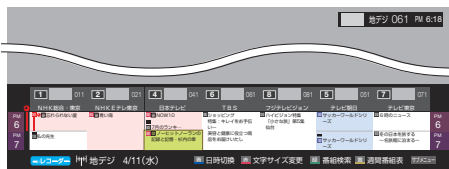
- 視聴制限番組について、くわしくは[「視聴できる番組を制限する」](#)をご覧ください。
- 番組表で視聴制限を一時解除するときは、[「番組表で視聴制限を一時解除する」](#)をご覧ください。

番組を見ながら他の番組を探す(ミニ番組表)

- 番組を見ながら、画面の下側にミニ番組表を表示させて番組を探することができます。

1 番組表を表示中に を押す

- ミニ番組表が表示されます。
- もう一度押すと、ミニ番組表が消えます。
- 操作方法は、「[番組表を使う](#)」の通常番組表の場合と同じです。



番組表を便利に使う

- カラーボタンや番組表のサブメニューで、さまざまな便利機能を使うことができます。
- 番組表またはミニ番組表が表示されているときに以下の操作をします。(ミニ番組表では一部の機能を使用できません)

指定した日時の番組表を表示させる

- 日付と時間帯を選んで番組表を表示させることができます。

1 (日時切換) を押す

2 ▲・▼・◀・▶ で日時を選び、 を押す

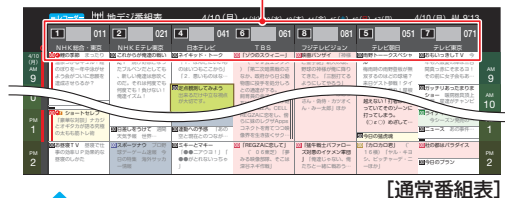


週間番組表を表示させる

- 選んだ放送局の一週間分の番組表を表示させることができます。

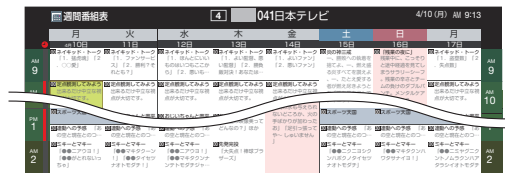
1 ◀▶で週間番組表を表示させたいチャンネルを選び、**黄** (週間番組表)を押す

一週間分の番組表を表示させたい放送局の番組を選びます。



〔通常番組表〕

黄 を押すたびに切り換わります



〔週間番組表〕

- 基本的な操作方法は、[「番組表を使う」](#)の通常番組表の場合と同じです。
- **◀・▶**を押すと表示しているチャンネルが切り換わります。
- 番組表の表示を週間番組表にしているときは、[「マルチ表示」](#)に切り換えることはできません。

番組説明を見る

- 選択中の番組の番組説明を見ることができます。

1 サブメニュー を押し、▲・▼と **決定** で「番組説明」を選ぶ

番組表を更新する

- 番組表の中が空になっているときや、最新の番組情報に更新するときは、以下の操作をします。

1 サブメニュー を押し、▲・▼で「番組情報の取得」を選んで 決定 を押す

番組情報の取得中に表示されます。



- ※ 番組情報の取得中は映像、音声が出ないことがあります。
- ※ 録画中の場合は、番組情報の取得ができません。
- ◆ 番組表で選択している放送局の情報が更新されます。
(更新の範囲は、放送の運用により、一部例外や将来変更されることがあります。)
 - BSデジタル放送は番組表全体が更新されます。
 - 110度CSデジタル放送は選択した番組が含まれるネットワークの番組表全体が更新されます。
 - 地上デジタル放送は選択した番組が含まれる放送局が更新されます。
 - BS・110度CSの4K放送は選択した番組が含まれるチャンネルが更新されます。
- 番組情報取得中にほかの操作をすると、情報の取得が中止されることがあります。
- 番組情報の取得を中止するときは、番組情報取得中に サブメニュー を押し、サブメニューから「番組情報の取得中止」を選択します。

1チャンネル表示とマルチ表示を切り換える

- BSデジタル放送や地上デジタル放送（どちらもテレビ放送だけ）では、放送事業者ごとの代表チャンネル表示（1チャンネル表示）とマルチチャンネル表示（マルチ表示）の切り換えができます。

1 切り換える放送局の番組をどれか選び、**サブメニュー**を押す

2 ▲▼で「1チャンネル表示」(または「マルチ表示」)を選び、**決定**を押す

- 番組表の表示によって、「マルチ表示」または「1チャンネル表示」が表示されています。
- 「1チャンネル表示」、「マルチ表示」を選ぶと、以下のように切り換わります。

別の番組がある場合、
灰色の二重縦線を表示

放送局	1	011	021	041	061	081	051	051	071	071
NHK衛星1	衛星1チャンネル	衛星1チャンネル	衛星1チャンネル	衛星1チャンネル	衛星1チャンネル	衛星1チャンネル	衛星1チャンネル	衛星1チャンネル	衛星1チャンネル	衛星1チャンネル
...

【1チャンネル表示】

放送事業者ごとの
1チャンネル表示

放送事業者ごとの
マルチチャンネル表示

放送局	1	011	012	021	041	061	081	051	051	071
NHK衛星1	衛星1チャンネル	衛星1チャンネル	衛星1チャンネル	衛星1チャンネル	衛星1チャンネル	衛星1チャンネル	衛星1チャンネル	衛星1チャンネル	衛星1チャンネル	衛星1チャンネル
...

【マルチ表示】

- 「マルチ表示」での番組予約については、[「マルチ表示の番組表で予約するとき」](#)をご覧ください。

文字サイズを大きくする

- 番組表の文字が小さくて見えにくいときなどに、文字の大きさを切り換えることができます。

1 赤 を押して文字の大きさを切り換える

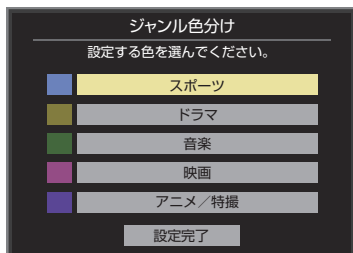
- ボタンを押すたびに、文字の大きさが変わります。
文字の大きさに合わせて、表示する時間帯も変わります。

ジャンル別に色分けする

- 番組のジャンル(分野)別に色分けをすれば、見たい番組を探すのに便利です。
- お買い上げ時に設定されている色分けを、以下の操作で変更することができます。

1 サブメニュー を押し、▲・▼で「ジャンル色分け」を選んで 決定 を押す

2 設定する色を▲・▼で選び、 決定 を押す



3 ▲・▼・◀▶でジャンルを選び、 決定 を押す

- 決定 を押すと手順2の画面に戻ります。ほかの色の設定を変える場合は、操作を繰り返します。
- 「指定しない」を選ぶと、色分け表示がなくなります。




4 ▲▼で「設定完了」を選び、を押す

番組記号の説明を見る

- 新、再、字などの番組記号の意味を調べることができます。

1 を押し、▲▼で「番組記号一覧」を選んで を押す

- 番組記号の説明が表示されます。
- 表示されるのは番組記号の一部です。
- 見終わったら、を押します。

表示させるチャンネル数を設定する

- 番組表に表示させるチャンネル数を切り換えることができます。

1 を押し、▲▼と で「番組表表示設定」⇒「表示チャンネル数」の順に進む



2 ▲▼で表示させるチャンネル数を選び、を押す

チャンネルの並び順を設定する

- 番組表に表示させるチャンネルの並び順を切り換えることができます。

1 を押し、▲▼と で「番組表表示設定」⇒「チャンネル並び順」の順に進む

2 ▲▼で以下のどちらかを選び、を押す

- 通常
放送局推奨の並び順になります。
- チャンネルボタン優先
ワンタッチ選局ボタン  1 ~  12 の番号順に並びます。

番組概要の表示／非表示を設定する

- 番組の概要説明を表示させるかどうかを設定します。

1 **サブメニュー** を押し、▲・▼と **決定** で「番組表表示設定」⇨「番組概要表示」の順に進む

2 ▲・▼で「表示する」、「表示しない」のどちらかを選び、**決定** を押す

地上デジタル放送局の表示位置を設定する

- 地上デジタル放送の番組表で放送局の表示位置を設定します。

1 **サブメニュー** を押し、▲・▼と **決定** で「番組表表示設定」⇨「地デジ表示」の順に進む

2 ▲・▼で以下のどちらかを選び、**決定** を押す

- 視聴チャンネル中央表示
視聴中のチャンネルが番組表の中央に表示されます。
- チャンネル順優先表示
お住まいの地域のチャンネル順に表示されます。

番組表の放送メディアを切り換える

- 番組表に表示させる放送メディア(テレビ、ラジオ、独立データ)を選びます。
- 放送が運用されていない放送メディアに切り換えることはできません。

1 **サブメニュー** を押し、▲・▼で「テレビ/ラジオ/データ切換」を選んで **決定** を押す

2 ▲・▼で「テレビ」、「ラジオ」、「データ」から選んで **決定** を押す

番組表で視聴制限を一時解除する

- 番組表を表示中に視聴制限の一時解除ができます。

1 **サブメニュー** を押し、▲・▼で「視聴制限一時解除」を選んで **決定** を押す

- 暗証番号入力画面が表示されます。
- ※ すでに一時解除されている場合や、地上デジタル放送などの場合は、「視聴制限一時解除」は選べません。

2 **あ** **1** ~ **小文字** **10** (0) で暗証番号を入力する

- 番組表の視聴制限が一時解除されます。

条件を絞り込んで番組を探す

- 番組のジャンル(分野)やキーワードなどの条件を指定して、見たい番組を探すことができます。

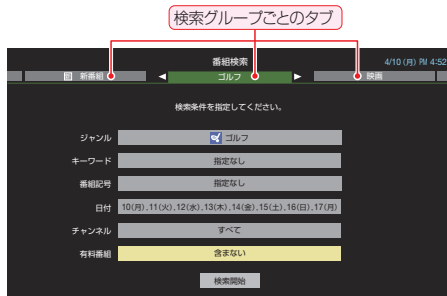
1 を押して、番組表を表示させる

2 (番組検索)を押す

- 番組検索画面が表示されます。

3 検索するグループのタブを◀▶で選ぶ

- 以降の手順で指定する検索条件のうち、「日付」以外は検索グループごとに記憶されます。

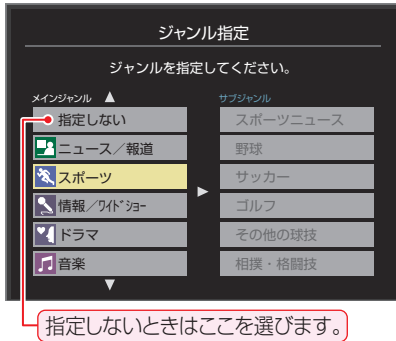


4 検索条件を指定する

- 「ジャンル」、「キーワード」、「番組記号」のどれかは必ず指定してください。

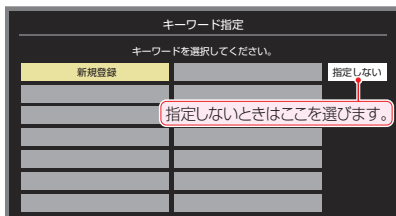
「ジャンル」を指定するとき

- ① ▲・▼で「ジャンル」を選び、決定を押す
- ② 指定するジャンルを▲・▼・◀・▶で一つ選び、決定を押す



「キーワード」を指定するとき

- ① ▲・▼で「キーワード」を選び、決定を押す
 - ② 指定するキーワードを▲・▼・◀・▶で選び、決定を押す
- お買い上げ時は登録されていません。



新しいキーワードを登録する場合

- ① ▲・▼・◀・▶で「新規登録」を選び、**決定**を押す
 - 文字入力画面が表示されます。
- ② キーワードを入力して、**決定**を押す
 - 文字入力の方法は、「[文字を入力する](#)」をご覧ください。
 - キーワードは14個まで登録できます。

キーワードを編集する場合

- ① 編集するキーワードを▲・▼・◀・▶で選び、**青**を押す
- ② キーワードを編集し、**決定**を押す

キーワードを削除する場合

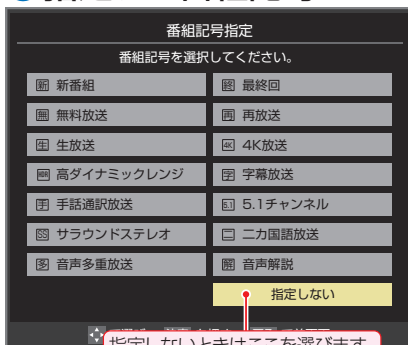
- ① 削除するキーワードを▲・▼・◀・▶で選び、**赤**を押す
- ② ◀・▶で「はい」を選び、**決定**を押す

お知らせ

- 番組の詳細情報はキーワード検索の対象になっていません。
- 「[チャンネルスキップ設定](#)」で、「スキップ」に設定したチャンネルの番組は番組検索の対象になりません。
- 番組検索の結果は指標としてお使いください。内容および利用した結果について、当社は故意または重大な過失がある場合を除き、責任を負いません。

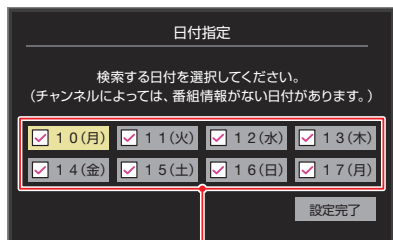
「番組記号」を指定するとき

- ① ▲・▼で「番組記号」を選び、**決定**を押す
- ② 指定する番組記号を▲・▼・◀・▶で選び、**決定**を押す



「日付」を指定するとき

- 1 ▲・▼で「日付」を選び、決定を押す
- 2 指定する日付を▲・▼・◀・▶で選び、決定を押す
 - 決定を押すたびに、 (指定する)と (指定しない)が交互に切り換わります。
 - 7日先まで指定できます。

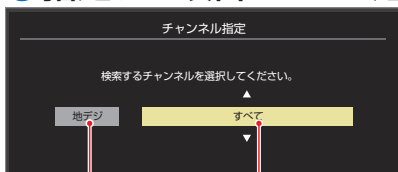


指定する日に「」がつくようになります。

- 3 指定が終わったら、▲・▼・◀・▶で「設定完了」を選び、決定を押す

「チャンネル」を指定するとき

- 1 ▲・▼で「チャンネル」を選び、決定を押す
- 2 指定する項目を◀・▶で選び、▲・▼で内容を選ぶ



放送の種類

チャンネル

- ・ 放送の種類
すべて / BS / CS / BS/CS 4K / 地デジ
- ・ チャンネル
指定した放送の種類に該当するチャンネル / すべて

- 3 指定が終わったら、決定を押す

「有料番組」を指定するとき

- 有料番組を検索対象に含めるかどうかを指定します。

① ▲・▼で「有料番組」を選び、**決定**を押す

② ▲・▼で「含む」、「含まない」のどちらかを選び、**決定**を押す

5 ▲・▼で「検索開始」を選び、**決定**を押す

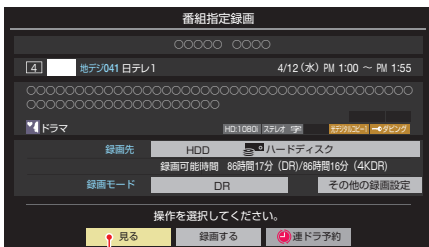
- 選択中のタブの検索グループに、手順3で指定した検索条件が上書きで保存されます。

6 「番組検索結果」画面から、見たい番組を▲・▼で選んで**決定**を押す



- 現在放送中の番組を選んだときは、「番組指定録画」画面が表示されます。
- これから放送される番組を選んだときは、「番組指定予約」画面が表示されます。同梱取扱説明書「番組表で予約をする」**28**の手順3をご覧ください。
- すべての放送が表示されているときに、**地デジ**を押すと地デジ放送だけ、**BS**を押すとBS放送だけ、**CS**を押すとCS放送だけ、**4K**を押すとBS・110度CSの4K放送だけの検索結果になります。

7 ▲・▼・◀・▶で「見る」を選び、**決定**を押す



- 選んだ番組の放送画面になります。

データ放送やラジオ放送を楽しむ

データ放送について

- デジタル放送では映像や音声によるテレビ放送以外に、データ放送があります。
- データ放送には、テレビ放送チャンネルとは別の独立したチャンネルで行われているデータ放送のほかに、テレビ放送チャンネルで提供されている番組連動データ放送や、番組案内、ニュース、天気予報などのデータ放送があります。

デジタル放送の双方向サービスについて

- インターネットや電話回線を利用して、視聴者と放送局との間で双方向に通信できるサービスです。クイズ番組に参加して回答したり、ショッピング番組で商品を購入したりすることができます。(本機は、電話回線を利用した双方向サービスには対応していません)
- 地上デジタル放送の双方向サービスには、放送番組に連動した通信サービスと、放送番組とは無関係な通信サービスがあります。

非リンク型サービス



放送番組とは無関係な通信サービスのときに表示されます。
(文字表示は数秒で消えます。)

ラジオ放送について

- ラジオ放送が運用されている場合は、本機で放送を受信することができます。

連動データ放送を楽しむ

- 一部の番組には番組連動データ放送があります。双方向サービスが行われている番組連動データ放送では、番組に参加して楽しむことができます。
- テレビ放送チャンネルで、天気予報やニュース、番組案内などのデータ放送を提供している場合があります。

1 **d データ** を押す

- 番組によっては押す必要がない場合があります。
- 放送画面に表示される操作メニューや操作説明などに従って操作をします。

2 データ放送を終了するには、**サブメニュー** を押し、▲・▼と **決定** で「その他の操作」⇒「データ放送終了」の順に進む

独立データ放送やラジオ放送を楽しむ


- BSデジタル放送などで運用される独立データ放送チャンネルやラジオ放送チャンネルを選ぶときの操作です。

1 放送の種類を選ぶ

- BSデジタルの独立データ放送やラジオ放送を視聴する場合は、**BS** を押します。

2 **サブメニュー** を押し、▲・▼と **決定** で「その他の操作」⇒「テレビ/ラジオ/データ切替」の順に進む

3 ▲・▼で「データ」または「ラジオ」を選び、**決定** を押す

-  で他のチャンネルに切り換えられます。
- チャンネル番号を入力して選ぶこともできます。
- データ放送やラジオ放送を終了するには、上記の操作で「テレビ」を選びます。

お知らせ

- 放送データの取得中は一部の操作ができません。
- 本機の放送切換ボタンとチャンネルボタンでは、データ放送とラジオ放送の選択やチャンネル切換はできません。
- 放送画面の操作説明などで、**dデータ** は「データボタン」、「データ放送ボタン」などと表示されることがあります。
- データ放送は録画できません。

■ 双方向サービスについて

- 双方向サービスを利用する場合は、あらかじめ[インターネットへの接続と設定](#)をしてください。また、双方向サービスの利用には登録の申し込みなどが必要な場合があります。
- 双方向サービスでは、お客様の個人情報の入力を要求されることがありますが、接続先のサイトによってはSSLなどによる通信時のセキュリティ対策が行われていない場合があります。
- 双方向サービスの利用時は、通信に時間がかかり、次の操作がすぐにできないことがあります。
- 本機が動作中に電源プラグを抜かないでください。本機が記憶している双方向サービスでのお客様のポイント情報などが更新されないことがあります。

便利な機能を使う

降雨対応放送について

- BSデジタル放送や110度CSデジタル放送、BS・110度CSの4K放送を視聴中に、雨や雪などで衛星からの電波が弱まった場合、放送局が運用していれば、降雨対応放送に切り換えて見ることができます。
- ※ 図のメッセージが表示された場合は、以下の手順で降雨対応放送に切り換えられます。
- ※ 降雨対応放送は、通常の放送よりも画質が低下します。

電波の受信状態がよくありません。
[サブメニュー] から「降雨対応放送」に切り換えられます。

コード：E201

1 **サブメニュー** を押し、▲・▼と**決定**で「その他の操作」⇒「信号切換」⇒「降雨対応放送切換」の順に進む

2 ▲・▼で「降雨対応放送」を選ぶ

- 降雨対応放送をやめるには、「通常の放送」を選びます。
- 電波が強くなると、自動的に通常の放送に戻ります。

他の映像・音声に切り換える

音声多重番組で聴きたい音声を選ぶ

- 音声多重放送番組の場合、主音声、副音声、主：副を切り換えることができます。
- 番組説明画面に「**二重音声**」のアイコンが表示されます。

1 **音声切換** を押す

- **音声切換** を押すたびに以下のように切り換わります。



- サブメニューの「音多切換」でも音声の切り換えができます。

音声を切り換える

- 複数の音声で放送されている番組の場合、音声1、音声2などの音声信号を切り換えることができます。
- 番組説明画面に「**信号切換**」のアイコンが表示されます。

1 **音声切換** を押す

- **音声切換** を押すたびに以下のように切り換わります



- サブメニューの「音声信号切換」(次の説明)でも音声の切り換えができます。

映像、音声を切り換える

- デジタル放送では、一つの番組に複数の映像や音声がある場合があります。お好みで選択することができます。
- 映像、音声が切り換えられる番組は、番組説明画面に「信号切換」のアイコンが表示されます。

1 「サブメニュー」を押し、▲・▼と「決定」で「その他の操作」⇒「信号切換」の順に進む

2 切り換える信号を▲・▼で選び、「決定」を押し

- 視聴中の番組で切り換えのできない信号は、薄くなって表示されます。




3 視聴したい映像、音声を▲・▼で選び、「決定」を押し

- 「信号切換」のサブメニューに表示される「音声信号切換」、「音多切換」は、「音声切換」で選択する機能と同じです。

映像を静止させる

- 映像の動きを止めることができます。料理番組のレシピや、視聴者プレゼントの応募先などをメモするときに便利です。

1 を押す

- 解除するときは、もう一度  を押します。
- 映像の静止中でも音声は流れ続けます。

お知らせ

- ラジオ、データ放送視聴中は静止画にできません。また、映像の静止中にデータ放送の操作はできません。
- 字幕放送の場合、映像の静止中に字幕は表示されません。
- 選局操作をすると静止画が解除されます。
- 受信映像を公衆に視聴させることを目的として喫茶店、ホテルなどで「静止画」を使用すると、著作権法で保護されている権利を侵害するおそれがありますので、ご注意ください。
- 映像を静止中に、入力されている信号が切り換わると、静止が解除されることがあります。

録画・予約機能について

録画できる機器と番組

- 本機にはハードディスクが内蔵されていますが、本機背面のUSB (HDD専用)端子にUSBハードディスクを接続して使用することもできます。
 - ・ USBハードディスクの接続・設定については [「USBハードディスクを増設する」](#) をご覧ください。
- デジタル放送番組のテレビ放送チャンネルを録画できます。(テレビ放送チャンネルに含まれるデータ放送は記録されません。)
- 本機で録画した番組を、スマホ持ち出し用に変換して端末機器で再生することも可能です。詳しくは [「録画番組をスマホで持ち出す」](#) および取扱説明書「スマホdeレグザ編」をご参照ください。
[\(https://www.regza.com/regza/bd_dvd/\)](https://www.regza.com/regza/bd_dvd/)

録画前の準備

録画する機器	録画前の準備
ハードディスク	<ul style="list-style-type: none"> ・ ハードディスクの残量を確認します。 >>「機器の情報を確認する」 ・ 「すべて」のタブの録画リストで「録画番組数」を確認します。
USBハードディスク(注)	<ul style="list-style-type: none"> ・ USBハードディスクの電源を入れておきます。 ・ USBハードディスクの残量を確認します。 >>「機器の情報を確認する」 ・ 「すべて」のタブの録画リストで「録画番組数」を確認します。

(注)USBハードディスクは、本機に登録しないと録画できません。

- 録画や録画予約の操作をしたときに接続した機器が選択できないときは、>>>を参照し、登録してください。
- USBハードディスクは専用のACアダプターを接続してご使用ください。ACアダプターを使用しない場合は動作保証できません。本機で接続確認済のUSBハードディスクについては、ホームページ(https://www.regza.com/regza/bd_dvd/cs/)をご覧ください。

※最大予約件数は128です。最大録画番組数は3000です。

ご注意

●ハードディスクについて

ハードディスクは精密機器であり、使用環境などによっては数年で故障する可能性があります。

ハードディスクに録画した内容は長期保存として使用しないでください。一時的な保存・再生機能としてご使用ください。

お知らせ

- 録画中に停電したり、電源プラグを抜いたりすると、途中で録画した番組は正しく保存されません。([「録画番組を修復する」](#)>>)の操作をすれば、録画された内容を再生できるようになることがあります。)
- 録画番組の再生中に予約録画の開始時刻になると、再生が自動的に停止することがあります。
- 万一、本機の故障や受信障害などによって正常に録画・録音できないことがあります。

録画するメディアについて

- 番組によっては、著作権保護のため録画が禁止・制限されています。

番組の録画制限	HDD、通常録画用USB-HDD
制限なしに録画可能	○
1回だけ録画可能	○
ダビング10	○
録画禁止	×

○: できる ×: できない

録画モードについて

- 録画モードとは番組の画質のことです。録画する番組の画質を優先するか、録画時間を優先するかによって使い分けることができます。

※「DR」以外の録画モードを選択した場合は、DRで録画した後、電源待機時の間に選択したモードに自動的に変換されません。

※一度録画した番組の録画モードを、変換することもできます。

DR	DR (4K)		放送そのままの画質になります。 ・ BS/CS 4K放送を、そのままの画質で録画したいときにおすすめです。
	DR		放送そのままの画質になります。 ・ デジタル放送を、そのままの画質で録画したいときにおすすめです。
AVC (HD画質)	AF	高画質 ↑	放送のデータを圧縮変換したハイビジョン画質になります。 ・ デジタル放送をきれいなまま、容量を節約して録画したいときにおすすめです。 ・ 画質レートを選ぶことができます。
	AN		
	AS		
	AL	↓ 長時間	
	AE		

録画モード【AF】～【AE】で録画すると・・・

- 録画時の画質レートが低い場合は、映像によってはブロック状のノイズが目立ったり、色が変わるなど映像が乱れたりすることがあります。そのようなときは、画質レートを上げて録画することをおすすめします。

お知らせ

- 録画モード別の記録時間については、同梱取扱説明書「録画できる時間の目安」[62](#)をご覧ください。
- 複数の音声が含まれる番組や、マルチch音声が含まれる番組を録画する場合、録画可能時間が短くなることがあります。
- 他社機でBDやSeeQVault対応USB-HDDに録画した番組において、録画圧縮方式がMPEG-2で、録音圧縮方式がMPEG-2 AAC以外の番組は、録画モード表記が【MPEG2】となることがあります。それらの番組の再生・編集などの動作については、本機では保証しておりません。

3番組同時録画(トリプル録画)と視聴用チューナーについて

- 本機は、デジタル放送の三つの番組(4K放送は同時に二つまで)を同時に録画することができます。
 - ※ タイムシフトマシン録画で6チャンネルの録画を設定している場合、同時に録画できる番組は二つまでになります。
- BS/CS 4K放送を2番組同時録画中の場合、録画した2K番組のみ再生できます。

視聴用チューナーについて

- 視聴用チューナーを使用した録画予約では、番組表の番組に視聴用チューナーアイコン(📺など)が表示されます。また、その時間帯は紫の帯で表示されます。
- 視聴用チューナーで録画中は、本機の視聴と番組の再生操作に以下の制限がかかります。

録画の組み合わせ	視聴/再生が可能な番組
4K+地デジ/BS/CS+ 4K(視聴用チューナー)	<ul style="list-style-type: none"> ● 番組の視聴はできません。録画された地デジ/BS/CS放送の再生のみ可能です。 ● 視聴用チューナーで録画している番組の視聴のみ可能です。録画番組の再生は可能です。
地デジ/BS/CS +地デジ/BS/CS + 4K(視聴用チューナー)	
4K +地デジ/BS/CS + 地デジ/BS/CS(視聴用チューナー)	
地デジ/BS/CS +地デジ/BS/CS + 地デジ/BS/CS(視聴用チューナー)	<ul style="list-style-type: none"> ● 番組の視聴はできません。録画された地デジ/BS/CS放送の再生のみ可能です。
4K+ 4K(視聴用チューナー)	
地デジ/BS/CS+ 4K(視聴用チューナー)	<ul style="list-style-type: none"> ● 視聴用チューナーで録画している番組の視聴のみ可能です。録画番組の再生は可能です。
4K+ 地デジ/BS/CS(視聴用チューナー)	
地デジ/BS/CS+ 地デジ/BS/CS(視聴用チューナー)	
視聴用チューナーのシングル録画	

- ※ 視聴用チューナーを使用しないシングル録画や同時録画(4K放送二つの同時録画を除く)の場合は、番組の視聴や録画番組の再生は可能です。

タイムシフトマシン録画で6チャンネルの録画を設定している場合

- タイムシフトマシン録画で6チャンネルの録画を設定している場合、本機の視聴と番組の再生操作に以下の制限がかかります

録画の組み合わせ	視聴/再生が可能な番組
4K+ 4K(視聴用チューナー)	<ul style="list-style-type: none"> 番組の視聴はできません。録画された地デジ/BS/CS放送の再生のみ可能です。
地デジ/BS/CS + 4K(視聴用チューナー)	<ul style="list-style-type: none"> 視聴用チューナーで録画している番組の視聴のみ可能です。録画番組の再生は可能です。
4K + 地デジ/BS/CS(視聴用チューナー)	
地デジ/BS/CS + 地デジ/BS/CS(視聴用チューナー)	
視聴用チューナーのシングル録画	

録画の基本的な設定をする

- ハードディスクでの録画・再生に関する基本的な設定をすることができます。

1 **スタートメニュー** を押し、▲・▼・◀・▶ と **決定** で「設定」⇒「本体設定」⇒「録画・再生設定」⇒「録画設定」の順に進む

2 以降の手順で設定する

録画先機器の設定	HDD
マジックチャプター設定	本編

録画に使用する機器を設定する

- USBハードディスクを本機に登録している場合に、録画に使用する機器を設定します。

1 ▲・▼で「録画先機器の設定」を選び、**決定** を押す

録画先機器の設定	HDD
マジックチャプター設定	本編

2 録画に使用する機器を▲・▼で選び、**決定** を押す

録画先機器の設定	
HDD	ハードディスク
USB 2	ハードディスク2
USB 3	ハードディスク3

チャプター分割のしかたを設定する

- シーンの変わり目でチャプター分割(章分け)されるように設定できます。(チャプター分割をすると、再生時にチャプタースキップができるようになります)
- ※ マジックチャプター設定は、タイムシフトマシン録画番組にも適用されます。

① ▲・▼で「マジックチャプター設定」を選び、を押す

② チャプター分割の場面を▲・▼で選び、を押す



- **本編**
録画する番組の本編と本編以外の変り目でチャプター分割されます。
- **オフ**
チャプター分割をしません。

番組表で予約をする

- 予約の基本的な操作は同梱取扱説明書の「番組表で予約をする」[28](#)をご覧ください

メッセージが表示された場合

「設定した時間帯はこれ以上予約ができません。」が表示された場合

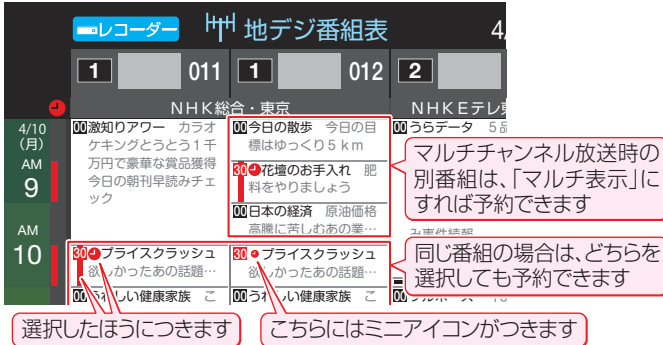
- ① ◀▶で「はい」を選び、**決定**を押す
- 新規予約をやめる場合は、「いいえ」を選びます。

「予約数がいっぱいです。」が表示された場合

- ① **決定**を押す
- ② 「予約の確認・変更・取り消しをする」の操作で予約を一つ以上取り消してから、再度予約をおこなってください

マルチ表示の番組表で予約するとき

- 一つの放送局で別の番組を放送している場合、その番組を予約するには番組表を「[マルチ表示](#)」に切り換えます。
- マルチ表示の番組表で同じ番組が並んでいる場合は、どちらを選択しても予約できます。



お知らせ

- 放送局の変更があった場合、予約どおりに動作しないことがあります。
- 複数の番組が連続して予約されている場合、番組の最後の部分が録画されません。
- 予約をした時間帯は番組表に赤色/紫色の帯で表示されます。
- 予約の確認や取り消しについては「[予約の確認・変更・取り消しをする](#)」を、予約の優先順位については「[予約・録画の優先順位と予約の動作について](#)」をご覧ください。

連続ドラマを予約する

- 連続ドラマや連日放送されている同じ番組などを、毎回自動的に録画されるように予約することができます。

1 を押して、番組表を表示させる

2 連ドラ予約をする番組を▲▼◀▶で選び、 を押す

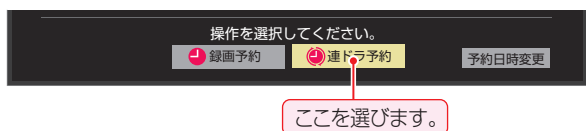
- 現在放送中の番組を選んだ場合は「番組指定録画」画面が、これから放送される番組を選んだ場合は、「番組指定予約」画面が表示されます。

3 番組の録画先のハードディスクまたはUSBハードディスクを設定する

- [「録画予約や連ドラ予約の設定を変更するとき」](#) の操作で、「録画先」を設定します。

4 ▲▼◀▶で「連ドラ予約」を選び、 を押す

- 画面の図は、「番組指定予約」画面の場合の例です。



5 「連ドラ予約」画面で内容を確認する

- 番組名(連ドラ)や追跡基準の曜日などが正しく表示されているか確認してください。

「連ドラ予約」がより正しく実行されるために

[「録画予約や連ドラ予約の設定を変更するとき」](#) の操作で「連ドラ設定」の画面を表示させ、「追跡キーワード」の確認・編集をすることをおすすめします。

6 ▲▼◀▶で「はい」を選び、 を押す

7 「予約を設定しました。」が表示されたら、 を押す

視聴中の番組を連ドラ予約する場合

- ① サブメニュー を押し、▲・▼で「連ドラ予約」を選んで決定 を押す
- ② 手順5～7の操作をする

連ドラ予約の動作について

- 連ドラ予約は、追跡基準(指定した番組の放送曜日と開始時刻)と、追跡キーワード(番組名など)を基に、次回の番組を検索して自動的に録画予約をする機能です。
 - ※ 追跡基準(開始時刻)の前後約2時間が検索されます。
- 追跡キーワードには連ドラ予約をした番組の番組名、追跡基準には番組の放送時間が自動で設定されます。

お知らせ

- 電源を「入」にしてからしばらくの間は連ドラ予約ができません。
- 連ドラ予約後に、番組情報が取得できなくなった場合や、追跡キーワードに該当する番組が検出できなかった場合は録画されません。
- 予約の確認や取り消しについては[「予約の確認・変更・取り消しをする」](#)を、予約の優先順位については[「予約・録画の優先順位と予約の動作について」](#)をご覧ください。

日時を指定して予約をする／ 番組を検索して録画・予約をする

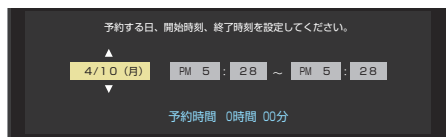
日時を指定して予約をする

1 サブメニュー を押し、▲・▼と 決定 で「予約リスト」を選ぶ

2 青 を押す

- 日時指定予約画面が表示されます。
- 視聴制限番組は表示されません。
表示させるときは、緑 を押して、視聴制限を一時解除してください。

3 録画予約の日時を設定する

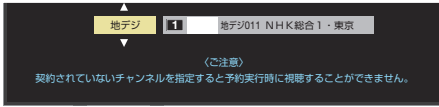


1 設定する項目を◀▶で選び、▲・▼で日時を設定する

- 6週間先まで指定できます。
- 特定の日のほかに、「毎日」、「毎週(日)」～「毎週(土)」、「月～木」、「月～金」、「月～土」などの繰り返し録画も選べます。
- 設定できる時間は最大14時間59分です。

2 設定が終わったら、決定 を押す

4 録画するチャンネルを設定する



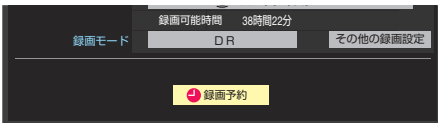
1 設定する項目を◀▶で選び、▲▼で内容を選ぶ

- 放送の種類
地デジ / BS / CS / BS/CS 4K
- チャンネル
指定された放送の種類に該当するチャンネル

2 設定が終わったら、決定を押す

5 録画設定を変更する場合は、「[予約の確認・変更・取り消しをする](#)」の手順で操作をする

6 ▲▼◀▶で「録画予約」を選び、決定を押す



7 「予約を設定しました。」が表示されたら、決定を押す

メッセージなどが表示された場合

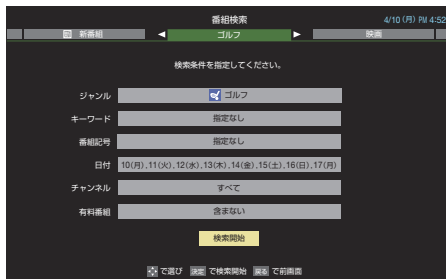
- 「設定した時間帯はこれ以上予約ができません。」「予約数がいっぱいです。」のメッセージ表示された場合の操作については、「[メッセージが表示された場合](#)」をご覧ください。

番組を検索して録画・予約をする

1  を押して、番組表を表示させる

2  (番組検索)を押す

- 番組検索画面が表示されます。



3 「[条件を絞り込んで番組を探す](#)」の[手順3](#)～[5](#)の操作をして、録画・予約したい番組を検索する

4 「番組検索結果」画面から録画したい番組を▲・▼で選び、 を押す



5 録画・予約をする

- 操作方法は、同梱取扱説明書「番組表で予約をする」[\[28\]](#)の手順3と同じです。
- 放送予定の番組を選んで予約をした場合には、「番組検索結果」の画面に戻ります。ほかの番組の予約を続けることができます。

お知らせ



- 日時指定予約では放送時間連動の設定はできません。
- 予約の確認や取り消しについては「[予約の確認・変更・取り消しをする](#)」を、予約の優先順位については「[予約・録画の優先順位と予約の動作について](#)」をご覧ください。

録画予約や連ドラ予約の設定を変更するとき

1 録画・録画予約・連ドラ予約画面などで、「その他の録画設定」を▲・▼・◀・▶で選び、を押す

- 録画・録画予約の「録画先」、「録画モード」の設定は、画面上の「録画先」、「録画モード」を選んで変更します。

「録画先」を変更するとき

- 1 録画・録画予約画面で、「録画先」を▲・▼・◀・▶で選び、を押す
- 2 ▲・▼で設定したい録画先を選び、を押す

「録画モード」を変更するとき

- 1 録画・録画予約画面で、「録画モード」を▲・▼・◀・▶で選び、を押す
- 2 ▲・▼で設定したい画質を選び、を押す

2 設定する項目を▲・▼・◀・▶で選び、を押す

- ※ そのときの状況によって、設定や変更ができない項目があります。

3 ▲・▼で内容を選び、を押す

4 ▲・▼・◀・▶で「設定完了」を選び、を押す

項目

録画先

- 録画をする機器を選びます。

録画モード

- 番組を録画する際の録画モードを選びます。4K番組の録画ではDR(4K)、AF～AE、2K番組ではDR、AF～AEで選択できます。
- ※DR(4K)/DR以外で録画する場合は、DR(4K)/DRで録画後、電源待機中に選択したモードに自動変換されます。

マイフォルダ

- 番組の再生時に探しやすいするために、録画時にフォルダ分けします。再生のときに録画リストを「マイフォルダ別」の表示にすれば、保存した「マイフォルダ」の中から番組を探することができます。「マイフォルダ」の名称は変更することができます。

マジックチャプター

- 「本編」に設定すると、本編とCMの間でチャプター(章)が分割されます。
- マジックチャプターの機能を使わないときは、「オフ」に設定します。
- 録画済の番組でチャプター編集をすることもできます。
- ※番組内容などによってはチャプター分割ができなかったり、分割位置がずれたりすることがあります。
- ※チャプター数の上限(999個)に達すると、それを超えるチャプターの作成はできなくなります。

保護

- 録画する番組を保護する(消さないようにする)かどうかを設定します。録画後に設定することもできます。▶[「誤って消さないように保護する」](#)

連ドラ

- 文字入力画面が表示され、必要に応じて連ドラの名称を編集することができます(再生の際に「連ドラ別」の録画リストから番組を探しやすい名称などに編集します)。
- 文字入力の方法は、[「文字を入力する」](#)▶をご覧ください。
- 連ドラの名称(連ドラグループ名)はあとで変更することもできます。

追跡キーワード

- 文字入力画面が表示され、必要に応じて連ドラ予約の追跡キーワードを編集することができます(1回の放送に限られるようなキーワードは削除しておきます)。

項目

追跡基準

- 必要に応じて、連ドラ予約をする番組の録画曜日と時間を設定することができます。

放送時間

- 放送局から番組遅延の情報が送信されると、最大3時間までの遅れに連動して録画をする機能です(放送時間の繰り上げには対応できません)。
- ほかの予約と時間帯の一部が重なったときの優先順位については[「予約・録画の優先順位と予約の動作について」](#)をご覧ください。

予約の確認・変更・取り消しをする

- 予約の確認や取り消し、録画設定や連ドラ設定の変更をすることができます。

1 サブメニュー を押し、▲▼と 決定 で「予約リスト」を選ぶ

- 視聴制限番組は表示されません。
表示させるときは、緑 を押して、視聴制限一時解除してください。

2 予約の確認や変更、取り消しをする番組を▲▼で選び、 決定 を押し



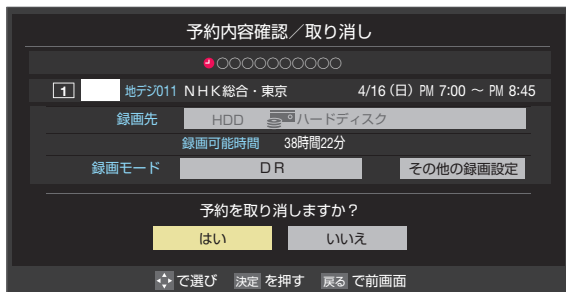
録画や予約状況などのアイコンが表示されます。
 は予約時間が重複する番組があると、重複アイコンが表示されます。
 は放送時間変更などで同一の有料番組に予約が重複したときに表示されます。

- たとえば、録画予約の重複があるような場合などは、予約を取り消す番組を選択します。

3 以下の操作をする

予約を取り消すとき

- ① ◀▶ で「はい」を選び、決定を押す

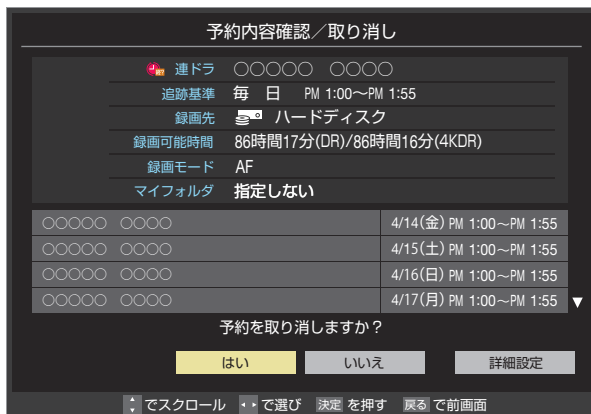


録画設定を変更するとき

- 「[録画予約や連ドラ予約の設定を変更するとき](#)」の操作をします。

連ドラ予約を取り消すとき

- ① ◀▶ で「はい」を選び、決定を押す



- 予約時間が重なっているときは、**!**が表示されます。
- 同一の有料番組が重なっている場合は、**!**が表示されます。
- ※ 連ドラ予約を取り消すと、直近の録画予約番組(録画中を含む)から予約が取り消されます。

予約内容を変更する場合

- 1 ▲・▼・◀・▶で「詳細設定」を選び、決定を押す
- 2 ▲・▼で設定を変更する項目を選び、決定を押す
- 3 ● 設定画面に表示されている項目の内容については、[「録画予約や連ドラ予約の設定を変更するとき」](#)の表を参照してください。
- 3 ▲・▼・◀・▶で「設定完了」を選び、決定を押す

おまかせ録画

- おまかせ録画はクラウドサービスを利用して、興味のあるキーワード(人物も含む)に関する番組を自動録画する機能です。おまかせ録画は、本体の内蔵ハードディスクもしくはUSBハードディスクに録画されます。おまかせ録画について詳しくは、ホームページ(https://www.regza.com/regza/bd_dvd/)をご覧ください。
- ※ おまかせ録画は、録画を保証するものではありません。確実に録画したい番組は、番組表などから録画予約をしてください。

おまかせ録画に必要な準備

おまかせ録画を利用するには、以下の接続と設定が必要です。

必要な接続・設定

- インターネットを利用するための接続をする。
 - インターネットを利用するための設定をする。
 - 「ネットワークサービス利用設定」を「利用する」に設定する。
 - 興味のあるキーワードや人物の「みるコレ パック」※を登録する。
- ※ 「みるコレ パック」については、ホームページ(https://www.regza.com/regza/bd_dvd/)をご覧ください。

おまかせ録画について

おまかせ録画の設定について

- **みるコレ** または **おすすめ番組** を押して、クラウドサービスの画面を表示させ、クラウドサービスの画面から設定します。
 - おまかせ録画の設定については、ホームページ(https://www.regza.com/regza/bd_dvd/)をご覧ください。

録画について

- 地上デジタル放送／BSデジタル放送／110度CSデジタル放送／新4K8K衛星放送のテレビ放送を録画します。
 - 字幕放送・映像／音声ESは録画されます。
 - 視聴年齢制限番組、非契約番組は録画されません。
- おまかせ録画と番組表などから予約した通常録画予約が重なる場合は、通常録画予約が優先されます。
 - 通常録画予約とおまかせ録画の予約が同時時間帯に3件(タイムシフトマシンで6ch録画を設定している場合は2件)以上になったときは、通常録画予約が優先され、おまかせ録画は予約されません。おまかせ録画予約が先に行われている場合は、番組表などから通常録画予約の操作をすると、予約が重なっていることのお知らせする画面が表示されます。
- おまかせ録画の最大予約件数は99件です。

ハードディスクの録画領域について

- おまかせ録画は、ハードディスクの、通常/おまかせ録画用領域に録画されます。
 - 通常録画とおまかせ録画を合わせて、通常/おまかせ録画用領域の総容量となりますので、ご注意ください。
- 録画番組は、通常録画とおまかせ録画を合わせて2997件まで録画できます。

おまかせ録画を設定しているときの録画予約と録画番組について

- おまかせ録画の設定をすると、対象番組におまかせ録画アイコン(録画された番組にはおまかせ録画番組アイコン)が付き
ます。

おまかせ録画の自動削除について

- おまかせ録画番組は、ハードディスクの容量が足りなくなると、古い番組から順に自動削除されます。
 - ・ おまかせ録画の自動削除は解除できません。

おまかせ録画から通常録画への変更について

- おまかせ録画予約またはおまかせ録画番組は、以下の操作で通常録画予約または通常録画番組に変更することができます。
 - ・ おまかせ録画予約は、予約内容確認画面で **青** を押すと通常録画予約に変更できます。
 - ・ おまかせ録画番組は、録画リストで **サブメニュー** を押し、「通常録画番組に変更」を選ぶと、通常録画番組に変更できます。

おまかせ録画でのご注意

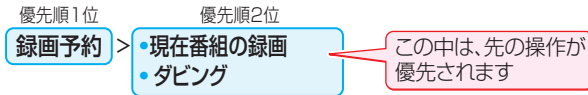
- 「ネットワークサービス利用設定」を「利用しない」に変更すると、おまかせ録画の設定は解除されます。

予約・録画の優先順位と予約の動作について

予約・録画の優先順位について

「録画予約」が最優先されます

- 録画予約と他の録画やダビングなどが重なった場合、録画予約が優先されて、他の録画やダビングは中止または取り消しになります。



放送時間が変更されたとき

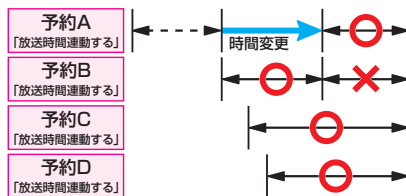
- 予約した番組の放送時間が変更されて、他の予約番組と重なったときは、以下の優先順位で録画されます。

「放送時間」を「連動する」に設定した複数の予約番組が重なった場合

① 開始時刻が変更された場合

- 開始時刻が後の予約が優先されます。

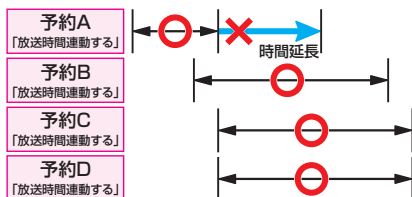
例 予約Aの変更後の開始時刻が、予約Bの開始時刻よりも遅くなるので、予約Bが止まります。



② 放送時間が延長された場合

● 先に録画を開始した番組の時間延長が取り消されます。

例 先に録画を開始し、放送時間延長に対応した予約Aが止まります。同時刻開始の場合、録画終了時刻が先の予約が止まります。






- 番組情報が更新されるタイミングによっては正しく録画されないことがあります。
- 終了時刻が未定のままで、継続して録画される時間は3時間までです。
- 現在番組の録画中に現在番組に重なった録画予約をした場合、現在番組の録画が中止されることがあります。

予約の動作について

- 予約設定後、本機の動作は以下ようになります。

予約した番組放送が始まる時

- 予約を中止する場合は、 または  を押します。
- 録画予約の場合は、予約した番組のチャンネルに切り換わることがあります。
- 予約した視聴制限のある番組が始まる時は、メッセージが表示されます。 を押し、[暗証番号](#)を入力してください。



予約した番組の放送中

- 録画予約した番組の録画中に操作できないボタンを押すと、録画中を知らせるメッセージが表示されます。
- 録画予約した番組の録画が始まると、[「予約・録画の優先順位について」](#) 》に従って他の録画は中止されます。



予約した番組の終了後

- 本機を通常どおり使用できます。

録画についての補足説明

録画全般

- ブルーレイディスク、DVDには直接録画できません。
- デジタル放送のデータ放送、ラジオ放送は、録画できません。
- 録画中に「録画禁止」番組になったときは、録画を一時停止します。
録画が可能な状態になると、再び録画が始まります。
- 二カ国語・マルチ番組・字幕を含む番組の録画制限については、[「記録できる二重音声・字幕・マルチ番組について」](#) をご覧ください。
- 以下の場合は、USBハードディスクに録画予約しても、内蔵ハードディスクに録画されます。
 - 本機にUSBハードディスクを設定していないとき
 - 録画開始時に、USBハードディスクの電源が入っていないとき
- 録画中に残量がなくなったときは、録画が自動的に停止します。

録画予約全般

全般

- 録画予約の設定完了後、本機を使用しないときは、電源を切ることをおすすめします。(電源を切った状態でも予約録画は実行されます。)
- 予約は128件まで登録できます。内蔵ハードディスクとUSBハードディスクへの1番組あたりの録画可能時間は15時間です。ブルーレイディスクへの録画可能時間は8時間未満です。

番組表を使った予約(番組検索)

- 番組検索は、番組データの情報(日によって変わることがあります。)をもとにおこなわれるため、同じ番組でも日によっては検索できないことがあります。

代理録画

予約録画が実行できない状態でも、内蔵ハードディスクが録画可能な状態であれば、内蔵ハードディスクに代理で録画します。

(代理録画する場合は、メッセージでお知らせします。)

以下は、予約録画が代理録画になる場合の一例です(他にも代理録画される場合があります)。

- USBハードディスクに予約録画するときに…
 - USBハードディスクの残量時間が足りない
 - 録画可能なUSBハードディスクが接続されていない

停電があったときは

全般

- 停電から復帰すると、自動的に電源が入って復帰処理をおこないません。

録画の種類別では

録画中に停電したとき

- 録画は停電したところで終了します。
- 復帰処理終了後は、電源が切れます。

予約録画の開始前に停電したとき

- 停電復帰後に、時計が自動修正されると予約内容が復活します。

予約録画の実行中に停電したとき

- 録画は停電したところで中断します。
- 録画終了時刻前に停電から復帰したときは、復帰処理終了後に録画終了時刻まで録画されます。
- 録画終了時刻後に停電から復帰したときは、録画は停電したところで終了し、復帰処理終了後に電源が切れます。

録画先別では

HDD / USB-HDD

- 停電前後の番組は分割されて【録画リスト】画面に登録されません。
- 停電直前の数10秒程度が録画されないことがあります。
- 停電発生のタイミングによっては、停電前に録画された内容が削除されることがあります。
- 停電発生の状況によっては、[\[すべての初期化\]](#)が必要となる場合があります。
- USB-HDDへの予約録画中に停電があった場合は、接続機器によっては、停電復帰後の予約録画の続きがHDDに代理録画されることがあります。

タイムシフトマシン機能を使う

- タイムシフトマシン機能とは、お好みのチャンネルの番組をあらかじめ設定しておいた曜日や時間帯に合わせて自動的に録画しておき、好きな時間に視聴したり保存したりできる機能のことです。

できること
指定した曜日・時間帯に最大6チャンネルの放送を自動で録画する タイムシフトマシン録画
過去番組表を使って、タイムシフトマシン録画した番組の再生、保存 同梱取扱説明書「タイムシフトマシン録画番組を見る」 25 、 ▶「タイムシフトマシン録画番組を保存する」
ざんまいスマートアクセス ▶「ざんまいスマートアクセスで楽しむ」

- ※ [「はじめでの設定」](#)で「タイムシフトマシン設定」をおこなっていない場合は、[「タイムシフトマシンの設定をする」](#) [▶](#) をご覧になって設定をおこない、タイムシフトマシン録画を「する」に設定してください。
- タイムシフトマシン機能の基本的な操作は、本体同梱取扱説明書の「タイムシフトマシン録画番組を見る」[25](#) をご覧ください。

タイムシフトマシン録画について

- タイムシフトマシン録画は、指定した曜日・時間帯に最大6チャンネルの放送を、本機または増設したUSBハードディスクに自動録画する機能です。
 - タイムシフトマシン録画のチャンネル1～チャンネル3は、地上デジタル放送のみ録画できます。録画モードはDRで固定となります。
 - チャンネル4～チャンネル6は、地デジ/BS/CS放送を録画できます。録画モードはDRとAVCから選択可能です。
チャンネル6のタイムシフトマシン録画を設定すると、本機の同時録画は最大で2番組になります。

- ※ タイムシフトマシン録画用USBハードディスクの接続と設定の方法は、[»「USBハードディスクを増設する」](#)、[»「タイムシフトマシンの設定をする」](#)をご覧ください。

録画番組の自動削除について

- タイムシフトマシン録画番組は、ハードディスクの容量が足りなくなると、古い番組から順に自動的に削除されます。残しておきたい番組は、自動削除される前に、通常録画番組として保存することをおすすめします。[»「タイムシフトマシン録画番組を保存する」](#)

お知らせ

- 一部ケーブルテレビの自主放送チャンネルなどコンテンツ権利保護専用方式(RMP方式)を採用していない番組は、タイムシフトマシン録画できません。
- ※ 画面に「コンテンツ権利保護専用方式(RMP方式)に対応していない」と表示された場合、通常の録画予約で録画してください。

基本操作

- タイムシフトマシン機能で録画された番組を選び、視聴できます。またタイムシフトリンク連携機能を使って、他の部屋にあるタイムシフトマシン対応機器でタイムシフトマシン録画した番組を、本機の過去番組表と同時に表示することができます。
- 「タイムシフトリンク連携機能」については「[タイムシフトリンク機能を使う](#)」をご覧ください。

1 過去番組表を押す

- タイムシフトマシン録画で録画された番組が、過去番組表で表示されます。
- タイムシフトマシン録画された番組もしくはタイムシフトリンクで録画された番組で、視聴年齢制限されている場合は、伏せ字(「****」)で表示されます。
- ※ 番組によっては、伏せ字で表示されない場合があります。
- 「週間過去番組表」については「[週間過去番組表を表示させる](#)」をご覧ください。

【過去番組表の例】

「タイムシフトマシン録画設定」で設定したチャンネルだけが表示されます。

タイムシフトマシン録画で録画された時間帯だけが表示されます。








自動削除によって再生できない時間帯

録画時間外はグレーの帯で表示されます。

保存済アイコン

選択されている番組

2 見たい番組を▲・▼・◀・▶で選ぶ

- 過去番組表に表示しきれていない日時のページを表示させるには  ・  を押します。
-  を押すと、選ばれているチャンネルの最新番組へ移動します。
-  を押すと日時指定ジャンプ画面が表示されます。日付と時間帯を選んで番組表を表示させることができます。 [▶「指定した日時の番組表を表示させる」](#)の手順2をご覧ください。
- 選んだ番組を番組冒頭(録画開始部分)から見たいときは、サブメニューから「頭出し再生」を選びます。
- 選んだ番組の番組説明を見るには、サブメニューから「番組説明」を選びます。 [▶「番組説明を見る」](#)
- 視聴年齢制限されている番組を選んだときは、メッセージが表示されます。番組を見る場合は、 を押し、 ~  (0) で暗証番号を入力します。

3 を押す

- 選択した番組の再生(タイムシフトマシン再生)が始まります。
- 前回途中まで見た番組は続きから再生されます。









4 タイムシフトマシン再生を終了するには、 または を押す





- ほかの操作によってもタイムシフトマシン再生が終了する場合があります。

- タイムシフトマシン再生を開始すると、再生を開始した番組から同じチャンネルの最新の録画番組まで順に連続再生が行われます。
- 録画が完了した最新番組の再生が終わるとタイムシフトマシン再生が終了します。
- 番組を選び直すには、手順1から操作します。


タイムシフトマシン再生中にできるリモコン操作

● リモコンで以下の再生操作ができます。

ボタン	内容
	<p>一時停止、早送り/早戻し再生から通常の再生に戻します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 再生中に繰り返し押しすと、約1.3倍の速さの音声付早送り再生「早見早聞」と通常の再生が交互に切り換わります。 「らく見」/「らく早見」再生中に繰り返し押しすと、「らく見」再生と「らく早見」再生が交互に切り換わります。 放送番組の視聴中に押しと、通常録画番組またはタイムシフトマシン録画番組のどちらか最後に視聴した録画番組を再生します。
	再生中に押しと一時停止になり、もう一度押しと再生が再開されます。
	タイムシフトマシン再生を停止し、放送画面などに戻ります。
	<p>早送り再生をします。(押すたびに速さが変わります。)</p> <ul style="list-style-type: none"> 一時停止中に押しとコマ送りができます。 一時停止中に1秒ほど押し続けるとスロー再生になります。スロー再生中に押しと、押すたびにスロー再生の速さが変わります(3段階)。
	<p>早戻し再生をします。(押すたびに速さが変わります。)</p> <ul style="list-style-type: none"> 一時停止中に押しと1秒ほど戻って一時停止になります。 一時停止中に1秒ほど押し続けると連続コマ戻し再生になります。
	<p>再生中に押しと、20ポイントに分割された番組の前後のポイントへスキップします。</p> <ul style="list-style-type: none"> 録画時間が短い番組では動作しないことがあります。 シーン検索のように、◀▶を別に使う機能では、この機能は使えません。
	再生中または早見早聞での再生中に押しと、30秒ほど先に進んで再生します(ワンタッチスキップ)。
	再生中または早見早聞での再生中に押しと、10秒ほど戻って再生します(ワンタッチリプレイ)。



	<p>押すたびに、次のチャプターにスキップします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・番組の最後のチャプターを再生している場合は、次の番組を再生します。 ・ざんまいスマートアクセスからタイムシフト再生したときは働きません。
	<p>押すたびに、前のチャプターにスキップします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1回だけ押すと、現在再生中のチャプターの頭にスキップします。 ・ざんまいスマートアクセスで選んだ番組を再生しているときは、再生中の番組の先頭にスキップして再生します。
	<p>再生中の番組の先頭にスキップして再生します。</p> <p>※ 動画や機器によっては、正しく動作しないことがあります。</p>
	<p>再生中に押すと、再生コースが変更されます。</p>

※ワンタッチスキップとワンタッチリプレイの時間は、[「録画・再生設定」](#)で変更することができます。

※で一時停止をしている間に時間が経過して、自動削除機能によって視聴中のタイムシフトマシン録画番組が削除されそうになった場合は、一時停止が自動的に解除されます。

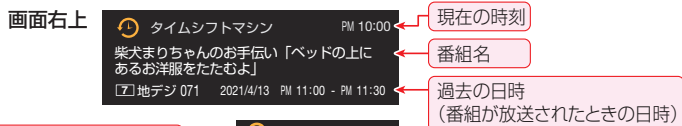
※録画番組によっては、「早見早聞」が正しく動作しないことがあります。

タイムシフトマシン録画中の番組視聴時に使える便利な機能

ボタン	内容
	<p>視聴中の番組の冒頭(録画開始時間)からタイムシフトマシン再生が始まります。</p>
	<p>視聴している場面の30秒前に戻ってタイムシフトマシン再生が始まります。(30秒以上録画されている場合にできます。)</p>

番組情報やタイムバーを表示させる

- タイムシフトマシン再生中に **画面表示** を押すと、画面右上に番組情報、画面右下にタイムバーが表示されます。
- 停電や「タイムシフトマシン録画の一時停止」などで録画されなかった部分があっても、その様子はタイムバーに表示されません。その部分は再生時にスキップされます。
- タイムシフトマシンで録画中の番組を視聴している場合は、タイムバーに現在時刻位置(現在の録画ポイント)が表示されます。




タイムシフトマシン表示(タイムシフトマシン録画中)
 「タイムシフトマシン録画の一時停止」をしている場合には、**タイムシフト一時停止中** が表示されます。



タイムシフトマシン録画を一時的に停止させる

- タイムシフトマシン録画を一時的に停止させることができます。

1 サブメニュー を押し、▲・▼と 決定 で「その他の操作」⇨「タイムシフトマシン録画の一時停止」の順に進み、決定 を押す

- タイムシフトマシン録画が一時停止になり、画面表示 を押したときに画面に  タイムシフト一時停止中 が表示されます（[「番組情報やタイムバーを表示させる」](#)の図を参照）。
 - タイムシフトマシン録画が一時停止状態になっているときは、サブメニューに「タイムシフトマシン録画の再開」が表示され、タイムシフトマシン録画を再開することができます。
- ※ タイムシフトマシン録画の一時停止状態は、ソフトウェアの手動更新をした場合や、電源を「待機」または「切」にした場合に解除されます。
- ※ 電源プラグを抜く場合は、タイムシフトマシン録画の一時停止ではなく、[「タイムシフトマシン機能を開始／停止する」](#)の手順でタイムシフトマシン録画を停止させてください。

連ドラ予約をする

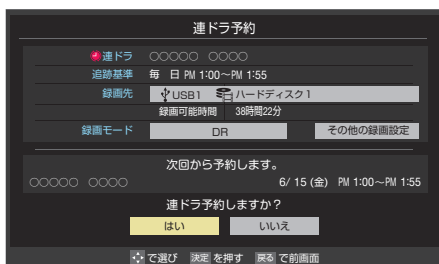
- お好みのタイムシフトマシン録画番組を選んで連ドラ予約をすることができます。

1 連ドラ予約をする番組を過去番組表から▲▼◀▶で選び、サブメニューを押す

2 ▲▼で「連ドラ予約」を選び、決定を押す

3 「連ドラ予約」画面で内容を確認する

- 番組名(連ドラ)や追跡基準の曜日などが正しく表示されているか確認してください。
- 「録画先」を設定したい場合は、「録画先」を選び、変更します。



4 ▲▼◀▶で「はい」を選び、決定を押す

5 「予約を設定しました。」が表示されたら、決定を押す

過去番組表を便利に使う

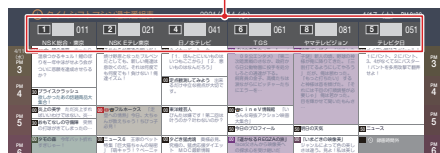
- 過去番組表が表示されているときに以下の操作をします。

週間過去番組表を表示させる

- 選んだ放送局の一週間分の番組表を表示させることができます。

- 1 ◀▶ で一週間分の番組表を表示させたいチャンネルを選び、**過去** (週間過去番組表) を押す

一週間分の過去番組表を表示させたい放送局の番組を選びます。



【通常過去番組表】



過去 を押すたびに切り換わります。



【週間過去番組表】

- ◀▶ で他のチャンネルの週間過去番組表に切り換えることができます。

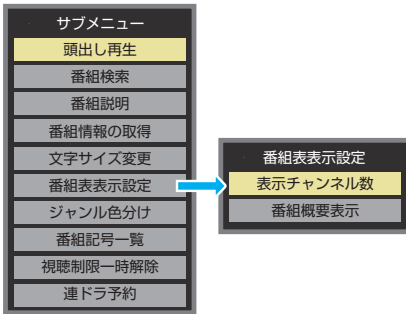
サブメニューを使って操作する

- 過去番組表が表示されているときに「サブメニュー」を押して、過去番組表のさまざまな設定をすることができます。

1 「サブメニュー」を押す

- 過去番組表のサブメニューが表示されます。

2 設定する項目を▲・▼で選んで「決定」を押し、以降を参照して操作する



- 以下の項目は通常番組表と同じ操作になります。該当タイトルの説明をご覧ください。

項目	該当タイトル
番組説明	≫「 番組説明を見る 」
ジャンル色分け	≫「 ジャンル別に色分けする 」
番組記号一覧	≫「 番組記号の説明を見る 」
番組概要表示	≫「 番組概要の表示／非表示を設定する 」

頭出し再生

- 過去番組表で選んだ番組を番組冒頭(録画開始部分)から見ることができます。
- ① ▲・▼で「頭出し再生」を選び、「決定」を押す

文字サイズ変更

- 番組表の文字が小さくて見えにくいときなどに、文字の大きさを切り換えることができます。

① ▲・▼でお好みの文字の大きさを選び、**決定**を押す

表示チャンネル数設定

- 録画チャンネル数が表示チャンネル数よりも少ないときは、番組表の空き部分が灰色になります。

① ▲・▼で「表示チャンネル数」を選び、**決定**を押す

● 9チャンネル表示を選ぶこともできます。

※ オートでは、録画チャンネル数にかかわらず9チャンネル表示はされません。

② ▲・▼で表示させるチャンネル数を選び、**決定**を押す

連ドラ予約

- 過去番組表に表示されている番組を選んで、「連ドラ予約」をすることができます。

① ▲・▼で「連ドラ予約」を選び、**決定**を押す

② 「連ドラ予約」画面で内容を確認し、◀▶で「はい」を選んで**決定**を押す

● 番組名や追跡基準の曜日などが正しく表示されているか確認します。

● 設定を変更する場合は、[「録画予約や連ドラ予約の設定を変更するとき」](#)の操作をします。

ざんまいスマートアクセスで楽しむ

- タイムシフトマシン録画番組や現在放送中の番組の中からお好みの番組を簡単に見つけ出し、番組を楽しむことができます。
 - ※ タイムシフトマシン録画をしていない場合は、放送中の裏番組を簡単に見つけることができます。
- タイムシフトリンク機能を使用している場合は、タイムシフトリンク機器の録画番組もざんまいスマートアクセスの対象番組になります。

ざんまいスマートアクセスを使うための準備について

- 番組やシーン、ネット動画を探せるクラウドサービスの機能を楽しむには、[インターネットの接続と設定](#)が必要です。

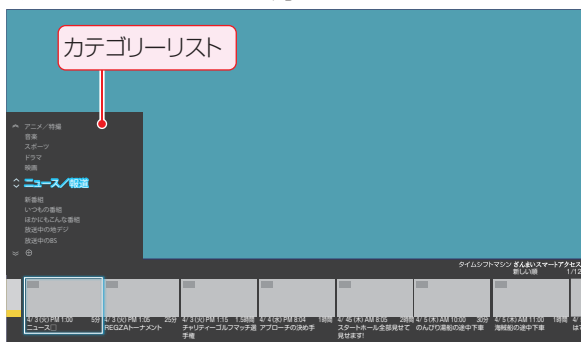
お好みの番組を選ぶ




1 **ざんまい** を押す

- ざんまいスマートアクセスの画面が表示されます。

2 ▲▼を押して、カテゴリーリストからお好みのカテゴリーを選ぶ

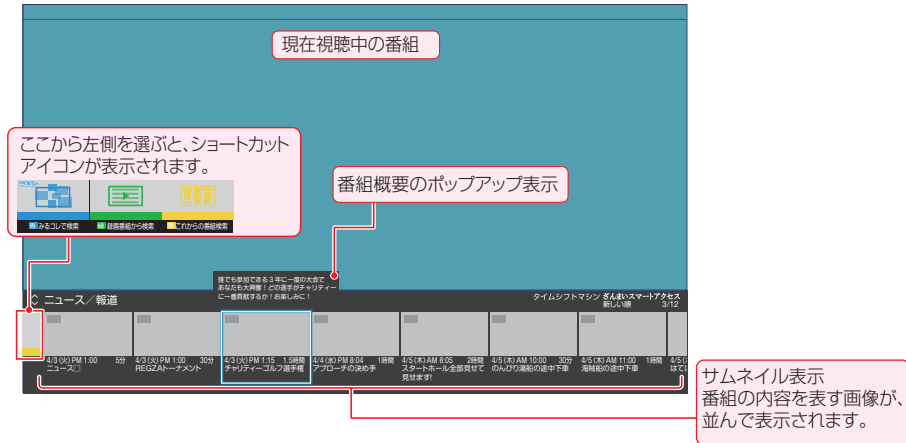
- サムネイルが表示されます。



- 3 ◀▶を押して見たい番組をサムネイルから選び、を押す
- ▶▶で番組を選ぶと、番組概要とその他の情報(「まもなく削除」または「保存済」の情報)がポップアップ表示されます。
 - タイムシフトマシン録画番組を選んでを押した場合は、再生(タイムシフトマシン再生)が始まります。前回途中まで見た番組は続きから再生されます。
 - タイムシフトマシン再生の操作については、[「タイムシフトマシン再生中にできるリモコン操作」](#)》をご覧ください。
 - 放送中の番組を選んでを押した場合は、選んだ番組が選局されます。
 - 視聴制限番組の場合は、ポップアップの番組概要や番組タイトルが伏せ字(「****」)で表示されます。

カテゴリーリストについて

- カテゴリーリストには、カテゴリー設定画面で☑がつけられている項目が表示されます。カテゴリー設定画面は、「[カテゴリーリストの項目を変更する](#)」の操作で確認することができます。
- カテゴリーは、あとからお好みに変更することができます。☞「[カテゴリーを追加・編集する](#)」



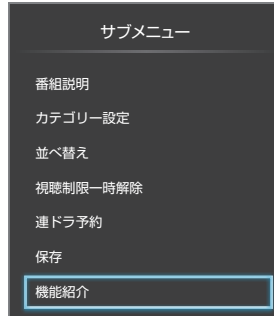
※サムネイルの種類について

- 本機のタイムシフトマシン録画でDR録画された番組は、番組の一場面が表示されます。
- タイムシフトマシン録画でAVC録画された番組、タイムシフトリンク番組および放送中の番組は、番組のジャンルを表すアイコンが表示されます。
- 番組の状態によっては、ジャンルアイコンや「▶」(録画番組)、「⌘」(地デジ番組)、「📶」(BS / CS / BS/CS 4K番組)が表示されます。

機能紹介を見る

- ざんまいスマートアクセスの楽しみかたを紹介する、機能紹介を表示します。

1 ざんまいスマートアクセスの画面を表示中に、サブメニューを押し、▲▼で「機能紹介」を選び、決定を押す



- 機能紹介の画面が表示されます。
 - 機能紹介の画面では、決定を押すと次の画面に進み、戻るを押すと前の画面に戻ります。
最後の画面で決定を押すと、機能紹介が終了し、ざんまいスマートアクセスの画面に戻ります。
 - ◀▶を押しても画面を進める(または戻る)ことができます。
- ※機能紹介の画面は、タイムシフトマシン録画用USBハードディスクを接続していないときでも表示させることができます。タイムシフトマシン録画用USBハードディスクを接続する前または、登録する前にざんまいを押し、画面に表示される「機能紹介を見る」を選んで決定を押すと、機能紹介の画面が表示されます。

カテゴリーをお好みに変更する

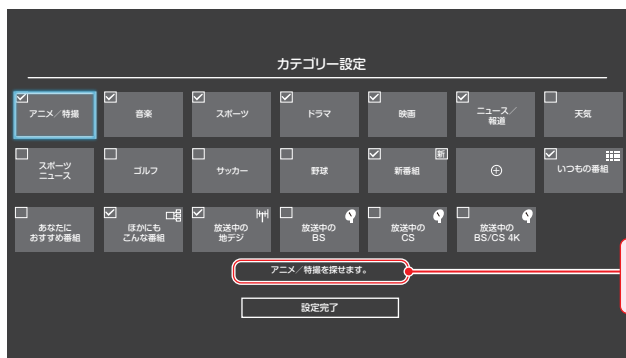
- カテゴリーリストを、お好みの内容に変更することができます。

カテゴリーリストの項目を変更する

- カテゴリーリストに表示する項目を変更します。

1 サブメニューを押し、▲・▼で「カテゴリー設定」を選び、決定を押す

- カテゴリー設定画面が表示されます。
- ※ 下のカテゴリー設定画面イラストは、イメージです。実際の画面とは若干異なります。



- カテゴリーリストの⊕を選んで、カテゴリー設定画面が表示されます。
- カテゴリーリストに表示されている項目には、☑がついています。

2 ▲・▼・◀・▶でカテゴリーを選び、決定を押す

- 決定を押すたびに、☑(表示する)と☐(表示しない)が交互に切り換わります。
- 手順2の操作を繰り返して、カテゴリーリストに表示する項目、または表示しない項目を設定します。
- 「+」が表示されているカテゴリーを選んで決定を押すと、カテゴリー編集画面が表示されます。[「カテゴリーを追加・編集する」](#)の操作をして、お好みのカテゴリーを追加することができます。

3 変更が終了したら、▲・▼・◀・▶で「設定完了」を選び、決定を押す

カテゴリを追加・編集する

- 好みのカテゴリを追加したり、選んだカテゴリを編集したりできます。

1 カテゴリを追加するとき：

カテゴリ設定画面で、「+」が表示されているカテゴリを選び、**決定**を押す

- カテゴリ編集画面が表示されます。

カテゴリを編集するとき：

カテゴリ設定画面で、編集するカテゴリを選び、**青**を押す

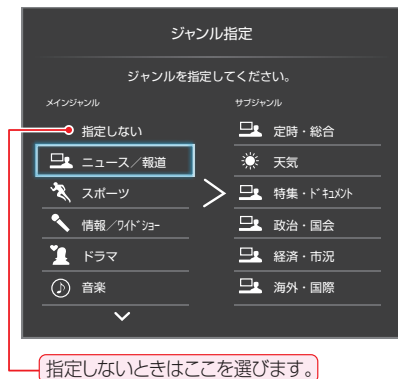
- 「いつもの番組」、「あなたにおすすめ番組」、「ほかにもこんな番組」、「放送中(／地デジ／BS／CS／BS/CS 4K)」以外のカテゴリを選びます。
- カテゴリ編集画面が表示されます。

2 カテゴリ編集画面で、以降の操作をする

カテゴリ編集	
お好みのカテゴリを設定してください。	
ジャンル	指定なし
キーワード	指定なし
除外キーワード	指定なし
番組記号	指定なし
チャンネル	すべて
設定完了	

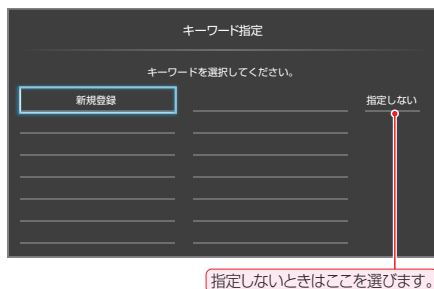
「ジャンル」を指定するとき

- 1 ▲・▼で「ジャンル」を選び、決定を押す
 - 2 指定するジャンルを▲・▼・◀・▶で一つ選び、決定を押す
- サブジャンルから指定することもできます。



「キーワード」を指定するとき

- 指定したキーワードを含んだ番組を表示させます。
- 1 ▲・▼で「キーワード」を選び、決定を押す
 - 2 指定するキーワードを▲・▼・◀・▶で一つ選び、決定を押す
- キーワード指定画面が表示されます。
 - お買い上げ時は登録されていません。以下の操作で「キーワード」を登録します。



■ 新しいキーワードを登録する場合

- ① ▲・▼・◀・▶で「新規登録」を選び、●決定を押す
 - 文字入力画面が表示されます。
- ② キーワードを入力して、●決定を押す
 - 文字入力のしかたは、[「文字を入力する」](#) をご覧ください。
 - キーワードは14個まで登録できます。

■ キーワードを編集する場合

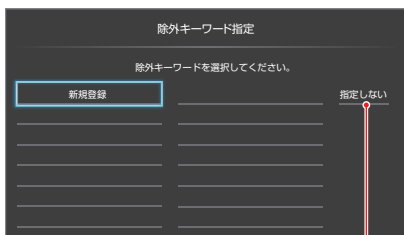
- ① 編集するキーワードを▲・▼・◀・▶で選び、■青を押す
- ② キーワードを編集し、●決定を押す
 - 編集したキーワードが、キーワード指定画面に表示されます。

■ キーワードを削除する場合

- ① 削除するキーワードを▲・▼・◀・▶で選び、■赤を押す
- ② ◀・▶で「はい」を選び、●決定を押す

「除外キーワード」を指定するとき

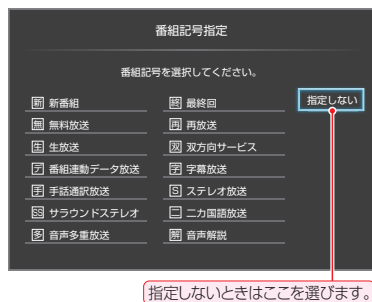
- 指定したキーワードを含んだ番組を、表示させないようにします。
- ① ▲・▼で「除外キーワード」を選び、●決定を押す
 - ② 指定するキーワードを▲・▼・◀・▶で選び、●決定を押す
 - お買い上げ時は登録されていません。
 - キーワードの登録方法は、[「キーワードを指定するとき」](#) をご覧ください。



指定しないときはここを選びます。

「番組記号」を指定するとき

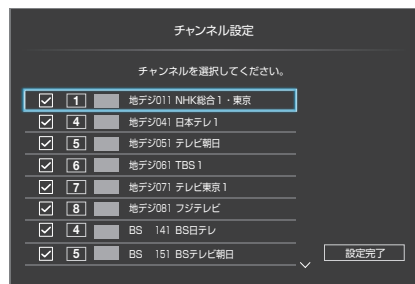
- 1 ▲・▼で「番組記号」を選び、**決定**を押す
- 2 指定する番組記号を▲・▼・◀・▶で選び、**決定**を押す



「チャンネル」を指定するとき

- 「[タイムシフトマシンの設定をする](#)」で設定したチャンネルと、タイムシフトリンク機器で設定されているチャンネルから指定します。

- 1 ▲・▼で「チャンネル」を選び、**決定**を押す
- 2 指定するチャンネルを▲・▼で選び、**決定**を押す
 - **決定**を押すたびに、 (指定する)と (指定しない)が交互に切り換わります。





- 3 指定が終わったら▶で「設定完了」を選び、**決定**を押す

- 3 ▲・▼で「設定完了」を選び、**決定**を押す

カテゴリーを削除する

● カテゴリーを削除します

- 1 カテゴリー設定画面で、削除するカテゴリーを選び、を押す
 - ※ 削除できないカテゴリーの場合は、「このカテゴリーは削除できません。」が表示されます。
 - ※ カテゴリーが一つしかない場合は、「これ以上カテゴリーを削除できません。」が表示されます。
- 2 確認画面で、◀▶を押して「はい」を選び、を押す

カテゴリーをお買い上げ時の状態に戻すには

- [「設定の初期化」](#)をすると、カテゴリー設定画面の内容が、お買い上げ時の状態に戻ります。

ざんまいスマートアクセスを便利に使う

- ざんまいスマートアクセスのサブメニューで、さまざまな便利機能を使うことができます。
- ざんまいスマートアクセスのサブメニューは、一定の時間いずれの操作もしないと、ざんまいスマートアクセスの画面を表示する前に戻ります。

番組説明を見る

- 選んだ番組の番組説明を見ることができます。

1 番組説明を見たい番組を選ぶ

- 2 **サブメニュー** を押し、▲・▼で「番組説明」を選んで、**決定** を押す

番組を並べ替える

- リストに表示される番組の並び順を変えることができます。
- ※ 放送中の番組、「ほかにもこんな番組」の並べ替えはできません。

- 1 **サブメニュー** を押し、▲・▼で「並べ替え」を選んで、**決定** を押す

2 ▲・▼で項目を選び、**決定** を押す

- **新しい順**
日付の新しい順に表示されます。
- **古い順**
日付の古い順に表示されます。
- **おすすめ順**
本機がおすすめする順に表示されます。
- おすすめ順は「いつもの番組」、「あなたにおすすめ番組」のときに選べます。

連ドラ予約をする

- 表示されている番組を選んで、「連ドラ予約」をすることができます。
- 1 連ドラ予約する番組を▲・▼で選び、サブメニューを押す
 - 2 ▲・▼で「連ドラ予約」を選び、決定を押す
 - 3 「連ドラ予約」画面で内容を確認し、◀▶で「はい」を選んで決定を押す
 - 番組名や追跡基準の曜日などが正しく表示されているか確認します。
 - 設定を変更する場合は、「録画予約や連ドラ予約の設定を変更するとき」の操作をします。

選んだ番組を保存する

- ざんまいスマートアクセスで選んだタイムシフトマシン録画番組を通常録画番組として保存することができます。
- 1 サブメニューを押し、▲・▼で「保存」を選んで、決定を押す
 - 以降の操作方法は「タイムシフトマシン録画番組を保存する」の手順2と同じです。

ショートカットアイコンを使う

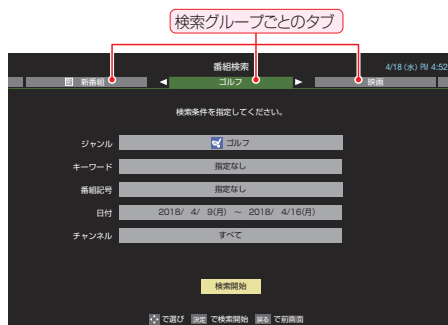
- ショートカットアイコンを選ぶと、ざんまいスマートアクセスで選ばれているカテゴリーの条件で、以下の検索を行います。
 - ※ ショートカットアイコンと同じ色のリモコンのカラーボタンを押しても操作できます。
- **みるコレで検索**
番組やシーン、ネット動画などをまとめて検索した画面にジャンプします。
- **録画番組から検索**
録画リストの番組検索画面にジャンプします。
- **これからの番組検索**
通常番組表の番組検索画面にジャンプします。
- ※ 「みるコレで検索」は、インターネットへの接続が必要です。接続されていない場合は、接続を確認する画面が表示されます。

見たいタイムシフトマシン録画番組を探す

- タイムシフトマシン録画された番組の中から、見たい番組を探して視聴したり、保存したりすることができます。
- ※ ざんまいスマートアクセスでも、見たい番組を探して視聴したり、保存したりできます。》[「ざんまいスマートアクセスで楽しむ」](#)

「番組検索」で探す

- 1 過去番組表を表示中に、**サブメニュー** を押し、▲・▼で「番組検索」を選び、**決定** を押す
- 2 検索するグループのタブを◀▶で選ぶ

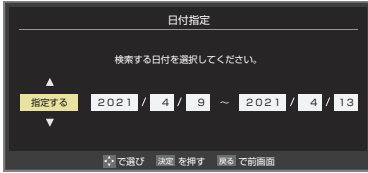


3 検索条件を指定する

- 「日付」と「チャンネル」以外の指定方法は、[「条件を絞り込んで番組を探す」](#)の手順4と同じです。

「日付」を指定するとき

- 1 ▲・▼で「日付」を選び、決定を押す



- 2 ◀▶で左端の欄に移動し、▲・▼で「指定する」を選ぶ
- 3 ◀▶で欄を移動し、検索範囲の開始～終了の年、月、日を▲・▼で選ぶ
- 4 指定が終わったら、決定を押す

「チャンネル」を指定するとき

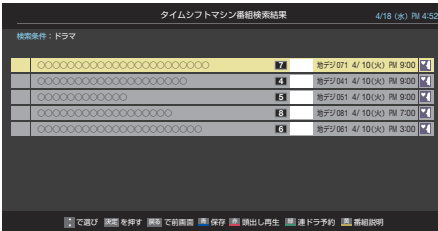
- 1 ▲・▼で「チャンネル」を選び、決定を押す
- 2 指定する項目を◀▶で選び、▲・▼で内容を選ぶ
 - タイムシフトマシン録画チャンネルの中から、お好みのチャンネルまたは「すべて」が指定できます。
- 3 指定が終わったら、決定を押す

4 ▲・▼・◀▶で「検索開始」を選び、決定を押す

- 検索にはしばらく時間がかかることがあります。
- 検索が終わると、検索結果画面が表示されます。

5 「タイムシフトマシン番組検索結果」画面からお好みの番組を▲▼で選び、**決定**を押す

- 再生が始まります。



- **緑** を押して通常録画番組として保存する場合は、[「タイムシフトマシン録画番組を保存する」](#) をご覧ください。

頭出し再生をする

- 選んだ番組を番組冒頭(録画開始部分)から見るができます。

- 1 ▲▼で頭出し再生をしたい番組を選び、**赤** (頭出し再生)を押す

番組情報を見る

- 選んだ番組の番組説明を見ることができます。

- 1 ▲▼で番組情報を見たい番組を選び、**黄** (番組説明)を押す

連ドラ予約をする

- 表示されている番組を選んで、連ドラ予約をすることができます。


- 1 ▲▼で連ドラ予約にしたい番組を選び、**青** (連ドラ予約)を押す

- 2 「連ドラ予約」画面で内容を確認し、◀▶で「はい」を選んで**決定**を押す

- 番組名や追跡基準の曜日などが正しく表示されているか確認します。

- 設定を変更する場合は、[「録画予約や連ドラ予約の設定を変更するとき」](#) の操作をします。

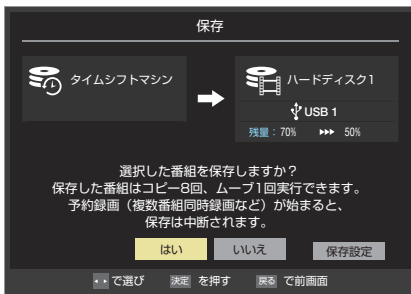
タイムシフトマシン録画番組を保存する

- タイムシフトマシン録画番組を通常録画番組として保存することができます。
- 保存した番組は、録画リスト(同梱取扱説明書「録画した番組を再生する」)から視聴やダビングができるようになります。
- ※ 保存できるのはコピーフリー番組とダビング10番組、コピーワンス番組です。保存したダビング10番組はコピー8回＋ムーブ1回可能となります。コピーワンス番組を保存すると、過去番組表から再生できません。
- ※ 録画中の番組、自動削除中の番組、一度保存した番組は保存できません(過去番組表で、保存済の番組にはアイコンがつかます)。

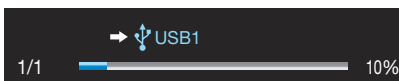
1 過去番組表で、保存する番組を▲・▼・◀・▶で選び、を押す

- 保存の確認画面が表示されます。

2 ◀▶で「はい」を選び、を押す



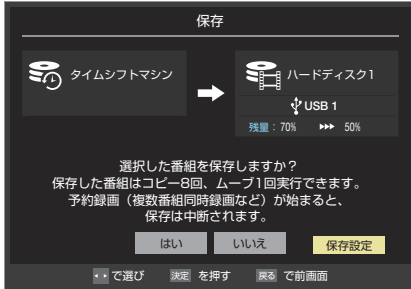
- 保存が始まってしばらくすると、画面の右下に進行状況が表示されます。



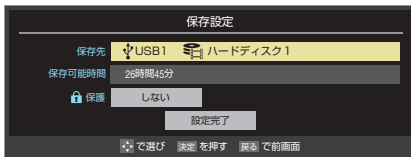
保存設定をする場合

- 以下の手順で保存設定をします。

1 ▲・▼・◀・▶で「保存設定」を選び、決定を押す



2 保存設定をする



保存先を変更するとき

- 1 ▲・▼・◀・▶で「保存先」を選び、決定を押す
 - 保存先機器の選択画面が表示されます。
- 2 保存先にする機器を▲・▼で選び、決定を押す

保護の設定を変更するとき

- 保存した番組を保護するかどうか設定します。
- 1 ▲・▼・◀・▶で「保護」を選び、決定を押す
 - 設定画面が表示されます。
 - 2 ▲・▼で「する」または「しない」を選び、決定を押す

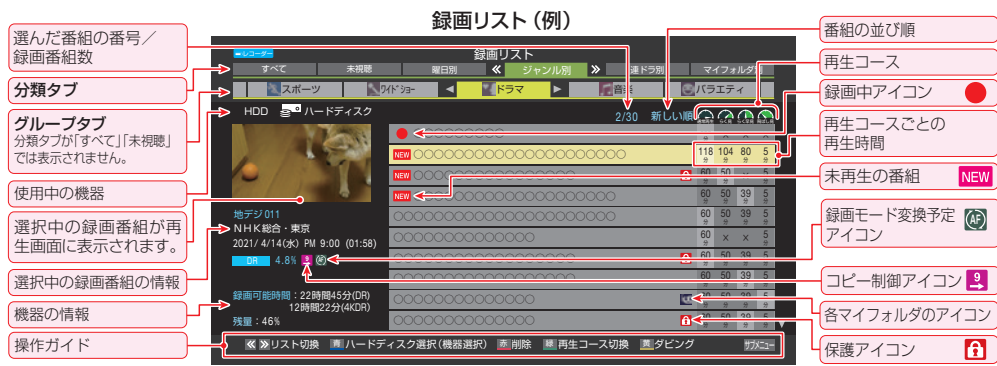
録画した番組を再生する

- 録画した番組を見るには、以下の操作をします。

再生の基本操作とさまざまな再生のしかた

1 録画リストを押す

- 録画リスト画面が表示されます。
- **HDD/BD** を押すとハードディスクとメディアを切り換えることができます。



2 必要に応じて録画リストの表示を変える

- 分類タブとグループタブについては、次ページの図を参照してください。
- メディアの場合は、タブは「すべて」のみとなります。

1 ◀・▶ で分類タブを切り換える

- **すべて**
すべての録画番組が表示されます。
- **未視聴**
未再生の録画番組が表示されます。
- **曜日別**
録画した曜日ごとに表示されます。
- **ジャンル別**
ドラマや映画などのジャンルごとに表示されます。番組情報がない場合は、「その他」に分類されます。
- **連ドラ別**
「連ドラ予約」の予約ごとに表示されます。
- **マイフォルダ別**
指定した「マイフォルダ」ごとに表示されます。

2 ◀▶ でグループタブを切り換える

- 分類が「すべて」「未視聴」の場合はグループタブはありません。
- 分類が「すべて」以外の場合は、分類タブとグループタブで選ばれた番組だけリストに表示されます。
- 分類が「未視聴」の状態、録画リストを表示しなおした場合、分類は「すべて」の状態になります。
- 視聴年齢制限番組は表示されません。表示させるときは、サブメニューを押してから、「視聴制限一時解除」を選んで **決定** を押してから暗証番号を入力してください。

3 見たい番組を▲▼で選び、**決定**を押す

- 選んだ番組の再生が始まります。
- 前回、再生を途中で停止した番組を選んだ場合は、続きから再生されます(レジューム再生)。
- 番組を最後まで再生し終わると、そのまま静止状態になり、しばらくすると録画リストになります。
- 再生中にできるリモコン操作については、[「録画番組の再生中にできるリモコン操作」](#)をご覧ください。

4 番組再生を終了するには、**停止** または **終了** を押す

- 録画リストに戻ります。

番組の冒頭から再生するー最初から再生

- 再生する番組を選んでから、**サブメニュー** を押し、▲・▼で「最初から再生」を選んで **決定** を押す

録画中の番組を再生するー追っかけ再生

- 録画中の番組を▲・▼で選んで **決定** を押す

チャプターの一覧画面から再生する

- チャプターが分割されている録画番組でできます。
 - 再生する番組を選んでから、**サブメニュー** を押し、▲・▼で「チャプター一覧」を選んで **決定** を押す
 - チャプター一覧画面が表示されます。
 - 再生するチャプターを▲・▼・◀・▶で選んで **決定** を押す
 - 選択したチャプターの先頭から再生が始まります。

再生中にチャプターを選んで再生位置を指定する

- チャプターが分割されている録画番組でできます。
 - サブメニュー** を押し、▲・▼と **決定** で「サーチ」⇨「チャプターサーチ」を選ぶ
 - 再生バー上のチャプター表示が、入力モードに切り換わります。
 - 1** ~ **10** ^あ ~ ^{小文字} **10** ₍₀₎ でチャプターを指定し、**決定** を押す。

再生中にタイムサーチで再生位置を指定する

- サブメニュー** を押し、▲・▼と **決定** で「サーチ」⇨「タイムサーチ」を選ぶ
 - 画面右上に **サーチ-----** が表示されます。
- 1** ~ **10** ^あ ~ ^{小文字} **10** ₍₀₎ で時間を指定する

例 冒頭から1時間25分5秒後の位置を指定するとき

10 ₍₀₎ **1** ^あ **2** ^か **5** ^{ABC} **10** ^な ₍₀₎ **5** ^{JKL} ^{小文字} **5** ^な ₍₀₎ ^{JKL} の順に押します。

お知らせ

- 番組冒頭部分の約2秒間を飛ばして再生が始まります。(録画は番組開始時刻の約2秒前から開始されるようになっています。)

■ 録画リストについて

- ・ 録画開始直後の番組は、録画リストに表示されるまでに少し時間がかかります。
- ・ 録画リストに表示できる最大数は、通常番組が3000とSeeQVault™形式の番組が3000で合計6000件までです。これを超えた機器では正しく動作しないことがあります。
- ・ 機器に記録されている情報によっては、選択中の録画番組の情報が正しく表示されないことがあります。

時短で見る


- 再生コースを変更することで、録画した番組を効率よく再生することができます。

1 を押す

2 必要に応じて録画リストの表示を変える

3 見たい番組を▲▼で選ぶ

4 を押して再生コースを選ぶ

-  を押すごとに、選んだ番組の再生コースが切り換わります。
- 再生コースは、録画番組ごとに設定できます。

通常再生	らく見	らく早見	飛ばし見
118分	104分	80分	5分

- ・ **通常再生**
録画したそのままの時間で番組を再生します。
- ・ **らく見**
通常再生に比べて再生時間が短くなります。
- ・ **らく早見**
早見早聞(約1.3倍速または1.5倍速)で【らく見】再生します。
- ・ **飛ばし見**
【らく見】再生をしながら1/20スキップを繰り返しおこないます。

5 を押す














- 選んだ再生コースでの番組の再生が始まります。


お知らせ

- 録画番組によっては、選択できないコースがあります。その場合、再生時間の欄に「×」が表示されます。
- 「らく見」、「らく早見」、「飛ばし見」で再生中に「サブメニュー」から「タイムサーチ」をした場合、再生コースは「通常再生」に戻ります。
- 「飛ばし見」で再生中に以下の操作をすると、「らく見」または「通常再生」に再生コースが切り換わります。







録画番組の再生中にできるリモコン操作

ボタン	内容
	<p>一時停止、早送り/早戻し再生から通常の再生に戻します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 再生中に繰り返し押し出すと、約1.3倍の速さの音声付早送り再生「早見早聞」と通常の再生が交互に切り換わります。 「らく見」/「らく早見」再生中に繰り返し押し出すと、「らく見」再生と「らく早見」再生が交互に切り換わります。 放送番組の視聴中に押し出すと、前回再生した番組の続きから再生されます。
	<p>再生中に押し出すと一時停止になり、もう一度押し出すと再生が再開されます。</p>
	<p>再生を終了し、録画リストに戻ります。</p>
	<p>早送り再生をします。(押したびに速さが変わります。)</p> <ul style="list-style-type: none"> 一時停止中に押し出すとコマ送りができます。 一時停止中に1秒ほど押し続けるとスロー再生になります。スロー再生中に押し出すと、押したびにスロー再生の速さが変わります(3段階)。
	<p>早戻し再生をします。(押したびに速さが変わります。)</p> <ul style="list-style-type: none"> 一時停止中に押し出すと0.5秒ほど戻って一時停止になります。番組によっては、戻る時間が大きくなることがあります。 一時停止中に1秒ほど押し続けると連続コマ戻し再生になります。
	<p>再生中に押し出すと、20ポイントに分割された番組の前後のポイントへスキップします。</p> <ul style="list-style-type: none"> 録画時間が短い番組では動作しないことがあります。
	<p>再生中または早見早聞での再生中に押し出すと、30秒ほど先に進んで再生します(ワンタッチスキップ)。</p>
	<p>再生中または早見早聞での再生中に押し出すと、10秒ほど戻って再生します(ワンタッチリプレイ)。</p>
	<p>次のチャプターの先頭にスキップして再生します。</p> <ul style="list-style-type: none"> チャプターのない録画番組では録画日時が一つ次の番組を再生します。
	<p>現在のチャプターの先頭にスキップして再生します。再生してから4秒以内に押した場合は、一つ前のチャプターの先頭にスキップします。</p> <ul style="list-style-type: none"> チャプターのない録画番組では再生中の番組の先頭に戻って再生します。再生してから4秒以内に押した場合は、録画日時が一つ前の番組の先頭にスキップします。
	<p>再生中に押し出すと、録画リストが表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 放送番組視聴時などに押した場合も録画リストが表示されます。
	<p>再生中の番組の先頭にスキップして再生します。</p> <p>※ 動画や機器によっては、正しく動作しないことがあります。</p>
	<p>再生中に押し出すと、再生コースが変更されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 再生中は「通常再生」、「らく見」、「らく速見(×1.3)」、「らく速見(×1.5)」から再生コースを選択できます。

- ※ DR(4K)で録画された番組は、「早見早聞」の操作はできません。
- ※ 録画番組によっては、「早見早聞」が正しく動作しないことがあります。
- ※ 録画中の番組再生での早送り/早戻し再生などの特殊再生機能は、正しく動作しないことがあります。
- ※ 録画番組を特殊再生しているときは、字幕の表示ができません。
- ※ 録画番組によっては、一時停止やワンタッチスキップなどの特殊再生操作をしたときに映像が表示されなくなることがあります。その場合は、で通常再生に戻してから再度特殊再生の操作をしてください。

ワンタッチスキップ/ワンタッチリプレイの時間を変更する

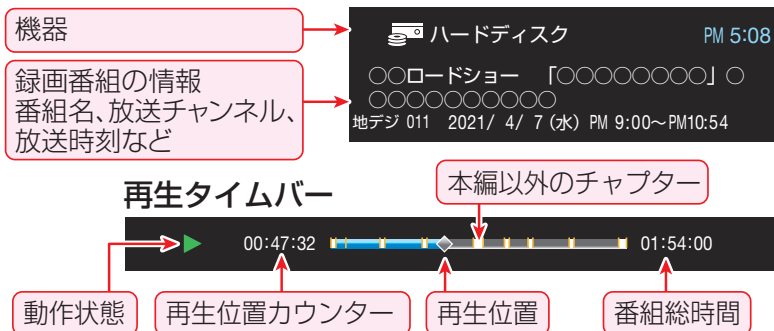
- ワンタッチスキップとワンタッチリプレイの時間を変更することができます。お買い上げ時の設定のように、飛ばす時間よりも戻す時間を短く設定しておくとし、飛ばしすぎて戻すときに便利です。
- 1  を押し、▲・▼・◀・▶と  で「設定」⇒「本体設定」⇒「録画・再生設定」⇒「再生設定」の順に進む
 - 2 ▲・▼で「ワンタッチスキップ設定」または「ワンタッチリプレイ設定」を選び、 を押す
 - 3 ▲・▼で時間を選び、 を押す

録画番組の情報や番組説明を見る

番組の情報を見る

① 再生中に **画面表示** を押す

- 再生中の番組の情報が表示されます。
- しばらくすると番組情報の表示は消えます。



- ※ 通常再生以外の場合は、画面左下に再生コースを表すアイコン(📺 早く早見 など)が表示されます。
- ※ 番組総時間には、現在の再生コースでの再生総時間が表示されます。

② 表示を消すには、もう一度 **画面表示** を押す

番組説明を見る

① 録画リスト表示中または番組の再生中に、**サブメニュー** を押し、▲▼と

決定 で「番組説明」を選ぶ

- 番組説明画面が表示されます。

② 番組説明画面を消すには、**終了** を押す

- しばらく放置した場合にも消えます。

録画番組を修復する

- 録画中に停電したり、電源プラグを抜いてしまったりすると録画番組が正しく保存されず、そのままでは再生できません。このような場合、「録画番組の修復」をすると、録画された内容を再生できるようになることがあります。

- 1 **メニュー** を押し、▲・▼・◀・▶と **決定** で「設定」⇨「本体設定」⇨「録画・再生設定」⇨「ハードディスク設定」の順に進む
- 2 ▲・▼で「録画番組の修復」を選び、**決定** を押す
- 3 番組を修復する機器を▲・▼で選び、**決定** を押す
- 4 確認画面で、◀・▶で「はい」を選び、**決定** を押す
 - 修復の処理が始まります。終わるまでそのままお待ちください。
- 5 「録画番組の修復を行いました。」が表示されたら、**決定** を押す
 - この操作には、30分程度かかることがあります。
 - 録画番組を修復できなかった場合は、「録画番組の修復ができませんでした。」が表示されます。

※ 録画番組が修復できた場合でも、通常再生以外の再生機能は正しく動作しないことがあります。

USBハードディスクに録画した番組を修復する場合

- 1 **メニュー** を押し、▲・▼・◀・▶と **決定** で「設定」⇨「本体設定」⇨「録画・再生設定」⇨「USBハードディスク設定」の順に進む
- 2 ▲・▼で「録画番組の修復」を選び、**決定** を押す
- 3 番組を修復する機器を▲・▼で選び、**決定** を押す
- 4 確認画面で、◀・▶で「はい」を選び、**決定** を押す
 - 修復の処理が始まります。終わるまでそのままお待ちください。
- 5 「録画番組の修復を行いました。」が表示されたら、**決定** を押す

見たい録画番組を探して再生する

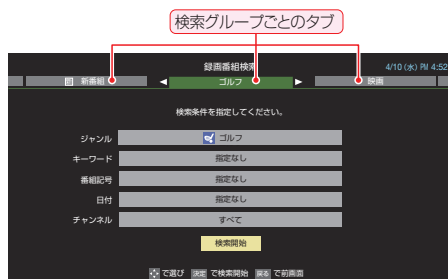
- ハードディスクに録画した番組の中から、視聴したい番組を探することができます。
- ジャンル、キーワードなどの検索条件を指定して録画番組を検索します。
- 録画番組のグループ(タブ)ごとに検索条件を設定できます。

1 録画リストの表示中に **サブメニュー** を押す

2 ▲▼で「番組検索」を選び、**決定** を押す

- 録画番組検索画面が表示されます。

3 検索するグループのタブを◀▶で選ぶ

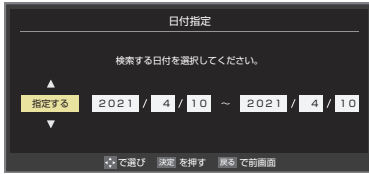


4 検索条件を指定する

- 「ジャンル」、「キーワード」、「番組記号」の指定方法は、[「条件を絞り込んで番組を探す」](#)の手順4と同じです。ほかの項目は以下の手順で指定します。

「日付」を指定するとき

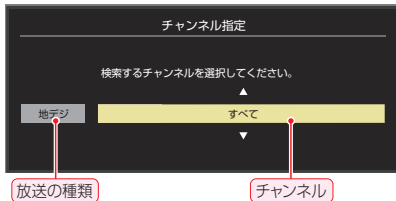
- 1 ▲・▼で「日付」を選び、決定を押す



- 2 ◀▶で左端の欄に移動し、▲・▼で「指定する」を選ぶ
- 3 ◀▶で欄を移動し、検索範囲の開始～終了の年、月、日を▲・▼で選ぶ
- 4 指定が終わったら、決定を押す

「チャンネル」を指定するとき

- 1 ▲・▼で「チャンネル」を選び、決定を押す
- 2 指定する項目を◀▶で選び、▲・▼で内容を選ぶ



- 放送の種類
すべて／BS／CS／地デジ／BS／CS 4K
 - チャンネル
指定した放送の種類に該当するチャンネル／すべて
- 3 指定が終わったら、決定を押す

5 ▲・▼・◀▶で「検索開始」を選び、決定を押す

- 検索にはしばらく時間がかかることがあります。
- 検索が終わると、検索結果画面が表示されます。

6 見たい録画番組を▲▼で選び、決定を押す



- 選んだ番組の再生が始まります。

おすすめの番組を見る

- おまかせ録画で録画した番組や通常録画した番組、タイムシフトマシンの番組を、おすすめの番組やジャンルごとにサムネイルで表示し、見たい番組を簡単に探すことができます。
- あらかじめ クラウドサービスやネットワークサービスの設定 が必要です。

1 おすすめ番組 を押す

- おすすめ番組が表示されます。おすすめ番組については、ホームページ (https://www.regza.com/regza/bd_dvd/) をご覧ください。

お知らせ

- クラウドサービスのご利用については「クラウドサービスとネットワークサービスについて」[》](#) をご覧ください。

シーン検索について

- **シーン検索** を押すとシーンリストが表示され、見たいシーンにすぐにアクセスできるクラウドサービスが利用できます。シーン検索については、ホームページ(https://www.regza.com/regza/bd_dvd/)をご覧ください。

シーン検索の利用に必要な準備

- [インターネットへの接続と設定](#)が必要です。
- [「ネットワークサービス利用設定」](#)の設定が必要です。

お知らせ

- クラウドサービスのご利用については[「クラウドサービスとネットワークサービスについて」](#)をご覧ください。

録画リストのさまざまな機能を使う

- 録画リストの表示中に以下のさまざまな機能を使うことができます。

グループ内の番組の連続再生の設定を変える

- 録画番組の繰り返し再生を設定することができます。
- 設定した状態は本機に記憶されます。

1 **サブメニュー** を押し、▲▼で「グループ内連続再生」を選んで **決定** を押す

2 ▲▼で以下から選び、**決定** を押す

- ・ オン

選択した番組の再生後、同じグループ(タブ、マイフォルダ)にある録画番組を連続して再生します。最後の番組の再生が終わると録画リストに戻ります。

- ・ オフ

連続再生をしません。

番組を並べ替える

- 録画リストに表示される番組の並び順を変えることができます。

1 **サブメニュー** を押し、▲▼で「並べ替え」を選んで **決定** を押す

2 ▲▼で以下から選び、**決定** を押す

- ・ 新しい順

日付の新しい順に表示されます。

- ・ 古い順

日付の古い順に表示されます。

- ※ 録画リストの表示順が変わっても録画番組の再生の順番は変わりません

ほかの機器を選択する

- 再生する機器を変更するには以下の操作をします。

1 を押す

- 機器選択画面が表示されます。
- ※ 機器が1台しか接続されていない場合は、メッセージが表示されます。

2 使用する機器を▲▼◀▶で選び、 を押す

連ドラ予約をする

- 録画リストに表示されている番組を選んで、「連ドラ予約」をすることができます。

1 連ドラ予約にする番組を▲▼で選び、 を押す

2 ▲▼で「連ドラ予約」を選び、 を押す

3 「連ドラ予約」画面で内容を確認し、◀▶で「はい」を選んで を押す

- 番組名や追跡基準の曜日などが正しく表示されているか確認します。
- 設定を変更する場合は、[「録画予約や連ドラ予約の設定を変更するとき」](#)の操作をします。

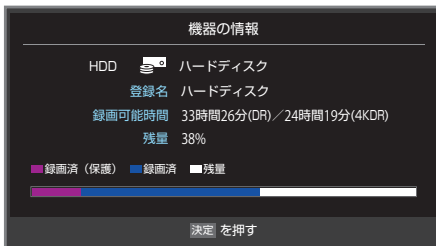
機器の情報を確認する

- 使用中の機器の情報を確認します。
- ハードディスクやUSBハードディスクの残量も画面で確認できます。
 - ※ 残量表示や録画可能時間表示は、あくまでも目安であり、保証するものではありません。
 - ※ ハードディスク、USBハードディスクの残量は、BS・110度CSデジタルハイビジョン放送(24Mbps)と4K放送(33Mbps)の録画が可能な時間を基準に算出しています。地上デジタルハイビジョン放送(約17Mbps)の録画番組などを削除した場合、残量の増加分は削除した番組の時間よりも少なくなります。
 - ※ ハードディスクの残量は、タイムシフトマシン録画と共有している場合、通常録画として使用できる領域を元に残量を算出しています。

1 録画リストを表示中に **サブメニュー** を押し、▲▼で「機器の情報」を選んで **決定** を押す

- 機器の情報画面が表示されます。

例:ハードディスクの場合



2 情報画面を消すには、**決定** を押す

ディスクの録画リストのさまざまな機能

- ブルーレイディスクやDVDの録画リストを表示している場合は、以下の機能を使用できます。

ディスクの情報を表示する

- 1 サブメニューを押し、▲・▼で「ディスクの情報」を選んで決定を押す
 - ディスクの種別や名称、ファイナライズの有無や記録時間などの情報画面が表示されます。

ディスクの情報	
ディスク種別	: BD-R
ディスク名	: XXXXXXX
ディスク保護	: なし
ファイナライズ	: 未
追記	: 可
記録フォーマット	: BD-AV
著作権保護	: 可(AACS)
記録時間	: 00時間00分00秒
残量 (DR)	: 02時間10分00秒(100%)
録画番組数 (オリジナル)	: 00
録画番組数 (プレイリスト)	: 00

すべての番組を表示する

- ディスクに本機でチャプターを削除した番組が含まれている場合に設定できます。
- 1 サブメニューを押し、▲・▼で「すべて表示」を選んで決定を押す
 - 2 ▲・▼で以下から選び、決定を押す
 - ・ オン
録画リストに、すべての番組が表示されるようになります。
 - ・ オフ
録画リストには編集された番組のみを表示します。

次みるナビで楽しむ

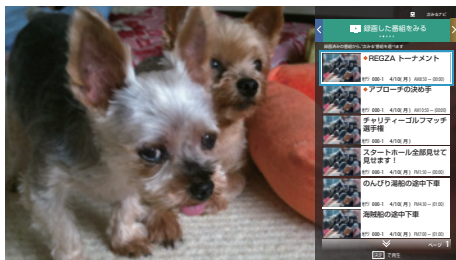
- **次みるナビ** を使うと、視聴しながら次に見る録画番組を選んだり、再生したりできます。
- インターネットに接続すると、お好みのテーマや視聴中の番組の出演者から番組を探ることができます。

録画した番組を見る

1 **次みるナビ** を押す


- 次みるナビ画面が表示されます。

2 ◀▶を押して、「録画した番組をみる」リストを選ぶ



3 ▲▼を押して、見たい番組を選び、**決定**を押す

もっと便利に、お好みの番組を選ぶ

- インターネットに接続すると、以下のようなサービスが利用できます。
 - **お気に入りジャンル／テーマから選ぶ**…ドラマや音楽などのジャンル、また、アイドルやタレントなど、お気に入りに追加した「みるコレ パック」が表示されます。
 - **出演者のほかの番組を選ぶ**…見ている番組の出演者一覧が表示されます。人物を選んで  を押すと、その人物が出演する他のドラマなどが見られます。

お知らせ

- 視聴中の番組の出演者から番組を探したり、お好みのテーマの番組を探すには、インターネットへの接続が必要です。接続されていない場合は、インターネット設定を行うためのボタンが表示されます。
- 「次みるナビ」や「みるコレ パック」の詳細については、ホームページ(https://www.regza.com/regza/bd_dvd/)をご覧ください。
- 本サービスは、予告なく休止、終了、または内容を変更する場合があります。

SeeQVault™形式の番組を再生する

- SeeQVault™形式に変換してダビングされた番組や、他の機器で保存されたSeeQVault™形式の番組では、項目が表示されないことがあります。
- 録画リストに表示できる最大数は、通常番組が3000とSeeQVault™形式の番組が3000で合計6000件までです。これを超えた機器では正しく動作しないことがあります。
- 同梱取扱説明書の「録画した番組を再生する」[29](#)頁もご覧ください。

再生の基本操作

1 録画リストを押す



2 必要に応じて録画リストの表示を変える

① **◀ (・) ▶** で分類タブを切り換える

② **◀▶** でグループタブを切り換える

3 見たい番組を、▲▼で選び、決定を押す

- 選んだ番組の再生が始まります。

4 番組再生を終了するには、**■** または **■** を押す

- 録画リストに戻ります。

SeeQVault™対応機器を選択する

1 録画リストの表示中に を押す

● 機器選択画面が表示されます。

※ 機器が1台しか接続されていない場合は、メッセージが表示されます。

2 SeeQVault™対応機器を▲・▼・◀・▶で選び、 を押す

ディスクを再生する

- ディスクに録画された番組を見る場合については、「録画した番組を再生する」もご覧ください。

Ultra HDブルーレイ再生の前に

- 4K/HDRで視聴するには、HDCP2.2/2.3、4K/60p/4:4:4、Ultra HD ブルーレイ規格のHDR信号に対応している機器と、18Gbps対応のHDMIケーブル(プレミアムハイスピードHDMIケーブルなど)が必要です。
- 以下の場合にはHDR信号のダイナミックレンジ(明暗比)を標準に変換して出力します。またディスクによっては正しく再生できない場合があります。
 - 60p素材の再生で、4K/60p/4:2:0まで対応の機器や端子に接続した場合
 - HDRやHDCP2.2/2.3に対応していない機器または端子に接続した場合
- 接続する機器側でも設定を変更する必要がある場合があります。設定のしかたについて、くわしくは接続機器側に付属の取扱説明書をご覧ください。

ブルーレイディスクやDVDを再生する

1 再生したいディスクを入れる

- ディスクによっては、自動的に再生が始まるものがあります。
- ディスクのメニュー画面が表示される場合は、画面の指示に従って操作してください。

2  を押す

再生を停止するときは

 を押す

- レジュームポイントを記憶して、再生が停止します。
- ※ ディスクによっては、レジュームポイントを記憶できないものもあります。

メニューを操作する

- ディスクのメニューを表示して、いろいろな操作ができます。また、Ultra HD ブルーレイ／BD-Videoの場合は再生中にポップアップメニューを表示して、いろいろな操作ができます。
- ※ メニューやポップアップメニューがある場合のみ)
- ディスクによってメニューやポップアップメニューの内容が異なりますので、操作のしかたはディスクに付属の取扱説明書をお読みください。ここでは、一般的な操作の例を示します。


1  または  を押す

- メニュー画面が表示されます。

2 お好みの番組や項目を選び、 を押す

音楽用CDを再生する

1 再生したいディスクを入れる

- トラックリストが表示されます。
- すでにディスクが入っていて、トラックリストを表示したい場合は、を押してください。

2 お好みのトラックを選び、 または  を押す

再生を停止するときは

-  を押す



好きなタイトルから再生する(ディスクサーチ)

- 複数のタイトルがあるDVD - Videoを、好きなタイトルから再生できます。
- ※ ディスクによっては、異なるタイトルやメニューを再生する場合があります。

1 再生したいディスクを入れる

2 視聴画面で  を押し、▲▼で「ディスクサーチ」を選んで  を押す

- 画面右上にサーチのサブメニューが表示されます。

3  ~  (0) で数値を指定する

- 選んだタイトルから再生が始まります。

Ultra HD ブルーレイ／BD-Videoのバーチャル・パッケージを利用する










- バーチャル・パッケージに対応しているUltra HD ブルーレイ／BD-Videoでは、他のメディア（ローカルストレージ）にデータをコピーして、再生しながらいろいろな機能を楽しむことができます。
本機では、USBメモリをローカルストレージとして使用します。
- ※ あらかじめ、本機前面のUSB（メモリ専用）端子にUSBメモリを接続しておきます。
- 他のデータが入ったUSBメモリや、他機でフォーマットされたUSBメモリを使うと、Ultra HD ブルーレイ／BDVideoが正しく再生されないときがあります。
その場合は、本機でUSBメモリを初期化してください。
- コピーされたバーチャル・パッケージを再生中に本機からUSBメモリを抜くと、Ultra HD ブルーレイ／BD-Videoの再生が停止します。
- Ultra HD ブルーレイ／BD-Videoの再生中に、映像や音声が入りが停止することがあります。
- USBメモリに記録されたバーチャル・パッケージの内容を消去するには、「BDビデオデータ消去」の「バーチャルパッケージ消去」をおこなってください。

BD-Live™について

- 本機は、BD-Live™機能付きのBD-Video (BD-ROM Profile 2.0)に対応しています。
本機をインターネットに接続することで、特別映像や字幕などの追加コンテンツや、ネットワーク対戦ゲームなど、さまざまな機能を楽しむことができます。
- BD-Live™で利用できるさまざまな機能は、ディスクにより異なります。くわしい機能や動作については、それぞれのディスクの画面表示や説明をご覧ください。
- BD-Live™機能を利用するには、インターネットへの接続と設定が必要です。
- ディスクによっては、「BD-Live接続設定」を変更する必要があります。
- お使いのネットワーク環境によっては、ネットワーク接続に時間がかかったり、接続できなかったりする場合があります。
- BD-Live™対応ディスクの再生中、ブルーレイディスクレコーダーやディスクの識別IDがコンテンツプロバイダーに送信されることがあります。インターネット接続を制限するには、「BD-Live接続設定」を変更してください。

ディスクの再生中にできる様々な操作

● 再生するディスクによっては、できない操作もあります。

ボタン	内容
	一時停止、早送り/早戻し再生から通常の再生に戻します。 ・ 再生中に繰り返し押しすと、約1.3倍の速さの音声付早送り再生「早見早聞」→通常再生と切り換わります。
	再生中に押しと一時停止になり、もう一度押しと再生が再開されます。
	早送り再生をします。(押したびに速さが変わります。) <ul style="list-style-type: none"> 一時停止中に押しとコマ送りができます。 一時停止中に1秒ほど押し続けるとスロー再生になります。スロー再生中に押しと、押したびにスロー再生の速さが変わります(3段階)。
	早戻し再生をします。(押したびに速さが変わります。) <ul style="list-style-type: none"> 一時停止中に押しとコマ戻しができます。 一時停止中に1秒ほど押し続けると連続コマ戻し再生になります。
	再生中に押しと、20ポイントに分割された番組の前後のポイントへスキップします。 <ul style="list-style-type: none"> 録画時間が短い番組では動作しないことがあります。
	再生中または早見早聞での再生中に押しと、30秒ほど先に進んで再生します(ワンタッチスキップ)。
	再生中または早見早聞での再生中に押しと、10秒ほど戻って再生します(ワンタッチリプレイ)。
	次のチャプターやトラックなどにスキップして再生します。
	現在のチャプターやトラックの先頭にスキップして再生します。再生してから4秒以内に押しした場合は、一つ前のチャプターやトラックの先頭にスキップします。

再生中に番号や時間を指定してスキップする

① **サブメニュー** を押し、▲・▼で「サーチ」を選んで **決定** を押す

- サーチのサブメニューが表示されます。

② ▲・▼で「タイムサーチ」または「チャプターサーチ」を選んで **決定** を押す

③ **1** ~ **10** (○) で数値を指定する

例 タイムサーチで冒頭から1時間25分5秒後の位置を指定するとき

10 (○) **1** **2** **5** **10** (○) **5** の順に押します。

繰り返し再生の設定をする

● 番組を繰り返し再生する事ができます。

① 再生中に **サブメニュー** を押し、▲・▼で「リピート」を選んで **決定** を押す

② ▲・▼で以下から選び、**決定** を押す

- **チャプターリピート**

再生中のチャプターの再生を繰り返します(🔄チャプター)。

- **1番組リピート**

再生中の番組の再生を繰り返します(🔄₁)。

- **オールリピート**

フォルダ内にあるすべての番組の連続再生を繰り返します(🔄)。


- **オフ**

繰り返し再生をしません。

■ アングルを切り換える

- 1 サブメニュー を押し、▲・▼で「アングル」を選んで 決定 を押す
- 2 ▲・▼でアングルを選び、決定 を押す

お知らせ

- カメラアングル(映像)が選べる場面では、画面に  が表示されます(表示しないようにすることもできます。くわしくは「アングルアイコン」をご覧ください)。
- Ultra HDブルーレイ / BD-Video / DVD-Videoの場合は、音声 / 字幕 / カメラアングル(映像)の内容はディスクによって異なりますので、ディスクに付属の取扱説明書もお読みください。

■ BD-Videoの子画面を切り換える

- 子画面(ピクチャー・イン・ピクチャー)対応のBD-Videoでは、再生する子画面の設定を選ぶことができます。
 - 子画面の再生のしかたは、BD-Videoに付属の取扱説明書をお読みください。
- 1 BD-Videoの再生中に サブメニュー を押し、▲・▼で「セカンダリビデオ」を選んで 決定 を押す
 - 子画面の設定は、親画面 / 子画面の同時再生中にだけ設定できます。
 - 2 ▲・▼でお好みの設定を選び、決定 を押す
 - セカンダリビデオ切替で子画面の映像を切り換えたときは、映像が切り換わるまでしばらく時間がかかります。

■ 音声(言語)を切り換える

- 1 音声切換 を押す
 - サブメニューの「音声」でも音声の切り換えができます。
- 2 ▲・▼で音声を選び、決定 を押す

字幕(言語)を切り換える

1 サブメニュー を押し、▲・▼と 決定 で「字幕」を選ぶ

2 ▲・▼で言語を選び、決定 を押す

※ 字幕言語を切り換えてから表示されるまで時間がかかることがあります。

編集の前に

本機でできる編集について

ハードディスクの編集

	できること	HDD	通常録画用 USB-HDD
編集／ 管理	グループ名変更	○	○
	マイフォルダの変更	○	○
	番組名の変更	○	○
	チャプター分割・チャプター結合・ 全チャプター結合	○	○
	チャプター名の変更	○	○
	チャプター属性変更	○	○
	番組保護／保護解除	○*	○*
HDD の管理	番組全削除	○	○
	USB-HDD名変更	×	○
	番組の削除	○	○

○:できる×:できない

※ 録画モード変換予定の番組は、番組を保護できません。

ご注意

- 以下の場合は、上記の編集はできません。
 - ・ ダビング中
- 録画中に「グループ名変更」、及び、【編集／管理】【HDDの管理】のすべての項目はできません。

ディスクの編集

- 「ディスクの管理」の項目についてくわしくは、[\[ディスクを管理する\]](#) をご覧ください。

できること		BD	DVD
編集／ 管理	タイトル名変更	○	○
	チャプター分割・チャプター結合	○	○
	全チャプター結合	○	○
	チャプター削除	○※1	○※1
	チャプター名の変更	○	○
	番組保護／保護解除	○	○
ディスク の管理	番組全削除	×	×
	初期化	○※2	○※2
	ファイナライズ	○(Rのみ)	○※3
	ディスク名変更	○	○
	ディスク保護／保護解除	○	○
	番組の削除	○	○

○：できる ×：できない

- ※1 チャプター削除を行ってもディスクの空き容量は増えません。
- ※2 BD-RやDVD-Rは、初期化をしていないディスクのみ初期化できます。
- ※3 DVD-RW(VR)のみ、本機でファイナライズしたディスクのファイナライズを解除できます。

ご注意

- 以下の場合は、上記の編集はできません。
 - ・ ディスクが保護されている場合
 - ・ ダビング中
- 再生中、録画中、ダビング中に【ディスクの管理】のすべての項目はできません。

チャプター編集をする

チャプターの分割/統合をする

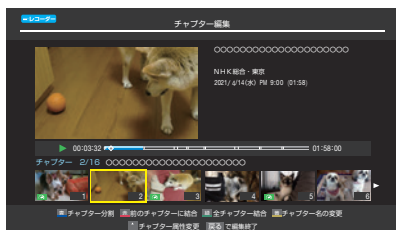
- 録画済番組のチャプターの分割と結合ができます。

1 録画リストを表示させる(同梱取扱説明書「録画した番組を再生する」[29](#) [1](#)~[2](#))

2 チャプター編集をする録画済番組を▲・▼で選ぶ



3 **サブメニュー** を押し、▲・▼と **決定** で「編集・管理」⇒「チャプター編集」の順に進む

- チャプター編集画面が表示されます。



4 各種の再生操作をして、チャプター分割をしたい場面で **一時停止** を押し

- ◀▶ で、前後のチャプターに移動できます。
- **早送り** ・ **早送り** で、コマ送りやスロー再生ができます。

	<ul style="list-style-type: none"> ● 一時停止中に押し続けるとコマ送りができます。 ● 一時停止中に1秒ほど押し続けるとスロー再生になります。スロー再生中に押すたびにスロー再生の速さが変わります(3段階)。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 一時停止中に押し続けると0.5秒ほど戻って一時停止になります。 ● 一時停止中に1秒ほど押し続けると連続コマ戻しになります。

5 青、赤 または 緑 でチャプター編集をする

チャプターを分割する

- 青 を押すと、一時停止した場面でチャプターが分割されます。

チャプターを結合する

- 赤 を押すと、一時停止したチャプターとその前のチャプターが結合されます。
 - 緑 を押すと、全チャプターを結合します。確認画面が表示されるので「はい」を選んで 決定 を押すと、全チャプターが結合されます。
-
- 必要に応じて、手順4と5を繰り返します。

CHAPTER 名前を変更する

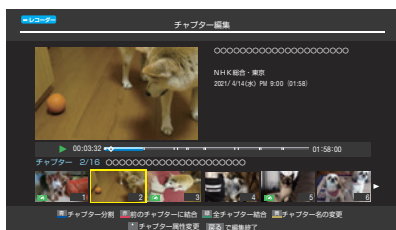
- CHAPTERの名称を変更できます。

1 録画リストを表示させる(同梱取扱説明書「録画した番組を再生する」[29](#) 1~2)

2 CHAPTER名を変更する録画済番組を▲・▼で選ぶ

3 **サブメニュー** を押し、▲・▼と **決定** で「編集・管理」⇒「CHAPTER編集」の順に進む

- CHAPTER編集画面が表示されます。



4 ◀▶で、名称を変更したいCHAPTERを選び、**黄**を押す

- 文字入力画面が表示されます。

5 文字入力画面でCHAPTER名を入力する

- 文字入力の方法は、[「文字を入力する」](#) をご覧ください。

CHAPTERを削除する

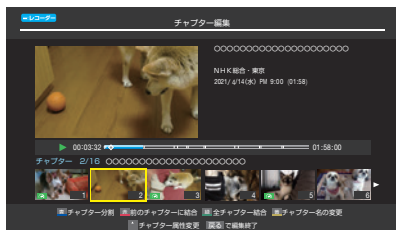
- ディスクに録画された番組のCHAPTERを削除できます。

1 録画リストを表示させる(同梱取扱説明書「録画した番組を再生する」[29](#))

2 CHAPTERを削除する録画番組を▲▼で選ぶ

3 サブメニューを押し、▲▼と決定で「編集・管理」⇒「CHAPTER編集」の順に進む

- CHAPTER編集画面が表示されます。



4 ◀▶で、削除したいCHAPTERを選び、▼を押す

5 ◀▶で、「はい」を選び、決定を押す

- 選択しているCHAPTERが削除されます。

CHAPTERの属性を変更する

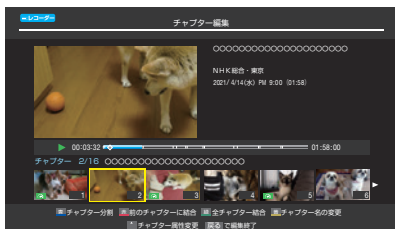
- ハードディスクに録画された番組のCHAPTERの属性を変更できます。

1 録画リストを表示させる(同梱取扱説明書「録画した番組を再生する」[29](#) 1~2)

2 CHAPTER編集をする録画済番組を▲・▼で選ぶ

3 サブメニューを押し、▲・▼と決定で「編集・管理」⇨「CHAPTER編集」の順に進む

- CHAPTER編集画面が表示されます。



4 ◀▶で、属性を変更したいCHAPTERを選び、▲を押す

- CHAPTERの属性選択画面が表示されます。

5 ▲・▼でCHAPTERの属性を選び、決定を押す

6 ▲・▼で「1件変更」または「複数変更」を選び、決定を押す

- 「複数変更」を選ぶと、CHAPTERの選択画面になります。
◀▶と決定で変更したいCHAPTERを選び、黄を押します。

7 確認画面で「はい」を選び、決定を押す

- 属性が「時短」のCHAPTERはCHAPTER一覧で🔄アイコンがつき、らく見再生やらく早見再生のときにCHAPTERが早送りされます。

グループ名を変更する

- 「マイフォルダ別」の録画リストで表示されるグループのタブ名を変更することができます。
- 「連ドラ別」の場合にも同様の操作ができます。その場合は、グループ名を変更すると予約リストの予約番組名も同じ名前に変更されます。
- ハードディスクが複数接続されている場合、機器ごとにグループ名を変更することはできません。
- 番組の録画中にこの操作をすることはできません。

1 「マイフォルダ別」の録画リストを表示させる(同梱取扱説明書「録画した番組を再生する」[29](#)頁 1~2)

- 連ドラグループ名を変更する場合は、「連ドラ別」の録画リストを表示させます。

2 名前を変更するグループのタブを◀▶で選ぶ

例 「わたし」のグループを選択



3 サブメニュー を押し、▲・▼と決定で「編集・管理」⇒「マイフォルダ管理」⇒「マイフォルダ名の変更」の順に進む

- 「連ドラ別」のグループ名を変更する場合は、「編集・管理」⇒「連ドラグループ名の変更」の順に進みます。

4 文字入力画面でグループ名を入力する

- お好みの分類名にすることができます。
- 文字入力の方法は、[「文字を入力する」](#)をご覧ください。
- 全角文字で10文字まで入力できます。
- 文字入力の操作が終わると、録画リストのグループタブ名が変更されます。

例 「わたし」⇒

「まさみのお気に入り」に変更



ほかのグループに移動する

- 録画番組をほかのグループに移動することができます。
たとえば、録画時の設定で「 わたし」に分類した番組を、録画後に「お気に入り2」に移すことができます。
- ※ 録画中は、この操作はできません。
- ※ 保護された録画番組は、移動することはできません。

1 「マイフォルダ別」の録画リストを表示させる(同梱取扱説明書「録画した番組を再生する」[29](#) 1~2)

2 移動する番組が保存されているグループのタブを◀▶で選ぶ

3 移動する番組を▲▼で選ぶ

4 を押し、▲▼と で「編集・管理」⇒「マイフォルダ管理」⇒「マイフォルダの変更」の順に進む

5 ▲▼で以下から選び、 を押す

- 1件変更
選択中の番組を別のグループに移動します。
- 複数変更
複数の番組を選択して、まとめて別のグループに移動します。
- グループ内全変更
選択中のグループの全番組を別のグループに移動します。

6 移動先のグループを▲▼で選び、 を押す

- グループアイコンとグループ一覧(お買い上げ時の設定)

	みんな		わたし		お気に入り1		お気に入り4
	おとうさん		おじいちゃん		お気に入り2		お気に入り5
	おかあさん		おばあちゃん		お気に入り3		お気に入り6
	ぼく		指定しない				

7 「複数変更」の場合は以下の操作をする

1 移動する番組を▲・▼で選び、決定を押す

- 決定を押すたびに、とが交互に切り換わります。移動する番組にをつけます。
- 保護されている番組は移動できません。



2 移動する番組をすべて選んだら 黄を押す

8 確認画面で、◀▶で「はい」を選んで決定を押す

タイトルを変更する

- 録画された番組のタイトルを変更できます。
-
- 1 録画リストを表示させる(同梱取扱説明書「録画した番組を再生する」[\[29頁 1~2\]](#))
 - 2 **サブメニュー** を押し、▲・▼と **決定** で「編集・管理」⇨「タイトル名変更」の順に進む
 - 文字入力画面が表示されます。
 - 3 文字入力画面でタイトルを入力する
 - 文字入力の方法は、[「文字を入力する」](#) をご覧ください。

録画番組の画質を変換する

- 録画モード【DR(4K)】または、【DR】で録画した番組の画質を、録画モード【AVC】に変換できます。録画モード【AVC】で録画した番組は、より低画質の録画モードに変換できます。録画モードを変換すると画質が下がりますが、HDDなどの空き容量を増やすことができます。
- ※ 保護された録画番組は、変換することはできません。
- ※ DR(4K)で録画された複数音声の番組を録画モード変換すると、音声は1つだけになります。
- ※ DR(4K)で録画された字幕付きの番組を録画モード変換すると、字幕なしになります。

1 録画リストを表示させる(同梱取扱説明書「録画した番組を再生する」[29](#) 1~2)

2 変換をする録画済番組を▲・▼で選ぶ





3 **サブメニュー** を押し、▲・▼と **決定** で「録画モード変換」を選ぶ

4 ▲・▼で以下から選び、**決定** を押す

- ・ 1件変換
選択中の番組を変換します。
- ・ 複数変換
複数の番組を選択して、変換します。

5 以下の操作をする

「1件変換」の場合

- 複数音声の番組の場合、どの音声を使用するかを選択画面が表示されます。
- ① 音声を▲・▼で選び、を押す
- ② 変換する録画モードの画質を▲・▼で選び、を押す
 - 録画モードは【AF】、【AN】、【AS】、【AL】、【AE】から選択できます。くわしくは[「録画モードについて」](#) をご覧ください。
- ③ ◀▶で「変換する」または「変換コピーする」を選び、を押す
 - 変換後に元の録画番組を残したい場合は、「変換コピーする」を選びます。
 - ※ ムーブのみの番組を選択している場合は、元の番組を残すことはできません。
- ④ ◀▶で「今すぐ変換」または「後で変換」を選び、を押す
 - 「今すぐ変換」を選ぶと電源待機状態になり、録画モードの変換が始まります。
 - 「後で変換」を選ぶと、録画リストに戻ります。変換する番組の横には、録画モード変換予定のアイコンが表示されません。

「複数変換」の場合

※ 「複数変換」の場合、音声は自動的に「音声1」が選択されます。




1 変換する録画モードの画質を▲・▼で選び、を押す

- 録画モードは【AF】、【AN】、【AS】、【AL】、【AE】から選択できます。くわしくは[「録画モードについて」](#) をご覧ください。

2 ◀▶で「変換する」または「変換コピーする」を選び、を押す

- 変換後に元の録画番組を残したい場合は、「変換コピーする」を選びます。
- ※ ムーブのみの番組を選択している場合は、元の番組を残すことはできません。

3 変換する番組を▲・▼で選び、を押す

- を押すたびに、とが交互に切り換わります。変換する番組にをつけます。
- 保護されている番組は変換できません。
- を押すと、番組をまとめて選択します。を押すと、選択がすべて解除されます。

4 変換する番組をすべて選んだら を押す

- 一度に変換できるのは16番組までです。

5 確認画面で、◀▶で「はい」を選んで を押す

- 録画リストに戻ります。変換する番組の横には、録画モード変換予定のアイコンが表示されます。

変換を中止するときは

- 1 録画リストで変換予定の番組を選ぶ
- 2 **サブメニュー** を押し、▲・▼と **決定** で「録画モード変換解除」を選ぶ
- 3 確認画面で、◀▶で「はい」を選んで **決定** を押す

お知らせ

録画モード変換について

- 録画モード変換は、電源待機の状態で行われます。変換中に電源が「入」になったり、予約録画が始まった場合は変換は中止され、電源待機になると再び開始します。
- 録画モード変換の実行中は、本機前面の「変換」ランプが点灯します。
- 変換する番組を記録しているハードディスクまたはUSBハードディスクの残り録画可能時間よりも長い録画番組は、変換することはできません。

目的別ダビングガイド

- 本機では、以下のようなダビングができます。

本機とUSB-HDD間で録画番組をダビングしたい

▶「[ハードディスク間でムーブする](#)」

本機で録画した番組を東芝レグザサーバー(またはレコーダー)などにダビングしたい

▶「[ネットワーク接続でダビングする](#)」

本機からディスクに録画番組の本編だけをダビングしたい

▶「[録画番組の本編だけダビングする\(おまかせダビング\)](#)」

本機からディスクにチャプターを選んでダビングしたい

▶「[チャプターを選んでダビングする\(チャプター選択ダビング\)](#)」

本機からディスクに複数の番組をダビングしたい

▶「[複数の番組をまとめてダビングする](#)」

ダビング方向一覧

ダビング元		ダビング先メディア
HDD	4K番組	➔ USB-HDD、BD、DVD※
	2K番組 (変換番組含む)	➔ USB-HDD、BD、DVD※、 DTCP-IP対応サーバー

※ DVDへのダビングは、VRフォーマットへの変換ダビングとなります。

録画番組をダビング(ムーブ)する


- 本機のハードディスクやUSBハードディスクに録画した番組を他の機器にダビングすることができます。
- 機器の接続や設定については、[「タイムシフトリンク機能を使う」](#)をご覧ください。
- ハードディスク間のダビングは、ムーブ(移動)だけできます。
- レグザリンクダビングに対応しているDTCP-IP対応サーバーには、番組のコピー制御情報(コピーワンスやダビング10など)に従ってダビングすることができます。
- ※ ダビング中に機器の接続を変更したり、電源プラグをコンセントから抜いたりしないでください。
- ※ ダビング中の番組は再生できません。
- ※ DR(4K)で録画された番組はDTCP-IP対応サーバーへダビングできません。

ハードディスク間でムーブする

- ハードディスク間でダビングを行う場合、そのままダビングする「ダビング」と、録画モードを変換してダビングする「変換ダビング」が選択できます。

1  を押し、▲・▼・◀・▶と  で「ダビング」を選ぶ

2 ダビング元を▲・▼で選び、 を押す

- ダビング元の録画リストが表示された後、ダビング先の選択画面が表示されます。
- 録画リストを表示中に  を押ししても、ダビング先の選択画面を表示できます。

3 ダビング先を▲・▼で選び、 を押す

4 ▲・▼で「ダビング」または「変換ダビング」を選んで  を押す

ダビングを選んだ場合

5 ダビングする番組を▲・▼で選び、決定を押す

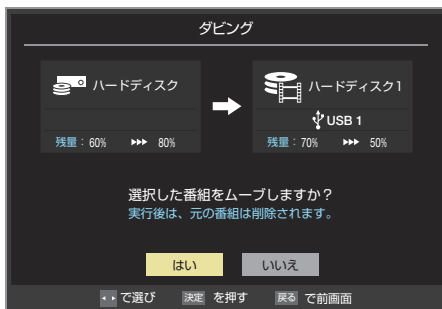
- 決定を押すたびに、とが交互に切り換わり、をつけた番組がダビングされます。
- 保護された番組をダビングする場合は、その番組を選び、青を押して保護を解除してから決定を押します。



6 ダビングする番組をすべて選んだら黄を押す

- 一度にダビングできるのは64番組までです。

7 「ダビング」画面で、◀▶で「はい」を選んで決定を押す

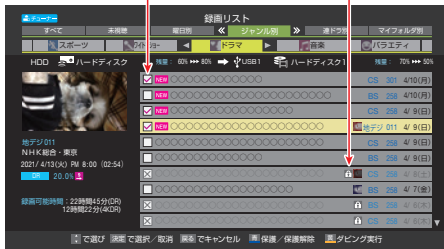


変換ダビングを選んだ場合

5 ダビングする番組を▲・▼で選び、決定を押す

- 決定を押すたびに、☑と☐が交互に切り換わり、☑をつけた番組がダビングされます。
- 変換ダビングでは、2K番組のみ選択できます。選択できない番組はグレーで表示されます。
- 保護された番組をダビングする場合は、その番組を選び、青を押して保護を解除してから決定を押します。

☑をつけた番組がダビングされます 青は保護を解除してから



6 ダビングする番組をすべて選んだら黄を押す

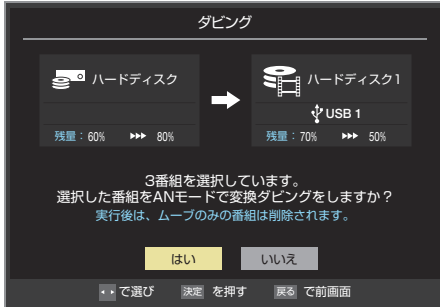
- 一度にダビングできるのは64番組までです。

7 録画モードを▲・▼で選び、決定を押す

- AF > AN > AS > AL > AEの順に画像の品質は高くなりますが、容量は大きくなります。

8 選択した番組に複数音声がある場合、音声を▲・▼で選び、決定を押す

9 「ダビング」画面で、◀▶で「はい」を選んで 決定 を押す



お知らせ

■ 変換ダビングについて

- 実行中は、本機前面の「変換」ランプが点灯します。

ネットワーク接続でダビングする

- LANで接続したレコーダーにネットワーク経由でダビングをすることができます。
レグザリンク・ダビング対応の東芝ブルーレイレコーダーについては同梱取扱説明書「レグザリンク・ダビング対応 東芝ブルーレイレコーダー一覧」[\[65\]](#)をご覧ください
- ※ DR(4K)で録画された番組はダビングできません。ダビングする場合は、録画モードを変換する必要があります。 [▶「録画番組の画質を変換する」](#)
- 番組のコピー制御情報に従ったダビングとなります。

準備

1 本機と東芝レコーダーをLANで接続する

- くわしくは[「ホームネットワークに接続する」](#)をご覧ください。

2 ネットワークの設定を確認する

- くわしくは[「ホームネットワークの設定をする」](#)をご覧ください。

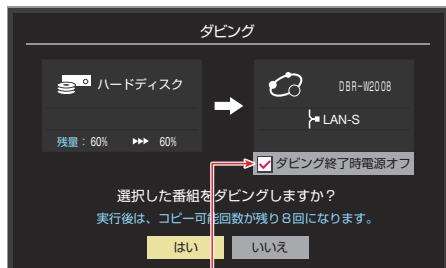
ダビングの操作

- 「ハードディスク間でムーブする」の操作手順と同じです。手順3で、LAN接続したDTCIP-IP対応の東芝レコーダーをダビング先に指定します。



※ 使用する機器が「ダビング先指定」の画面(1台だけの場合は「ダビング」の画面)に表示されない場合は、接続や設定を確認します。

- 手順6の「ダビング」画面で、必要に応じて▲▼◀▶で「ダビング終了時電源オフ」を選び、**決定**を押して✓をつけます(この機能に対応しているレコーダーだけ)。



ダビング終了後にレコーダーの電源を切るには、をつける

録画番組をSeeQVault™形式にする

- 次の手順によって本機で録画した番組をSeeQVault™形式に変換することができます。
- ※ SeeQVault™形式で直接録画はできません。ダビング処理でSeeQVault™形式に変換してください。
- ※ DR (4K)で録画された番組はSeeQVault™形式に変換できません。

SeeQVault™形式に変換してUSBハードディスクにダビングする

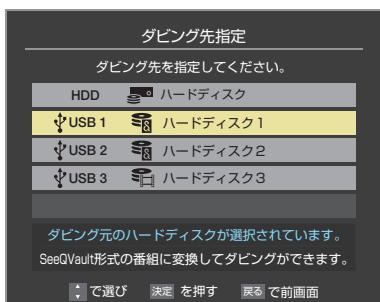
- 録画した番組を、SeeQVault™形式に変換してダビングすると、他の東芝のSeeQVault™対応のレグザやレコーダーで再生できます。

1 **メニュー** を押し、▲・▼・◀・▶と **決定** で「ダビング」を選ぶ

2 ダビング元を▲・▼で選び、**決定** を押す

- ダビング元の録画リストが表示された後、ダビング先の選択画面が表示されます。

3 ダビング先でSeeQVault™対応のUSBハードディスクを▲・▼で選び、**決定** を押す

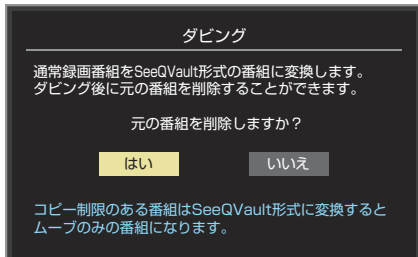


- ダビング元がSeeQVault™対応USBハードディスクの場合は、ダビング先をダビング元と同一にすることもできます。

4 ▲・▼で「ダビング」を選んで **決定** を押す

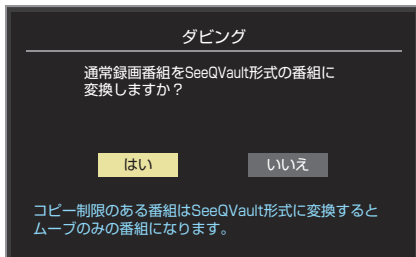
ダビング先がダビング元と同一のとき

- 番組はSeeQVault™形式に変換されます。ダビング後に元の番組を削除するかどうか選択します。



ダビング先がダビング元と異なるUSBハードディスクのとき

- 1 ◀▶で「はい」を選び、決定を押す

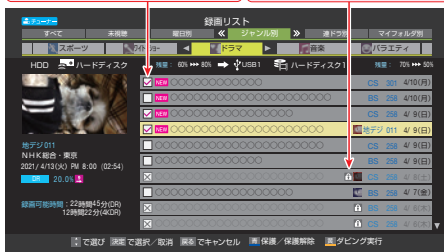


- 「いいえ」を選ぶと、SeeQVault™形式に変換せずに通常のダビングになります。

5 ダビングする番組を▲▼で選び、決定を押す

- 決定を押すたびに、☑と☐が交互に切り換わり、☑をつけた番組がダビングされます。
- 保護された番組をダビングする場合は、その番組を選び、青を押して保護を解除してから決定を押します。

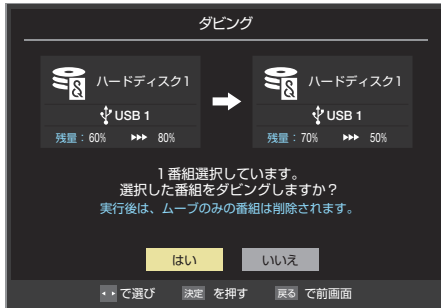
☑をつけた番組がダビングされます | 青は保護を解除してから



6 ダビングする番組をすべて選んだら **黄** を押す

- 一度にダビングできるのは64番組までです。

7 「ダビング」画面で、◀▶で「はい」を選んで **決定** を押す



ディスクに保存する

- 本機のハードディスクやUSBハードディスクに録画した番組をディスクにダビングすることができます。
- ※ 録画可能なディスクをディスクトレイに準備しておきます。

録画番組の本編だけダビングする(おまかせダビング)

- おまかせダビングでは、選択した録画番組の本編のみをダビングできます。
- 番組のコピー制御情報に従ったダビングとなります。
- ※ コピープロテクション情報が複数含まれる4K番組は、ディスクへダビングすることができません。
- DVDにダビングする場合については、[\[VRフォーマットのDVDへダビングする\]](#) をご覧ください。

1  を押し、▲・▼・◀・▶と  で「ダビング」を選ぶ

2 ダビング元を▲・▼で選び、 を押し

- ダビング元の録画リストが表示された後、ダビング先の選択画面が表示されます。

3 ▲・▼で「BD」を選び、 を押し

4 ▲・▼で「おまかせダビング」を選んで  を押し

5 ダビングする番組を▲▼で選び、決定を押す

- 決定を押すたびに、とが交互に切り換わり、をつけた番組がダビングされます。
- 保護された番組をダビングする場合は、その番組を選び、青を押して保護を解除してから決定を押します。

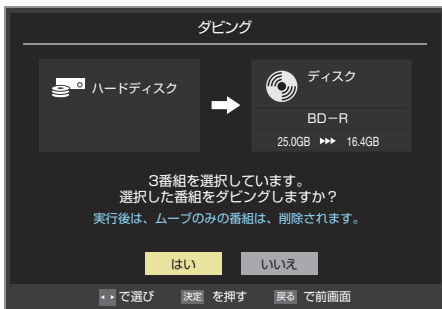
をつけた番組がダビングされます は青で解除してから



6 ダビングする番組をすべて選んだら黄を押す

- 一度にダビングできるのは64番組までです。

7 「ダビング」画面で、◀▶で「はい」を選んで決定を押す



- ファイナライズに対応しているディスクの場合、「ファイナライズ確認」画面が表示されます。「はい」を選んで決定を押すと、ダビング終了後にディスクがファイナライズされます。

チャプターを選んでダビングする(チャプター選択ダビング)

- 録画番組のうち、選択したチャプターだけをディスクに保存できます。
- ※ コピープロテクション情報が複数含まれる4K番組は、ディスクへダビングすることができません。
- DVDにダビングする場合については、[「VRフォーマットのDVDへダビングする」](#)をご覧ください

1 **スタートメニュー** を押し、▲・▼・◀・▶と**決定**で「ダビング」を選ぶ

2 ダビング元を▲・▼で選び、**決定**を押す

- ダビング元の録画リストが表示された後、ダビング先の選択画面が表示されます。

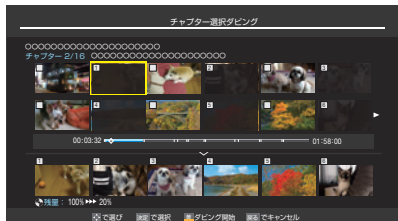
3 ▲・▼で「BD」を選び、**決定**を押す

4 ▲・▼で「チャプター選択ダビング」を選んで**決定**を押す

5 ダビングする番組を▲・▼で選び、**決定**を押す

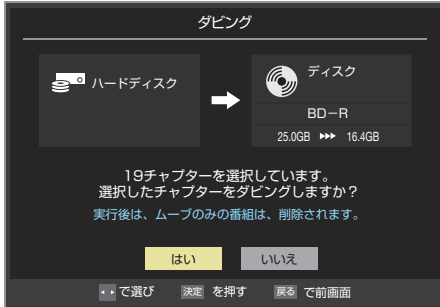
- 保護された番組をダビングする場合は、その番組を選び、**青**を押して保護を解除してから**決定**を押します。

6 ▲・▼・◀・▶でダビングするチャプターを選び、**決定**を押す



- ダビングするチャプターをすべて選んだら**黄**を押します

7 「ダビング」画面で、◀▶で「はい」を選んで決定を押す



- ファイナライズに対応しているディスクの場合、「ファイナライズ確認」画面が表示されます。「はい」を選んで決定を押すと、ダビング終了後にディスクがファイナライズされます。

複数の番組をまとめてダビングする

- 複数の録画番組をまとめてディスクに保存できます。
- ※ コピープロテクション情報が複数含まれる4K番組は、ディスクへダビングすることができません。
- DVDにダビングする場合については、[\[VRフォーマットのDVDへダビングする\]](#) をご覧ください

1 **スタートメニュー** を押し、▲・▼・◀・▶と **決定** で「ダビング」を選ぶ

2 ダビング元を▲・▼で選び、**決定** を押す

- ダビング元の録画リストが表示された後、ダビング先の選択画面が表示されます。

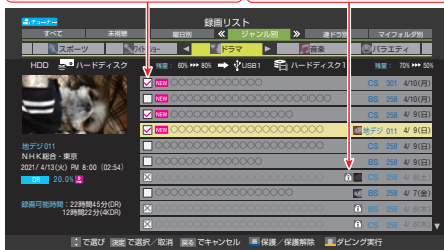
3 ▲・▼で「BD」を選び、**決定** を押す

4 ▲・▼で「ダビング」を選んで **決定** を押す

5 ダビングする番組を▲・▼で選び、**決定** を押す

- **決定** を押すたびに、 と が交互に切り換わり、 をつけた番組がダビングされます。
- 保護された番組をダビングする場合は、その番組を選び、**青** を押して保護を解除してから **決定** を押します。

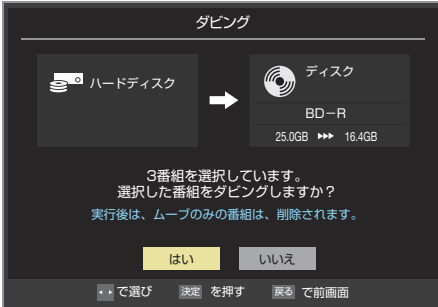
をつけた番組がダビングされます は **青** で解除してから



6 ダビングする番組をすべて選んだら **黄** を押す

- 一度にダビングできるのは64番組までです。

7 「ダビング」画面で、◀▶で「はい」を選んで 決定 を押す



- ファイナライズに対応しているディスクの場合、「ファイナライズ確認」画面が表示されます。「はい」を選んで 決定 を押すと、ダビング終了後にディスクがファイナライズされます。

VRフォーマットのDVDへダビングする

- 画質を変換して、VRフォーマットのDVDに録画番組を保存できます。
- ※ コピープロテクション情報が複数含まれる番組は、ディスクへダビングすることができません。

1  を押し、▲・▼・◀・▶と  で「ダビング」を選ぶ

2 ダビング元を▲・▼で選び、 を押し

- ダビング元の録画リストが表示された後、ダビング先の選択画面が表示されます。

3 ▲・▼で「BD」を選び、 を押し

4 ▲・▼で「ダビング」、「おまかせダビング」または「チャプター選択ダビング」を選んで  を押し

5 録画モードを▲・▼で選び、 を押し

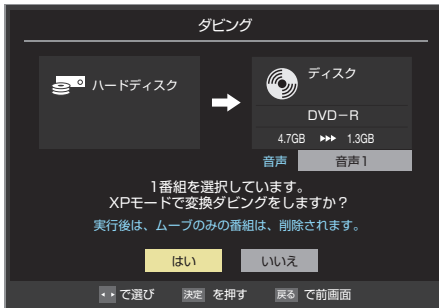
- 自動：ディスクの容量に合わせて録画モードを自動的に調節します
- XP： 1時間モード
- SP： 2時間モード
- LP： 4時間モード
- EP： 6時間/8時間モード
- ※ EPは、「ディスク設定」の「EPモード」の設定によって変わります。

7 ダビングする番組を選択する

- 番組の選択は「録画番組の本編だけダビングする」、「チャプターを選んでダビングする」、「複数の番組をまとめてダビングする」の手順と同じです。

8 「ダビング」画面で、◀▶で「はい」を選んで決定を押す

- 複数の音声がある録画番組を1つだけダビングする場合、▲▼◀▶と決定でダビングする音声を選択できます。



- 「ファイナライズ確認」画面が表示されます。「はい」を選んで決定を押すと、ダビング終了後にディスクがファイナライズされます。

テレビから本機へダビングする (レグザリンク・ダビング)

- レグザリンク・ダビング機能を使うことで、対応する東芝テレビ「REGZA」に録画した映像を、本機のHDD / USB-HDDやディスクなどにダビングできます。
- 対応する東芝テレビ「REGZA」については、当社ホームページからレグザリンク総合ナビページをご覧ください。

<https://www.regza.com/regza/>

(操作については、それぞれに付属の取扱説明書をお読みください。)

レグザリンク・ダビングの準備をする

- あらかじめ本機とテレビをネットワークでつなぎ、接続と設定をおこなっておきます。くわしくは[「レグザリンクダビングの接続・設定をする」](#)をご覧ください。

テレビから本機へダビングする

1 テレビから本機へダビング開始の操作をする

- テレビ画面にはダビングしている映像は表示されません。

以下に示すのは、東芝テレビ「REGZA」からのレグザリンク・ダビング方法の一例です。くわしくはご使用の東芝テレビ「REGZA」に付属の取扱説明書をお読みください。

- 1 テレビの録画リストを表示する
- 2 ダビングする番組を選ぶ
- 3 ダビング先として、本機を指定する

例) LAN-S DBR-4KZ600

ダビング先のメディアとして、HDDが選択できます。

- 4 ダビングを開始する

ダビングについての補足説明

ダビングする番組(コンテンツ)のダビング制限による動作の違いについて

制限なしに録画可能番組について

- ダビングする場合は「コピー」となり、ダビング後も元の番組はそのまま残ります。
- デジタル放送の場合は、一部の番組をのぞき、ほとんどの番組がコピーワンス(1回だけ録画可能)番組またはダビング10(コピー9回+移動1回)番組となります。

デジタル放送のコピーワンス番組について

- ダビングする場合は「ムーブ」となり、ダビング後に元の番組が録画リストまたはプレイリストから削除されます。

デジタル放送のダビング10番組について

- ダビングする場合は、9回目までは「コピー」となり、ダビング後も元の番組はそのまま残ります。
- 10回目は「ムーブ」となり、ダビング後に元の番組が録画リストまたはプレイリストから削除されます。
- HDDと通常録画用USB-HDD間のダビングにおいて、9回目まではダビング時にコピーもしくはムーブが選択可能です。
- ダビングすると、ダビング先の番組はコピーワンス番組となります。

「コピー」と「ムーブ」について

コピーワンス(1回だけ録画可能)番組やダビング10(コピー9回+移動1回)番組をダビングすると、ダビング元番組の状態が変わります。

コピーの場合：

ダビング元の番組は残り、コピー回数が減ります。

ムーブの場合：

ダビング元の番組は残りません。

ダビングすると「ムーブ」になる部分を含んでいる番組について

- コピーワンス部分を一部でも含んでいる番組をダビングする場合は、「ムーブ」になります。

デジタル放送のコピー制限について

コピーワンス番組

著作権保護・違法コピー防止のため、1回だけ録画することが許可されているデジタル放送の番組のことです。

コピーワンス番組をダビングすると、ダビング元(オリジナル)の録画内容が「ムーブ」されて、ダビング元の録画内容は消去されます。

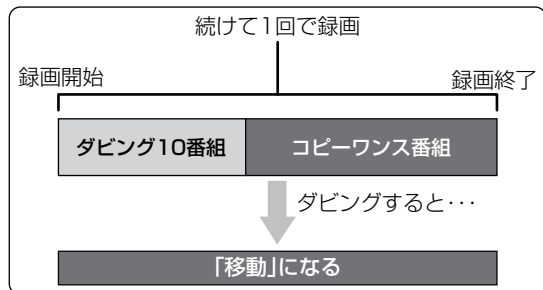
ダビング10

著作権保護・違法コピー防止のため、10回までダビングすることが許可されているデジタル放送の番組のことです。

ダビング10番組をダビングすると、9回目までは「コピー」、10回目は「ムーブ」となります。

- ダビング10または制限なしに録画可能番組と、コピーワンス番組を続けて1回で録画した場合は、録画の開始から終了までがコピーワンス番組になります。

その番組は、ディスクへのダビングはできなくなります。また、HDDへダビングする場合は、「ムーブ」になります。



CPRM

Content Protection for Recordable Mediaの略で、コピーワンス番組に対する著作権保護技術です。

デジタル放送のコピーワンス番組やダビング10(コピー9回+移動1回)番組をDVDに記録するときは、CPRM対応のディスクを使います。

Cinavia™

Cinaviaの通告

この製品はCinavia技術を利用して、商用制作された映画や動画およびそのサウンドトラックのうちいくつかの無許可コピーの利用を制限しています。

無許可コピーの無断利用が検知されると、メッセージが表示され再生あるいはコピーが中断されます。

Cinavia技術に関する詳細情報は、

<http://www.cinavia.com> のCinaviaオンラインお客様情報センターで提供されています。

Cinaviaについての追加情報を郵送でお求めの場合は、Cinavia Consumer Information Center, P.O. Box 86851, San Diego, CA, 92138, USAまではがきを郵送してください。

この製品はVerance Corporation (ベランス・コーポレーション)のライセンス下にある占有技術を含んでおり、その技術の一部の特徴は米国特許第7,369,677号など、取得済みあるいは申請中の米国および全世界の特許や、著作権および企業秘密保護により保護されています。CinaviaはVerance Corporationの商標です。

Copyright 2004-2014 Verance Corporation. すべての権利はVeranceが保有しています。リバース・エンジニアリングあるいは逆アセンブルは禁じられています。

ダビング全般について

ダビングするときのチャプター

- ダビングするときには、チャプター情報も引き継ぎます。ただし、ディスクのチャプター上限値に達した場合はチャプター情報を引き継がない場合があります。
ディスクによるチャプター数の上限は同梱取扱説明書「最大記録可能数／登録数／文字数について」[\[64\]](#)をご覧ください。
- ダビング先のチャプター分割位置は、多少ずれる場合があります。

ダビング中に電源をオフにすると…

- 電源「待機」状態でダビングを続けます。(電源ランプ(橙)が点灯します。)

予約録画が近いと…

- ダビングするとき、予約録画の開始時刻が近いとダビングを途中で停止することがあります。

実行中のダビングを中止したり、ダビング中に停電したりしたときは

ダビング元

- ダビング元の番組はそのまま残ります。

ダビング先

- メディアによって、動作が異なります。

メディア	動作
HDD	ダビングされません。
USB-HDD	
BD-RE	
DVD-RW(VR)	
BD-R	ダビングを中止したところまで録画され、その分だけディスクの残量時間が減りますが、ダビングを中止した番組は再生できません。
DVD-R(VR)	

不要な録画番組を消す／ 誤って消さないように保護する

- 見終わった録画番組などを消したり、消さないように保護したりする場合は、録画リストの表示中に以下の操作をします。

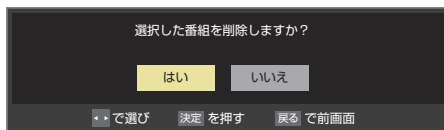
一つの録画番組を消す

1 消す番組を▲・▼で選び、**赤** (削除)を押す

- 保護されている録画番組を消す場合は、保護を解除([「誤って消さないように保護する」](#)を)してから **赤** を押してください。

2 ▲・▼で「1件削除」を選び、**決定**を押す

3 確認画面で、◀▶で「はい」を選んで **決定** を押す



4 削除が終了したら、**決定**を押す

複数の録画番組を消す

1 消す番組のどれかを▲・▼で選び、**赤** (削除)を押す

2 ▲・▼で「複数削除」を選び、**決定**を押す

3 消す番組を▲・▼で選び、**決定**を押す

- **決定**を押すたびに、とが交互に切り換わります。削除する番組にをつけます。
- 保護された番組を消す場合は、その番組を選び、**青**を押して保護を解除してから**決定**を押します。

をつけた番組が削除されます **青**は**青**で解除してから



4 選択が終わったら **赤** (削除実行)を押す

5 確認画面で、◀▶で「はい」を選んで**決定**を押す

6 削除が終了したら、**決定**を押す

グループ内の録画番組をすべて消す

1 まとめて消すグループの録画リストを表示させる

- 同梱取扱説明書「録画した番組を再生する」[29](#)の手順2をご覧ください。

2 (削除) を押し、▲・▼で「グループ内全削除」を選び、 を押す

3 確認画面で、◀・▶で「はい」を選んで を押す

4 削除が終了したら、 を押す

ハードディスク内の録画番組をすべて消す

※ 番組全削除をすると、保護されている番組を含めたすべての番組が消去されます。

ハードディスクの場合

- 1 **スタートメニュー** を押し、▲・▼・◀・▶ と **決定** で「設定」⇨「本体設定」⇨「録画・再生設定」⇨「ハードディスク設定」⇨「番組全削除」の順に進む
- 2 番組全削除の確認画面で、◀・▶ で「はい」を選んで **決定** を押す
- 3 終了の画面で **決定** を押す

USBハードディスクの場合

- 1 **スタートメニュー** を押し、▲・▼・◀・▶ と **決定** で「設定」⇨「本体設定」⇨「録画・再生設定」⇨「USBハードディスク設定」⇨「番組全削除」の順に進む
- 2 番組全削除する機器を ▲・▼ で選び、**決定** を押す
- 3 番組全削除の確認画面で、◀・▶ で「はい」を選んで **決定** を押す
- 4 終了の画面で **決定** を押す

誤って消さないように保護する

- 誤って消してしまったりしないように、録画番組を保護することができます。
- ※ 録画中にこの操作はできません。

1 保護する番組を▲・▼で選び、を押す

2 ▲・▼で「保護」を選び、を押す

- 選択した番組が保護されます。(🔒がつきます。)
- 保護されている番組を選択してサブメニューを表示させると、「保護解除」ができます。

ディスクの番組を削除する

- ディスクに録画された番組を削除することができます。
- ※ ファイナライズされたBD-R、DVD-RWまたはDVD-Rでは、番組の削除はできません。

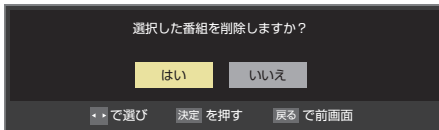
1件の番組を消す

1 消す番組を▲・▼で選び、**赤** (削除)を押す

- 保護されている録画番組を消す場合は、保護を解除(「[誤って消さないように保護する](#)」[»](#))してから **赤** を押してください。

2 ▲・▼で「1件削除」を選び、**決定**を押す

3 確認画面で、◀▶で「はい」を選んで**決定**を押す



4 削除が終了したら、**決定**を押す

複数の番組を消す

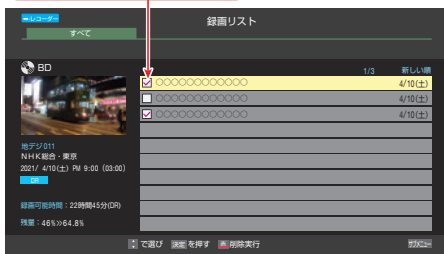
1 消す番組のどれかを▲・▼で選び、**赤** (削除)を押す

2 ▲・▼で「複数削除」を選び、**決定**を押す

3 消す番組を▲・▼で選び、**決定**を押す

- **決定**を押すたびに、とが交互に切り換わります。削除する番組にをつけます。

をつけた番組が削除されます



4 選択が終わったら **赤** (削除実行)を押す

5 確認画面で、◀▶で「はい」を選んで**決定**を押す

6 削除が終了したら、**決定**を押す

USBハードディスクを増設する

- 本機に接続したUSBハードディスクで以下のことができます。

できること
本機で受信したテレビ放送番組の録画、録画予約 同梱取扱説明書「見ている番組を録画する」 26 ㉞、 同梱取扱説明書「見ている番組を録画する」 28 ㉞
録画番組の再生、ムーブ 同梱取扱説明書「録画した番組を再生する」 29 ㉞、 ▶「録画番組をダビング(ムーブ)する」
タイムシフトマシン録画 ▶「タイムシフトマシン機能を使う」

- 本機に接続したUSBハードディスクは、「通常録画／タイムシフト録画用USB端子設定」で通常録画用とタイムシフトマシン録画用を切り換えて使用します。
通常録画用として使用する場合は[「USBハードディスクの設定をする」](#) ▶を、タイムシフトマシン録画用として使用する場合は[「タイムシフトマシン録画用USBハードディスクの設定をする」](#) ▶をご覧ください。

ご注意

● USBハードディスクについて

USBハードディスクは精密機器であり、使用環境などによっては数年で故障する可能性があります。

本機に接続したUSBハードディスクに録画した内容は長期保存として使用しないでください。一時的な保存・再生機能としてご使用ください。

● パソコンやテレビ、他の録画機器などで使用していたUSBハードディスクを本機に接続して登録すると、それまでに保存されていたデータや録画番組などはすべて消去されます。

● 本機で使用していたUSBハードディスクをパソコンで使用するには、パソコンで初期化する必要があります。その際に、本機で録画した番組はすべて消去されます。

● 本機に接続したUSBハードディスクを取りはずす場合は、未登録の機器を含めて「USBハードディスクの設定をする」の「[機器の取りはずし](#)」の手順で操作してください。

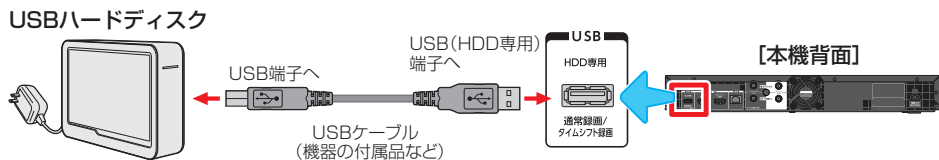
● USBハードディスクの動作中は、USBハードディスクの電源を切ったり、接続ケーブルを抜いたりしないでください。録画した番組が消えたり、USBハードディスクが故障したりする原因となります。

● 本機背面のUSB端子にUSBバスパワー方式の機器を接続して使用すると、USBハードディスクでの録画動作に障害を与えることがあります。また、USB端子から電源供給を受けるバスパワー型の場合は、動作保証ができません。

● USBハードディスクやUSBハブは専用のACアダプターを接続してご使用ください。本機で接続確認済の機器でもACアダプターを接続しない場合は動作保証できません。

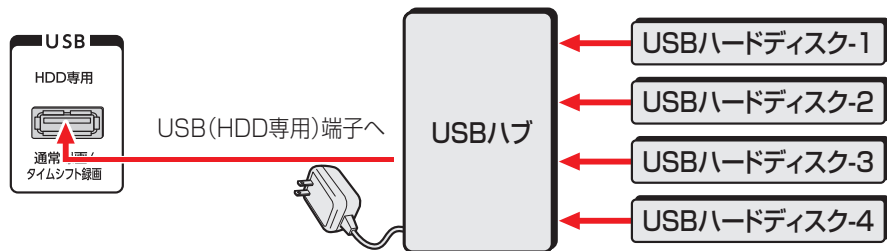
USBハードディスクが1台のとき

- USBハードディスクは、USB (HDD専用) 端子に接続します。



USBハードディスクが複数台のとき

- USBハブを使用すれば、複数のUSBハードディスクを接続することができます。
- ※ 7台までのUSBハードディスクを本機に登録できます。ただし、同時に接続できるのは4台までです。



ご注意

- タイムシフトマシン録画用USBハードディスクを接続して使用する時はUSBハブを介さずにレコーダーと直接接続して下さい。

お願い

- 複数の未登録USBハードディスクを接続した状態で本機の電源を入ると、不特定の順番で登録が始まります。
USBハードディスクの登録名や接続場所などを特定しやすくするために、1台ずつ接続して登録の処理が終わったら次のUSBハードディスクを接続するようにしてください。
- 登録の手順については、「USBハードディスクを本機に登録する」をご覧ください。
- 2.4GHz帯の無線LANルーター（アクセスポイント）をお使いの場合は、USB3.0対応のUSBハードディスクを使用すると、無線LAN通信が途切れることがありますので、USBハードディスク、USBハブおよびUSBケーブルは本機の上には設置せず、本機前面の無線LANアンテナ部からできるだけ離して配置してください。

お知らせ

- 複数台のUSBハブを経由して本機にUSBハードディスクを接続することはできません。
- 本機で接続確認済のUSBハードディスクとUSBハブについては、ホームページ(https://www.regza.com/regza/bd_dvd/cs/)をご覧ください。
- 接続確認済機器でも、すべての動作を保証するものではありません。

USBハードディスクの設定をする

- USB端子に接続したUSBハードディスクは、通常録画用とタイムシフトマシン録画用を切り換えて使用します。
接続したUSBハードディスクをタイムシフトマシン録画用として使用する場合は、[「タイムシフトマシン録画用USBハードディスクの設定をする」](#)をご覧ください。

USBハードディスクを本機に登録する

- 接続したUSBハードディスクを通常録画に使用する場合は、「USBハードディスク設定」で、通常録画用にUSBハードディスクを登録する必要があります。

- 1 **スタートメニュー** を押し、▲・▼・◀・▶ と **決定** で「設定」⇨「録画・再生設定」⇨「USBハードディスク設定」⇨「通常録画／タイムシフトマシン録画用USB端子設定」の順に進む

ご注意

- お買い上げ時の設定(工場出荷設定)では、USB端子は「通常録画用」に設定されています。
- すでにUSBハードディスクをタイムシフトマシン録画用にお使いの場合は、USBハードディスクを取り外してから設定を行う必要があります。

スタートメニュー を押し、「設定」⇨「タイムシフトマシン設定」⇨「タイムシフトマシン録画」の設定を「しない」にしておきます。

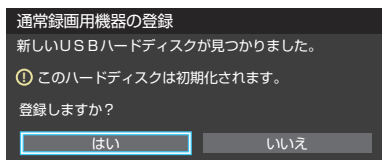
その後、「設定」⇨「本体設定」⇨「タイムシフトマシン設定」⇨「USBハードディスク設定」⇨「機器の取り外し」の順に進み、タイムシフト用のUSBハードディスクを取り外してください。

2 ▲・▼で「通常録画用」を選んで を押す

- 録画用USB端子に接続したUSBハードディスクが、通常録画に使用できます。
- 本機が未登録のUSBハードディスクを検出すると、「通常録画用機器の登録」の画面が表示されます。以下の手順で本機に登録します。

3 ◀▶で「はい」を選んで を押す

- 登録しないときは「いいえ」を選びます。




※ 「いいえ」を選んだ場合、そのUSBハードディスクは「通常録画用機器の登録」の画面で「未登録」となります。「未登録」のUSBハードディスクを登録する場合は、次ページの「USBハードディスクの設定をする」で「通常録画用機器の登録」の操作をしてください。

4 初期化の確認画面で、◀▶で「はい」を選んで を押す

- 登録の処理が始まり、終わると次の手順の画面が表示されます。

5 登録名を変更する場合は、◀▶で「はい」を選んで を押す

- 表示された登録名のままでよければ「いいえ」を選びます。
- 「はい」を選んだ場合は、文字入力画面が表示されます。登録名を入力して、 を押します。
- 文字入力の方法は、[「文字を入力する」](#) をご覧ください。
- ー(スペース)だけの名称は登録できません。

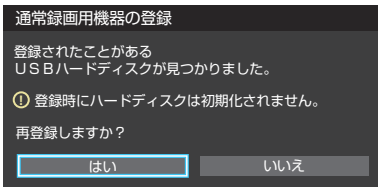
6 登録したUSBハードディスクを録画機器にする場合は、◀▶で「はい」を選んで決定を押す

- 録画や予約などでの録画機器の初期候補が、今登録したUSBハードディスクになります。
- ※ 録画機器は、録画や予約の際に変更することもできます。
- 決定を押したあと、説明画面が表示された場合は、画面の説明を読んでから決定を押します。

7 登録結果の内容を確認し、終了を押す

使用履歴のあるUSBハードディスクを接続したとき

- 本機に登録して使用し、登録を解除したUSBハードディスクを接続した場合、以下の確認画面が表示されます。



- 「はい」を選んで決定を押すと登録の処理が始まり、終わると登録機器のリスト画面が表示されます。

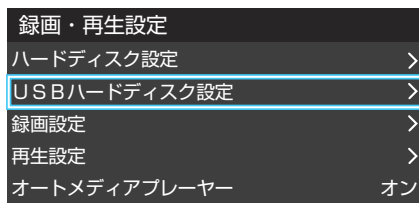
※ 再登録の場合、ハードディスクは初期化されません。

修理などで、本機内部のハードディスク登録情報記憶部が含まれる部分を交換した場合や、本機を交換した場合は、それまでに使用していたハードディスクは未登録(新しいハードディスク)として認識され、初期化して使用することになります。初期化の際に録画内容はすべて消去されます。

USBハードディスクの設定をする

- USBハードディスクを使用する場合は、必要に応じて以下の設定をします。

- 1 **マイメニュー** を押し、▲・▼・◀・▶ と **決定** で「設定」⇒「本体設定」⇒「録画・再生設定」⇒「USBハードディスク設定」の順に進む



- 2 設定する項目を▲・▼で選んで **決定** を押し、以降の手順で設定する

機器の登録

- リストに「未登録」と表示されているUSBハードディスクを登録したり、機器の登録名を変更したり、登録を解除したりすることができます。
- ※登録できるのは7台までです。
- ※USBハードディスクによっては、機器の登録画面でモデル名が正しく表示されないことがあります。

機器を登録するとき

- ※ はじめて登録するときには、USBハードディスクに保存されている内容はすべて消去されます。

- 1 登録する機器を▲・▼で選び、**決定** を押し
- 2 登録の確認画面で、◀・▶で「はい」を選んで **決定** を押し
- 3 初期化の確認画面で、◀・▶で「はい」を選んで **決定** を押し
 - ・ 初期化と登録の処理が始まります。
- 4 終わったら、登録結果の内容を確認し、**決定** を押し

登録名を変更するとき

- 1 登録名を変更する機器を▲・▼で選び、**決定**を押す
- 2 ◀▶で「はい」を選び、**決定**を押す
- 3 文字入力画面で登録名を入力する
 - 文字入力の方法は、[「文字を入力する」](#)をご覧ください。

登録を解除するとき

- 1 登録を解除する機器を▲・▼で選び、**赤**を押す
- 2 ◀▶で「はい」を選び、**決定**を押す
 - 録画予約が設定されているUSBハードディスクの登録を解除するときは、以下の画面が表示されます。
 - 他の登録済USBハードディスクが接続されているとき
録画先の変更を促すメッセージ付の登録解除画面が表示されます。
 - 他の登録済USBハードディスクが接続されていないとき
再登録を促すメッセージ付の登録解除確認画面が表示されます。

省エネ設定

- 複数のUSBハードディスクに対して個別に設定を変えることはできません。
- ※ 「省エネモード」に設定した場合、USBハードディスクが動作するまでに時間がかかることがあります。「ハードディスクがありません。」や、録画可能時間が「ー時間ー分」と表示されるような場合は、少し待ってから操作してください。
- ※ USBハードディスクによっては、機器の表示ランプが「待機」と「入」の状態を正しく示さないことがあります。
- ※ USBハードディスクによっては、「オフ」に設定していても、USBハードディスク側の省エネ機能によって、待機状態になることがあります。
- ※ 本機の電源が「切」または「待機」のときでも、「自動スキャン」や「番組情報の取得」が内部で動作している場合には、USBハードディスクの電源が「入」になることがあります。
- ※ USBハブを使用している場合、本機の電源が「切」または「待機」のときでも、USBハブからの電源供給によって、USBハードディスクの電源が「入」になることがあります。

1 ▲・▼で以下から選び、を押す

● オン

USBハードディスクの電源は、使用しない状態がしばらく続くと待機状態になり、使う操作をすると自動的に「入」になります。

● オフ

本機の電源が「入」のとき、USBハードディスクの電源は常時「入」の状態です。

機器の取りはずし

- USBハードディスクの電源を切ったり、接続ケーブルを抜いたりするときには、その前にこの操作をします。

① 取りはずす機器を▲▼で選び、**決定**を押す

② 確認画面で、◀▶で「はい」を選んで**決定**を押す

- 停止の処理が始まり、終了すると「USBハードディスクを取りはずしできます。」のメッセージが表示されます。

③ USBハードディスクを取りはずし、**決定**を押す

動作テスト

- USBハードディスクで以下の動作ができるかテストします。

① テストする機器を▲▼で選び、**決定**を押す

- テストが始まります。終了までに数分間かかります。
- テストが終わると結果が表示されます。テスト結果が「OK」となった動作ができます。
 - 録画
 - 4Kの録画ができるか
 - 録画中の再生
 - 4Kの録画をしながら番組再生ができるか
 - 録画中の早見早聞
 - 4Kの録画中にハイビジョン番組の**早見早聞**ができるか、
 - 4Kの録画中に4K番組の再生ができるか

- ※ テスト結果は目安です。結果どおりの動作にならないことがあります。

SeeQVault™対応の USBハードディスクを接続する

- 本機で録画した番組をSeeQVault™対応のUSBハードディスクなどにSeeQVault™形式で保存すると、他の東芝のSeeQVault™対応のレグザやレコーダーやPCで再生することができます。また、東芝のSeeQVault™対応のレグザやレコーダーで録画した番組を、SeeQVault™対応のUSBハードディスクなどにSeeQVault™形式で保存すると、本機で再生することができます。
- 本機で接続確認済のSeeQVault™対応のUSBハードディスクについては、ホームページ (https://www.regza.com/regza/bd_dvd/cs/) をご覧ください。
- 接続確認済機器でも、すべての動作を保証するものではありません。

ご注意

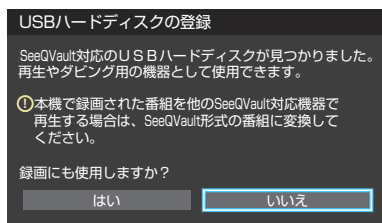
- 本機で番組を保存したSeeQVault™対応のUSBハードディスクなどは、他社のSeeQVault™対応機器で使用した場合、動作の保証はできません。
- 他社製品で番組を保存したSeeQVault™対応のUSBハードディスクなどは、本機で使用した場合、動作の保証はできません。

USBハードディスクを接続して登録する

- USB (HDD専用)端子に接続します。
- 本機が未登録のUSBハードディスクを検出すると、「機器の登録」の画面が表示されます。以下の手順で本機に登録します。
- 本機とUSBハードディスクの接続のしかたは、[「USBハードディスクを増設する」](#)と同じです。

1 ◀▶で「はい」を選んで を押す

- 録画しないときは「いいえ」を選びます。



- ※ 「いいえ」を選んだ場合、そのUSBハードディスクは「機器の登録」の画面で「未登録」となり、再生はできますが、録画はできません。「未登録」のUSBハードディスクを登録する場合は、[「USBハードディスクの設定をする」](#)をご覧ください。「機器の登録」の操作をしてください。

2 初期化の確認画面で◀▶で「はい」を選んで を押す

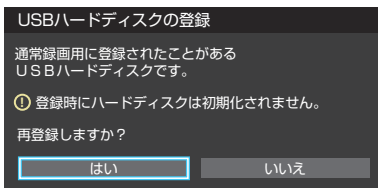
- 登録の処理が始まり、終わると次の手順の画面が表示されます。
- 初期化によって、他の東芝のSeeQVault™対応のレグザやレコーダーから保存されているSeeQVault™形式の番組が削除されることはありません。ただし、保存されているSeeQVault™形式以外の番組はすべて削除されます。

- 3 登録名を変更する場合は、◀▶で「はい」を選んで **決定** を押す**
- 表示された登録名のままでよければ「いいえ」を選びます。
 - 「はい」を選んだ場合は、文字入力画面が表示されます。登録名を入力して、**決定** を押します。
 - 文字入力の方法は、[「文字を入力する」](#) » をご覧ください。
 - ー(スペース)だけの名称は登録できません。

- 4 登録したUSBハードディスクを録画機器にする場合は、◀▶で「はい」を選んで **決定** を押す**
- 録画や予約などでの録画機器の初期候補が、登録したUSBハードディスクになります。
 - ※ 録画機器は、録画や予約の際に変更することもできます。
 - **決定** を押したあと、説明画面が表示された場合は、画面の説明を読んでから **決定** を押します。

使用履歴のあるUSBハードディスクを接続したとき

- 以前に登録して使用し、登録を解除したUSBハードディスクを接続した場合、初期化の確認画面の代わりに以下の確認画面が表示されます。



- 「はい」を選んで **決定** を押すと登録の処理が始まり、終わると登録名変更の画面が表示されます。

※ 再登録の場合、ハードディスクは初期化されません。

ハードディスクを取りはずす

- 取りはずしかたは、「USBハードディスクの設定をする」の[「機器の取りはずし」](#) » の操作をしてください。

ホームネットワークについて

- ホームネットワーク(家庭内LAN)に本機とDTCP-IP対応機器を接続し、録画番組をダビングしたり、対応機器で視聴することができます。

DTCP-IP対応サーバー

- DTCP-IP ([Digital Transmission Content Protection over Internet Protocol]の略)は、ネットワーク上でデジタル放送などの著作権保護付データを配信するための規格です。この規格に対応すれば、著作権保護付データ(たとえば、1世代だけ録画が許された番組など)をホームネットワーク上で扱うことができます。また、ホームネットワーク外へのデータ伝送を禁止することで、著作権保護付データを保護します。
- 本機はDTCP-IPに対応しています。

ハードディスクやUSBハードディスクに録画した番組を、DTCP-IP方式で著作権を保護しながらDTCP-IP対応サーバー (DTCP-IP対応サーバー機能を持つレコーダーなど)に本機の操作でダビングすることができます。 [▶「ネットワーク接続でダビングする」](#)

ダビングした番組は、他のDTCP-IP対応テレビで視聴することができます。

- ※ ダビング時の動作は番組のコピー制御情報に従います。機器によってはダビングできないことがあります。
- ※ ダビング後のコンテンツでは、再生時間の表示がズれることがあります。
- ※ DR (4K)の録画番組はダビングができません。

スマートフォンやタブレットPC (スマホdeレグザ)

- スマートフォンやタブレットPCで本機を操作し、番組を録画できます。

レグザテレビ(レグザリンク・ダビング)

- 接続したテレビ「REGZA」に録画した番組を本機にダビングできます。

本機のホームサーバー機能

- 本機はホームサーバー機能も備えています。ハードディスクやUSBハードディスクの録画番組を、ホームネットワーク上のDTCP-IP対応PCソフトウェアやDTCP-IP対応テレビなどで視聴することができます。(本機からの配信数は一つです。)
 - ※ DR (4K)の録画番組はホームネットワーク上の機器で視聴できません。

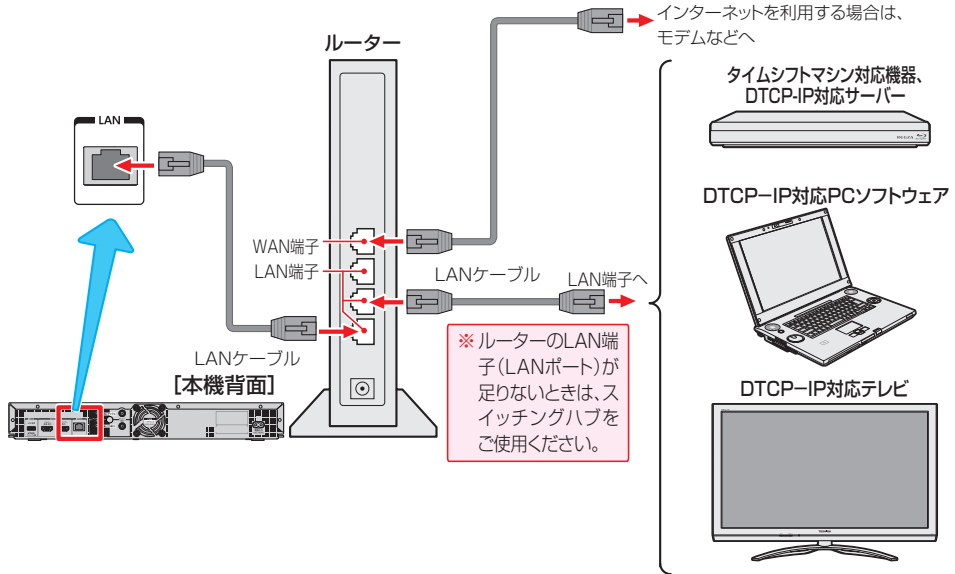
お知らせ

- DTCP-IP対応サーバーへのダビングを除き、他のネットワーク機器に本機から録画・ダビング・録音などを行うことはできません。
- すべてのDTCP-IP対応PCソフトウェアやDTCP-IP対応テレビが、本機のホームサーバー機能で配信する録画番組を再生できるわけではありません。
- 本機がネットワークメディアサーバー (動画)として公開するコンテンツは、録画した一部の放送番組に限定されます。
- 本機のご使用環境や動作状態によっては、配信の映像が乱れたり、配信できないことがあります。その場合、不要な動作があれば、それを中止してみてください。

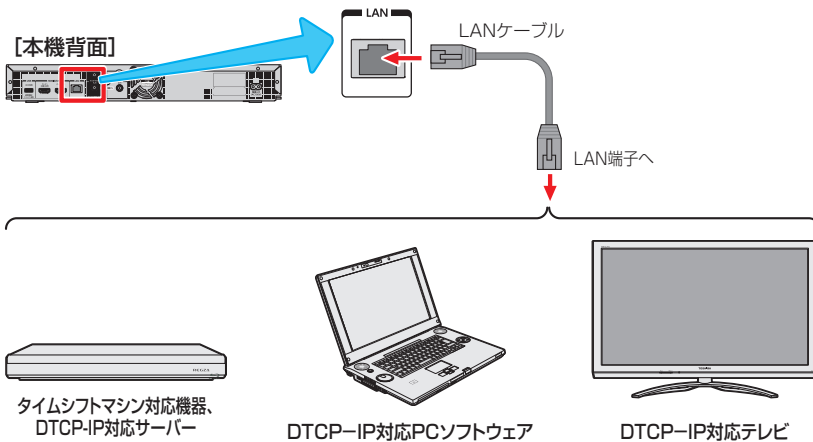
ホームネットワークに接続する

機器を接続する

- 本機とブロードバンドルーターを接続します。



- ブロードバンド常時接続環境がない場合は、本機と機器をLANケーブルで直接つないてください。



機器のネットワーク設定を確認する

- 「アドレス設定(I P v 4)」の「IPアドレス」、「DNSアドレス」ともに「自動取得」で使用する前提です。「 I P v 6 接続」が「利用する」の場合は、「アドレス設定(I P v 6)」の「IPアドレス」、「DNSアドレス」も「自動取得」で使用する前提です。
- 接続機器側でMACアドレスによるアクセス制限をしている場合は、本機からのアクセスを許可するように設定してください。本機のMACアドレスは、[「ネットワーク情報」](#)の操作で確認できます。
- 本機で接続機器のネットワーク設定はできませんので、あらかじめルーターや接続機器側で設定してください。(ルーターや接続機器の取扱説明書をご覧ください。)
- ① ルーター、ネットワーク接続機器、本機の順に電源を入れる
- ② [「ネットワーク情報」](#)の操作で「アドレス情報(I P v 4)」の「IPアドレス」を確認する
- ホームネットワーク接続機器のIPアドレスは、プライベートアドレス(下表の範囲のどれか)でなければなりません。

区分	使用できるアドレスの範囲
A	10.0.0.0~10.255.255.255
B	172.16.0.0~172.31.255.255
C	192.168.0.0~192.168.255.255

- 本機で[双方向サービス](#)などを利用する場合は、ご使用のインターネット接続環境によっては本機のアドレスをグローバルアドレスに設定し直す必要があります。
- ③ 「 I P v 6 接続」が「利用する」の場合は、[「ネットワーク情報」](#)の操作で「アドレス情報(I P v 6)」の「アドレス」も確認する

● 次のアドレスには設定できません

設定不可アドレス一覧

IPアドレス
0000 0000 0000 0000 0000 0000 0000 0000 未指定アドレス あるいは デフォルトルート(::<128、::<0)
0000 0000 0000 0000 0000 0000 0000 0001 ローカルアドレス(::<1/128)
0100 0000 0000 0000 **** * 破棄するトラフィック(0100:: 64)</td
2001 001* **** * ORCHIDアドレス(2001:0010:: 28)</td
2001 002* **** * ORCHIDv2アドレス(2001:0020:: 28)</td
2001 0db8 **** * 文書記述用アドレスプレフィックスを持つアドレス (2001:db8:: 32)</td
fe8* **** * リンクローカルプレフィックスを持つアドレス(fe80:: 10)</td
fe9* **** * リンクローカルプレフィックスを持つアドレス(fe80:: 10)</td
fea* **** * リンクローカルプレフィックスを持つアドレス(fe80:: 10)</td
feb* **** * リンクローカルプレフィックスを持つアドレス(fe80:: 10)</td
ff** **** * マルチキャストアドレス(ff00:: 8)</td
<プレフィックス長により異なる、下は64の例>
**** **** **** **** 0000 0000 0000 0000 「サブネット・ルータ・エニーキャストアドレス」(インターフェイスIDがオール0)

デフォルトゲートウェイ、DNSアドレス	
0000 0000 0000 0000 0000 0000 0000 0000	未指定アドレス あるいは デフォルトルート (::/128、 ::/0)
0000 0000 0000 0000 0000 0000 0000 0001	ローカルアドレス (::1/128)
0100 0000 0000 0000 **** * **** * **** *	破棄するトラフィック (0100::/64)
2001 001* **** * **** * **** * **** *	ORCHIDアドレス (2001:0010::/28)
2001 002* **** * **** * **** * **** *	ORCHIDv2アドレス (2001:0020::/28)
2001 0db8 **** * **** * **** * **** *	文書記述用アドレスプレフィックスを持つアドレス (2001:db8::/32)
ff** **** * **** * **** * **** *	マルチキャストアドレス (ff00::/8)

ホームネットワークの設定をする

接続機器から本機を操作するための設定をする ～外部連携機能～

レグザリンク設定

- 本機のレグザリンク連携機能を使うと、ハードディスクまたは本機に接続されたUSBハードディスクの録画番組を、ホームネットワーク上のDTCP-IP対応PCソフトウェアやDTCP-IP対応テレビなどで視聴することができます。
 - ※ DR (4K)の録画番組はホームネットワーク上の機器で視聴できません。また、4K放送以外でも一部の録画番組が視聴できないことがあります。
- 本機のサーバー機能を使う場合は、以下の設定をします。

1 **メニュー** を押し、▲・▼・◀・▶と **決定** で「設定」⇨「本体設定」⇨「ネットワーク・サービス設定」⇨「外部連携設定」⇨「レグザリンク設定」の順に進む

2 設定する項目を▲・▼で選んで **決定** を押し、以降の手順で設定する

レグザリンク連携機能	>
アクセス制限	制限しない
アクセス機器の登録	>
視聴制限番組の配信	—
登録済み機一覧	>

レグザリンク連携機能

- 本機のレグザリンク連携機能の使用方法を設定します。

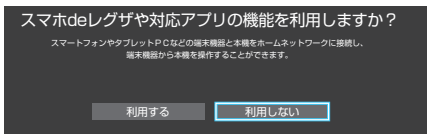
1 ◀▶で以下から選び、決定を押す

- 利用しない
レグザリンク連携機能を使用しません。
- 利用する
本機の電源が「待機」や「切」のときにもレグザリンク連携機能を使用できます。
- レグザリンク連携機能を使用する場合、ネットワーク環境によってはセキュリティ上の問題が起こる可能性があります。状況に応じて、次の「アクセス制限」および「アクセス機器の登録」の設定をしてください。
- ※ レグザリンク連携機能を「利用する」にすると、本機の「起動モード設定」は自動的に「高速起動」となり、変更できません。

スマホ連携機能

- スマートフォンやタブレットPCなどの端末機器と本機をホームネットワークに接続し、端末機器から本機を操作することができます。

2 ◀▶で「利用する」または「利用しない」を選んで決定を押す



- 利用しない
スマホ連携機能を使用しません。
- 利用する
スマートフォンやタブレットPCなどの端末機器やPCから本機を操作するスマホdeレグザ機能が使用できるようになります。

- 「利用する」を選んだ場合、「ユーザー名」と「パスワード」の設定画面が表示されます。ユーザー名とパスワードを入力し、「設定完了」を選ぶとユーザー名とパスワードが設定されます。

アクセス制限

- 本機にアクセスできる機器(DTCP-IP対応PCソフトウェア、DTCP-IP対応テレビ)を制限するかしないかを設定します。
- ※ 「制限しない」に設定した場合、他の人の機器が接続されている可能性があるネットワークでは、私的使用の範囲を超えて録画番組が他の人に公開されるおそれがあります。ネットワークの安全が確認できない場合には、「制限する」に設定します。

1 ▲・▼で以下から選び、決定を押す

- 制限しない
ネットワーク上のすべての機器からアクセスできます。
- 制限する
次の「アクセス機器の登録」で登録した機器でだけアクセスできます。

アクセス機器の登録

- 「アクセス制限」を「制限する」に設定した場合、本機にアクセスする機器を登録または解除します。
- 機器はMACアドレスで特定されます。機器のMACアドレスの確認方法は、機器の取扱説明書でご確認ください。

1 機器を▲・▼で選び、決定を押す

- 決定を押すたびに、「」と「」が交互に切り換わります。登録には「」をつけます。

2 登録・解除の設定がすべて終わったら、▲・▼・◀・▶で「登録」を選び、決定を押す

登録済み子機一覧

- 「スマホdeレグザ」などで、ホームネットワーク外から本機にアクセスできる機器を表示します。
- 登録を解除する場合は、以下の手順で行います。

1 登録を解除する機器を▲・▼で選び、を押す

- 確認画面が表示されます。

2 ◀▶で「はい」を選び、を押す

- 機器の登録が解除されます。

視聴制限番組の配信

- 視聴制限番組を配信するかしないかを設定します。

1 ▲・▼で以下から選び、を押す

- 配信しない
視聴制限番組はネットワーク上の機器に配信されません。
- 配信する
視聴制限番組をネットワーク上の機器に配信します。

本機の名称

- ホームネットワークに接続された機器から本機を識別するための情報(デバイスネーム)を設定することができます。
- お買い上げ時は本機の形名
(DBR-4KZ600、DBR-4KZ400またはDBR-4KZ200)に設定されています。

1 **メニュー** を押し、▲・▼・◀・▶ と **決定** で「設定」⇒「本体設定」⇒「ネットワーク・サービス設定」⇒「外部連携設定」⇒「本機の名称」の順に進む

2 **決定** を押し、文字入力画面で新しい名前を入力する

- 文字入力の方法は、[「文字を入力する」](#) をご覧ください。
- 10文字以内で設定します。使用できる文字は半角大文字英数字と「-」です。

お知らせ

- スマホdeレグザでのアクセス用として、設定した名称の末尾に「スマホdeレグザ」を追加したものが設定されます。
- スマホdeレグザアプリ以外の機器でスマホdeレグザ用の名称を選択しても、本機を操作する事はできません。

接続機器から本機を起動するための設定をする ～リモート電源オン機能～

- ネットワーク接続での起動(Wake on LAN)に対応した機器に登録しておく、接続機器での番組再生などの際に本機が起動していないときに接続機器の操作で本機を起動する(電源を入れる)ことができます。
- ※ 接続機器(Wake on LAN対応機器)側でも必要な設定をしてください。(接続機器の取扱説明書をご覧ください)。
 - 本機のデバイスネームについては上の「本機の名称」を参照してください。本機のMACアドレスは[「ネットワーク情報」](#)の操作で確認することができます。

本機のリモート電源オン機能を設定する

- 1 **スタートメニュー** を押し、▲・▼・◀・▶ と **決定** で「設定」⇨「本体設定」⇨「ネットワーク・サービス設定」⇨「外部連携設定」⇨「リモート電源オン設定」の順に進む

レグザリンク設定	>
リモート電源オン設定	>
本機の名称	>

- 2 ▲・▼で「外部機器から電源オン」を選び、**決定** を押す

外部機器から電源オン	オフ
外部機器を電源オン	>

- 3 ▲・▼で「オン」または「オフ」を選び、**決定** を押す

- 「オン」に設定すると、Wake on LAN対応機器から本機を起動できるようになります。

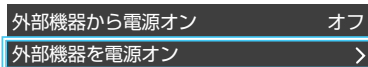
お知らせ

- 「オン」に設定すると、待機時の消費電力が増えます。

本機から起動する機器を登録する

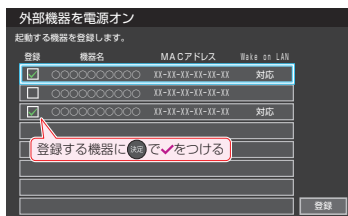
- 1 **スタートメニュー** を押し、▲・▼・◀・▶と **決定** で「設定」⇨「本体設定」⇨「ネットワーク・サービス設定」⇨「外部連携設定」⇨「リモート電源オン設定」の順に進む

- 2 ▲・▼で「外部機器を電源オン」を選び、**決定** を押す



- 「外部機器を電源オン」の画面が表示されます。対象機器がない場合は、内容が空欄になります。

- 3 本機から起動する機器を▲・▼で選び、**決定** を押す(登録する)

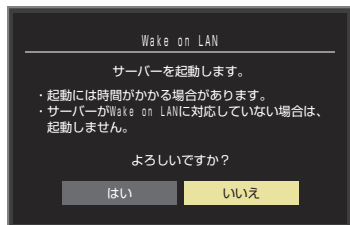


- **決定** を押すたびに と が交互に切り換わります。本機から起動する機器に をつけます。
- 「Wake on LAN」の欄の「対応」は、対応機器として本機が認識できた場合に表示されます。対応機器であっても本機が認識できない場合は表示されません。

- 4 選択が終わったら、▲・▼・◀・▶で「登録」を選んで **決定** を押す

再生時の機器選択について

- 本機の番組再生などの際に、登録した機器が起動していない場合は「機器選択」の画面に薄くなって表示されます。その機器を選択して **決定** を押すと「Wake on LAN」の画面が表示されます。
- 「Wake on LAN」の画面で、「はい」を選んで **決定** を押すと、機器を起動することができます。



- ・ 登録した機器がWake on LANに対応していない場合は起動できません。
- ・ 登録した機器がWake on LANに対応していても、機器の状態によって起動できないことがあります。

レグザリンクダビングの 接続・設定をする

- レグザリンク・ダビング機能を使うことで、対応する東芝テレビ「REGZA」に録画した映像を、本機のHDD / USB-HDDにダビングできます。
- 対応する東芝テレビ「REGZA」については、当社ホームページからレグザリンク総合ナビページをご覧ください。

<https://www.regza.com/regza/>

(操作については、それぞれに付属の取扱説明書をお読みください。)

本機と機器を接続する

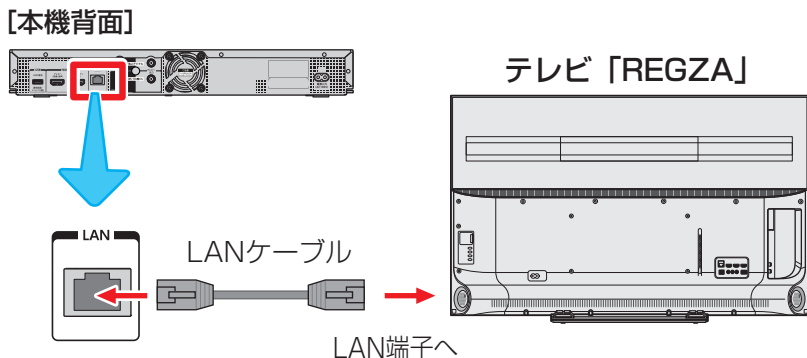
- 接続にはLANケーブルを使用します(ストレートタイプ、クロスタイプのどちらも使用可能)。カテゴリ5 (CAT5)と表示された規格以上のものをご使用ください。

ルーターを経由して接続する場合

- ホームネットワークの接続やインターネットへの接続をしている場合は、[「機器を接続する」](#)と同じです。本機と接続する機器のLAN端子をブロードバンドルーターのLAN端子に接続します。

本機と直接接続する場合

- ホームネットワークやインターネットへの接続をしない場合や、他のネットワーク機器の通信による影響を受けないようにしたい場合は、本機と接続する機器のLAN端子を直接接続します。



- 本機とテレビを直接接続したあと、以下の手順で設定をおこないます。

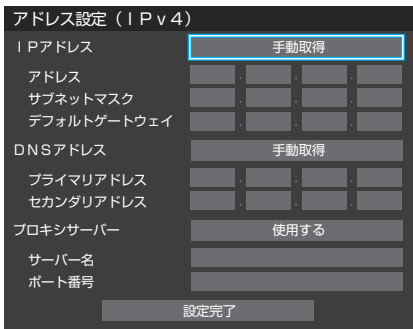
1 **スタートメニュー** を押し、▲・▼・◀・▶ と **決定** で「設定」⇨「本体設定」⇨「ネットワーク・サービス設定」⇨「ネットワーク接続設定」⇨「詳細設定」⇨「接続方法」⇨「有線LAN」の順に進む

2 ◀・▶ で「ダイレクト接続」を選び、**決定** を押し

- 自動設定で接続に成功しなかった場合は、以下の手順で設定します。

手動で設定をする

- 1 **設定** を押し、**▲▼◀▶** と **決定** で「設定」⇒「本体設定」⇒「ネットワーク・サービス設定」⇒「ネットワーク接続設定」⇒「アドレス設定 (IPv4)」の順に進む
- 2 **▲▼** で「IPアドレス」を選び、**決定** を押す
- 3 **▲▼** で「手動取得」を選び、**決定** を押す



- 4 ▼ で「アドレス」の入力欄に移動し、^あ **1** ~ ^{小文字} **10** で「192」、「168」、「1」、「15」と入力する
 - ・ 入力欄を移動するには、**◀▶** を押します。
 - ・ 入力した数字を消すには、**赤** を押します。
- 5 ▼ で「サブネットマスク」の入力欄に移動し、^あ **1** ~ ^{小文字} **10** で「255」、「255」、「255」、「0」と入力する
- 6 ▼ で「デフォルトゲートウェイ」の入力欄に移動し、^あ **1** ~ ^{小文字} **10** で「192」、「168」、「1」、「1」と入力する

7 ▲・▼で「プライマリアドレス」の入力欄に移動し、
で「192」、「168」、「1」、「1」と入力する

アドレス設定 (IPv4)

IPアドレス

アドレス	192	168	1	15
サブネットマスク	255	255	255	0
デフォルトゲートウェイ	192	168	1	1

DNSアドレス

プライマリアドレス	192	168	1	1
セカンダリアドレス				

プロキシサーバー

使用しない

サーバー名

ポート番号

設定完了

8 設定内容を確認し、▲・▼で「設定完了」を選んで **決定** を押す

接続する機器の設定をする

- 接続する機器の取扱説明書を参照して、以下のように設定・登録します。

項目	設定
DHCP(自動取得)	使わない
IPアドレス	192.168.1.20
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	192.168.1.1
DNS(自動取得)	使わない
DNSサーバー	192.168.1.1

スマホdeレグザの機能を使う

- スマートフォンや端末機器から、本機のリモコン操作、番組の録画予約などの操作ができます。

スマホdeレグザの準備をする

スマホdeレグザ機能に必要な動作環境

端末機器

スマホdeレグザAndroid版、スマホdeレグザiOS版が動作する端末機器 (Android/iOS)*

パソコン

DOS/V互換パソコン(LANコネクタが必要)(市販品)

OS: Windows® 7/8/8.1/10(日本語版)

上記のOS以外の環境での動作は保証していません。

カラーモニター: 16ビットカラー以上、800×600ドット以上

必要なデバイス: LANポート

(100Base-TX / 10Base-T)

インターネットブラウザ

Microsoft Edge

Google Chrome

※ 動作環境に関しては、以下のホームページでご確認ください。

- https://www.regza.com/regza/bd_dvd/cs/index.html

上記以降のバージョンについては、すべての動作を保証するものではありません。

制限事項

- 本機の状態、またはスマホdeレグザ機能での本機とパソコンや端末機器間の通信状態によっては、表示が遅くなったり、最新の状態ではなかったり、表示や通信にエラーが発生することがあります。すべての動作を保証するものではありません。

本機の準備

- 本機と端末機器は同じルーターに接続し、同一ホームネットワークに接続しておきます。
- [「レグザリンク連携機能」](#)の「スマホ連携機能」を「利用する」に設定しておきます。

スマホdeレグザでおこなえる操作

- スマホdeレグザ機能を使用すると、端末機器で以下の操作が可能になります。

【すぐに見られる番組】で見る

録画番組をスマホに持ち出して、すぐに再生することができます。

録画番組を見る

録画リストの内容を表示します。番組の再生、番組名の変更、番組の削除、持ち出したい番組を選択できます。

過去番組表から見る

過去番組表からタイムシフトマシン録画番組の再生や保存ができます。

ざんまいで見る

タイムシフトマシン録画した番組をカテゴリ毎に表示し、そこから再生や保存ができます。

リモコン

本機を端末機器でリモコン操作することができます

- リモコン機能を使って本アプリの対応機器を操作する場合は、操作結果を確認できるように対応機器が見える位置から操作してください。

ランキングから予約する

ランキングから録画予約が登録できます。

番組表から予約する

番組表から番組の録画予約が登録できます。

録画予約一覧

録画の予約、確認、変更、取り消しや、録画予約が正常におこなわれなかった場合のお知らせの確認などをおこなうことができます。

番組を持ち出す

端末機器へ番組を持ち出しすることができます。

機能設定

本アプリ機能に必要な各種設定をおこないます。

スマホdeレグザ機能の「ランキングから予約する」、「横断検索」、「番組表から予約する」、宅外配信機能をご使用になる場合には、以下の環境が必要です。

- ブロードバンド常時接続環境
- ハブ機能を持ったブロードバンドルーター（DHCP機能搭載を推奨）
- 無線LANルーター（無線LAN接続の場合）

※ スマホdeレグザの機能詳細は、取扱説明書「スマホdeレグザ編」を弊社Webサイトよりご参照ください。

(https://www.regza.com/regza/bd_dvd/)

※ 上記機能以外に、ソフトウェアのバージョンアップによる機能の追加が予定されています。

詳しくは「[ソフトウェアのバージョンアップで追加を予定している機能](#)」をご覧ください。

タイムシフトリンク機能を使う

- タイムシフトリンク機能は、同一ネットワーク上に接続した、ホームサーバー機能が搭載されている他のタイムシフトマシン対応の東芝レコーダーや東芝レグザのタイムシフトマシン録画の番組を、本機で再生したり操作したりできる機能です。
- ※ タイムシフトリンク機能を利用するには、ホームネットワークでの接続と設定、およびタイムシフトリンク機能の設定が必要です。

タイムシフトリンク機能を使う設定をする

- タイムシフトリンク設定の機器の登録から操作する機器を選びます。
- 本機のタイムシフトマシン録画の設定がされていることを確認してください。
- タイムシフトリンク機能で連携する機器の電源を入れて、サーバー機能の設定をしてから、以下の操作をしてください。

1 **マイメニュー** を押し、▲・▼・◀・▶と**決定**で「設定」⇨「本体設定」⇨「タイムシフトマシン設定」⇨「タイムシフトリンク設定」⇨「機器の登録」の順に進む

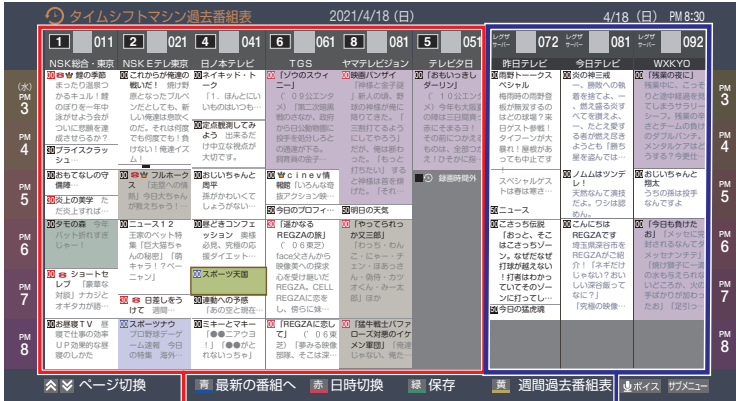
2 ▲・▼を押し、タイムシフトリンク機能で使用する機器を選び、**決定**を押す

- 選んだ機器のタイムシフトマシン録画番組を、過去番組表に表示したり、再生したりできます。
- ※ 選んだ機器のネットワークの状態や接続を変更したときに、本機でタイムシフトリンク機能を使用する機器として認識できなくなった場合は、上記の操作で再度機器を選んでください。

タイムシフトリンク機能でできること

- タイムシフトリンク設定の機器の登録で選んだ機器のタイムシフトマシン録画番組を、過去番組表に表示したり、ざんまいスマートアクセスで楽しんだりできます。
- ※ 「タイムシフトリンク機能を使う設定をする」の操作をした直後は、タイムシフトリンク設定の機器の登録で選んだ機器からの過去番組表の表示には時間がかかります。

例



本機のタイムシフトマシン録画番組 タイムシフトリンク機能で選んだタイムシフトマシン録画番組 (放送中の番組は表示されません)

- 以下を除き、本機のタイムシフトマシン録画で録画した番組と同様の操作ができます。
 - 番組の情報を表すアイコン表示
 - 連ドラ予約
 - 保存
 - 放送中の番組表示
 - 始めにジャンプ
- ※ タイムシフトリンク番組の時短再生はできません。
- ※ タイムシフトリンク設定の機器の登録で選んだ機器のざんまいスマートアクセスのサムネールは、番組種別の画像で表示されます。
- ※ タイムシフトリンク機能を使うための接続以外にHDMIでも接続されている場合は、「始めにジャンプ」ができます。
- ※ 本機およびタイムシフトリンク設定の機器の登録で選んだ機器の状態によっては、上記以外の操作でも本機と同様の操作ができない場合があります。

- 本機およびタイムシフトリンク設定の機器の登録で選んだ機器のリモート電源の設定によって、再生時に自動的に電源を入れることもできます。

過去番組表を更新する

- タイムシフトリンク設定の機器の登録で選んだ機器の過去番組表を更新します。

1 過去番組表を表示中に **サブメニュー** を押す

2 ▲・▼で「番組情報の取得」を選んで **決定** を押す

- 番組情報の取得中にほかの操作をすると、情報の取得が中止されることがあります。
- 番組情報の取得を中止するときは、番組情報取得中に **サブメニュー** を押し、サブメニューから「番組情報の取得中止」を選択します。

動画を再生する

- ネットワークメディアサーバー、DTCP-IP対応サーバー、LANハードディスクに保存されている動画を本機で視聴できます。
- 機器の接続や設定などの準備については、[「ホームネットワークに接続する」](#) をご覧ください。
- 本機で再生できる動画のフォーマットについては、同梱取扱説明書「本機で再生できる動画のフォーマット」[65](#) をご覧ください。

ご注意

- 再生中は、機器を取りはずしたり、機器や本機の電源を切ったりしないでください。記録されているコンテンツが損なわれることがあります。
- 無線LANをご使用の場合、暗号設定が「暗号なし」のときにはデジタル放送などの著作権保護付コンテンツをホームネットワーク上で視聴することができません。著作権保護無しのコンテンツを取り扱う場合も無線LANのセキュリティ設定を行うことを強く推奨します。

動画再生の操作

- オートメディアプレーヤー設定がオンの場合は、手順4 から操作します。

1 **みるコレ** を押し、▲・▼・◀・▶ と **決定** でみるコレの項目から「メディアプレーヤー 動画」の順に進む

- サブメニューの「メディアプレーヤー」からも「動画」に進むことができます。

2 再生機器を▲・▼・◀・▶ で選び、**決定** を押す

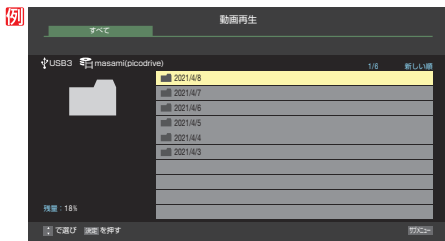
- **青** を押すと、再生機器を検索することができます。
- ※ リモート電源オン機能で登録した機器で起動していない機器（薄くなって表示されている機器）を選んで **決定** を押すと、Wake on LAN画面から起動できることがあります。

3 LANハードディスクのユーザー名とパスワードの入力画面が表示された場合は入力する

- 入力画面は、LANハードディスク側でユーザー名とパスワードを設定している場合に表示されます。

4 フォルダを▲・▼で選び、**決定** を押す

- 機器によっては、この操作はありません。
- 複数のUSBハードディスクが接続されたホームサーバー機能対応レグザなどの場合は、それぞれのUSBハードディスクがフォルダとして表示されます。



5 動画を▲・▼で選び、決定を押す



- 再生中に以下のリモコン操作ができます。












表示モード切換ができるとき

- 操作ガイドに「**緑** 表示モード切換」が表示される場合、動画再生リストの表示モード切換ができます。
- 「タブ表示」にしたときのリスト画面の表示切換操作については、同梱取扱説明書「録画した番組を再生する」**29**の手順**2**をご覧ください。

6 動画再生を終了するには、**停止** または **終了** を押す

- 放送画面などに戻ります。

動画再生時にできるリモコン操作

ボタン	内容
	<p>動画の再生を開始します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 再生中に繰り返し押しすと、約1.3倍の速さの音声付早送り再生「早見早聞」と通常の再生が交互に切り換わります。 ※動画や機器によっては、「早見早聞」が正しく動作しないことがあります。
	再生中に押しと一時停止になり、もう一度押しと再生が再開されます。
	動画の再生を終了し、放送画面などに戻ります。
	<p>早送り再生をします。(押すたびに速さが変わります。)</p> <ul style="list-style-type: none"> 一時停止中に1秒ほど押し続けるとスロー再生、または連続コマ送りになります。スロー再生または連続コマ送り中に押しと、押すたびに速さが変わります(2段階または3段階(再生する動画のある機器によって異なります))。
	<p>早戻し再生をします。(押すたびに速さが変わります。)</p> <ul style="list-style-type: none"> 一時停止中に1秒ほど押し続けると連続コマ戻し再生になります。
	<p>再生中に押しと、20ポイントに分割された動画の前後のポイントへスキップします。</p> <ul style="list-style-type: none"> 録画時間が短い動画では動作しないことがあります。
	再生中または早見早聞での再生中に押しと、30秒ほど先に進んで再生します(ワンタッチスキップ)。
	再生中または早見早聞での再生中に押しと、10秒ほど戻って再生します(ワンタッチリプレイ)。
	<p>次の動画の先頭にスキップして再生します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 機器によってはスキップの対象がチャプターになります。
	<p>現在の動画の先頭にスキップして再生します。再生してから4秒以内に押した場合は、一つ前の動画の先頭にスキップします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 機器によってはスキップの対象がチャプターになります。
	再生中に押しと、録画リストが表示されます。

※ 機器によっては再生と停止しかできないなど、機能が制限されることがあります。

※ [ワンタッチスキップとワンタッチリプレイの時間は、「ワンタッチスキップ／ワンタッチリプレイの時間を変更する」](#)で変更することができます。

動画再生でのさまざまな操作

- 動画の再生では、以下のような機能が利用できます。

動画の再生方法を設定する

- 動画を繰り返して再生することができます。
- 設定した状態は本機に記憶されます。

1 再生中に **サブメニュー** を押す

2 ▲・▼で「リピート」を選び、**決定** を押す

3 ▲・▼で以下から選び、**決定** を押す

- **1コンテンツリピート**
選択した1つの動画の再生を繰り返します(↺)。
- **チャプターリピート**
再生中のチャプターの再生を繰り返します(↺_{チャプター})。
- **グループ内リピート**
フォルダ内にあるすべての動画の連続再生を繰り返します(↺)。
- **オフ**
繰り返し再生をしません。

時間を指定して再生する(タイムサーチ)

1 再生中に **サブメニュー** を押し、▲・▼と **決定** で「サーチ」⇨「タイムサーチ」を選ぶ

- 画面右上に **サーチ-----** が表示されます。

2 **あ 1** ~ *** 小文字 10** (0) で時間を指定する

例 冒頭から1時間25分5秒後の位置を指定するとき

あ 10 (0) **あ 1** **か ABC 2** **な JKL 5** *** 小文字 10** (0) **な JKL 5** の順に押します。

チャプターを指定して再生する(チャプターサーチ)

- 1 **サブメニュー** を押し、▲・▼と **決定** で「サーチ」⇒「チャプターサーチ」を選ぶ
● 再生バー上のチャプター表示が、入力モードに切り換わります。
- 2 **1** ～ **10** (0) でチャプターを指定し、**決定** を押す。

動画を並べ替える

- 機器によっては並べ替えができないことがあります。
- 1 動画再生リストの表示中に **サブメニュー** を押す
 - 2 ▲・▼で「並べ替え」を選び、**決定** を押す
 - 3 ▲・▼で「新しい順」または「古い順」を選び、**決定** を押す

機器を選び直す

- 使用する機器を選び直すときは、**青** を押します。
動画再生リストのときに **サブメニュー** を押し、▲・▼で「機器の情報」を選んで **決定** を押すと、機器の情報を確認できます。

動画再生リストの 操作ガイドについて

- 機器によっては、以下の操作ガイドが表示される場合があります。
 - **赤** 削除
「[不要な録画番組を消す](#)」を参考にしてください。
 - **緑** 表示モード切換
「[表示モード切換ができるとき](#)」をご覧ください。

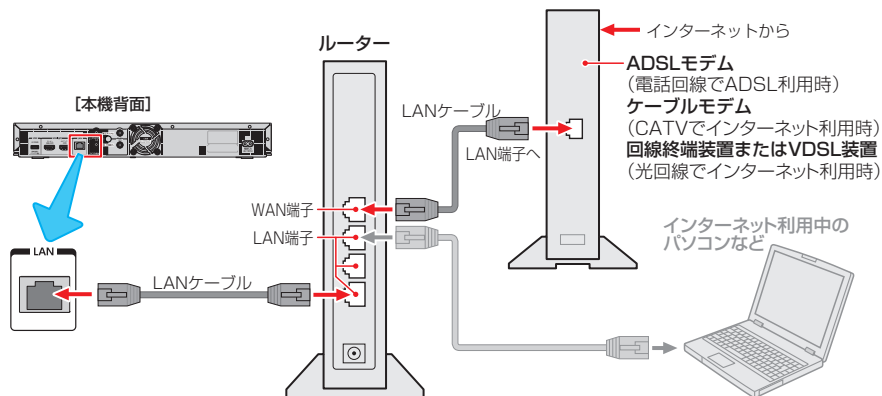
インターネットを利用するための接続をする

- はじめてインターネットを利用する場合は、通信事業者やプロバイダー（インターネット接続業者）との契約が必要です。通信事業者または取り扱いの電気店などにご相談ください。
- 接続方法でご不明な点は、裏表紙に記載の「東芝DVDインフォメーションセンター」にお問い合わせください。
- 接続が終わったら、必要に応じてネットワークの設定をしてください。
- すでにパソコンでインターネットを利用している場合は、本機のLAN端子とルーターのLAN端子を市販のLANケーブルで接続するだけです。
- モデムとルーターが一体化されている場合もあります。それぞれの取扱説明書もよくお読みください。

本機をインターネットに接続したときにできること

できること	内容
ネットワークサービス	<ul style="list-style-type: none"> ● クラウドサービスなどのネットワークサービスを楽しむことができます。 ▶「クラウドサービスとネットワークサービスについて」
データ放送の 双方向サービス	<ul style="list-style-type: none"> ● データ放送の双方向サービスを利用して、クイズ番組に参加したり、ショッピング番組で買物をしたりすることができます。 ▶「データ放送やラジオ放送を楽しむ」 ※ 本機は電話回線を利用した双方向サービスには対応していません。
ソフトウェアの更新	<ul style="list-style-type: none"> ● 東芝サーバーから本機の最新ソフトウェアをダウンロードすることができます。 ▶「ソフトウェアの自動ダウンロードについて」

接続のしかた(有線LANの場合)



ご注意

- LANケーブルを抜き差しするときは、本機および接続機器などの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

お願い

- LANケーブルは、カテゴリ5 (CAT5) と表示された規格以上のものをご使用ください。
- 本機のLAN端子は、必ず電気通信端末機器の技術基準認定品ルーターなどに接続してください。
- 通信事業者およびプロバイダーとの契約費用および利用料金などは、ご自身でお支払いください。
- 以下の場合やご不明な点は、ご契約の回線事業者やケーブルテレビ会社、プロバイダーなどにお問い合わせください。
 - ・ ご契約によっては、本機やパソコンなどの機器を複数接続できないことがあります。
 - ・ 一部のインターネット接続サービスでは、本機を利用できないことがあります。
 - ・ プロバイダーによっては、ルーターの使用を禁止あるいは制限している場合があります。
 - ・ 回線の状況によっては、うまく通信できないことがあります。
 - ・ モデムについてご不明な点など。

お知らせ

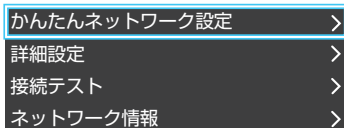
- 本機では、ルーターやルーター内蔵モデムの設定はできません。これらの機器によっては、パソコンでの設定が必要な場合があります。
- 本機はダイヤルアップ通信やISDN回線などでインターネットを利用することはできません。
- この取扱説明書で図示していない機器が接続されている場合は、正常に通信できないことがあります。
- ルーターなどが正しく設定されていない回線に本機のLAN端子を接続すると、本機が正常に動作しないことがあります。

インターネットを利用するための設定をする

- お買い上げ時の設定でネットワーク接続した機器が利用できない場合やネットワークの設定をやり直す場合などに、必要に応じて設定します。

1  を押し、▲・▼・◀・▶と  で「設定」⇨「本体設定」⇨「ネットワーク・サービス設定」⇨「ネットワーク接続設定」の順に進む

2 設定する項目を▲・▼で選んで、 を押す



3 以降の手順で設定する

かんたんネットワーク設定

- はじめてネットワークの設定をするときや、ネットワークの設定をし直すときなどに、設定します。

有線LANの設定をする

- 有線LANの接続については、[「接続のしかた\(有線LANの場合\)」](#)をご覧ください。

- 1 ◀▶で「有線LAN」を選び、**決定**を押す



- 2 接続テストをする場合は◀▶で「はい」を選んで、**決定**を押す

- 「接続テスト」をしない場合は、「いいえ」を選びます。あとから接続テストをする場合は、[「接続テスト」](#)をご覧ください。
- 「接続できませんでした。」と表示された場合は、LANケーブルの接続を確認してから、再度接続テストを行ってください。

- 3 「インターネットに接続できました。」と表示されたら、**決定**を押す

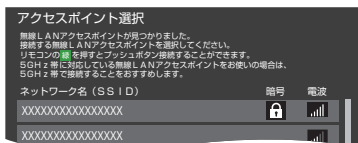
- 有線LANの設定は終了です。

無線LANの設定をする

- ① ◀▶ で「無線LAN」を選び、決定 を押す



- アクセスポイント選択画面が表示されます。



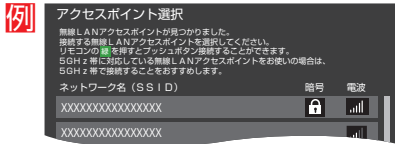
- 設定方法には、
[「アクセスポイント選択」](#)》、
[「プッシュボタン接続」](#)》、
[「PINコード接続」](#)》

があります。接続する無線LANアクセスポイントに合わせて、設定方法を選びます

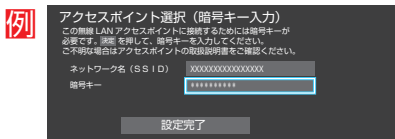
- お使いの無線LANアクセスポイントの取扱説明書も、お読みください。

■ アクセスポイント選択

- 本機が使用可能な無線LANアクセスポイント(ルーター)を検出し、接続します。
- ① 表示された接続可能な無線LANアクセスポイントから、本機の接続先を▲・▼で選び、**決定**を押す



- ② ①で選択した無線LANアクセスポイントの暗号キーを入力する



- 暗号キーについては、お使いの無線LANアクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。
- 文字入力の方法は、[》「文字を入力する」](#)をご覧ください。
- ③ ▲・▼で「設定完了」を選び、**決定**を押す
- ④ 設定内容を確認し、**決定**を押す



■ プッシュボタン接続

- 「接続ボタン」が押されて使用可能になった無線LANアクセスポイントを本機が検出し、接続します。

① 緑 を押す

無線LANアクセスポイントを探しています

接続する無線LANアクセスポイント本体にある接続ボタンを長押ししてください。
※接続ボタンの操作方法は無線LANアクセスポイントの取扱説明書をご確認ください。

② 無線LANアクセスポイントの接続ボタンを押す

- 本機がアクセスポイント(ルーター)を検出し、接続します。
- 接続に成功すると、設定内容が表示されます。

③ 設定内容を確認し、決定 を押す

例

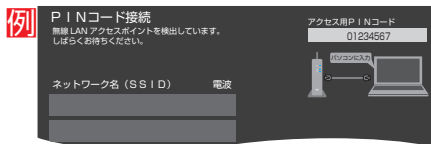
無線LAN設定完了

以下のとおり無線LANの設定をおこないました。

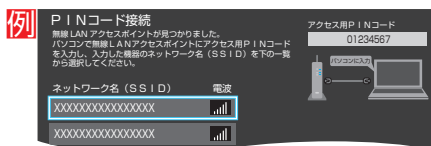
ネットワーク名 (SSID) :	XXXXXXXXXX
暗号方式 :	AES
暗号キー :	*****

PINコード接続

- ① **前** を押す
- ② 画面の指示に従い、表示されたPINコードを無線LANアクセスポイントにパソコンで設定する



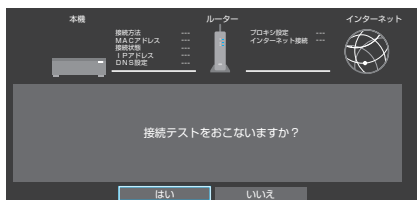
- PINコードの設定方法については、お使いのアクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。
- ③ 表示された接続可能なアクセスポイントから、本機の接続先を▲▼で選び、**決定**を押す



- ④ 設定内容を確認し、**決定**を押す

3 接続テストをする場合は「はい」を選び、**決定**を押す

- 「接続テスト」をしない場合は、「いいえ」を選びます。あとから接続テストをする場合は[「接続テスト」](#)をご覧ください。



- 「接続できませんでした。」と表示された場合は、無線LANの設定を確認してから、再度接続テストをしてください。

4 「インターネットに接続できました。」と表示されたら、**決定**を押す

- 無線LANの設定は終了です。

お願い

- 無線LANアクセスポイントが複数ある場合、本機と接続する無線LANアクセスポイントのチャンネルは、他の無線LANアクセスポイントと異なるチャンネルに設定してください。
- 5GHz帯に対応している無線LANアクセスポイントに無線LAN接続する場合、その無線LANアクセスポイントと本機は5GHz帯を使用する設定にしてください。
- 52以上のチャンネルでSSIDが公開されていない(ステルス設定された)無線LANアクセスポイントに接続できません。無線LANアクセスポイントの設定を変更してください。
- 同時に複数のチャンネル(デュアルチャンネルあるいはクアッドチャンネル、40MHzあるいは80MHzの使用帯域またはチャンネル幅)で通信できる無線LANアクセスポイントと接続する場合は、事前に無線LANアクセスポイントで有効にすることをお勧めします。
- 無線LANで接続していて、ネットワーク経由で映像を取得しているとき、映像が止まったりノイズが出たりする場合は、無線LANアクセスポイントと本機の設定を見直してから、無線LANアクセスポイントと本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのあと再度電源を入れます。それでも解消されない場合は、有線LANで接続してください。
- 本機の近くに無線LANアクセスポイントが設置されていると、アクセスポイント選択の一覧に表示されない、電波強度が弱く表示される、あるいは接続に失敗することがあります。このような現象が発生した場合、本機と無線LANアクセスポイントを離してお試しください。また、無線LANアクセスポイントの送信強度を下げることで改善できる場合もあります。

お知らせ

- 無線LANアクセスポイントに本機以外が無線LAN接続されていると、ネットワーク経由で映像を取得しているときに、その映像が止まったりノイズが出たりすることがあります。
- 無線LANアクセスポイントには、主に52以上のチャンネルで、気象レーダーなどとの干渉を検知してチャンネルを自動的に変更する機能が搭載されています。この機能によって、ネットワーク経由での映像再生が中断される場合があります。
- すべての無線LANアクセスポイントとの接続を保証するものではありません。Wi-Fi認定されていない無線LANアクセスポイントとは、プッシュボタン接続あるいはPINコード接続で接続できないことがあります。
- 本機の設置環境によっては、無線LANを使用できないことがあります。
- 無線LANアクセスポイントのソフトウェアは最新バージョンでを使用することをおすすめします。ソフトウェアのバージョンとアップデートについては、お使いの無線LANアクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。

接続方法

- 1 **メニュー** を押し、▲・▼・◀・▶と **決定** で「設定」⇒「本体設定」⇒「ネットワーク・サービス設定」⇒「ネットワーク接続設定」⇒「詳細設定」⇒「接続方法」の順に進む
- 2 ▲・▼で「有線LAN」または「無線LAN」を選んで、**決定** を押す

接続方法	無線LAN	有線LAN
無線LAN設定	>	無線LAN
アドレス設定 (IPv4)	>	
IPv6接続	利用する	
アドレス設定 (IPv6)	>	

- 「有線LAN」から「無線LAN」に変更した場合、切換に数秒間かかります。

無線LAN設定

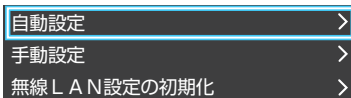
- 無線LANを使用する場合に、設定してください。
- **スタートメニュー** を押し、▲・▼・◀・▶と**決定**で「設定」⇨「本体設定」⇨「ネットワーク・サービス設定」⇨「ネットワーク接続設定」⇨「詳細設定」に進め、「接続方法」が「無線LAN」になっていることを確認してください。

「有線LAN」になっている場合

- 以下の操作で「無線LAN」に設定します。
 - ① ▲・▼と**決定**で「詳細設定」⇨「接続方法」の順に進む
 - ② ▲・▼で「無線LAN」を選び、**決定**を押す
 - 「詳細設定」の画面に戻り、「接続方法」が「無線LAN」になります。

- 1 **スタートメニュー** を押し、▲・▼・◀・▶と**決定**で「設定」⇨「本体設定」⇨「ネットワーク・サービス設定」⇨「ネットワーク接続設定」⇨「詳細設定」⇨「無線LAN設定」の順に進む

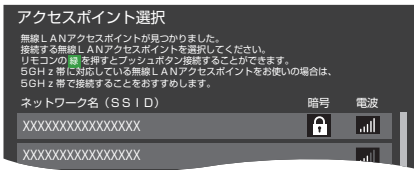
- 2 設定する項目を▲・▼で選んで**決定**を押す



- 3 以降の手順で設定する

自動設定

- アクセスポイント選択画面が表示されます。

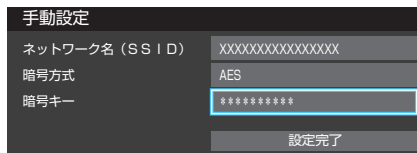


- 各接続方法と設定については、
[「アクセスポイント選択」](#)》
[「プッシュボタン接続」](#)》
[「PINコード接続」](#)》
をご覧ください。
- お使いの無線LANアクセスポイントの取扱説明書も、お読みください。

手動設定

- 接続に必要な設定を、一つ一つ手動で設定する場合に選びます。
- お使いの無線LANアクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。

1 各項目を、以降の手順で設定する



- ▲▼で「ネットワーク名(SSID)」を選び、決定を押します。
接続したいアクセスポイントのSSID(ネットワーク名)を入力してください。
- ▲▼で「暗号方式」を選び、決定を押します。
- ▲▼で「AES」、「AES/TKIP」、「WEP-Open」、「WEP-Shared」または「暗号なし」から選び、決定を押します。

「暗号なし」に設定すると、無線LAN経由で本機から送信する情報のセキュリティが無防備になるため、悪意ある第三者に情報を盗み見られるおそれがあります。
暗号方式は「AES」などに設定することをおすすめします。

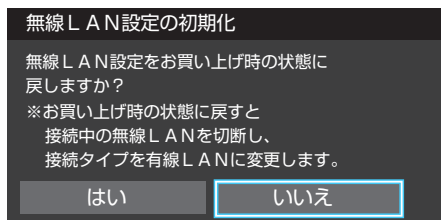
- ▲▼で「暗号キー」を選び、決定を押します。
接続したいアクセスポイントが指定する、「暗号キー」を入力します。
- 「WEP-Open」、「WEP-Shared」を選んだ場合は、▲▼で「キーインデックス」を選び、決定を押します。
▲▼で「キーインデックス1～4」から選び、決定を押します。

2 ▲▼で「設定完了」を選び、決定を押す

3 設定内容を確認し、決定を押す

無線LAN設定の初期化

- ① ◀▶で「はい」または「いいえ」を選び、決定を押す



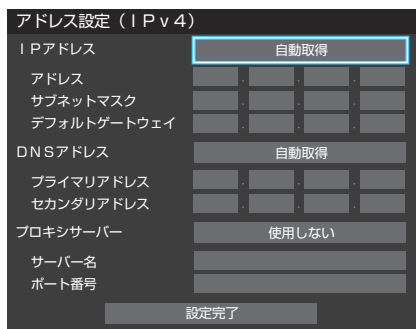
アドレス設定 (IPv4)

- インターネットに接続するために、本機に割り当てられる固有の番号を設定します。

IPアドレス

- ※ 「IPアドレス」を「手動設定」に設定した場合は、「DNSアドレス」は、自動的に「手動設定」に設定されます。その場合は、DNSアドレスを手動で設定します。

- ① IPアドレスを自動取得できる場合は、▲▼で「自動取得」を選び、決定を押す



自動取得できないネットワーク環境の場合

- ① ▲・▼で「手動設定」を選び、決定を押す
- ② ▲・▼で「アドレス」を選び、 ~ ⁽⁰⁾ で入力する
- ③ ▲・▼で「サブネットマスク」を選び、 ~ ⁽⁰⁾ で入力する
- ④ ▲・▼で「デフォルトゲートウェイ」を選び、 ~ ⁽⁰⁾ で入力する
 - ・ ②～④では0～255の範囲の数字(左端の欄は0以外)を四箇所の欄に入力します。
 - ・ 欄を移動するには、◀▶を押します。

- ② ▲・▼で「設定完了」を選び、決定を押す

DNSアドレス

- ドメイン名をIPアドレスに置き換える機能を持ち、IPアドレスで特定されているDNSサーバーを設定します。
- ※ 「IPアドレス」を「手動設定」に設定した場合は、「DNSアドレス」は自動的に「手動設定」に設定され、「自動取得」にはできません。その場合は、DNSアドレスを手動で設定します。






- ① DNSアドレスを自動取得できる場合は、▲・▼で「自動取得」を選び、決定を押す

自動取得できないネットワーク環境の場合

- ① ▲・▼で「手動設定」を選び、決定を押す
- ② ▲・▼で「プライマリアドレス」を選び、 ~ ⁽⁰⁾ で入力する
- ③ ▲・▼で「セカンダリアドレス」を選び、 ~ ⁽⁰⁾ で入力する
 - ・ ②と③では0～255の範囲の数字(左端の欄は0以外)を四箇所の欄に入力します。
 - ・ 欄を移動するには、◀▶を押します。
- ② ▲・▼で「設定完了」を選び、決定を押す

プロキシサーバー

- インターネットとの接続時にプロキシ(代理)サーバーを経由する場合に設定します。
- ご契約のプロバイダーから指定がある場合にだけ設定します。
- ここでのプロキシ設定はHTTPに関するものです。

- 1 ▲・▼で「使用する」を選び、を押す
- 2 ▲・▼で「サーバー名」を選び、を押す
- 3 サーバー名を入力する
 - ・ 文字入力の方法は [をご覧ください。](#)
 - ・ 入力できる文字は半角英字／半角数字で、記号は半角の"! "#%&()*+,-.:/;<=>@[¥]^_`{|}~?`_/`です。
- 4 ▲・▼で「ポート番号」を選び、 ^あ1 ~  ^{あ。小文字}10 (0)でポート番号を入力する
- 5 ▲・▼で「設定完了」を選び、を押す

IPv6接続

- IPv6アドレスを用いてネットワークに接続する場合に設定します。
- ※ ルーターのIPv6パススルー (IPv6ブリッジ)を有効にした場合は、外部からのアクセスが可能になり、セキュリティが低下します。同じルーターにつなぐパソコンは、正しくアクセス制限の設定をおこない、セキュリティ対策ソフトなどをお使いになることをお勧めします。

- 1 ▲・▼で「利用する」または「利用しない」を選んで、を押す

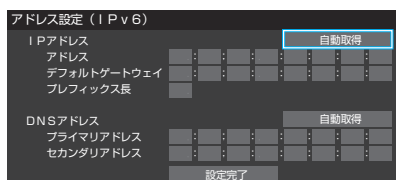
アドレス設定 (IPv6)

- IPv6で接続するとき、本機に割り当てられる固有の番号を設定します。

IPアドレス

- ※ 「IPアドレス」を「自動取得」に設定した場合は、IPv6ステートレスアドレス自動設定方式によりIPアドレスを取得した後、DHCPv6によりDNSアドレスを取得します。
- ※ 「IPアドレス」を「手動設定」に設定した場合は、「DNSアドレス」は、自動的に「手動設定」に設定されます。その場合は、DNSアドレスを手動で設定します。

- 1 IPアドレスを自動取得できる場合は、▲・▼で「自動取得」を選び、決定を押す



自動取得できないネットワーク環境の場合

- 1 ▲・▼で「手動設定」を選び、決定を押す
- 2 ▲・▼で「アドレス」を選び、 ~ (0)、 (a~c)、 (d~f) で入力する
- 3 ▲・▼で「デフォルトゲートウェイ」を選び、 ~ (0)、 (a~c)、 (d~f) で入力する
- 4 ▲・▼で「プレフィックス長」を選び、 ~ (0) で入力する
 - ・ ②、③では0 ~ 9、a ~ fの英数字(左端の欄は0以外)を八箇所の欄に入力します。
 - ・ ④では1 ~ 127の範囲の数字を入力します。
 - ・ 欄を移動するには、◀▶を押します。

- 2 ▲・▼で「設定完了」を選び、決定を押す

DNSアドレス

※ 「IPアドレス」を「手動設定」に設定した場合は、「DNSアドレス」は自動的に「手動設定」に設定され、「自動取得」にはできません。その場合は、DNSアドレスを手動で設定します。

- ① DNSアドレスを自動取得できる場合は、▲・▼で「自動取得」を選び、決定を押す

自動取得できないネットワーク環境の場合

- ① ▲・▼で「手動設定」を選び、決定を押す






- ② ▲・▼で「プライマリアドレス」を選び、 ~ (0)、
(a~c)、 (d~f) で入力する

- ③ ▲・▼で「セカンダリアドレス」を選び、 ~ (0)、
(a~c)、 (d~f) で入力する




- ・ ②、③では0 ~ 9、a ~ fの英数字(左端の欄は0以外)を八箇所の欄に入力します。
- ・ 欄を移動するには、◀▶を押します。

- ② ▲・▼で「設定完了」を選び、決定を押す

接続テスト

- 1  を押し、▲・▼・◀・▶と  で「設定」⇨「本体設定」⇨「ネットワーク・サービス設定」⇨「ネットワーク接続設定」の順に進む
- 2 ▲・▼で「接続テスト」を選び、 を押す
 - 「ネットワーク設定」が正しいかテストします。テストが終わると「接続テスト結果」画面が表示されます。「インターネットに接続できました。」と表示された場合は、「終了」を押します。
 - 正しく接続できなかった場合は、「再テスト」を選んで  を押します。再度接続テストを行い、接続テスト結果画面が表示されます。再テストを行っても接続できない場合は、「設定をやりなおす」を選んで  を押し、設定をやり直してください。

ネットワーク情報

- 1  を押し、▲・▼・◀・▶と  で「設定」⇨「本体設定」⇨「ネットワーク・サービス設定」⇨「ネットワーク接続設定」の順に進む
- 2 ▲・▼で「ネットワーク情報」を選び、 を押す
 - 現在利用しているネットワーク情報が表示されます。
 - ネットワーク接続の設定によっては、表示されない項目もあります。

ネットワーク設定の接続テスト結果について

- 接続テストの結果、正しく通信できなかった場合は、以下を確認します。
 - ① LAN端子の接続状態と「ネットワーク設定」を確認する
 - 正しく接続・設定されているかご確認ください。設定内容については、ルーターの設定内容に関係することがありますのでご注意ください。(ルーターの設定については、ルーターの取扱説明書をご覧ください。)
 - ② ネットワーク環境の接続確認
 - 以下の手順で本機と同一ネットワーク上に接続されたパソコンからインターネットに接続できるか確認します。
 - ① パソコンのインターネット・ブラウザ(Microsoft Edgeなど)を起動する
 - ② URL欄に「www.regza.com/regza/bd_dvd/」を入力し、ページが表示されることを確認する
 - ページが正しく表示されない場合は、接続されているパソコンやルーターの設定が正しいか確認します(くわしくは、パソコン、ルーターの取扱説明書をご覧ください)。この場合、本機の問題ではない可能性があります。
- 接続テストの結果で「IPv6接続のご利用について」が表示された場合
 - ・ 「アドレス設定(IPv6)」の設定内容が、ご使用のネットワーク環境に合っているかをご確認ください。
 - ・ ルーターのIPv6設定が有効かご確認ください。
上記を確認してもIPv6の接続ができない場合は、IPv6をご利用いただける契約か、プロバイダーにご確認ください。
 - ※ IPv6接続でネットワーク接続をご利用にならない場合は、「IPv6接続」を「利用しない」に変更してください。

ネットワークサービスを利用するための設定をする

- インターネットに接続して、[クラウドサービス](#)などのネットワークサービスを利用するには、「ネットワークサービス利用設定」を「利用する」に設定します。
 - ※ クラウドサービスの開始には、ソフトウェアの更新が必要になる場合があります。

1 を押し、▲・▼・◀・▶と で「設定」⇨「本体設定」⇨「ネットワーク・サービス設定」⇨「ネットワークサービス利用設定」の順に進む

2 内容を最後まで読む

3 ◀▶で「利用する」または「利用しない」を選び、 を押し



- 「TimeOn利用規約を表示」を選んで を押し、TimeOnの利用規約を確認することができます。もう一度 を押し、 を押しと元の画面に戻ります。

4 ◀▶で「設定完了」を選び、 を押し

ネットワークサービスの情報を初期化する

- クラウドサービスの設定内容や、動画配信サービスのログイン情報^{*}などを削除します。
 - ※ 一部初期化されない動画配信サービスがあります。

1 を押し、▲・▼・◀・▶と で「設定」⇨「本体設定」⇨「ネットワーク・サービス設定」⇨「ネットワークサービス情報の初期化」の順に進む

2 ◀▶で「はい」を選び、 を押し

- ネットワークサービスの情報が初期化され、本機の電源が「待機」になった後ふたたび「入」になります。

お知らせ

■ ネットワークサービス利用設定について

- ネットワークサービス利用設定を「利用する」に設定すると、本機の操作情報(チャンネル切替、入力切替、録画予約、再生履歴、番組複製履歴、番組編集履歴など)、動作状態の履歴情報、本機に接続されたUSBハードディスク等の識別情報や動作状態の履歴情報などや、ご登録いただいた都道府県、性別等の情報が当社または当社の委託先のサーバーで記録されますが、これらの情報から当社が利用者個人を特定することはありません。
- クラウドサービスなどのネットワークサービス(以下「本サービス」と表します)のご利用には、住所・氏名・連絡先等の個人情報の入力には不要です。(ただし、動画配信サービスによっては、契約が必要な場合があります。ご利用の動画配信サービスなどにご相談ください。)
- サーバーが収集した情報は、本サービスの提供以外に、品質改善や統計情報としてマーケティングなどの目的で利用することがあり、この目的の範囲内で第三者に提供する場合があります。ただし、お客様が特定のキャンペーン提供会社に対して、本機の利用履歴やお客様のプロフィール情報(ご登録いただいた都道府県、性別等の情報)を提供することに同意された場合は、当社はその情報をお客様が同意したキャンペーン提供会社へ提供する場合があります。
- 本サービスは、予告なく休止、終了、または内容を変更する場合があります。
- 本サービス中で、本サービス以外の第三者によって提供されるサービスをご利用いただく場合、各サービス提供者の利用規約およびその他規約が適用されます。本サービス以外の第三者によって提供されるサービスおよびこれに関連する事項について、当社は一切関与しません。
- ネットワークサービス利用設定を「利用しない」に設定を変更した場合、それまでにサーバーが収集した本機や本機に接続された機器に関する情報は、サーバーから消去されます。なお、お客様のプロフィール情報(ご登録いただいた都道府県、性別等の情報)は、本機の「すべての初期化」を行って次にネットワークにつないだときに、サーバーから消去されます。また、お客様が個別に作成した本サービスのユーザーアカウント情報は、ユーザーアカウントを削除したときに、サーバーから消去されます。
- クラウドサービスの内容やサーバーが収集した情報の削除方法については、ホームページ(https://www.regza.com/regza/bd_dvd/)をご覧ください。

ネットワークに関するお知らせ・用語

お知らせ

■ アドレス設定(IPv4)のIPアドレスについて

- 本機に接続されたルーターのDHCP機能(IPアドレスを自動的に割り当てる機能)がONのときは、アドレス設定(IPv4)のIPアドレスを「自動取得」、「手動設定」のどちらでも設定できます。

(通常は、「自動取得」に設定します。「手動設定」の方法は[「アドレス設定\(IPv4\)」](#)をご覧ください)

- ルーターのDHCP機能がOFFのときは、「手動設定」にして、プロバイダーから指定されたアドレスを手動で設定します。
- 手動で設定する際は、他の接続機器とIPアドレスが重複しないように設定します。設定する固定IPアドレスはプライベートアドレスでなければなりません。
- 設定終了後、本機に設定されたIPアドレスとルーターのローカル側に設定されたIPアドレスのネットワークID部分がそれぞれ同じであることを確認します。(くわしくは、ルーターの取扱説明書をご覧ください。)

■ アドレス設定(IPv4)のDNSアドレスについて

- 本機に接続されたルーターのDHCP機能がONのときは、アドレス設定(IPv4)のDNSアドレスを「自動取得」、「手動設定」のどちらでも設定できます。(通常は、「自動取得」に設定します。「手動設定」の方法は[「アドレス設定\(IPv4\)」](#)をご覧ください)
- 本機に接続されたルーターのDHCP機能がOFFのときは、アドレス設定(IPv4)のDNSアドレスを「手動設定」にして、プロバイダーから指定されたものを手動で設定します。(プロバイダーによって設定方法が異なります。プロバイダーとの契約内容に沿った設定をしてください。)

■ PPPoE設定について

- 本機ではPPPoEの設定はできません。PPPoEはルーター側に設定してください。(設定にはパソコンが必要です。)

用語

■ アドレス(IPv4)

ネットワークに接続する場合に、端末に割り当てられる固有の番号です。最大3ケタの数字4組を点で区切った形式で表現されます(例: 111.112.xxx.xxx)。

■ アドレス(IPv6)

ネットワークに接続する場合に、端末に割り当てられる固有の番号です。最大4ケタの数字またはa～fまでのアルファベット8組を「:」で区切った形式で表現されます(例: 1111:ABC D:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx)。

■ DNSサーバー

ドメイン名(xxx.co.jpなど)をIPアドレスに置き換える機能を持つサーバーで、本機では自動的に取得されます。自動で取得できない場合は、手動で、プロバイダーからの資料で指定されたDNSアドレスを「プライマリ」に入力します。二つある場合は、もう一方を「セカンダリ」に入力します(例: 111.112.xxx.xxx)。ご契約のプロバイダーによっては、「ネームサーバー」、「DNS1/DNS2サーバー」、「ドメインサーバー」などと呼ばれることがあります。

■ サブネットマスク

ネットワークを区切るために、端末に割り当てられるIPアドレスの範囲を限定するためのものです(例: 255.255.xxx.xxx)。

■ デフォルトゲートウェイ

ネットワーク外のサーバーにアクセスする際に、使用するルーターなどの機器を指定するためのものです。IPアドレスで特定されています(例: 111.112.xxx.xxx)。

■ プロキシ

ご契約のプロバイダーから指定があるときだけ設定してください(例: proxy.xxx.xxx.xxx)。

この設定をすると、HTTPプロキシサーバーからファイアウォール(外部からの不正侵入防護壁)を越えて通信先のサーバーにデータを送ることができます。

■ MACアドレス

ネットワーク上に接続されている機器の識別のために、機器ごとに割り当てられる固有の番号です。

クラウドサービスと ネットワークサービスについて

- ネットワークサービスとはネットワーク機能を使ったサービスです。
- クラウドサービスはネットワークサービスの一部で、当社が提供するサービスです。タレントや好みのテーマに関する番組・シーン・動画などを自動で検索する「みるコレ」サービスや、お好みの動画配信サービスなどを楽しめる他社サービスへのリンクも提供します。
- ※ サービスの概要などについては、ホームページ(https://www.regza.com/regza/bd_dvd/)をご覧ください。

クラウドサービスやネットワークサービスに必要な準備

- クラウドサービスやネットワークサービスを楽しむ前に、以下の接続と設定が必要です。

必要な接続・設定

- インターネットを利用するための接続をする。
 >>[「インターネットを利用するための接続をする」](#)
- インターネットを利用するための設定をする。
 >>[「インターネットを利用するための設定をする」](#)
- 「ネットワークサービス利用設定」を「利用する」に設定する。
 >>[「ネットワークサービスを利用するための設定をする」](#)
- インターネットの利用制限を設定する。
 >>[「インターネットの利用を制限する」](#)

クラウドサービスの基本操作

1 を押す

- クラウドサービスの画面が表示されます。
- みるコレのサービス内容については、クラウドサービスのホームページ(https://www.regza.com/regza/bd_dvd/)をご覧ください。


2 ▲・▼・◀・▶でお好みのサービスを選んで を押す

暗証番号の入力画面が表示された場合

- 1  ~  (0)を押して暗証番号を入力する

3 見たい項目を▲・▼・◀・▶で選び、 を押す

4 サービスを終了するには、 を押す

- 確認のメッセージが表示されたら、◀▶で「はい」を選んで、 を押します。

動画配信サービスを楽しむ

- 各種動画配信サービスを楽しむことができます。
- ※ お買い上げの時期によっては、サービスをご利用いただくにはソフトウェアのバージョンアップが必要な場合があります。
- ※ サービスは、予告なく変更や終了する場合があります。
- ※ サービスによっては、BS/CS 4K放送を録画中は、視聴できない場合があります。

■ 動画配信サービスの利用に必要な準備

- [インターネットへの接続と設定](#)が必要です。
- 動画配信サービスの利用者登録が必要な場合があります。
 - ・ アカウントの取得方法は、各社のホームページを参照してください。
- おもな操作は動画配信サービスの画面に従います。
- 「ネットワークサービス情報の初期化」や「すべての初期化」を実行すると、ログイン設定も削除されます。






Net.TVを見る

- テレビ番組を楽しむように、20チャンネル以上の番組がお手軽にお楽しみいただけます。

1 Net.TVを押す

- Net.TVの画面が表示されます。
- Net.TVに関する詳しい情報は、<https://netdottv.com/> をご覧ください。

お知らせ

- 当社および他社が提供するネットワークサービスの名称およびサービス内容の一部または全部は、予告なく変更・終了する場合があります。
- ネットワークサービスによっては、事前に利用者登録などが必要なサービスがあります。
- ご利用の回線業者やプロバイダーが採用している接続方式・契約約款によっては、サービスを利用できない場合があります。
- 他社が提供するサービスやコンテンツに関して当社は一切関与しません。
- ネットワークサービスの内容は録画することはできません。
-  を押してもクラウドサービスの画面が表示されない場合は、 を2秒以上押してから、 を押します。
 を2秒以上押すと、クラウドサービス終了後再読み込みが行われ、 を押すと再読み込み後の画面が表示されます。

映像・音声を調整する

- 本機の映像や音声の設定を変更できます。

映像調整

- 1 **設定メニュー** を押し、▲・▼・◀・▶ と **決定** で「設定」⇒「本体設定」⇒「映像・音声設定」⇒「映像調整」の順に進む

- ディスク再生中の場合は、**サブメニュー** を押して「映像調整」を選びます。

- 2 お好みの設定を▲・▼で選び、**決定** を押す

黒レベル

- 映像の暗い部分(黒)の再現性(明るさ)を調整します。
- 「-50(暗)」～「+50(明)」の範囲で調整できます。

色の濃さ

- 映像の色の濃さを調整します。
- 「-50(淡)」～「+50(濃)」の範囲で調整できます。

色あい

- 肌の色に注目して、色あいを調整します。
- 「-50(紫)」～「+50(緑)」の範囲で調整できます。

レゾリューションプラス

- 映像の精細感や質感を復元します。
- 「0」～「10」の範囲で調整できます。数値が大きくなるほど、映像の精細感が強調されます。

HDR(HLG)明るさ補正

- HDR(HLG)番組を視聴しているときの明るさを補正します。
- 「-10」～「+10」の範囲で調整できます。

MPEG NR

- デジタル放送やDVDなどの動きの速い映像のブロックノイズ(モザイク状のノイズ)と、モスキートノイズ(輪郭のまわりにつく、ちらつきノイズ)を減らす機能です。

- **オート**


映像の種類に応じて自動的に制御されます。

- **手動**

手動で調整します。

「0」で効果がオフになります。「10」で効果が最大になります。

映像調整を初期値に戻す

- 映像調整の内容を、お買い上げ時の設定・調整に戻します。
- 「はい」を選んで  を押すと、設定が初期値に戻ります。

お知らせ

- 「レグザコンビネーション高画質」および「レグザクラウドAI高画質」に対応した東芝テレビ「REGZA」と接続したときは、自動的に画質が調整され、手動での映像調整はできません

音声調整

- 1 **設定** を押し、▲・▼・◀・▶と**決定**で「設定」⇒「本体設定」⇒「映像・音声設定」⇒「音声調整」の順に進む
- 2 お好みの設定を▲・▼で選び、**決定**を押す

音声出力

- HDMI端子から出力する音声信号の種類を設定します。
- テレビが対応している音声信号については、テレビの取扱説明書でご確認ください。
- テレビから音声がでない、または正常に再生できない場合は、「PCM」に設定してください。

・ PCM

常にリニアPCM信号が出力されます。機器がリニアPCM信号だけに対応している場合は、この設定にします。

・ ビットストリーム

ビットストリーム信号を出力します。以下の二つから選択します。

・ オート

信号が自動で出力されます。

・ Dolby Audio変換

Dolby信号に変換して出力します。ディスク再生時はオートと同じ動作になります

ご注意

- 非対応の音声フォーマットを対応と通知してくるARC対応機器もあります。その場合、非対応音声フォーマットの再生中は音が出なくなります。
- 本機から出力されるデジタル音声は、音声出力設定を「PCM」以外に設定するとコンテンツによってはオーディオ機器(AVアンプなど)で正常に再生できない形式があります。

お知らせ

- 音声出力設定が「PCM」以外に設定されている場合で、MPEG-2 AAC音声の場合には、データ放送の一部の音声(効果音など)がHDMI端子から出力されないことがあります。

ダイナミックレンジ設定

- 音量差を調整し音声を聴きやすくします。Dolby Audio信号のとき動作します。

- ・ **オート**

Dolby Audio-Dolby TrueHDの再生中に、本機がディスクのダイナミックレンジ情報を認識し、ダイナミックレンジ設定を自動的に「オン」、または「オフ」に設定します。

- ・ **オン**

記録された音声の強弱の幅を調整します。

- ・ **オフ**

記録されたオリジナル音源で出力します。

テレビ表示の設定をする

- 接続するテレビに合わせて、テレビの表示を設定します。

TV画面設定

- 1 **メニュー** を押し、▲・▼・◀・▶ と **決定** で「設定」⇨「本体設定」⇨「ディスク設定」⇨「TV画面設定」の順に進む

- 2 お好みの設定を▲・▼で選び、**決定** を押す

- **16:9ワイド**

16:9ワイドテレビで見るときに選びます。16:9ワイド映像を画面いっぱいに映します。

- **16:9シュリンク**

16:9ワイドテレビで、4:3映像を見るときに、画面の上下幅に収まるまで、縦横比を維持しつつ4:3映像を縮小して表示します。

- 16:9テレビに接続するときは、16:9シュリンクに設定することをおすすめします。

お知らせ

- HDMI端子から720p / 1080p / 4Kで出力している場合は、設定に関わらず、「16:9シュリンク」のみ有効になります。
- 再生できる画面形状があらかじめ決められている市販品のブルーレイディスク / DVD-Videoなどの場合や、放送内容や再生する番組によっては、設定した画面形状通りに再生されないことがあります。

画面表示エリア設定

- 番組表などの表示する範囲を設定します。

1 **メニュー** を押し、▲・▼・◀・▶ と **決定** で「設定」⇒「本体設定」⇒「詳細機能設定」⇒「画面表示エリア設定」の順に進む

2 お好みの設定を▲・▼で選び、**決定** を押す

- **標準**

画面全体で表示します。通常はこちらを選びます。

- **縮小**

接続するテレビで、番組表などの表示の範囲が、テレビ画面の枠の外に出て、使いにくい場合に選びます。

HDMI接続の設定をする

- 接続するテレビに合わせて、HDMI出力の設定ができます。

HDMI連動機能

- HDMIケーブルで接続したテレビと連動して、電源のオン／オフなど本機を操作できるようになります。
- ※使用するテレビの側でも「HDMI連動機能」の設定をおこなってください。

1 **リモコン** を押し、▲・▼・◀・▶ と **決定** で「設定」⇒「本体設定」⇒「HDMI接続設定」⇒「HDMI連動機能」の順に進む

2 ▲・▼で「使用する」を選び、**決定** を押す

- 接続したテレビと連動して、本機を操作できるようになります。

クラウドAI高画質設定

- クラウドと連携したテレビの高画質化処理を利用するための設定をします。
 - クラウドAI高画質機能を利用するためには、以下の設定が必要です。
 - ・ **「ネットワーク接続設定」**
 - ・ 「レグザリンク機能を設定する」
 - ・ 対応テレビの「東芝レコーダー連携機能」を「使用する」に設定してください。くわしくはテレビに付属の取扱説明書をお読みください。
- ※ クラウドAI高画質機能は、ディスク再生に対応していません。

1  を押し、▲・▼・◀・▶ と  で「設定」⇨「本体設定」⇨「HDMI接続設定」⇨「クラウドAI高画質設定」の順に進む

2 ▲・▼で「使用する」を選び、 を押す

- テレビがコンテンツに合わせて最適な映像設定に移行するようになります。

お知らせ

- クラウドAI高画質に対応したテレビはホームページ https://www.regza.com/regza/bd_dvd/ でお知らせしています。


ご注意

- 以下のコンテンツを再生した場合には、クラウドAI高画質の補正は働きません。
 - ・ 日時指定録画した4K放送番組をAVCへ変換した場合
 - ・ 4K放送からAVCへ変換した番組を他機からダビングした場合
 - ・ 4K放送からAVCへ変換した番組をネットワーク経由で受信した場合

出力解像度設定

- 出力する画面の解像度を設定します。


1  を押し、▲・▼・◀・▶と  で「設定」⇨「本体設定」⇨「HDMI接続設定」⇨「出力解像度設定」の順に進む

2 ▲・▼で以下から選び、 を押す

- オート
接続したテレビに合わせた出力を自動でおこないます。
- 1080p
- 2160p

3 確認画面で、◀・▶を押して「はい」を選び、 を押す

- 出力解像度が変更されます。

- ※ 解像度を選択して映像が映らなくなった場合は、 を5秒以上押し続けると、設定を「オート」に変更することができます。
- ※ 接続したテレビが対応できない解像度は選べません。
- ※ 4K/HDR信号を視聴するためには、「テレビ側」のHDMI入力端子の設定をご確認ください。(設定方法についてはテレビの取扱説明書を参照してください)

レグザをご使用の場合

外部入力設定のHDMIモードを「高速信号モード」に設定してください。

当社以外のテレビをご使用の場合

4K入力、HDR入力ができる設定に切り替えてください。

24p出力

- 24p対応のテレビと接続している場合、24pで出力するための設定をします。

1 **スタートメニュー** を押し、▲・▼・◀・▶と**決定**で「設定」⇨「本体設定」⇨「HDMI接続設定」⇨「24p出力」の順に進む

2 ▲・▼で以下から選び、**決定**を押す

- オート
24p対応コンテンツの再生時に24pで出力します。
- オフ
60pで出力します。

HDMIディープカラー

- 接続したテレビがディープカラーに対応している場合、高い階調の映像信号を出力することができます。

1 **スタートメニュー** を押し、▲・▼・◀・▶と**決定**で「設定」⇨「本体設定」⇨「HDMI接続設定」⇨「HDMIディープカラー」の順に進む


2 ▲・▼で以下から選び、**決定**を押す

- オート
接続した機器に応じて自動的に制御されます。
- オフ
この機能は働きません。

ハイダイナミックレンジ出力

- 明るさの領域を復元し、表現領域を拡大する機能です。
- ※「HDMIディープカラー」が「オフ」に設定されている場合は、「ハイダイナミックレンジ出力」は「オフ」になり、設定を変えることはできません。

1  を押し、▲・▼・◀・▶とで「設定」⇨「本体設定」⇨「HDMI接続設定」⇨「ハイダイナミックレンジ出力」の順に進む

2 ▲・▼で以下から選び、を押す

- オート
ハイダイナミックレンジ(HDR)対応するテレビが自動判別し、ハイダイナミックレンジ出力します。
- オフ
ハイダイナミックレンジ出力しません。

HDMI音声出力

- HDMI (映像・音声)端子またはHDMI (音声)端子のどちらから、音声を出力するかを設定します。



1  を押し、▲・▼・◀・▶とで「設定」⇨「本体設定」⇨「HDMI接続設定」⇨「HDMI 音声出力」の順に進む

2 ▲・▼で以下から選び、を押す

- 映像・音声
HDMI (映像・音声)端子から音声を出力します。
- 音声
HDMI (音声)端子から音声を出力します。

音声出力タイミング(調整)

- HDMI 端子から出力するデジタル音声のタイミングを調整します。

1  を押し、▲・▼・◀・▶ と  で「設定」⇨「本体設定」⇨「HDMI接続設定」⇨「音声出力タイミング(調整)」の順に進む

2 ◀・▶ でお好みのタイミングに調整し、 を押す

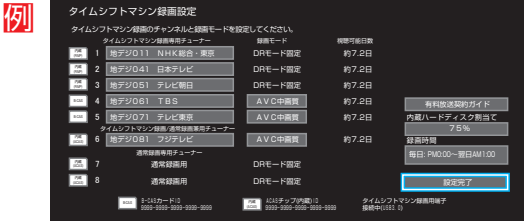
- 数値が小さくなるほど、音声を出力するタイミングが遅くなります。

タイムシフトマシンの設定をする

タイムシフトマシンの設定を変更する

- タイムシフトマシン録画に関する設定を変更できます。

- 1 **スタートメニュー** を押し、▲・▼と **決定** で「本体設定」⇒「タイムシフトマシン設定」⇒「タイムシフトマシン録画設定」の順に進む



- 2 設定・変更する項目を▲・▼・◀・▶で選んで **決定** を押し、設定する

お知らせ

CASについて

- 有料放送をご利用になる場合には、有料放送の契約が必要です（同梱取扱説明書「有料放送をご利用になる場合のご注意」[17](#)）。
- 本機では、使用するCASは以下のように切り替わります。
 - ・タイムシフトマシン録画(地デジ)：RMP (内蔵)
 - ・タイムシフトマシン録画(BS/CS)：ミニB-CASカード
 - ・通常録画：A C A S (内蔵)
 使用しているCASは、設定画面上でアイコンで表示されます。
- タイムシフトマシン録画設定内の「有料放送ガイド」を開くと案内が表示されます。

録画するチャンネルを設定する

- 1 設定したいチャンネルを▲・▼・◀・▶で選び、決定を押す
- 2 ▲・▼で放送を選び、決定を押す
 - 録画チャンネル1～3には、地上デジタル放送のみ設定できます。
- 3 ▲・▼でチャンネルを選び、決定を押す

録画モードを設定する

- 録画する際の画質を選択します。高画質にするほど、全体の録画可能時間は短くなります。
 - ※ 複数の音声が含まれる番組や、マルチch音声が含まれる番組を録画する場合、録画可能時間が短くなることがあります。
 - ※ 録画可能日数は、すべてのチャンネルで同じになるように調整されます。
- 1 設定したいチャンネルの「録画モード」を▲・▼・◀・▶で選び、決定を押す
 - 録画モードを切り換えられるのは、録画チャンネル4～6のみになります。
 - 2 ▲・▼で録画モードを選び、決定を押す

内蔵ハードディスク割当てを変更する

- 内蔵ハードディスクのうち、タイムシフトマシン録画に使用する容量の割合を0%/25%/50%/75%/87.5%から選んで設定できます。
- 1 ▲・▼・◀・▶で「内蔵ハードディスク割当て」を選び、**決定**を押す
 - 2 ▲・▼で割当てを選び、**決定**を押す
 - ※ 「0%」を選ぶ場合は、タイムシフトマシン録画用にUSBハードディスクを接続する必要があります。
 - ※ HDD割当てを変更した場合、タイムシフトマシン録画番組は初期化されます。
 - ※ タイムシフトマシン録画の使用領域を増やした場合は、内蔵HDDに録画された通常録画番組も初期化されます。
 - ※ タイムシフトマシン録画の使用領域を減らした場合は、内蔵HDDに録画された通常録画番組は初期化されません。

録画する時間を変更する

- タイムシフトマシン録画をする曜日と時間帯を設定することができます(チャンネルごとの設定はできません)。
- 1 ▲・▼・◀・▶で「録画時間」を選び、**決定**を押す
 - 2 ▲・▼で録画する時間帯を選び、**決定**を押す



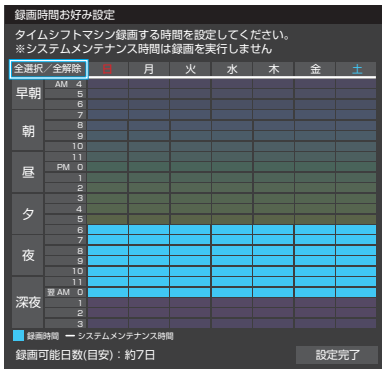
- ご希望の時間帯がないときは、「お好み設定」を選ぶとお好み設定画面が表示されます。以降の操作で設定します。

お好み設定

- お好み設定画面で以下の設定をします。

① ▲・▼・◀・▶で録画時間を選び、決定を押す

- 決定を押すたびに設定と解除が交互に切り換わります。
- 「全選択」を選ぶと、全時間の設定ができます(全時間が設定されている場合は、「全解除」ができます)。
- 曜日や時間帯のボタンを選ぶと、その列や行すべての時間を設定/解除できます。



② 設定が終わったら、「設定完了」を選び、決定を押す

③ メッセージが表示された場合は以下の操作をする

- 録画時間が設定されていません。
 - ・ 録画時間帯を一つ以上設定します。

タイムシフトマシン機能を開始/停止する

1 [スタート] を押し、▲・▼と決定で「本体設定」⇒「タイムシフトマシン設定」⇒「タイムシフトマシン録画」の順に進む

2 ▲・▼で「する」または「しない」を選び、決定を押して設定する

- 「する」に設定すると、タイムシフトマシン録画を開始します。

タイムシフトマシン録画用USBハードディスクの設定をする

- USBハードディスクの接続のしかたは、[「USBハードディスクを増設する」](#)ををご覧ください。
- タイムシフトマシン録画にUSBハードディスクを使用する場合は、「USBハードディスク設定」で、タイムシフトマシン用にUSBハードディスクを登録する必要があります。

ご注意

- タイムシフトマシン録画用USBハードディスクを接続して使用する場合は、必ずタイムシフトマシン録画用機器の登録操作を行ってください。
タイムシフトマシン録画を開始したあと、USB端子にUSBハードディスクを接続して登録操作をすると、内蔵ハードディスクのタイムシフトマシン録画領域も登録し直されるため、ハードディスクが初期化され、それまで保存されていたタイムシフトマシン録画番組はすべて消去されます。
- ※ タイムシフトマシン録画用USBハードディスクを取り外して、内蔵ハードディスクのみで再度使用するときは、必ず「設定」⇒「本体設定」⇒「タイムシフトマシン設定」⇒「USBハードディスク設定」⇒「機器の登録」から再度登録操作をしてください。

- 1  を押し、▲・▼・◀・▶と  で「設定」⇒「本体設定」⇒「タイムシフトマシン設定」⇒「USBハードディスク設定」⇒「通常録画／タイムシフトマシン録画用USB端子設定」の順に進む

ご注意

- お買い上げ時の設定(工場出荷設定)では、USB端子は「通常録画用」に設定されています。
- USBハードディスクをすでに通常録画用にお使いの場合は、USBハードディスクを取り外してから設定を行う必要があります。
「設定」⇒「本体設定」⇒「録画・再生設定」⇒「USBハードディスク設定」⇒「機器の取り外し」を実施し、通常録画用のUSBハードディスクを取り外してください。

2 ▲・▼で「タイムシフト録画用」を選んで を押す

- 録画用USB端子に接続したUSBハードディスクが、タイムシフトマシン録画に使用できます。
- USBハードディスクの設定を変更した場合はタイムシフトマシン録画設定を再設定してください。

内蔵ハードディスクとタイムシフトマシン録画用USB-HDDについて

- 内蔵ハードディスクには、設定したチャンネルのタイムシフトマシン録画番組とタイムシフトマシン録画設定の情報が記録されます。
- USB端子に接続して登録するUSBハードディスクは、増設用USBハードディスクになります。
 - ・ USBハードディスクを接続して登録すると、本機は二つのハードディスクの容量をたした一つのハードディスクとみなします。

例えば、本機のタイムシフトマシン録画領域が1TB、容量が1TBのUSBハードディスクを、タイムシフトマシン録画用USBハードディスクとして接続すると、容量2TBの一つのハードディスクと認識されます。
- ※ タイムシフトマシン録画用USBハードディスクを接続して使用するときには、必ず登録操作をしてください。
- タイムシフトマシン録画中に、ハードディスクが認識できない状態(USBハードディスクの故障など)になると、タイムシフトマシン録画は中断されます。
- タイムシフトマシン録画は、接続して登録したUSBハードディスクがすべて接続されていないと働きません。

機器を登録/解除する

機器を登録する

※ 登録するときには、USBハードディスクに保存されている内容(過去のタイムシフトマシン録画番組を含む)がすべて消去されます。

- 1 **スタートメニュー** を押し、▲▼◀▶と **決定** で「設定」⇒「本体設定」⇒「タイムシフトマシン設定」⇒「USBハードディスク設定」⇒「機器の登録」の順に進む
- 2 タイムシフトマシン録画用機器の登録画面で、**決定** を押す
- 3 登録の確認画面で、◀▶で「はい」を選んで **決定** を押す
- 4 初期化の確認画面で、◀▶で「はい」を選んで **決定** を押す
 - 初期化と登録の処理が始まります。
- 5 終わったら、登録結果の内容を確認し、**決定** を押す

登録を解除する

- 一度解除したUSBハードディスクを再度登録するときは、初期化され、保存されている録画番組はすべて消去されます。
- 1 **スタートメニュー** を押し、▲▼◀▶と **決定** で「設定」⇒「本体設定」⇒「タイムシフトマシン設定」⇒「USBハードディスク設定」⇒「機器の登録」の順に進む
 - 2 タイムシフトマシン録画用機器の登録画面で、**赤** を押す
 - 3 ◀▶で「はい」を選び、**決定** を押す

省エネ設定をする

1 **スタートメニュー** を押し、▲・▼・◀・▶と**決定**で「設定」⇨「本体設定」⇨「タイムシフトマシン設定」⇨「USBハードディスク設定」⇨「省エネ設定」の順に進む

2 ▲・▼で以下から選び、**決定**を押す

- ・ オン
タイムシフトマシンの機能が使われない状態が続くと、ハードディスクの電源が「待機」になります。過去番組表が表示されるまでに時間がかかるようになります。
- ・ オフ
本機の電源が「入」のとき、ハードディスクの電源は常に「入」になります。

機器を取りはずす

- USBハードディスクの電源を切ったり、接続ケーブルを抜いたりするときには、その前にこの操作をします。
- USBハードディスクの取りはずしの操作をする前に、「タイムシフトマシン設定」⇨「タイムシフトマシン録画」の設定を「しない」にしておきます。

1 **スタートメニュー** を押し、▲・▼・◀・▶と**決定**で「設定」⇨「本体設定」⇨「タイムシフトマシン設定」⇨「USBハードディスク設定」⇨「機器の取りはずし」の順に進む

2 取りはずす機器を▲・▼で選び、**決定**を押す

3 確認画面で、◀・▶で「はい」を選んで**決定**を押す

- 停止の処理が始まり、終了すると「USBハードディスクを取りはずしできます。」のメッセージが表示されます。

4 USBハードディスクを取りはずし、**決定**を押す

- ※ タイムシフトマシン録画用USBハードディスクを取り外して、内蔵ハードディスクのみで再度使用するときは、必ず「設定」⇒「本体設定」⇒「タイムシフトマシン設定」⇒「USBハードディスク設定」⇒「機器の登録」から再度登録操作をしてください。

機器を初期化する

- 正常に使用できなくなったUSBハードディスクは、初期化をすれば使用できるようになる場合があります。
- USBハードディスクの初期化をする前に、「タイムシフトマシン設定」⇒「タイムシフトマシン録画」の設定を「しない」にしておきます。

※ 初期化をすると、選んだUSBハードディスクに保存されている録画番組はすべて消去されます（「タイムシフトマシン録画設定」の設定内容は消去されません）。

- 1 **リモコン** を押し、▲・▼・◀・▶と **決定** で「設定」⇒「本体設定」⇒「タイムシフトマシン設定」⇒「USBハードディスク設定」⇒「機器の初期化」の順に進む
- 2 ◀・▶で「はい」を選び、**決定** を押す
- 3 確認画面で、◀・▶で「はい」を選んで **決定** を押す
- 4 初期化終了の画面で **決定** を押す

システムをメンテナンスする

- システムメンテナンスをすることで、システム内のデータが整理され、効率的に動作するようになります。

毎日自動的に実行する

- 設定した時刻に毎日自動的にシステムメンテナンスが実行されます。
- システムメンテナンスの実行中はタイムシフトマシン録画が実行されません。

1 **メニュー** を押し、▲・▼・◀・▶と **決定** で「設定」⇒「本体設定」⇒「タイムシフトマシン設定」⇒「システムメンテナンス」⇒「システムメンテナンス時間」の順に進む

2 ◀・▶で「時」、「分」の欄を選び、▲・▼で開始時刻を設定する

- 開始時刻は10分単位で設定できます。システムメンテナンスの所要時間は約10分間です。

3 設定が終わったら、**決定** を押す

手動で今すぐ実行する

- ※ システムメンテナンスを実行すると、現在実行中の通常録画用USBハードディスクへの録画、ダビング、タイムシフトマシン録画、保存などは中止されます。

1 **メニュー** を押し、▲・▼・◀・▶と **決定** で「設定」⇒「本体設定」⇒「タイムシフトマシン設定」⇒「システムメンテナンス」⇒「システムメンテナンスの実行」の順に進む

2 ◀・▶で「はい」を選び、**決定** を押す

- 本機の電源がいったん切れてから「入」になり、システムメンテナンスが開始されます。
- システムメンテナンスが終了するまでの約10分間は操作できません。

おすすめ履歴を初期化する

- おすすめ履歴をお買い上げ時の状態に戻します。

- 1 **スタートメニュー** を押し、▲・▼・◀・▶と **決定** で「設定」⇨「本体設定」⇨「タイムシフトマシン設定」⇨「おすすめ履歴の初期化」の順に進む
- 2 初期化の確認画面で、◀・▶で「はい」を選んで **決定** を押す
- 3 初期化が終了したら、**決定** を押す

タイムシフトマシン録画機能を初期化する

- タイムシフトマシン機能にエラーが発生するようなときに、初期化をすると改善される場合があります。
 - 「タイムシフトマシン設定の初期化」は、タイムシフトマシン録画番組がすべて消去されます。また、「タイムシフトマシン録画設定」の設定内容も消去されますので、設定し直してください。
- ※ 初期化をおこなう前に、あらかじめ「タイムシフトマシン録画」を「しない」に設定しておきます。

- 1 **スタートメニュー** を押し、▲・▼・◀・▶と **決定** で「設定」⇨「本体設定」⇨「タイムシフトマシン設定」⇨「タイムシフトマシン設定の初期化」の順に進む
- 2 初期化の確認画面で、◀・▶で「はい」を選んで **決定** を押す
- 3 初期化が終了したら、**決定** を押す

タイムシフトマシン録画の視聴可能日数一覧表

- 【タイムシフトマシン録画設定】を6チャンネルに設定し、【録画有効時間変更】が初期値の【毎日:PM7:00～翌日AM1:00】の場合と、【毎日:24時間】の場合の、タイムシフトマシン録画したときの視聴できる日数の目安は以下の通りです。(視聴可能日数は、チャンネルごとの日数です)

【毎日:PM7:00～翌日AM1:00】の場合

タイムシフトマシン録画モード		HDD(6TB)DBR-4KZ600 タイムシフトマシン録画用領域のHDD容量				
ch数	録画モード	0%	25%	50%	75%	87.5%
6ch	DR放送画質(地デジ):6ch	—	約 5.4日	約 10.7日	約16.0日	約18.7日
	DR放送画質(地デジ):3ch AVC最高画質:3ch	—	約 6.3日	約 12.5日	約18.8日	約21.9日
	DR放送画質(地デジ):3ch AVC高画質:3ch	—	約 7.3日	約14.5日	約21.8日	約25.4日
	DR放送画質(地デジ):3ch AVC中画質:3ch	—	約 7.9日	約15.8日	約23.6日	約27.6日
	DR放送画質(地デジ):3ch AVC低画質:3ch	—	約 8.5日	約17.0日	約25.5日	約29.8日
	DR放送画質(地デジ):3ch AVC最低画質:3ch	—	約 9.8日	約19.6日	約29.4日	約34.3日

タイムシフトマシン録画モード		HDD(4TB)DBR-4KZ400 タイムシフトマシン録画用領域のHDD容量				
ch数	録画モード	0%	25%	50%	75%	87.5%
6ch	DR放送画質(地デジ):6ch	—	約 3.6日	約 7.1日	約10.7日	約12.5日
	DR放送画質(地デジ):3ch AVC最高画質:3ch	—	約 4.2日	約 8.4日	約12.5日	約14.6日
	DR放送画質(地デジ):3ch AVC高画質:3ch	—	約 4.9日	約 9.7日	約14.5日	約16.9日
	DR放送画質(地デジ):3ch AVC中画質:3ch	—	約 5.3日	約10.5日	約15.8日	約18.4日
	DR放送画質(地デジ):3ch AVC低画質:3ch	—	約 5.7日	約11.4日	約17.0日	約19.9日
	DR放送画質(地デジ):3ch AVC最低画質:3ch	—	約 6.6日	約13.1日	約19.6日	約22.9日

タイムシフトマシン 録画モード		HDD(2TB)DBR-4KZ200 タイムシフトマシン録画用領域のHDD容量				
ch数	録画モード	0%	25%	50%	75%	87.5%
6ch	DR放送画質(地デジ):6ch	—	約 1.8日	約 3.6日	約 5.4日	約 6.3日
	DR放送画質(地デジ):3ch AVC最高画質:3ch	—	約 2.1日	約 4.2日	約 6.3日	約 7.3日
	DR放送画質(地デジ):3ch AVC高画質:3ch	—	約 2.5日	約 4.9日	約 7.3日	約 8.5日
	DR放送画質(地デジ):3ch AVC中画質:3ch	—	約 2.7日	約 5.3日	約 7.9日	約 9.2日
	DR放送画質(地デジ):3ch AVC低画質:3ch	—	約 2.9日	約 5.7日	約 8.5日	約10.0日
	DR放送画質(地デジ):3ch AVC最低画質:3ch	—	約 3.3日	約 6.6日	約 9.8日	約11.5日

【毎日:24時間】の場合

タイムシフトマシン 録画モード		HDD(6TB)DBR-4KZ600 タイムシフトマシン録画用領域のHDD容量				
ch数	録画モード	0%	25%	50%	75%	87.5%
6ch	DR放送画質(地デジ):6ch	—	約 1.4日	約 2.7日	約 4.0日	約 4.7日
	DR放送画質(地デジ):3ch AVC最高画質:3ch	—	約 1.6日	約 3.2日	約 4.7日	約 5.5日
	DR放送画質(地デジ):3ch AVC高画質:3ch	—	約 1.9日	約 3.7日	約 5.5日	約 6.4日
	DR放送画質(地デジ):3ch AVC中画質:3ch	—	約 2.0日	約 4.0日	約 5.9日	約 6.9日
	DR放送画質(地デジ):3ch AVC低画質:3ch	—	約 2.2日	約 4.3日	約 6.4日	約 7.5日
	DR放送画質(地デジ):3ch AVC最低画質:3ch	—	約 2.5日	約 4.9日	約 7.4日	約 8.6日

タイムシフトマシン 録画モード		HDD(4TB)DBR-4KZ400 タイムシフトマシン録画用領域のHDD容量				
ch数	録画モード	0%	25%	50%	75%	87.5%
6ch	DR放送画質(地デジ):6ch	—	約 0.9日	約 1.8日	約 2.7日	約 3.2日
	DR放送画質(地デジ):3ch AVC最高画質:3ch	—	約 1.1日	約 2.1日	約 3.2日	約 3.7日
	DR放送画質(地デジ):3ch AVC高画質:3ch	—	約 1.3日	約 2.5日	約 3.7日	約 4.3日
	DR放送画質(地デジ):3ch AVC中画質:3ch	—	約 1.4日	約 2.7日	約 4.0日	約 4.6日
	DR放送画質(地デジ):3ch AVC低画質:3ch	—	約 1.5日	約 2.9日	約 4.3日	約 5.0日
	DR放送画質(地デジ):3ch AVC最低画質:3ch	—	約 1.7日	約 3.3日	約 4.9日	約 5.8日

タイムシフトマシン 録画モード		HDD(2TB)DBR-4KZ200 タイムシフトマシン録画用領域のHDD容量				
ch数	録画モード	0%	25%	50%	75%	87.5%
6ch	DR放送画質(地デジ):6ch	—	約 0.5日	約 0.9日	約 1.4日	約 1.6日
	DR放送画質(地デジ):3ch AVC最高画質:3ch	—	約 0.6日	約 1.1日	約 1.6日	約 1.9日
	DR放送画質(地デジ):3ch AVC高画質:3ch	—	約 0.7日	約 1.3日	約 1.9日	約 2.2日
	DR放送画質(地デジ):3ch AVC中画質:3ch	—	約 0.7日	約 1.4日	約 2.0日	約 2.3日
	DR放送画質(地デジ):3ch AVC低画質:3ch	—	約 0.8日	約 1.5日	約 2.2日	約 2.5日
	DR放送画質(地デジ):3ch AVC最低画質:3ch	—	約 0.9日	約 1.7日	約 2.5日	約 2.9日

ディスクの設定をする

- ディスクへのダビングや、再生の設定をします。

EPモード

- 録画モードで「EP」を選択したときの録画時間を設定します。

1 **スタートメニュー** を押し、▲・▼・◀・▶ と **決定** で「設定」⇨「本体設定」⇨「ディスク設定」⇨「EPモード」の順に進む

2 ▲・▼で以下から選び、**決定** を押す

- 6時間
- 8時間

BD—HD音声設定

- 副音声や操作音が記録されたBDビデオの再生時に、すべての音声を出力するか、しないかを設定します。

1 **スタートメニュー** を押し、▲・▼・◀・▶ と **決定** で「設定」⇨「本体設定」⇨「ディスク設定」⇨「BD—HD音声設定」の順に進む

2 ▲・▼で以下から選び、**決定** を押す

- 複合音声
主音声や副音声、操作音をすべて出力します。
- HD音声
主音声のみを高音質で出力します。

言語設定

- BD/DVDビデオを再生するときの言語を設定します。

1 **メニュー** を押し、▲・▼・◀・▶と**決定**で「設定」⇨「本体設定」⇨「ディスク設定」⇨「言語設定」の順に進む

2 ▲・▼で項目を選び、**決定**を押す

3 ▲・▼で言語を選び、**決定**を押す

- 「その他の言語」を選んだ場合は、言語コード入力画面になります。言語コードについては「言語コード一覧」をご覧ください。

音声言語設定

- 音声言語を設定します。

- ・ 日本語
- ・ 英語
- ・ その他の言語

字幕言語設定

- 字幕言語を設定します。

- ・ 切
- ・ 日本語
- ・ 英語
- ・ その他の言語

ディスクメニュー言語設定

- ディスクメニュー言語を設定します。

- ・ 日本語
- ・ 英語
- ・ その他の言語

アングルアイコン

- 再生中に、カメラアングルを切り換えられる場面で、アングルアイコンを表示するかを設定します。

1  を押し、▲・▼・◀・▶と  で「設定」⇨「本体設定」⇨「ディスク設定」⇨「アングルアイコン」の順に進む

2 ▲・▼で「オン」または「オフ」を選び、 を押す

BD-LIVE接続設定

- インターネットを利用してBD-L i v e 接続設定をおこないます。

1  を押し、▲・▼・◀・▶と  で「設定」⇨「本体設定」⇨「ディスク設定」⇨「BD-L i v e 接続設定」の順に進む

2 ▲・▼で以下から選び、 を押す

- 有効
- 有効(制限付き)
- 無効

アンテナを調整する

電波の強さ(信号強度)を確認する

- テレビが全く映らない、または映像が乱れるなどの場合は、以下の手順でアンテナレベルを確認します。

お知らせ

- アンテナレベルの信号強度の数値は、受信入力電力を換算したものです。
- アンテナレベルの信号品質の数値は、受信C/Nを換算したものです。「受信C/N」とは放送電波と雑音電波の比を表すもので、電波の品質を知るときの目安となります)

地上デジタル用アンテナの場合

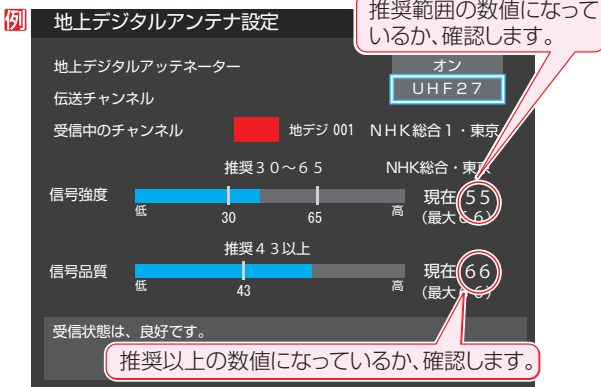
- 1 **メニュー** を押し、▲・▼・◀・▶と**決定**で「設定」⇒「放送受信設定」⇒「地上デジタル設定」⇒「地上デジタルアンテナ設定」の順に進む

地上デジタルアンテナ設定	>
地上デジタルスキャン設定	>

- 2 ▲・▼で「伝送チャンネル」を選び、**決定**を押す

3 ▲・▼でチャンネルを選び、決定を押す

- お住まいの地域の地上デジタル放送に使用されている伝送チャンネルを選びます。(お買い上げの販売店などにお聞きください)
- 信号強度(○印の数値)が推奨範囲内になっているか、信号品質(○印の数値)が推奨の数値以上になっているかを確認します。
- ※ 推奨範囲内の数値であっても受信状態によっては映像が乱れる場合があります。



BS・110度CS用アンテナの場合

- 1 **スタートメニュー** を押し、▲・▼・◀・▶と決定で「設定」⇨「放送受信設定」⇨「BS・110度CSアンテナ設定」の順に進む

- 2 **BS** または **CS** で放送の種類を選ぶ

- 3 **チャンネル** でチャンネルを選ぶ

- 無料チャンネルまたは契約済チャンネルを選びます。
- 信号強度が推奨範囲内になっているか、信号品質が推奨数値以上になっているかを確認します。
- ※ 推奨範囲内の数値であっても受信状態によっては映像が乱れる場合があります。

BS/CS 4K放送用アンテナの場合

- 1  を押し、▲・▼・◀・▶と  で「設定」⇨「放送受信設定」⇨「BS/CS 4K設定」⇨「BS/CS 4Kアンテナ設定」の順に進む

- 2  でチャンネルを選ぶ

- 無料チャンネルまたは契約済チャンネルを選びます。
- 信号強度が推奨範囲内になっているか、信号品質が推奨数値以上になっているかを確認します。
- ※ 推奨範囲内の数値であっても受信状態によっては映像が乱れる場合があります。

アンテナを調整する

- 衛星を使用していて、アンテナレベルが不足している場合は、「アンテナレベル」の画面を確認しながらアンテナの調整をします。
- ※ 高所での作業は危険です。アンテナの調整については、販売店にご相談ください。

- 1 アンテナをゆっくり動かして、アンテナレベルの数値が最大となるように調整する

- 画面のアンテナレベルの最大値を参考に、アンテナを固定したあとにレベル値が下がっていないことを確認します。

- 2 アンテナを固定して、 を押す

地上デジタルアッテネーター設定を変更する

- 信号強度が高すぎて受信障害が発生している場合は、「地上デジタルアッテネーター設定」を「オン」にします。
- お買い上げ時は、「オフ」に設定されています。

- 1 **リモコン** を押し、▲・▼・◀・▶と**決定**で「設定」⇨「放送受信設定」⇨「地上デジタル設定」⇨「地上デジタルアンテナ設定」の順に進む



- 2 ▲・▼で「地上デジタルアッテネーター」を選び、**決定**を押す

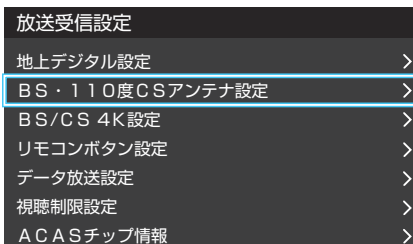
- 3 ▲・▼で「オン」または「オフ」を選び、**決定**を押す

※ 「オン」または「オフ」に切り換えたとき、画面にブロックノイズなどの映像乱れや音声ノイズが発生することがあります。

BS・110度CS用アンテナの電源供給の設定を変更する

- BS・110度CS用アンテナは電源を必要とします。
- お買い上げ時は、「する」に設定されています。
マンションなどで、他の機器からアンテナに電源が供給されているときは、「しない」に設定します。

- 1 **リモコン** を押し、▲・▼・◀・▶と**決定**で「設定」⇨「放送受信設定」⇨「BS・110度CSアンテナ設定」の順に進む



2 ▲▼で「衛星アンテナ電源供給」を選び、を押す

3 ▲▼で「する」または「しない」を選び、を押す

ご注意


- 「衛星アンテナ電源供給」を「する」に設定したときは、本機の電源プラグを常にコンセントに差し込んで通電状態にしておいてください。

お知らせ

- 1台のBS・110度CS用アンテナを複数の機器で共用しているときは、アンテナ(ケーブル)を最初に接続している機器からアンテナ電源を供給してください。

アンテナ線がショートしたとき

- BS・110度CS用アンテナのレベル表示画面に「アンテナ線がショートしています。」のメッセージが表示された場合は、電源を切ってから電源プラグを抜き、ショートの原因を取り除いてからもう一度電源を入れてアンテナレベル表示の操作をしてください。
- マンションなどの共聴アンテナを使用しているときは、以下のエラーメッセージは表示されず、「衛星アンテナ電源供給」の設定が「しない」に切り換わることがあります。

 アンテナ線がショートしています。
アンテナ線の接続を確認してください。
コード: E209

BS/CS 4Kの受信環境を確認したいとき

- 現在の受信環境でBS/CS 4K放送が視聴できるか確認できます。

1  を押し、▲▼・◀▶とで「設定」⇨「放送受信設定」⇨「BS/CS 4K設定」⇨「BS/CS 4K受信環境確認」の順に進む

チャンネルを追加したり設定を変更したりするとき

地上デジタルチャンネルを自動で設定する

- 地上デジタル放送には以下の3種類のチャンネル自動設定機能があります。
 - **初期スキャン**
「はじめての設定」の「① 地上デジタルチャンネル設定」で行われる「初期スキャン」だけをやり直すことができます。
 - **再スキャン**
放送局が増えたなど、放送チャンネルに変更があったときに、ワンタッチ選局ボタンに設定できます。
 - **自動スキャン**
本機の電源が「切」や「待機」のときに自動的に探し、変更されたチャンネルがあればワンタッチ選局ボタンに自動で設定されます。
- ※ 初期スキャンをしていないと、再スキャンや自動スキャンはできません。

初期スキャンをするとき

- 受信可能なチャンネルを本機が探し、ワンタッチ選局ボタン(**1** ~ **12**)に放送の運用規定に基づいて設定します。
- 1 **メニュー** を押し、▲・▼・◀・▶と **決定** で「設定」⇒「放送受信設定」⇒「地上デジタル設定」⇒「地上デジタルスキャン設定」⇒「初期スキャン」の順に進む
 - 2 お住まいの地方を▲・▼・◀・▶で選び、**決定** を押す
 - 3 お住まいの都道府県または地域を▲・▼・◀・▶で選び、**決定** を押す

再スキャンをするとき

- 新たに放送局が開局してチャンネルが増えた場合など、放送に変更があった場合は、「再スキャン」をすればチャンネルを追加設定することができます。

- 1 **メニュー** を押し、▲・▼・◀・▶と **決定** で「設定」⇒「放送受信設定」⇒「地上デジタル設定」⇒「地上デジタルスキャン設定」⇒「再スキャン」の順に進む

自動スキャンの設定を変えるとき

- お買い上げ時は自動スキャンは「する」に設定されています。チャンネル設定の内容が自動変更されないようにする場合は、自動スキャンを「しない」に設定してください。

- 1 **メニュー** を押し、▲・▼・◀・▶と **決定** で「設定」⇒「放送受信設定」⇒「地上デジタル設定」⇒「地上デジタルスキャン設定」⇒「自動スキャン」の順に進む

- 2 ▲・▼で「する」または「しない」を選び、**決定** を押す

チャンネルをお好みに手動で設定する

- お好みに、リモコンのワンタッチ選局ボタン(**1** ~ **12**)で選局するチャンネルを変更したり、空いているワンタッチ選局ボタンに設定を追加したりすることができます。
- はじめて地上デジタル放送の「チャンネルボタン設定」をする場合は、「初期スキャン」をしてください。「初期スキャン」をしていない状態では「チャンネルボタン設定」はできません。

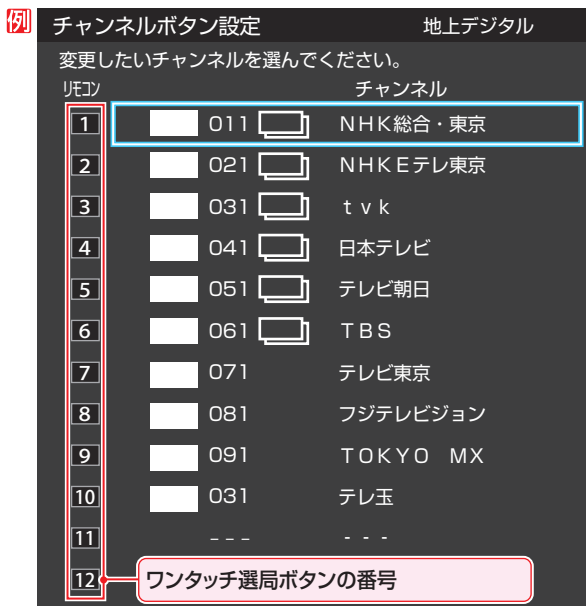
1 **決定** を押し、**決定**、**決定**、**決定**と**決定**で「設定」⇒「放送受信設定」⇒「リモコンボタン設定」⇒「チャンネルボタン設定」の順に進む

- 放送の種類を選択する画面が表示されます。

2 設定するデジタル放送の種類を**決定**で選び、**決定**を押す

3 設定するボタン(**1** ~ **12**)の番号を**決定**で選び、**決定**を押す

- 図は手順**2**で「地上デジタル」を選んだ場合の例です。



- 地上デジタル以外の放送の場合は、リモコン列の左にグループ列が表示されます。
グループのA、B (BSデジタル放送、BS/CS 4K放送)、A～F (110度CSデジタル放送)は選局ガイドのグループになります。
グループAはワンタッチ選局ボタンになります。

4 ▲・▼で受信チャンネルを選ぶ


110度CSデジタル放送のチャンネルを簡単に設定する

- 手順**2**、**3**で以下の操作をすると、簡単にチャンネルを設定することができます。
 - ① 手順**2**で、「110度CS」を選び、**決定**を押す
 - ② チャンネルボタン設定画面(手順**3**)で **緑** を押す
 - ③ ▲・▼で登録したいチャンネルを選び、**決定**を押す
- 選んだチャンネルは、登録されていないボタンで数字が小さいボタンに登録されます。
- ボタンが登録されているチャンネルを選んだときは、登録が解除されます。

お知らせ

- チャンネルボタン設定をしたあとで、「初期スキャン」や「はじめての設定」をすると、チャンネルボタン設定をした内容が消えますので再度設定をしてください。


視聴しないチャンネルをスキップする


-  で選局するとき、視聴しないチャンネルを飛ばすことができます。
- 「スキップ」に設定したチャンネルは番組表に表示されません。また、番組検索の対象になりません。













1  を押し、▲・▼・◀・▶と  で「設定」⇨「放送受信設定」⇨「リモコンボタン設定」⇨「チャンネルスキップ設定」の順に進む

- 放送の種類を選択する画面が表示されます。



2 設定する放送の種類を▲・▼で選び、 を押す

3 スキップ設定を変更したいチャンネルを▲・▼で選び、 を押す

 チャンネルスキップ設定 地上デジタル

チャンネル	スキップ
 011 NHK総合1・東京	しない
 012 NHK総合2・東京	しない
 021 NHK Eテレ1東京	しない
 022 NHK Eテレ2東京	しない
 023 NHK Eテレ3東京	しない
 031 t v k 1	しない
 032 t v k 2	しない
 033 t v k 3	しない
 041 日テレ1	する
 042 日テレ2	する
 051 テレビ朝日	する
 052 テレビ朝日	しない

手順2で「地上デジタル」を選んだ場合

-  を押すたびに「する」⇨「しない」と交互に切り換わります。
- 他のチャンネルの設定をする場合は、手順3の操作を繰り返します。(違う放送のチャンネルを設定する場合は  を押し、手順2からの操作を繰り返します)

お知らせ

■ チャンネルスキップ設定について

- 「チャンネルボタン設定」をしたチャンネルは、自動的に「しない」に設定されます。
- 放送局の代表チャンネルを「する」に設定すると、その放送局の代表チャンネル以外のチャンネルもスキップされます。代表チャンネル以外のチャンネルを「する」に設定した場合は、代表チャンネルは選局できません。

データ放送の設定をする

地域と郵便番号を設定する

- お住まいの地域に応じたデータ放送や緊急警報放送などを視聴するための設定です。
- 「はじめての設定」で設定した状態から変更したいときに以下の操作をします。

地域を設定する

- 1 **スライドメニュー** を押し、▲・▼・◀・▶と **決定** で「設定」⇨「放送受信設定」⇨「データ放送設定」⇨「地域設定」の順に進む
- 2 該当する地方を▲・▼・◀・▶で選び、**決定** を押す
 - 「設定しない」を選んだ場合は、これで終わりです。
- 3 該当する地域を▲・▼・◀・▶で選び、**決定** を押す
 - 伊豆、小笠原諸島地域の方は「東京都島部」を選んでください。
 - 南西諸島の鹿児島県地域の方は「鹿児島県島部」を選んでください。

郵便番号を設定する

- 1 **スライドメニュー** を押し、▲・▼・◀・▶と **決定** で「設定」⇨「放送受信設定」⇨「データ放送設定」⇨「郵便番号」の順に進む
 - 郵便番号の入力画面が表示されます。
- 2 お住まいの地域の郵便番号を ^あ 1 ~ ^{。 小文字} 10 (0) で入力し、**決定** を押す
 - 上3ケタを入力して **決定** を押すと、残り4ケタは自動的に「0」が入力されます。



お知らせ

■ 郵便番号と地域の設定について

- データ放送を視聴している状態で設定を変更した場合、放送によっては、設定終了後そのままの状態では設定内容は反映されません。設定終了後に再度データ放送を選局してください。

災害発生時に文字情報が表示されるようにする

- デジタル放送には文字スーパー表示機能があり、災害時の速報などに使用されます。複数言語の文字スーパーに対応した番組の場合には、表示する言語を選択することができます。
- お買い上げ時は、文字スーパーが日本語優先で表示されるように設定されています。

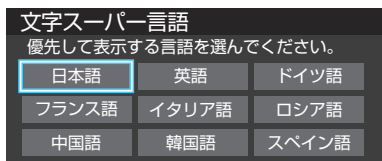
- 1 **スローモーション** を押し、▲・▼・◀・▶と **決定** で「設定」⇒「放送受信設定」⇒「データ放送設定」⇒「文字スーパー表示」の順に進む
 - 「文字スーパー表示」の画面が表示されます。

- 2 ▲・▼で「する」を選び、**決定** を押す

文字スーパーの言語を設定する

- 1 **スローモーション** を押し、▲・▼・◀・▶と **決定** で「設定」⇒「放送受信設定」⇒「データ放送設定」⇒「文字スーパー言語」の順に進む
 - 「文字スーパー言語」の画面が表示されます。

- 2 優先する言語を▲・▼・◀・▶で選び、**決定** を押す



お知らせ

- **文字スーパー表示の設定について**
 - 設定した言語の文字スーパーがあるときは、その言語で表示されます。設定した言語が視聴している放送にない場合は、その放送に従って表示されます。
 - 「しない」を選択した場合でも、災害時などの速報は、放送局指定によって放送受信時に強制表示することがあります。

ルート証明書の番号を確認する

- 地上デジタル放送の双方向サービスで、本機と接続するサーバーの認証をする際に使用されるルート証明書の番号を確認することができます。
- ルート証明書は地上デジタル放送で放送局から送られます。

1 を押し、▲・▼・◀・▶と で「設定」⇨「放送受信設定」⇨「データ放送設定」⇨「ルート証明書番号」の順に進む

- ルート証明書番号のリストが表示されます。

2 ルート証明書番号を確認し、 を押す

用語

■ ルート証明書

サーバーを認証する第三者機関(認証局)を証明するものです。この証明書を基にして、「サーバ証明書」のデジタル署名を検証し、「サーバ証明書」が信頼できることを確認します。

視聴できる番組を制限する

制限するために暗証番号を設定する



- 暗証番号は、視聴年齢制限のある番組を見たりするときが必要です。
- 暗証番号を設定した場合には、暗証番号の変更・削除および「[すべての初期化](#)」をするときにも暗証番号の入力が必要になります。

ご注意

- 暗証番号を忘れないようにご注意ください。暗証番号を忘れた場合は、裏表紙に記載の「東芝DVDインフォメーションセンター」にご連絡ください。
- ※ 必要としない場合は、登録しないことをおすすめします。

- 1  を押し、▲・▼・◀・▶ と  で「設定」⇒「放送受信設定」⇒「視聴制限設定」⇒「暗証番号設定」の順に進む

- 暗証番号の入力画面が表示されます。

- 2 暗証番号を変更する場合は、変更前の暗証番号を  ～  (0) で入力する

- 新規設定の場合、この手順はありません。

- 3 登録したい暗証番号を  ～  (0) で入力する

- 間違えて入力した場合は、◀ を押し、もう一度入力します。
- 入力した数字は画面には「*」で表示されます。

暗証番号設定

新たに登録する暗証番号を入力してください。

* * *

① 暗証番号は視聴を制限する機能の設定や、視聴制限の解除に必要です。暗証番号を忘れないようにご注意ください。

重要
登録した暗証番号はメモするなどして、忘れないようにしてください。

4 ～ (0)でもう一度同じ暗証番号を入力する

5 確認画面で  を押す

暗証番号を削除するとき

1  を押し、▲・▼・◀・▶と  で「設定」⇒「放送受信設定」
⇒「視聴制限設定」⇒「暗証番号削除」の順に進む

● 暗証番号の入力画面になります。

2 ～ (0)で暗証番号を入力する

3 確認画面で、◀・▶で「はい」を選び、 を押す

番組の視聴を制限する

- デジタル放送では番組ごとに視聴年齢が設定されている場合があります。視聴年齢制限のある番組を見るには設定が必要です。
- お買い上げ時には、番組の視聴制限は設定されていません。
- 暗証番号を設定していない場合は、先に暗証番号を設定します。

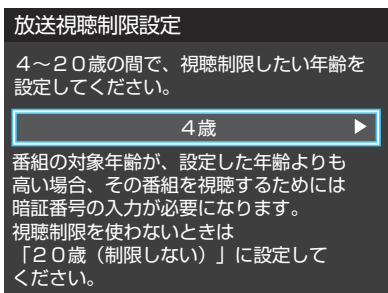
1  を押し、▲・▼・◀・▶と  で「設定」⇒「放送受信設定」⇒「視聴制限設定」⇒「放送視聴制限設定」の順に進む

- 暗証番号の入力画面になります。

2  ～  (0) で暗証番号を入力する



3 ◀▶で年齢を設定し、 を押す

- 設定できる年齢は、4歳から20歳までです。
- 視聴年齢制限機能を使わない場合は、「20歳(制限しない)」に設定します。




- 視聴時の動作および必要な操作は以下のとおりです。

番組の制限年齢が設定した年齢よりも上の場合

- メッセージが表示されます。
-  を押し、 ～  (0) で暗証番号を入力します。

視聴年齢制限が設定されていない場合

- 視聴年齢制限のある番組を見ることはできません。
-  を押し、設定が必要な項目を設定します。

ディスクの視聴を制限する

- BD/DVDビデオを再生するときの視聴制限を設定できます。
- 暗証番号を設定していない場合は、先に暗証番号を設定します。

BDディスクの視聴を制限する

- 1  を押し、▲・▼・◀・▶と  で「設定」⇨「本体設定」⇨「ディスク設定」⇨「ディスク視聴制限設定」⇨「BD視聴制限レベル」の順に進む

- 暗証番号の入力画面になります。


- 2  ^あ 1 ~  ^{。 小文字} 10 (0) で暗証番号を入力する

- 3 ▲・▼で「無制限」または「視聴可能年齢設定」を選び、 を押す

■ 視聴可能年齢設定を選択した場合

- 年齢を入力し、 を押します。
- 設定できる年齢は、0～254までです。

DVDの視聴を制限する

1  を押し、▲・▼・◀・▶と  で「設定」⇨「本体設定」⇨「ディスク設定」⇨「ディスク視聴制限設定」⇨「DVD視聴制限レベル」の順に進む

● 暗証番号の入力画面になります。

2  ～  (0) で暗証番号を入力する

3 ▲・▼で「無制限」または「レベル1」～「レベル8」を選び、
 を押す

- **無制限**： 制限なく、すべてのディスクが視聴できます。
- **レベル8**： 年齢に関係なく視聴できます。
- **レベル7**： 18歳未満の方は視聴できません。
- **レベル6**： 保護者の指導のもとで18歳未満の方が視聴できます。
- **レベル5**： 保護者同伴での視聴を推奨します。
- **レベル4**： 13歳未満の方の視聴には不適切な表現があります。
- **レベル3**： 保護者の方の判断による視聴を推奨します。
- **レベル2**： 一般的に視聴できる内容です。
- **レベル1**： お子様が視聴されても問題のない内容です。

インターネットの利用を制限する

- ネットワークサービスを使用する際に、暗証番号の入力が必要となるように設定することができます。
- お子様などが本機を使ってインターネットサービスをご利用になるご家庭では、お子様などに見せたくないコンテンツへのアクセスを制限するため、本機能のご利用をおすすめします。
- 暗証番号を設定していない場合は、先に暗証番号を設定します。

- 1 **スタートメニュー** を押し、▲・▼・◀・▶と **決定** で「設定」⇨「放送受信設定」⇨「視聴制限設定」⇨「インターネット制限設定」の順に進む
 - 暗証番号の入力画面になります。

- 2 **あ** **1** ~ ***。小文字** **10** (0) で暗証番号を入力する

- 3 ▲・▼で「ネットワークサービス制限設定」を選び、**決定** を押す

- 4 ▲・▼で「制限する」または「制限しない」を選び、**決定** を押す

- **制限する**

ネットワークサービスを起動したときに、暗証番号の入力が必要です。

- **制限しない**

暗証番号入力は不要です。

省エネ設定をする

- 省エネに関するさまざまな設定をすることができます。

1 を押し、▲・▼・◀・▶と で「設定」⇨「本体設定」⇨「詳細機能設定」⇨「省エネ設定」の順に進む

- 「省エネ設定」の画面が表示されます。

2 設定する項目を▲・▼で選び、 を押す

番組情報取得設定	取得する
無操作自動電源オフ	動作しない
起動モード設定	通常起動
ランプ設定	明

3 お好みの設定を▲・▼で選び、 を押す

- 以降の説明を参照し、設定してください。

番組情報取得設定

- 番組表機能や予約機能を正しく働かせるために、「取得する」でを使用することをおすすめします。

取得する

電源が「待機」や「切」のときに、デジタル放送の番組情報を取得します。取得時に電力を消費します。

取得しない

番組情報を取得しません。そのため、番組表の内容が表示されなかったり、予約できなかったり、番組検索ができなかったりすることがあります。

無操作自動電源オフ

待機にする

本機の無操作状態が約3時間続くと、電源が「待機」、または「切」になります。

動作しない

本機の無操作状態が続いても電源は「入」のままです。

起動モード設定

- 起動モードを設定します。
 - **高速起動**
本機の起動時間が「通常起動」よりも短くなりますが、電源待機時の消費電力は増えます。
 - **通常起動**
「高速起動」よりも電源待機時の消費電力が抑えられます。
 - **省エネ起動**
「通常起動」よりも、電源待機時の消費電力をおさえますが、本機の起動時間は長くなります。また、外部機器から、本機の電源をオンにできなくなります。
 - ※ 本機を經由してテレビへアンテナ接続している場合、テレビが正常に映らなくなることがあります。
- ※ 「レグザリンク連携設定」を「利用する」に設定している場合、起動モードは「高速起動」に設定され、変更できません。

ランプ設定

- 本機の電源ランプや録画ランプ、変換ランプ、再生ランプの明るさを設定します。
- **明**
ランプは常に明るくなります。
- **暗**
ランプは常に暗くなります。
- **シアターモード**
再生中に無操作が一分間続くと、ランプが消灯します。

リモコンの設定を変更する

本機のリモコンが他のレグザサーバー（またはレコーダー）を操作しないようにする

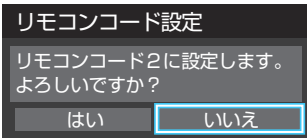
- 同じ室内で本機とレグザサーバー（あるいはレコーダー）を使用している場合などに、リモコンを操作すると2台とも反応してしまうことがあります。このような場合、リモコンコードの設定を変えれば1台だけが操作できるようになります。
- ※ 必ず以下の手順で操作してください。手順が異なるとリモコン操作ができなくなります。

1 **マイメニュー** を押し、▲・▼・◀・▶ と **決定** で「設定」⇨「初期設定」⇨「リモコン設定」⇨「リモコンコード設定」の順に進む



2 ▲・▼で「リモコンコード1」～「リモコンコード5」のいずれかを選び、**決定** を押す

3 ◀・▶で「はい」を選び、**決定** を押す



- 今までと異なるコードに設定した場合、次の手順4を終えるまでの間リモコン操作ができなくなります。



4 を押したままで、数字キー (~) を約2秒間以上押し続ける

- 手順2~3で「リモコンコード」に設定したものと同一数字のキーを押し続けます。
- ※ この操作ができるのは、付属のリモコンだけです。

5 リモコンで本機が操作できることを確認する

リモコンの乾電池を取りはずした場合(電池交換などの際)、「リモコンコード1」になることがあります。

お知らせ

- 本機とリモコンのリモコンコードが一致していない場合、電源が「待機」、または「切」のときにリモコンの  または  を押すと、本体の「電源」表示が橙色に点滅します。その場合は、リモコンまたは本体のリモコンコードを変更してください。

テレビ操作のボタンの設定をする

- 本機のリモコンでテレビの電源入/切、入力切替、音量調整の操作をする場合に設定します。

1 を押し、▲・▼・◀・▶と で「設定」⇨「初期設定」⇨「リモコン設定」⇨「テレビリモコン設定」の順に進む

- 説明画面が表示されるので、それに従って設定します。設定方法は [\[⑤ テレビリモコン設定\]](#) の手順1と同じです。

ご注意

- テレビによっては、本機のリモコンではメーカーの設定や操作ができないことがあります。またメーカーの設定ができて、一部の機能が操作できないことがあります。その場合はテレビに付属のリモコンをご使用ください。

使わない放送選択ボタンの操作を無効にする

- リモコンの放送選択ボタン **地デジ**、**BS**、**CS**、**BS/CS 4K** のうち、使用しないボタンの操作を無効にすることができます。

1 **スタートメニュー** を押し、**▲**・**▼**・**◀**・**▶** と **決定** で「設定」⇒「初期設定」⇒「リモコン設定」⇒「操作無効設定」の順に進む

2 **▲**・**▼** でボタンを選び、**決定** を押す

地上デジタル	有効	有効
BS	有効	無効
110度CS	有効	
BS/CS 4K	有効	

3 **▲**・**▼** で「有効」または「無効」を選び、**決定** を押す

お買い上げ時の設定に戻すには (設定内容を初期化するには)

- お買い上げ時の設定(工場出荷設定)に戻す方法は3種類あります。目的に合わせて操作してください。

ご注意

- 初期化をすると初期化前の状態に戻すことはできませんのでご注意ください。

項目	内容
初期化1	<ul style="list-style-type: none"> ● 以下の項目以外の設定項目をお買い上げ時の設定に戻します。 <ul style="list-style-type: none"> ・「チャンネル設定」 ・「視聴制限設定」の「暗証番号設定」、「放送視聴制限設定」 ・「リモコンコード設定」 ・「みるコレ パック」の登録情報など、クラウドサービスでの設定
初期化2	<ul style="list-style-type: none"> ● 以下の項目以外の設定項目をお買い上げ時の設定に戻します。 <ul style="list-style-type: none"> ・「視聴制限設定」の「暗証番号設定」、「放送視聴制限設定」 ・「リモコンコード設定」 ・「みるコレ パック」の登録情報など、クラウドサービスでの設定
すべての初期化	<ul style="list-style-type: none"> ● 本機に設定された「リモコンコード設定」以外のすべての内容をお買い上げ時の状態に戻します(ハードディスクの録画内容も含む)。 ※この初期化は、データ放送の個人情報(住所、氏名、視聴ポイント数など)についてもすべて初期化されますので、本機を廃棄処分する場合や他の人に譲り渡す場合にだけ行ってください。

1  を押し、▲・▼・◀・▶と  で「設定」⇒「本体設定」⇒「詳細機能設定」⇒「設定の初期化」の順に進む

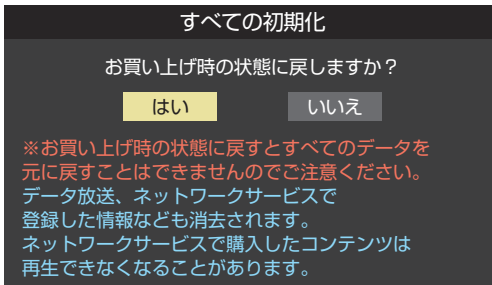
2 ▲・▼で「初期化1」、「初期化2」、または「すべての初期化」を選び、 を押す

- 初期化される項目の内容は、前ページの表をご覧ください。


すべての初期化をする場合

- 暗証番号を設定している場合は暗証番号入力画面が表示されません。暗証番号を入力します。

3 初期化する場合は◀・▶で「はい」を選び、 を押す



4 初期化終了の画面が表示されたら、以下の操作をする

- 「初期化1」、「初期化2」の場合は  を押します。
- 「すべての初期化」の場合は電源を切ります。

設定メニュー一覧

本体設定

映像・音声設定	
映像調整	黒レベル 色の濃さ 色合い レゾリューションプラス M P E G N R HDR(HLG)明るさ補正 映像調整を初期値に戻す
音声調整	音声出力 ダイナミックレンジ設定
HDMI接続設定	
	H D M I 連動機能 クラウド A I 高画質設定 出力解像度設定 24 p 出力 H D M I ディープカラー ハイダイナミックレンジ出力 H D M I 音声出力 音声出力タイミング(調整)
タイムシフトマシン設定	
	タイムシフトマシン録画 タイムシフトマシン録画設定 U S B ハードディスク設定 通常録画/タイムシフト録画用 U S B 端子設定 機器の登録 省エネ設定 機器の取りはずし 機器の初期化
	システムメンテナンス システムメンテナンス時間 システムメンテナンスの実行
	タイムシフトリンク設定 機器の登録
	おすすめ履歴の初期化 タイムシフトマシン設定の初期化

録画・再生設定	
ハードディスク設定	録画番組の修復
	番組全削除
USBハードディスク設定	通常録画／タイムシフト録画用USB端子設定
	機器の登録
	省エネ設定
	機器の取りはずし
	動作テスト
	録画番組の修復
	番組全削除
録画設定	録画先機器の設定
	マジックチャプター設定
再生設定	ワンタッチスキップ設定
	ワンタッチリプレイ設定
オートメディアプレーヤー	
ディスク設定	
TV画面設定	
EPモード	
BD—HD音声設定	
言語設定	
	音声言語設定
	字幕言語設定
	ディスクメニュー言語設定
ディスク視聴制限設定	
	BD視聴制限レベル
	DVD視聴制限レベル
	暗証番号設定
	暗証番号削除
アングルアイコン	
BD—L I V E 接続設定	
BDビデオデータ消去	
	すべてのBDビデオデータ消去
	アプリケーションデータ消去
	バーチャルパッケージ消去
USBメモリー初期化	

ネットワーク・サービス設定	ネットワーク接続設定	かんたんネットワーク設定	詳細設定	接続方法	無線LAN設定	自動設定	手動設定	無線LAN設定の初期化	アドレス設定(IPv4)	IPv6接続	アドレス設定(IPv6)	接続テスト	ネットワーク情報
	外部連携設定	レグザリンク設定	レグザリンク連携機能	アクセス制限	アクセス機器の登録	視聴制限番組の配信	登録済み子機一覧	リモート電源オン設定	外部機器から電源オン	外部機器を電源オン	本機の名称	ネットワークサービス利用設定	ネットワークサービス情報の初期化
詳細機能設定	画面表示エリア設定	省エネ設定	番組情報取得設定	無操作自動電源オフ	起動モード設定	ランプ設定	ソフトウェアのダウンロード	自動ダウンロード	ソフトウェア更新のお知らせ	ソフトウェアの更新確認	本機の情報	ソフトウェアのライセンス情報	設定の初期化

放送受信設定

地上デジタル設定	
	地上デジタルアンテナ設定
	地上デジタルスキャン設定
	初期スキャン
	再スキャン
	自動スキャン
BS・110度CSアンテナ設定	
BS/CS 4K設定	
	BS/CS 4Kアンテナ設定
	BS/CS 4K受信環境確認
リモコンボタン設定	
	チャンネルボタン設定
	地上デジタル
	BS
	110度CS
	BS/CS 4K
	チャンネルスキップ設定
	地上デジタル
	BS
	110度CS
	BS/CS 4K
データ放送設定	
	地域設定
	郵便番号
	文字スーパー言語
	文字スーパー表示
	ルート証明書番号
視聴制限設定	
	放送視聴制限設定
	インターネット制限設定
	ネットワークサービス制限設定
	暗証番号設定
	暗証番号削除
B-CASカード情報	
A-CASチップ情報	
RMP情報	

初期設定

はじめての設定

かんたんネットワーク設定

リモコン設定

リモコンコード設定

テレビリモコン設定

操作無効設定

地上デジタル

BS

110度CS

BS/CS 4K

ディスクを管理する

- 本機でブルーレイディスクやDVDの初期化や保護などの管理を行えます。

新品のディスクを初期化(フォーマット)する

- 未使用のディスクは初期化しないと、録画・ダビングができません。使用前にディスクを初期化してください。
- ※ BD-R、DVD-Rは一度初期化すると初期化しなおす事はできません。
- ※ BD-RE、DVD-RWはあとで初期化しなおすことができます(初期化すると録画内容は消去されます)。

1 ディスクを入れる

- 2  を押し、▲・▼・◀・▶と  で「ディスクの管理」を選ぶ

- 3 ▲・▼で「初期化」を選び、 を押し

- 4 確認画面で、◀・▶で「はい」を選んで  を押し

ご注意

- ディスクの読み込み中や初期化(フォーマット)中は、本機の電源を切ったり電源プラグを抜いたりしないでください。ディスクの破損や本機の故障の原因となります。
- 初期化は、途中で中止できません。
- 傷や汚れなどが多いディスクは、本来可能な記録時間よりも少なくなってしまう可能性があります。

ディスクをファイナライズする/ファイナライズを解除する

- 本機で録画したBD-R、DVD-R、DVD-RWのディスクをファイナライズすると、その録画方式に対応したほかのプレーヤーやレコーダー、パソコンなどで再生できます。

ファイナライズする

- ※ ファイナライズ後は録画や編集ができなくなります。録画内容をよく確認してからファイナライズしてください。

- 1 **スタートメニュー** を押し、▲・▼・◀・▶と **決定** で「ディスクの管理」を選ぶ
- 2 ▲・▼で「ファイナライズ」を選び、**決定** を押す
- 3 確認画面で、◀・▶で「はい」を選んで **決定** を押す

ご注意




- ファイナライズ中は、本機の電源を切ったり電源プラグを抜いたりしないでください。ディスクの破損や本機の故障の原因となります。
- ファイナライズは、途中で中止できません。
- プレーヤー／レコーダーやパソコンなどによっては、ファイナライズをしても再生できないことがあります。

ファイナライズを解除する

- ※ 本機でファイナライズしたVRフォーマットのDVD-RWの場合のみ、ファイナライズを解除できます。

- 1 **スタートメニュー** を押し、▲・▼・◀・▶と **決定** で「ディスクの管理」を選ぶ
- 2 ▲・▼で「ファイナライズの解除」を選び、**決定** を押す
- 3 確認画面で、◀・▶で「はい」を選んで **決定** を押す

ディスクの名前を変更する

- 1  を押し、▲・▼・◀・▶と  で「ディスクの管理」を選ぶ
- 2 ▲・▼で「ディスク名の変更」を選び、 を押す
- 3 文字入力画面でディスク名を入力する
 - 文字入力の方法は、[「文字を入力する」](#) 》をご覧ください。

ディスク名の文字数上限について

- ディスク名で使用できる文字数の上限は、以下になります。
DVD-VR:<SJIS>
半角64文字/全角32文字
BD-AV:<ARIB-JIS>
半角:254文字
全角:127文字
- ※ 入力された文字によっては、上記文字数が入らない場合があります。

ディスクの内容を保護する/保護を解除する

- 誤って消してしまったりしないように、ディスクを保護することができます。保護されたディスクは、以下の操作ができなくなります。
 - ・ 番組の録画やダビング
 - ・ 番組の編集、削除
 - ・ 初期化
 - ・ ファイナライズ、またはファイナライズの解除

ディスクを保護する

- 1 **スタートメニュー** を押し、▲・▼・◀・▶と **決定** で「ディスクの管理」を選ぶ
- 2 ▲・▼で「ディスクの保護」を選び、**決定** を押す
- 3 確認画面で、◀・▶で「はい」を選んで **決定** を押す

保護を解除する

- 1 **スタートメニュー** を押し、▲・▼・◀・▶と **決定** で「ディスクの管理」を選ぶ
- 2 ▲・▼で「ディスクの保護解除」を選び、**決定** を押す
- 3 確認画面で、◀・▶で「はい」を選んで **決定** を押す

ソフトウェアを更新する

ソフトウェアの更新機能について

- 本機は、内部に組み込まれたソフトウェア(制御プログラム)で動作するようになっていました。
- お買い上げ後、より快適な環境でお使いいただくために、ソフトウェアを更新する場合があります。
- 更新用のソフトウェアはBSデジタルや地上デジタルの放送電波で送られてきます。本機は、放送電波で送られてくる更新用のソフトウェアを自動的にダウンロードし、内部ソフトウェアを自動的に更新する機能を備えています。
ネットワークに接続している場合は、ネットワーク経由でソフトウェアを自動的にダウンロードし、更新することもできます。
- ソフトウェアダウンロード情報をホームページ(https://www.regza.com/regza/bd_dvd/cs/)でお知らせしていません。
 - ・ 放送電波を利用したソフトウェアのダウンロードは、都度、限られた日時に行われます。
- 電源プラグが抜かれていたなどの事情で自動ダウンロードができなかった場合は、都合のよいときにインターネットを利用して東芝サーバーから更新用のソフトウェアを入手することができます。
- ソフトウェアの更新中は電源プラグを抜かないでください。
ソフトウェアの更新が正常に行われず、本機が起動しなくなるおそれがあります。
 - ・ ソフトウェアの更新中は「電源」表示が白色と橙色に交互に点灯します。

用語

■ ダウンロード

放送電波やインターネットを使って、ソフトウェアなどを端末(この場合は本機)に転送することです。

ソフトウェアの自動ダウンロードについて

- 「自動ダウンロード」の設定を「する」(お買い上げ時の設定)にしておき、日常的にデジタル放送を受信し、視聴しないときにも電源プラグをコンセントに差し込んだままにしておけば、特別に意識する必要はありません。放送電波やネットワーク経由での更新用のソフトウェアを自動的にダウンロードし、内部ソフトウェアを自動的に更新することができます。


更新用のソフトウェアがある場合は、ダウンロード情報が放送電波で送られます。本機は、地上デジタル放送またはBSデジタル放送を受信しているときにダウンロード情報を取得します。(情報を確認する操作はありません。)

放送を受信していなくても、ネットワークに接続していれば、自動的にソフトウェアの更新をおこないます。

自動ダウンロードの設定を変更する

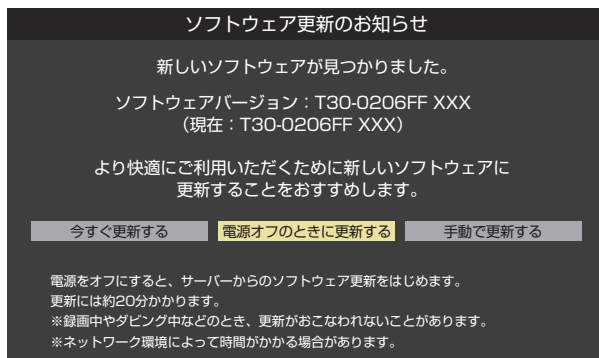
- 1  を押し、▲・▼・◀・▶と  で「設定」⇨「本体設定」⇨「詳細機能設定」⇨「ソフトウェアのダウンロード」⇨「自動ダウンロード」の順に進む

- 2 ◀・▶で「する」または「しない」を選び、 を押す

-  を押し、放送電波でのダウンロード予定を一覧で確認することができます。
- 「しない」を選んだときは、「ソフトウェア更新のお知らせ」の設定が「表示する」に自動的に変更されます。また、手動でソフトウェアの更新をすることもできます。 [▶「東芝サーバーから手動でダウンロードする」](#)

インターネットに接続している場合

- 「自動ダウンロード」を「しない」に設定し、「ソフトウェア更新のお知らせ」が「表示する」に設定されている場合、本機の電源を入れたときに更新用のソフトウェアを検出すると、ソフトウェア更新のお知らせ画面が表示されます。



- ◀▶で以下のどれかを選び、**決定**を押します。

- **今すぐ更新する**

ソフトウェアの更新を始めます。

- **電源オフのときに更新する**

本機の電源を待機状態にすると、ソフトウェアの更新を始めます。

- **手動で更新する**

ソフトウェアの更新は始めません。[「ソフトウェアのバージョンを確認するには」](#)の操作でソフトウェアをダウンロードします。

ソフトウェア更新のお知らせ画面を表示させないようにする

- ソフトウェア更新のお知らせ画面は、以下の操作で表示させないようにすることもできます。
- 1 **メニュー** を押し、▲・▼・◀・▶ と **決定** で「設定」⇒「本体設定」⇒「詳細機能設定」⇒「ソフトウェアのダウンロード」⇒「ソフトウェア更新のお知らせ」の順に進む
- 2 ▲・▼で「表示しない」を選び、**決定** を押す
 - 上記の操作で「表示する」を選ぶと、ソフトウェア更新のお知らせ画面が表示されるようになります。
- 「自動ダウンロード」を「する」に設定している場合、「ソフトウェア更新のお知らせ」は「しない」に設定され、変更することはできません。

お知らせ

- 電源プラグがコンセントから抜かれていると、自動ダウンロードができないため、ソフトウェアの自動更新は行われません。
- ダウンロードによって、一部の設定内容がお買い上げ時の状態に戻ったり、予約やお知らせが削除されたりする場合があります。
- 悪天候などでダウンロードが取り消された場合は、「本機に関するお知らせ」でお知らせします。
- 本機の状態によっては、ソフトウェアの更新が行われなかった場合があります。

■ 東芝サーバーからのダウンロードについて

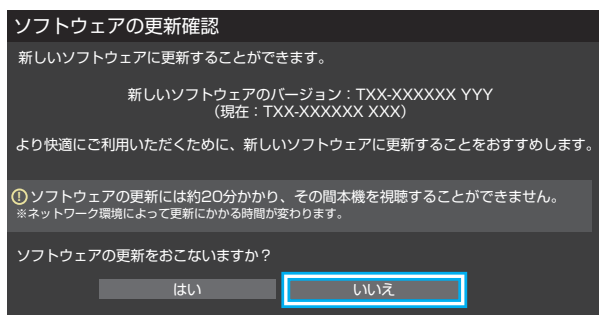
回線の速度が遅いと正しくダウンロードできないことがあります。このとき、「通信エラー」が表示されます。サーバーが一時的に停止していることもありますので、インターネットへの接続や設定を確認し、しばらくたってからもう一度ダウンロードしてみてください。

東芝サーバーから手動でダウンロードする

- インターネットを利用して東芝サーバーからソフトウェアをダウンロードし、本機内部のソフトウェアを更新することができます。
- インターネットへの接続と設定が必要です。

1 **スタートメニュー** を押し、▲・▼・◀・▶と**決定**で「設定」⇒「本体設定」⇒「詳細機能設定」⇒「ソフトウェアのダウンロード」⇒「ソフトウェアの更新確認」の順に進む

- 新しいソフトウェアがある場合、更新の確認画面が表示されます。



2 ◀・▶で「はい」を選び、**決定**を押す

- ソフトウェア更新が始まります。
- ソフトウェアの更新中は操作できません。そのまま終了するまでお待ちください。
- 電源が「待機」になってから再び「入」になり、通常の視聴ができるようになります。

ソフトウェアのバージョンを確認するには

1 **サブメニュー** を押し、▲・▼と**決定**で「その他の操作」⇒「本機の情報」の順に進む

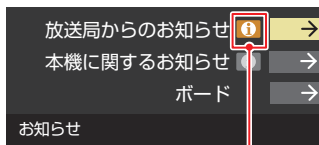
- **スタートメニュー** を押し、「設定」⇒「本体設定」⇒「詳細機能設定」⇒「本機の情報」でも確認できます。

お知らせを見る

- お知らせには、「本機に関するお知らせ」、「放送局からのお知らせ」、「ボード」の3種類があります。
- 未読のお知らせ(「ボード」を除きます)があると、**画面表示**を押したときに、画面に「お知らせアイコン」**i**が表示されます。
 》「[お知らせ、予約、その他についてのアイコン](#)」

1 **サブメニュー** を押し、▲・▼と **決定** で「お知らせ」を選び、**決定** を押す

2 ▲・▼でお知らせの種類を選び、**決定** を押す



未読のお知らせはオレンジ色で表示されます。

- **本機に関するお知らせ**
本機が発行したお知らせです。
- **放送局からのお知らせ**
デジタル放送局からのお知らせです。
- **ボード**
110度CSデジタル放送の視聴者に向けたお知らせです。

3 読みたいお知らせを▲・▼で選び、**決定** を押す

- 選択したお知らせの内容が表示されます。

画面に「本機のお知らせを確認」が表示されたときは



1 青 を押す

- 「本機に関するお知らせ」が表示されます。
- お知らせが複数件ある場合は、「本機に関するお知らせ」一覧が表示されます。▲・▼で確認するお知らせを選び、決定 を押して表示させます。

「本機に関するお知らせ」を削除するには

※削除できるのは「本機に関するお知らせ」だけです。

1 「本機に関するお知らせ」の画面で、青 を押す

2 ◀▶で「はい」を選び、決定 を押す

※ 本機に関するお知らせがすべて削除されます。

お知らせ

「お知らせ」について

- 「放送局からのお知らせ」は、地上デジタル放送が10通まで記憶され、BSデジタル放送と110度CSデジタル放送は、合わせて24通まで記憶されます。また、BS 4K放送とCS 4K放送は、それぞれ10通まで記憶されます。放送局の運用によっては、それより少ない場合もあります。記憶できる数を超えて受信した場合は、古いものから順に削除されます。
- 「本機に関するお知らせ」は、既読の古いものから順に削除される場合があります。
- 「ボード」は110度CSデジタル放送のそれぞれに対し、今送信されているものが50通まで表示されます。
- 「お知らせアイコン」は、未読のお知らせが1件でも残っていると表示されます。

ソフトウェアのバージョンアップで追加を予定している機能

- 本機では、ソフトウェアのバージョンアップによる機能の追加が予定されています。
バージョンアップ用ソフトウェアが利用可能になり、「ソフトウェアを更新する」でソフトウェアが更新されると、追加機能が利用できるようになります。（「サーバーから手動でダウンロードする」の操作でもソフトウェアの更新ができます）
バージョンアップ用ソフトウェアについては、ホームページ (<https://www.regza.com/regza/support/>) でお知らせしています。
- 追加された機能の操作のしかたについては、以下のホームページの「取扱説明書ダウンロード」に、「DBR-4KZ600/DBR-4KZ400/DBR-4KZ200追加機能編」がDBR-4KZ600/DBR-4KZ400/DBR-4KZ200の取扱説明書と一緒に掲載されることありますのでご確認ください。

<https://www.regza.com/regza/>

- ※一部のネットワークサービスのご利用にはソフトウェアのバージョンアップが必要な場合があります。
- ※バージョンアップにより新たな機能が追加される場合があります。その場合は、ホームページ(<https://www.regza.com/regza/>)の「取扱説明書ダウンロード」にDBR-4KZ600/DBR-4KZ400/DBR-4KZ200の取扱説明書と一緒に「DBR-4KZ600/DBR-4KZ400/DBR-4KZ200追加機能編」が掲載されることがありますのでご確認ください。

ACASチップやminiB-CASカードの情報を確認する

- ACASチップやB-CASカードの状態やID番号などをテレビ画面で確認することができます。
- ACASチップは、新しいCASの方式です。本機には、この新CASのプログラムを書き込んだ「ACASチップ」が搭載されています。

ACASチップ情報を確認する

- 1 **スタートメニュー** を押し、▲・▼・◀・▶ と **決定** で「設定」⇒「放送受信設定」⇒「ACASチップ情報」の順に進む

- ACASチップの情報が表示されます

識別番号	XXXX
ID番号	XXXX-XXXX-XXXX-XXXX-XXXX
状態	正常に動作しています。

- 2 情報を確認したら、**戻る** を押す

RMP情報の確認

- 本機は、タイムシフトマシン用にコンテンツ権利保護専用方式※を採用しています。
コンテンツ保護専用方式のID番号は、以下の操作で確認することができます。
- ※ コンテンツ保護専用方式では、ACASチップは使用せず、ソフトウェアでスクランブル解除を行います。

- 1  を押し、▲・▼・◀・▶と  で「設定」⇨「放送受信設定」⇨「RMP情報」の順に進む



- 2 情報を確認したら、 を押す

B-CASカード情報を確認する

- 1  を押し、▲・▼・◀・▶と  で「設定」⇒「放送受信設定」⇒「B-CASカード情報」の順に進む

- B-CASカードの情報が表示されます

B-CASカード情報	
カード識別番号	XXXX
カードID番号	XXXX-XXXX-XXXX-XXXX-XXXX
状態	正常に動作しています。

- 2 情報を確認したら、 を押す

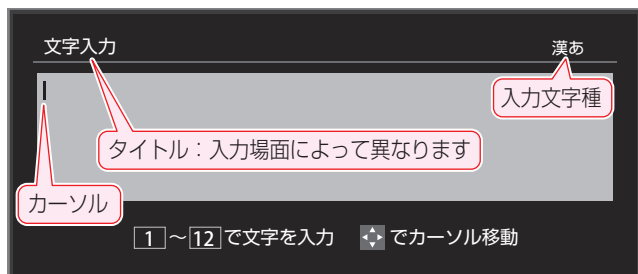
- 「[タイムシフトマシン録画設定](#)」の画面でもID番号を確認できます。

ID番号について

- ACASチップとB-CASカードのID番号を記録しておく、BS・110度CSの4K放送以外の有料放送のご契約やB-CASカードのお問い合わせ、BS・110度CSの4K放送の有料放送のご契約やACASチップのお問い合わせの際などに役立ちます。

文字を入力する

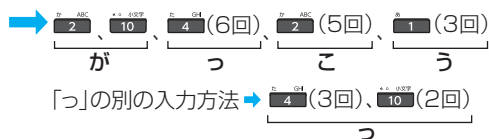
- 番組検索のキーワード指定で、新しいキーワードを登録する場面などで文字入力画面が表示されます。



1 あ 1 ~ 12 で文字を入力する

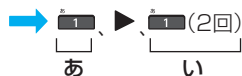
- 携帯電話と同様の操作で文字を入力します。

入力例：がっこう





- 文字に続けて $\overbrace{10}^{\text{小文字}}$ を押せば、濁点(゛)や半濁点(゜)の入力および小文字変換ができます。
- 同じボタンに割り当てられた文字を続けて入力する場合は、次の文字の前に▶を押します。

入力例：あい





- 入力文字の種類を変えるときは、青 (文字切換) を押します。
- 文字を挿入するには、挿入する場所を▲・▼・◀・▶で選んで入力します。
 ◀・▶を押すと、カーソルがその行の先頭または末尾に移動します。
- スペースを入力するときは、緑 を押します。

文字を削除するには

- 1文字を削除するには、 を短く押します。
カーソルの右に文字がない場合は、カーソルの左の1文字が削除されます。カーソルの右に文字がある場合は、カーソルの右の1文字が削除されます。
- 文字をまとめて削除するには、 を押し続けます。
カーソルの右に文字列がない場合は、文字がすべて削除されます。カーソルの右に文字列がある場合は、カーソルより右の文字がすべて削除されます。


2 以下の操作で文字を確定する

- 漢字に変換しないときは、 を押す
- 漢字に変換するときには、▼を繰り返し押し、希望の漢字が見つかったら を押す
 - ・ 希望する漢字に変換されない場合は、変換する範囲を◀▶で変え、▲▼で再度変換します。

3 すべての入力が終わったら、 を押す

- 文字入力画面が表示される前の操作画面に戻ります。

お知らせ

- 入力した文字は、次のように表示されます。
入力中の文字：黄色背景／未確定の文字：白色背景／漢字変換候補選択中の文字：黒色背景／確定した文字：背景なし
- 確定せずに変換できるのは4文節までです。4文節以上のときは、確定してから残りを変換してください。
- 漢字候補選択時に を押せば、その文節を未変換状態に戻すことができます。

文字切換(入力文字種の切り換え)

「漢あ」	漢字変換	ひらがなや漢字を入力できます。
「カナ」	全角カナ	カタカナを入力できます。
「aA」	全角英字	全角の英字を入力できます。
「abAB」	半角英字	半角の英字を入力できます。
「12」	全角数字	全角の数字を入力できます。
「1234」	半角数字	半角の数字を入力できます。
「全角記号」	全角記号	全角の記号を入力できます。
「半角記号」	半角記号	半角の記号を入力できます。
「定型文」	定型文	定型文を入力できます。

- 文字入力の場面によっては、使用できる入力文字種が少なかったり、切り換えられなかったりすることがあります。
- 入力文字種が「全角記号」、「半角記号」のときには、入力したい記号を文字入力画面から選びます。

入力文字一覧

リモコン	入力文字種			
	漢字変換	全角カナ	英字	数字
あ 1	あ→い→う→え→お →あ→い→う→え→お	ア→イ→ウ→エ→オ →ア→イ→ウ→エ→オ	1→2→3→4→5→ 6→7→8→9→0	1
か ABC 2	か→き→く→け→こ	カ→キ→ク→ケ→コ →カ→ケ	a→b→c →A→B→C	2
さ DEF 3	さ→し→す→せ→そ	サ→シ→ス→セ→ソ	d→e→f →D→E→F	3
た GHI 4	た→ち→つ→て→と →っ	タ→チ→ツ→テ→ト→ッ	g→h→i →G→H→I	4
な JKL 5	な→に→ぬ→ね→の	ナ→ニ→ヌ→ネ→ノ	j→k→l →J→K→L	5
は MNO 6	は→ひ→ふ→へ→ほ	ハ→ヒ→フ→ヘ→ホ	m→n→o →M→N→O	6
ま PQRS 7	ま→み→む→め→も	マ→ミ→ム→メ→モ	p→q→r→s →P→Q→R→S	7
や TUV 8	や→ゆ→よ →や→ゆ→よ	ヤ→ユ→ヨ →ヤ→ユ→ヨ	t→u→v →T→U→V	8
ら WXYZ 9	ら→り→る→れ→ろ	ラ→リ→ル→レ→ロ	w→x→y→z →W→X→Y→Z	9
°.° 小文字 10	°→°→小文字変換	°→°→小文字変換	小文字変換	0
わをん\° 11	わ→を→ん→わ→、→。→→	ワ→ヲ→ン→ワ→、→。→→	※1	*
↵ 12	※2 逆方向へ入力	※2 逆方向へ入力	※2 逆方向へ入力	#

●最後の候補まで行くと、次は最初の候補に戻ります。

























※1 全角英字の場合……。→/→:→→→_→~→@

半角英字の場合…….→/→:→→→_→~→@

※2 文字入力変換中に文字を通り過ぎたときに、逆方向へ戻ります。

アイコン一覧

番組についてのアイコン

アイコン	説明
 ステレオ	ステレオ音声放送
 サラウンド	サラウンドステレオ放送
 二重音声	二重音声放送
 字	字幕放送
 HD:1080i	放送フォーマットが1080iのデジタルハイビジョン放送
 HD:720p	放送フォーマットが720pのデジタルハイビジョン放送
 SD:480i	放送フォーマットが480iのデジタル標準テレビ放送
 SD:480p	放送フォーマットが480pのデジタル標準テレビ放送
 4K:2160p	放送フォーマットが2160pの4K映像放送
 8K:4320p	放送フォーマットが4320pの8K映像放送
 信号切換	複数の映像、または音声またはデータがある番組
 AF  AN  AS  AL  AE  AVC  DR  DR (4K)	録画モード
 ○○才～	視聴年齢制限が設定されている番組。○○は4～20の数字が入ります。
 契約済	有料放送で契約済のチャンネル。
 未契約	有料放送で契約していないチャンネル。
 PPV	PPV(ペイ・パー・ビュー)番組。
 →ダビング	録画回数が制限されている番組

アイコン	説明
ダビング10	録画回数が制限されている番組
デジタルコピー可	デジタル録画ができる番組
デジタルコピー1	1回だけデジタル録画できる番組
デジタルコピー¥	有料でデジタル録画ができる番組
デジタルコピー×	デジタル録画ができない番組
光デジタルコピー可	光デジタル録音ができる番組
光デジタルコピー1	1回だけ光デジタル録音ができる番組
光デジタルコピー¥	有料で光デジタル録音ができる番組
光デジタルコピー×	光デジタル録音ができない番組

- ダビング・コピー関係のアイコンの中には、本機の機能とは無関係に番組の情報として表示されるものがあります。

お知らせ、予約、その他についてのアイコン

アイコン	説明
	録画予約
	連ドラ予約
	録画中
	録画準備中 録画の約1分前に表示されます。
	録画確認中 前番組の放送延長などで録画番組の放送時間が変更されたときなどに表示されます。
	連ドラ予約番組の追跡結果や放送時間変更で、予約が重なったときなどに表示されます。
	連ドラ予約番組の追跡結果や放送時間変更で、有料番組の予約が重なったときなどに表示されます。
	録画番組が「保護」対象
	未読の「お知らせ」
	既読の「お知らせ」
	非リンク型サービス (通信番組) ▶「データ放送やラジオ放送を楽しむ」
	録画モード変換予定

言語コード一覧

言語名	言語コード
Afar	aa
Abkhazian	ab
Afrikaans	af
Amharic	am
Arabic	ar
Assamese	as
Aymara	ay
Azerbaijani	az
Bashkir	ba
Byelorussian	be
Bulgarian	bg
Bihari	bh
Bislama	bi
Bengali;Bangla	bn
Tibetan	bo
Breton	br
Catalan	ca
Corsican	co
Czech	cs
Welsh	cy
Danish	da
German	de
Bhutani	dz
Greek	el
English	en
Esperanto	eo
Spanish	es
Estonian	et
Basque	eu
Persian	fa
Finnish	fi
Fiji	fj
Faroese	fo
French	fr

言語名	言語コード
Frisian	fy
Irish	ga
Scots Gaelic	gd
Galician	gl
Guarani	gn
Gujarati	gu
Hausa	ha
Hebrew	he
Hindi	hi
Croatian	hr
Hungarian	hu
Armenian	hy
Interlingua	ia
Indonesian	id
Interlingue	ie
Inupiak	ik
Icelandic	is
Italian	it
Japanese	ja
Javanese	jav
Georgian	ka
Kazakh	kk
Greenlandic	kl
Cambodian	km
Kannada	kn
Korean	ko
Kashmiri	ks
Kurdish	ku
Kirghiz	ky
Latin	la
Lingala	ln
Laothian	lo
Lithuanian	lt
Latvian;Lettish	lv

言語名	言語コード
Malagasy	mg
Maori	mi
Macedonian	mk
Malayalam	ml
Mongolian	mn
Moldavian	mo
Marathi	mr
Malay	ms
Maltese	mt
Burmese	my
Nauru	na
Nepali	ne
Dutch	nl
Norwegian	no
Occitan	oc
(Afan)Oromo	om
Oriya	or
Panjabi	pa
Polish	pl
Pashto;Pushto	ps
Portuguese	pt
Quechua	qu
Rhaeto-Romance	rm
Kirundi	rn
Romanian	ro
Russian	ru
Kinyarwanda	rw
Sanskrit	sa
Sindhi	sd
Sangho	sg
Serbo-Croatian	sh
Singhalese	si
Slovak	sk
Slovenian	sl
Samoan	sm
Shona	sn
Somali	so

言語名	言語コード
Albanian	sq
Serbian	sr
Siswat	ss
Sesotho	st
Sundanese	su
Swedish	sv
Swahili	sw
Tamil	ta
Telugu	te
Tajik	tg
Thai	th
Tigrinya	ti
Turkmen	tk
Tagalog	tl
Setswana	tn
Tonga	to
Turkish	tr
Tsonga	ts
Tatar	tt
Twi	tw
Ukrainian	uk
Urdu	ur
Uzbek	uz
Vietnamese	vi
Volapuk	vo
Wolof	wo
Xhosa	xh
Yiddish	yi
Yoruba	yo
Chinese	zh
Zulu	zu

同時にできること

録画しているときの視聴と再生について

- 複数番組を同時録画しているときや、視聴用チューナーで録画をおこなっている場合は、番組の視聴や再生が制限されることがあります。くわしくは[「3番組同時録画\(トリプル録画\)と視聴用チューナーについて」](#)をご覧ください。

ダビングしているときの再生と予約録画について

ダビングしているときの再生

ダビング	再生	HDD	USB-HDD	タイムシフトマシン再生		ディスク
				HDD	タイムシフトマシン用USB-HDD	
HDD、USB-HDD	↔ USB-HDD	○	△	○	×*	○
HDD	→ ディスク	○	○	○	○	×
通常録画用USB-HDD	→ ディスク	○	△	○	×*	×
HDD	→ LAN	○	○	○	○	△
通常録画用USB-HDD	→ LAN	○	△	○	×*	△

○:できる △:一部できないものがある ×:できない

- ※ 通常録画用USB-HDDと、タイムシフトマシン録画用のUSB-HDDは同時に使用できません。

ダビングと録画について

- 地デジ、BS、CS放送の2番組以上の同時録画中、および4K放送の録画中はダビングできません。また、ダビング中に上記の録画が始まった場合は、ダビングが中止されます。
- DVD-RまたはBD-Rにダビングしているときに、予約録画の開始時刻が訪れた場合は、予約録画はキャンセルされます。

ネットワーク機能の同時動作について

- ネットワークでのダビングとホームネットワークでの再生は同時におこなえません。

記録できる二重音声・字幕・マルチ番組について

記録メディア ()はダビング	HDD、 通常録画用USB-HDD (BD)	HDD、通常録画用USB-HDD	(DVD)
録画モード	DR/DR(4K)	AF~AE	XP~EP
二重音声	主音声／副音声の両方が記録されます。 ・再生時に音声切替で音声を選べます。*2		
マルチ番組 の映像・音声	1つの映像と複数の 音声記録されます。 (再生時に音声切 換で音声を選べま す。)	<p>現在放送中の番組を録画す るとき</p> 1つの映像と複数の音声 が記録されます。	1つの映像・音声だ けが記録されます。 1番組だけをダビ ングするとき 1つの映像と、「ダビ ング」確認画面で選 んだ音声記録され ます。 複数の番組を一 度にダビングする とき 映像1・音声1 が記 録されます。 (再生時に映像や 音声の切り換えは できません。)
サラウンド 音声	放送そのままのサラウンド音声で記録されます		ステレオ音声で記 録されます。

記録メディア ()はダビング	HDD、 通常録画用USB-HDD (BD)	HDD、通常録画用USB-HDD	(DVD)
録画モード	DR/DR(4K)	AF~AE	XP~EP
字幕	字幕の情報が記録 されます。 ^{※1} (再生時に字幕切 換で字幕表示の入/切 ができます。) ^{※3}	字幕の情報が記録されま す。 ^{※1}	字幕の情報は記録 されません。

- ※1 ダビングするときは、録画時に字幕が記録された番組をダビングしたときだけ、字幕の情報もダビングされます。
- ※2 【音声設定】を【ビットストリーム】に設定してビットストリーム出力している場合は、音声を切り換えることができません。音声設定を【ビットストリーム】から【PCM】に変更することで本機で音声切替できるようになります。
- ※3 DR(4K)の録画番組をダビングしたBDを再生した場合は、字幕の表示ができません。

用語解説

数字・アルファベット順

4K2K

横4000×縦2000前後の高解像度の映像フォーマットのことで、単に「4K」、あるいは「4K解像度」と呼ばれることもあります。フルHD(1920 × 1080)の解像度の約4倍となります。

AAC(エーエーシー)

Advanced Audio Codingの略で、音声符号化の規格の1つです。AACは、CD並みの音質データを約1/12にまで圧縮できます。また、5.1chのサラウンド音声や多言語放送をおこなうこともできます。

AACS(エーエーシーエス)

Advanced Access Content Systemの略で、Blu-rayDisc™で採用されている著作権保護技術です。

AF、AN、AS、AL、AE(録画モード)

放送のデータを圧縮変換したハイビジョン画質の録画モードになります。

AVC(録画モード)

Advanced Video Codecの略でDVDなどにハイビジョン映像を録画するための規格です。

AVCHD(エーブイシーエイチディー)方式

ハイビジョン画質の映像をハイビジョン対応デジタルビデオカメラでディスクやSDカードなどに記録できるように開発された規格です。

BD-HD音声設定

BD-Videoの再生時に、副音声などを出力するか、しないかを設定します。

BD-J

BD-VideoにはJavaアプリケーションを含むものがあり、これをBD-Jと呼びます。通常のビデオ操作に加えているいろいろな双方向の機能を楽しむことができます。

BD-Live™

BD-Live™は、BD-Video(BD-ROM Profile 2.0)の新しい再生機能で、インターネットに接続し追加映像や追加字幕のダウンロード、BD-Jによる通信対応ゲームなどのインタラクティブな機能を利用できます。

BD-Video

BD-Videoとは、Blu-ray Disc™ における映像記録用の標準的な規格のことです。市販されている映画タイトルなどの記録に用いられています。

BS・110度CSアンテナ

BS放送、110度CS放送を視聴するために必要なアンテナのことです。周囲に大きなビルなどの障害物があると受信できないことがあります。

CPRM(シーピーアールエム)

Content Protection for Recordable Mediaの略で、コピーワンス(1回だけ録画可能)番組に対する著作権保護技術です。

Deep Color(ディープカラー)

従来の8ビットの色数をこえる色調表現が可能な技術で、色縞のない、より自然に近い色を再現できます。

DHCP機能

Dynamic Host Configuration Protocolの略のことで、ネットワークに接続する際に、機器にIPアドレスなどの必要な情報を自動的に割り当てる仕組みのことです。

DNS

Domain Name Systemの略のことで、ネットワーク上の名前であるドメイン名とネットワーク上の住所であるIPアドレスとを対応付けて管理するシステムのことです。

Dolby Digital(ドルビーデジタル)

ドルビーデジタルは、ドルビー社が開発したデジタル音声を圧縮して記録する方式です。

この技術をPCM記録の代わりに用いることで記録容量を節約することが可能となり、より高い解像度(ビットレート)の映像や、より長い記録時間を実現することが可能になります。

Dolby Audio - Dolby Digital Plus

(ドルビーオーディオ - ドルビーデジタルプラス)

Dolby Audio - Dolby TrueHD

(ドルビーオーディオ - ドルビートゥルーエイチディー)

Dolby Audio - Dolby Digital Plusは、Dolby Audio -Dolby Digitalをさらに高音質、5.1ch以上の多チャンネル対応、広いビットレート化した音声方式です。Dolby Audio - Dolby TrueHDは、DVDオーディオで採用されているMLPロスの機能拡張版で、スタジオマスターの音声データを高品位で再生する音声方式です。

両方式とも、ブルーレイディスク規格では最大7.1chまで対応しています。

DR(録画モード)

放送そのままの画質になります。デジタル放送をそのままの画質で録画したいときにおすすめです。

DTSS® (ディーティーエス)

DTSS社が開発した、デジタル音声システムです。DTSS対応アンプなどと接続して再生すると、映画館のような正確な音場定位と臨場感のある音響効果が得られます。

DTSS-HD® (ディーティーエス エイチディー)

DTSS®をさらに高音質・高機能化した音声方式で、下位互換により従来のDTSS対応アンプでもDTSS®として再生できます。ブルーレイディスク規格では最大7.1chまで対応しています。

EP (録画モード)

標準画質の長時間モードになります。
容量を節約して録画したいときにおすすめです。

EPG (イーページ)

Electronic Program Guideの略で、番組表のことをいいます。

GB (ギガバイト)

HDD / USB-HDD、ブルーレイディスクやDVDの容量を表す単位で、数値が大きいほど最大録画時間が長くなります。

HDD (ハードディスク(ドライブ))

パソコンや家庭用ディスクレコーダーなどで使われている大容量データ記録装置の1つです。大量のデータの読み書きを高速でおこなうことができ、記録されているデータの検索性にすぐれています。
本機は、このHDDを内蔵しています。(お客様ご自身でHDDを交換できません。)

HDMI (エイチディーエムアイ)

High Definition Multimedia Interfaceの略で、テレビとブルーレイディスクレコーダーやDVDレコーダーなどのデジタル機器間の接続に用いられるデジタルAVインターフェースです。
映像信号と音声信号を1本のケーブルで接続でき、非圧縮のデジタル音声・映像信号を伝送できます。

HDMI-CEC (エイチディーエムアイシーイーシー)

HDMI-CEC (Consumer Electronics Control)は、HDMIケーブルで接続することにより、対応機器間の相互連動動作を可能にした業界標準規格です。

IPアドレス

ネットワーク上の機器を識別するために指定する番号のことです。

LAN

ローカルエリアネットワークのことで、ケーブルや無線などを使って、同じ建物の中にあるネットワーク機器同士を接続し、データをやり取りするネットワークのことです。

LP (録画モード)

標準画質の長時間モードでSPの約2倍の録画が可能です。

miniB-CASカード

デジタル放送用のICカードで、デジタル放送の有料放送の視聴や各種サービスを利用するための必要な情報が書き込まれます。

MPEG(エムペグ)、MPEG-2(エムペグツー)、MPEG-4 AVC/H.264(エムペグフォー エービーシー エイチ)

MPEGはMoving Picture Experts Groupの略で、動画音声圧縮方式の国際標準です。

MPEG-2は、DVDの記録などに使われる方式です。

MPEG-4 AVC/H.264は、ハイビジョン画質の映像の記録などに使われる方式です。

NTSC(エヌティーエスシー)

日本や米国などで採用されているテレビ方式です。ヨーロッパなどで採用されているPALまたはSECAM方式とは互換性がないため、ヨーロッパなどで買ってきたDVD Videoは視聴できないことがあります。

PINコード

Personal Identification Numberの略のことで、個人の識別や認証に用いられる番号のことです。

SeeQVault™

SeeQVault™とは新コンテンツ保護技術です。機器やメディアがSeeQVaultに対応することによって、記録されたHDコンテンツを記録した機器以外の別の機器でも楽しむことを可能にする技術です。

SP(録画モード)

標準画質の録画モードのことです。

SSID

Service Set Identifierの略のことで、無線LANルーターと接続するためのアクセスポイントを識別するためのIDのことです。

USB(ユーエスビー)

Universal Serial Busの略で、周辺機器を接続するためのインターフェースです。本機では、バーチャル・パッケージに対応しているUltraHDブルーレイ/BDVideoで、USBメモリをローカルストレージとして使用します。

USB-HDD(ユーエスビーハードディスク(ドライブ))

USB端子付きの外付けHDDです。USBケーブルを使って本機のUSB端子につなぐことができます。

セルフパワー型

USB-HDD自身がACコンセントを通して電源の供給を受けているものです。

バスパワー型

接続機器から電源供給を受けて動作するUSB-HDDのことです。

USBハブ

USB機器を複数接続するためのハブのことでUSBハブを使うとUSBポートを増やすことができます。

セルフパワー型

USBハブ自身がACコンセントを通して電源の供給を受けているものです。

バスパワー型

接続機器から電源供給を受けて動作するUSBハブのことで。

VBR (バイビーアール)、可変ビットレート方式

Variable Bit Rateの略で、映像の動きの多い／少ない部分に合わせて記録する容量を可変制御する方式です。これにより、効率の良い録画が可能になります。

VRフォーマット

DVDに記録する際の記録方式のひとつで、デジタル放送を標準画質で記録するのに適しています。

XP (録画モード)

標準画質の高画質録画モードです。

あ

アスペクト(比)

アスペクト比とは、映像を構成する画面(映像)サイズの幅と高さの比のことです。

アッテネーター

信号を弱くする装置(減衰器)のことで入れることにより強すぎる信号レベルが適正なレベルになり信号品質が良くなる場合があります。

アンテナケーブル

電気信号を転送するための電線の種類です。テレビのアンテナ用ケーブルによく用いられます。

インターフェース

二つのものが接続・接触する箇所や、両者の間で情報や信号などをやりとりするための手順や規約を定めたものを意味します。

インターレース(飛び越し走査)(480i)

テレビに映像を映すときに従来おこなわれている方式で、1つの画像(有効走査線数480本)を1本とばしの半分ずつ2回に分けて表示します。これにより、1つの画像を1/30秒(30コマ/秒)で映します。

か

画質レート

ビットレートともいいます。数値が高いほど高画質になります。

コピーガード、コピー制御信号

複製防止機能のことです。

著作権保護のため、著作権者などによって複製を制限する信号が記録されているソフトや番組を録画できません。

コピーワンス(1回だけ録画可能)番組

地上／BS・110度CSデジタル放送の番組は、何度コピーしても画質が落ちないため、著作権保護・違法コピー防止のため、放送局側が録画回数を制限して放送できるようになっており、1回だけ録画することが許可されている番組のことをコピーワンス番組といいます。ダビング先のメディアに移動(ムーブ)することはできますが、ダビング元(オリジナル)のメディアからは消去されます。

さ

再生コース**通常再生**

録画したそのままの時間で番組を再生します。

らく見

通常再生に比べて、再生時間が短くなります。

らく早見

早見／早聞(約1.3または1.5倍速)で【らく見】再生します。

飛ばし見

【らく見】再生をしながら1/20スキップを繰り返しおこないます。

サブネットマスク

IPアドレスのうちネットワークアドレスとホストアドレスを識別するための数値のことで、同じLAN(同じネットワーク)にいる相手なのかどうかを判断するために利用されます。

ざんまいスマートアクセス

タイムシフトマシン録画番組や現在放送中の番組の中からお好みの番組を簡単に見つけ出し、番組を楽しむことができる機能です。

視聴制限(パレンタルレベル)

デジタル放送やソフト側で設定した、視聴を制限するための機能です。レベルの強弱によって、暴力シーンなどを子供に見せないように再生できます。

字幕放送

デジタル放送の番組で画面上にセリフなどを文字で表示できる放送です。放送中に番組からのお知らせを表示する【文字スーパー】という機能もあります。

初期化(フォーマット)

録画用ディスクを本機で記録できるように処理したり、録画方式を変更したりするときにおこないます。初期化(フォーマット)をおこなうと、それまで記録されていた内容はすべて消去されます。

双方向サービス、通信

視聴者が自宅にいながら、クイズ番組への参加、アンケートの回答、買い物などをすることができます。利用するためにはネットワークの接続と設定が必要です。

ソフトウェア

コンピュータを動作させる命令や処理手順のことです。

た

ダイナミックレンジ

Dolby Audioで記録された番組の音声レベルの最小値と最大値の差のことをいい、夜間などに音量を下げた小さい音にしたときでも聞きやすく再生できます。

タイムシフトマシン機能

設定した曜日や時間帯の番組を自動的に録画し、好きな時間に視聴が可能です。また、同一ホームネットワーク上に接続されたタイムシフトマシン対応レグザもしくはレグザタイムシフトマシンで、タイムシフトマシン録画した番組を本機の過去番組表と同時に表示し、再生することができます。

チューナー

放送電波を受信する装置のことです。

本機には地上デジタル用と衛星放送用の2種類が搭載されています。

データ放送

お客様が見たい情報を選び画面に表示することなどができます。例えば、お客様がお住まいの地域の天気予報をいつでも好きなときに表示することができます。また、テレビ放送や、ラジオ放送に連動したデータ放送もあります。その他に、ネットワークを使用して視聴者参加番組、ショッピング、チケット購入などの双方向(インタラクティブ)サービスなどがあります。

デバイスネーム

ネット上で接続している機器の名前のことです。

デジタルハイビジョン

デジタル放送のハイビジョン画質のテレビ放送です。
有効走査線数1080本です。

デフォルトゲートウェイ

LANなどの内部のネットワークから、外部にあるネットワークに通信をおこなう場合の出入り口の役割を果たすためのネットワーク設定のことです。

独立データ放送

番組の内容と関係なく、ニュースや天気予報、株価といった情報を視聴することができる放送サービスのことです。

トラック

音楽用CDの曲ごとの区切りを「トラック」といいます。

は

バーチャル・パッケージ

一部のBD-Videoでは、他のメディア(ローカルストレージ)にデータをコピーして再生しながらいろいろな機能を楽しむことができ、このようなディスクをバーチャル・パッケージと呼んでいます。

データのコピーや再生のしかたなどは、BD-Videoによって異なります。

ハイビジョン画質、HD(エイチディー)放送

HDはHigh Definitionの略のことで、ハイビジョン画質のデジタルテレビ放送です。有効走査線数は720本または1080本です。

標準画質(SD放送)よりも、高画質・高音質な映像・音声が楽しめます。

番組／チャプター

HDDやブルーレイディスク／DVDの大きな区切りを「番組」、番組の中の小さな区切りを「チャプター」といいます。

パンスキャン

標準テレビ(4:3)にワイド映像を映す方法の1つで、映像の上下方向が画面いっぱいに表示され、左右方向が一部カットされます。

ビットストリーム

圧縮されてデジタル信号に置き換えられた信号のことで、対応しているアンプなどによってそれぞれに合った信号に変換されます。

ビットレート

映像・音声データを記録する際に、1秒間に書き込む情報量のことをいいます。

標準画質、SD(エスディー)放送

SDはStandard Definitionの略で、標準画質のデジタルテレビ放送です。有効走査線数は480本です。

ファイナライズ

本機で録画したBD-R、DVD-RW／DVD-Rを、他のブルーレイディスクレコーダーやプレーヤーなどで再生できるようにする機能です。

ブロードバンド

高速通信ができるインターネット接続サービスのことをいいます。

プロキシ

プロキシとは「代理」という意味があり、プロバイダーから指示があるときは、プロキシを設定する必要があります。

プログレッシブ(順次走査)(480p)

テレビに映像を映すときに、1つの画像(有効走査線数480本)を一度に表示し、1/60秒(60コマ/秒)で映します。

インターレース出力に対し、ちらつきの少ない高密度の映像を楽しめます。

分波器

アンテナ線からの信号を地上デジタルとBS・110度CSデジタル信号に分ける機器のことです。

ホームネットワーク

家庭内にある家電・モバイル・パソコンなどを相互につないだネットワークのことです。対応機器同士をネットワーク接続すると、他機に保存してある動画などのデータがもう一方の機器から操作できます。

ま

マルチ番組(マルチビュー)

1チャンネルで主番組、副番組の複数映像が送られる放送です。例えば、野球放送の場合は、主番組は通常の野球放送、副番組でそれぞれのチームをメインにした野球放送がおこなわれます。

や

有料放送事業者

別途料金がかかる放送事業者のことです。WOWOWやスカパー!などがあります。

ら

リージョンコード(再生可能地域番号)

BD-Video / DVD-Videoは、国によって再生できる記号や番号が分けられており、これらをリージョンコードと呼びます。

日本の場合は、BD-Videoは「A」、DVD-Videoは「2」になっており、本機ではその記号または番号を含んだソフトだけ再生できます。

リニアPCM(ピーシーエム)

PCMはPulse Code Modulationの略で、リニアPCMはデジタル音声そのまま圧縮せずに記録する方式です。

冷却用ファン

本機と外部の空気を循環させるためのファンで、本機の内部が熱くなるのを防止する役割があります。

レグザリンク

HDMIで規格化されているHDMI-CEC (Consumer Electronics Control)を使用して、本機と東芝「REGZA」テレビとの連動操作を可能にする機能です。

レジューム機能(つづき再生)

再生中に停止したときの再生停止位置(レジュームポイント)を記憶する機能のことです。このレジュームポイントから再生を開始することをつづき再生と呼びます。

録画番組をスマホで持ち出す

- 「スマホ持ち出し変換」をすることで、録画した番組をスマホ deレグザを使用してスマホで視聴できます。

スマホ持ち出し用に予約する

1 録画/予約画面を表示させる

- 同梱取扱説明書の「見ている番組を録画する」[\[27\]](#) / 「番組表で予約をする」[\[28\]](#)をご覧ください。
- 「[連ドラ予約](#)」や「[日時指定予約](#)」からも設定できます。


2 ▲・▼・◀・▶で「スマホ持ち出し変換」を選び、を押す

- スマホ持ち出し変換の画面が表示されます。

3 ▲・▼で以下から選び、を押す

- **しない**
スマホ持ち出し変換をせず、通常の録画になります。
- **スマホ高画質**
画質を優先したい場合に選択します。
- **スマホ長時間画質**
画質は落ちますが、持ち出し番組のサイズを小さくできます。

4 ▲・▼・◀・▶で「録画予約」または「はい」を選び、を押す

- 録画予約が設定されます。スマホ持ち出し変換の設定をした番組は、予約リストでスマホ持ち出しアイコン()が付きます。
- [「録画予約や連ドラ予約の設定を変更するとき」](#) [▶▶](#)で「スマホ持ち出し変換」を選んで、後からスマホ持ち出し変換の設定をおこなうこともできます。

お知らせ

- 録画予約で「スマホ持ち出し変換」を選択した場合、DRで録画した後、電源待機の間にはスマホ持ち出し番組へ自動的に変換されます。

録画した番組をスマホ持ち出し用に変換する

- 録画した番組を、スマホ持ち出し用に変換できます。
- ※ 保護された録画番組は、変換することはできません。
- ※ 複数音声が入った録画された番組を変換すると、音声は1つだけになります。
- ※ 字幕付きの録画番組を変換すると、字幕なしになります。

1 録画リストを表示させる(同梱取扱説明書「録画した番組を再生する」[29](#) 1~2)

2 変換をする録画済番組を▲・▼で選ぶ





3 を押し、▲・▼と で「スマホ持ち出し変換」を選ぶ

4 ▲・▼で以下から選び、 を押す

- ・ 1件変換
選択中の番組を変換します。
- ・ 複数変換
複数の番組を選択して、変換します。

5 以下の操作をする

「1件変換」の場合

- 複数音声の番組の場合、どの音声を使用するかを選択画面が表示されます。
 - ① 音声を▲・▼で選び、を押す
 - ② 変換する番組の画質を▲・▼で選び、を押す
 - 画質は【スマホ高画質】、【スマホ長時間画質】から選択できます。
 - ③ ◀▶で「今すぐ変換」または「後で変換」を選び、を押す
 - 「今すぐ変換」を選ぶと電源待機状態になり、スマホ持ち出し変換が始まります。
 - 「後で変換」を選ぶと、録画リストに戻ります。変換する番組の横には、スマホ持ち出し変換予定のアイコン()が表示されます。




「複数変換」の場合

※ 「複数変換」の場合、音声は自動的に「音声1」が選択されます。

1 変換する番組の画質を▲・▼で選び、を押す

- 画質は【スマホ高画質】、【スマホ長時間録画】から選択できます。

2 変換する番組を▲・▼で選び、を押す

- を押すたびに、とが交互に切り換わります。変換する番組にをつけます。
- 保護されている番組は変換できません。
- を押すと、番組をまとめて選択します。を押すと、選択がすべて解除されます。

3 変換する番組をすべて選んだら を押す

- 一度に変換できるのは16番組までです。

4 確認画面で、で「はい」を選んで を押す

- 録画リストに戻ります。変換する番組の横には、スマホ持ち出し変換予定のアイコン()が表示されます。

変換を中止するときは

1 録画リストで変換予定の番組を選ぶ

2 を押し、▲・▼と で「スマホ持ち出し変換解除」を選ぶ

3 確認画面で、で「はい」を選んで を押す

お知らせ

■ スマホ持ち出し変換について

- スマホ持ち出し変換は、電源待機の状態で行われます。変換中に電源が「入」になったり、予約録画が始まった場合は変換は中止され、電源待機になると再び開始します。
- スマホ持ち出し変換の実行中は、本機前面の「変換」ランプが点灯します。

スマホ持ち出し番組を確認/削除する

- スマホ持ち出し変換した録画番組を確認できます。


1 録画リスト表示中に を押す

- 機器選択画面が表示されます。

2 使用する機器を▲▼◀▶で「スマホ持ち出し番組」を選び、 を押す

- スマホ持ち出し番組のリストが表示されます。

スマホ持ち出し番組を削除する

- スマホ持ち出し番組のリストを表示中に  を押すと、削除の画面が表示されます。

削除の手順については[「不要な録画番組を消す / 誤って消さないように保護する」](#)をご覧ください。

- ※ 持ち出しダビング中の番組は、削除できません。